

印西市 障がい福祉に関する  
アンケート調査結果 報告書  
(案)

令和5年6月  
印西市



## 目 次

I	調査の目的と実施概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象者	1
3.	調査の方法と回収状況	1
4.	調査結果の見方	2
II	障がい者アンケート	3
1.	あなたのことについて	3
2.	住まいや暮らしについて	16
3.	災害時の対応について	36
4.	就労状況について	41
5.	健康と医療について	47
6.	障がいに関する法律の理解について	49
7.	情報や相談について	57
8.	障がいのある人の福祉サービスについて	67
9.	障がい者施策について	71
III	障がい児アンケート	82
1.	あなたのことについて	82
2.	住まいや暮らしについて	93
3.	災害時の対応について	113
4.	健康と医療について	118
5.	障がいに関する法律の理解について	120
6.	相談や情報について	128
7.	障がいのある子どもの福祉サービスについて	138
8.	障がい者施策について	142
IV	一般アンケート	151
1.	あなたのことについて	151
2.	障がいへの理解について	158
3.	障がいの周知啓発について	163
4.	社会参加・ボランティアについて	166
5.	障がい者雇用について	173
6.	福祉のまちづくりについて	175



# I 調査の目的と実施概要

## 1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第5次印西市障害者基本計画・第7期印西市障害福祉計画・第3期印西市障害児福祉計画」の策定にあたり、障がい者福祉等の実態を踏まえ、障害福祉サービスの現状と需要を把握するとともに、本市における課題の整理を行い、今後目指すべき方向性を検討する基礎資料を得るため、実施したものです。

## 2. 調査対象者

調査の種類と対象者は、次のとおりです。

種類	対象者
障がい者アンケート	18歳以上の手帳所持者
障がい児アンケート	18歳未満の手帳所持者
一般アンケート	18歳以上の非手帳所持者

## 3. 調査の方法と回収状況

調査の方法と回収状況は、次のとおりです。

### 【調査方法】

◇郵送による配布・回収

※一般アンケートのみ回収にはWEBを併用

(調査票に二次元コードを記載、専用ウェブサイトにて回答)

### 【調査期間】

◇令和5年2月1日～2月21日

### 【配布・回収状況】

種類	配布数	回収数	回収率	【参考】 令和2年調査 回収率
障がい者アンケート	3,169	1,546	48.8%	45.6%
障がい児アンケート	293	154	52.6%	40.2%
一般アンケート	2,138	938	43.9%	37.1%

## 4. 調査結果の見方

- ◇タイトル右には、設問に応じ、S A（単数回答）、M A（複数回答）、F A（自由記述）を示しています。
- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇前回調査（令和2年実施）との比較が可能な設問については、グラフに前回調査の数値を掲載しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、S Aの設問における複数回答等）の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ◇各集計結果のコメントは、特徴的な事項のみ記載しています。また、回答者数が少ない場合は、コメントの記載を省略している場合があります。
- ◇表における  表示はその種別の第一位の項目（無回答を除く）を示しています。
- ◇居住地域については、下記の地域区分によって分析を行っています。

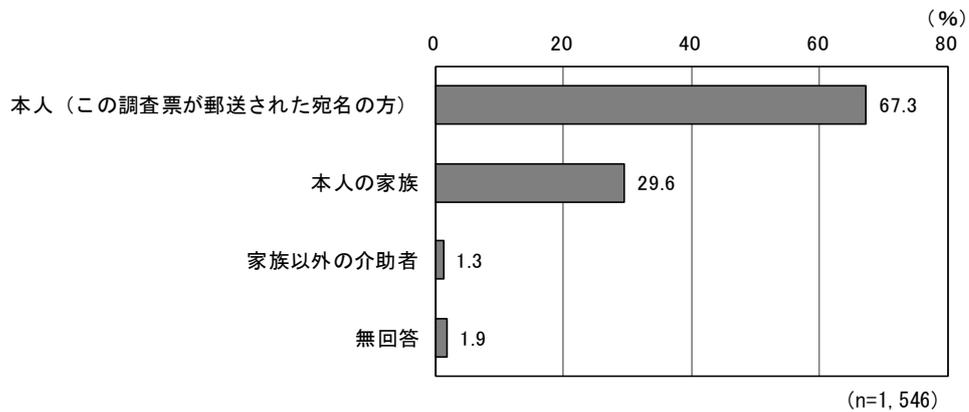
居住地域地域	対象地区
北部	木下・木下南・竹袋・別所・宗甫・木下東・平岡・平岡官堤・小林・小林官堤・小林官堤腹・小林北・小林浅間・小林大門下・大森・鹿黒・鹿黒南・亀成・発作・相嶋・浅間前・大森官堤・浦部・浦部村新田・白幡・浦幡新田・高西新田・小倉・和泉・ 牧の台
南部	小倉台・大塚・牧の木戸・木刈・武西学園台・戸神台・中央北・中央南・内野・原山・ 高花
船穂・草深	草深・東の原・西の原・原・泉・松崎・松崎台・結縁寺・多々羅田・武西・戸神・船尾・ 泉野
印旛	瀬戸・山田・平賀・平賀学園台・吉高・萩原・松虫・岩戸・師戸・鎌苅・大廻・造谷・ つくりや台・吉田・美瀬・舞姫・若萩
本埜	中根・荒野・角田・竜腹寺・惣深新田飛地・滝・物木・笠神・行徳・川向・下曾根・中・萩埜・ 桜野・押付・佐野屋・和泉屋・甚兵衛・立埜原・松木・中田切・下井・長門屋・酒直ト杭・ 安食ト杭・将監・本埜小林・滝野・みどり台・牧の原

## Ⅱ 障がい者アンケート

### 1. あなたのことについて

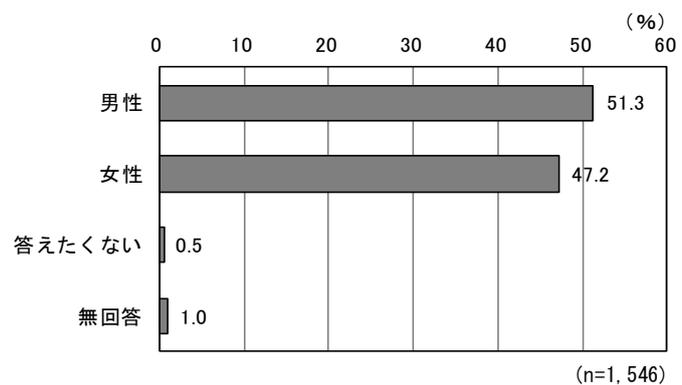
問1. 調査票の記入者

【SA】



問2. 性別

【SA】

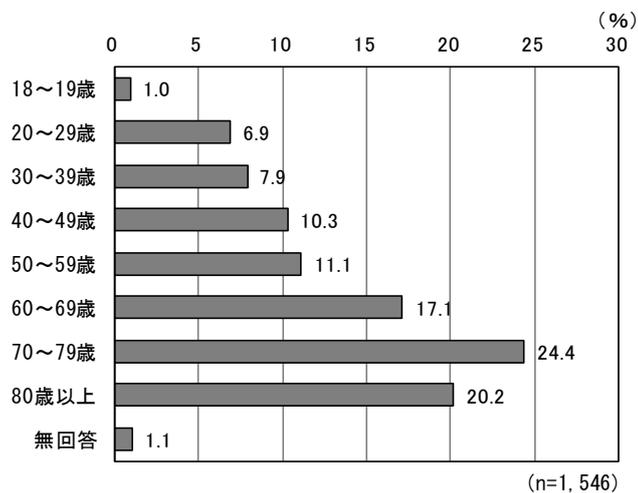


問3. 年齢

【SA】

○「70～79歳」が24.4%で最も高く、次いで「80歳以上」が20.2%、「60～69歳」が17.1%の順となっています。

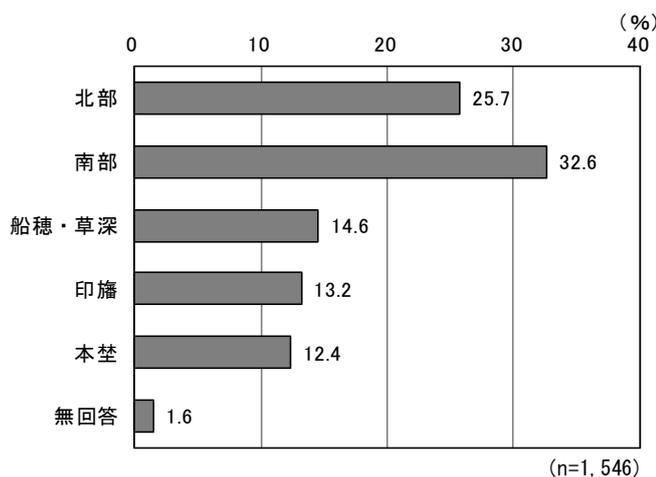
○障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「70～79歳」が32.6%、“知的障がい”は「20歳～29歳」が39.9%、“精神障がい”は「40～49歳」が25.7%で最も高くなっています。

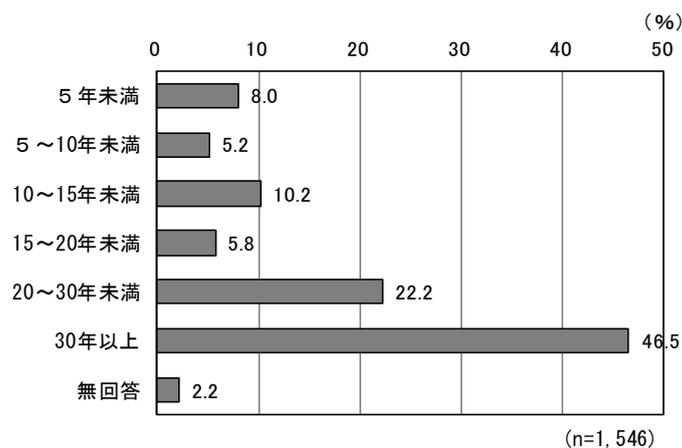


障がいの種類	上段：人 下段：%	合計	問3. 年齢								
			18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体	1546 100.0	15 1.0	107 6.9	122 7.9	159 10.3	172 11.1	265 17.1	377 24.4	312 20.2	17 1.1	
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	6 0.6	14 1.3	34 3.1	59 5.5	101 9.3	219 20.3	352 32.6	293 27.1	3 0.3
	知的障がい	163 100.0	10 6.1	65 39.9	37 22.7	26 16.0	15 9.2	2 1.2	5 3.1	1 0.6	2 1.2
	精神障がい	307 100.0	0 0.0	35 11.4	59 19.2	79 25.7	57 18.6	43 14.0	24 7.8	7 2.3	3 1.0

問4. 居住地

【SA】

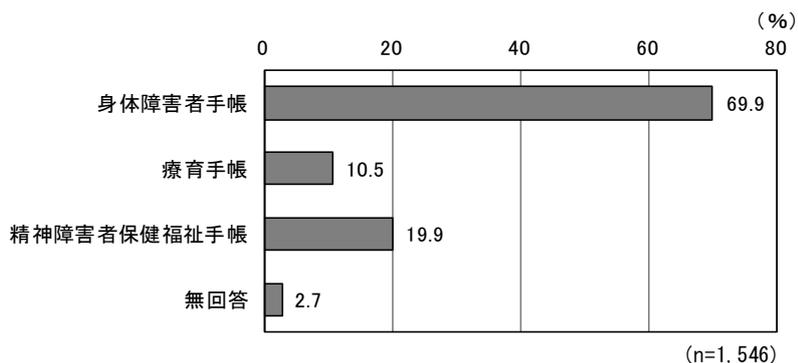




問6. 持っている手帳の種類

○「身体障害者手帳」が69.9%で最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が19.9%、「療育手帳」が10.5%の順となっています。

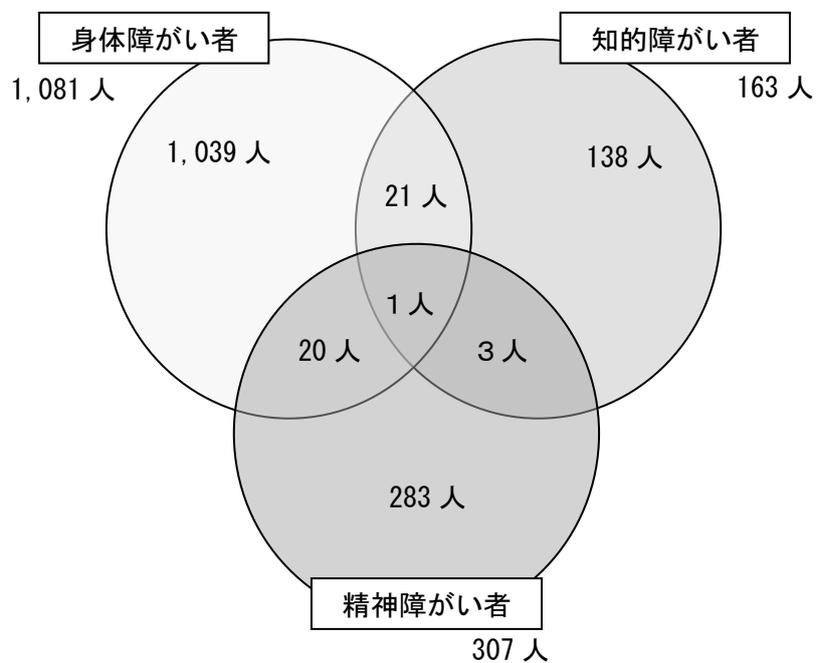
○年齢別にみると、“18歳～20歳代”は「療育手帳」、「30歳代～40歳代」は「精神障害者保健福祉手帳」と“50歳代～80歳以上”は「身体障害者手帳」が最も高くなっています。



	合計	問6. 持っている手帳の種類				
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答	
全体	1546 100.0	1081 69.9	163 10.5	307 19.9	41 2.7	
年齢	18～19歳	15 100.0	6 40.0	10 66.7	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	14 13.1	65 60.7	35 32.7	1 0.9
	30歳代	122 100.0	34 27.9	37 30.3	59 48.4	1 0.8
	40歳代	159 100.0	59 37.1	26 16.4	79 49.7	1 0.6
	50歳代	172 100.0	101 58.7	15 8.7	57 33.1	4 2.3
	60歳代	265 100.0	219 82.6	2 0.8	43 16.2	6 2.3
	70歳代	377 100.0	352 93.4	5 1.3	24 6.4	4 1.1
	80歳以上	312 100.0	293 93.9	1 0.3	7 2.2	14 4.5

◇参考  
 印西市における手帳所持者数  
 (令和5年3月末時点)  
 ・障害者手帳：2,307人  
 ・療育手帳：702人  
 ・精神障害者保健福祉手帳：764人  
 ※出典：障がい福祉課

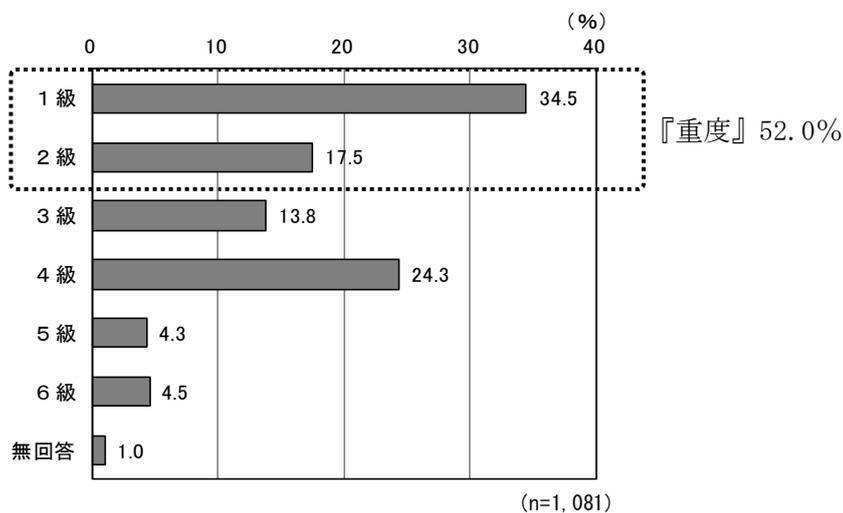
- 3種の障がいの状況をベン図で示すと次のとおりです。
- 障害者手帳の種類が不明な方を除く 1505 人のうち、身体障がい者が 1,039 人、知的障がい者が 138 人、精神障がい者が 283 人となっています。
- 重複については、「身体障がい」と「知的障がい」が 21 人、「身体障がい」と「精神障がい」が 20 人、「知的障がい」と「精神障がい」が 3 人、3種の障がいの重複が 1 人となっています。



(問6において「身体障害者手帳」を回答した方限定)

○「身体障害者手帳1級」が34.5%で最も高く、「身体障害者手帳2級」の17.5%と合わせた『重度』は、52.0%となっています。

○年齢別にみると、『重度』は“40歳代”が66.1%で最も高くなっています。

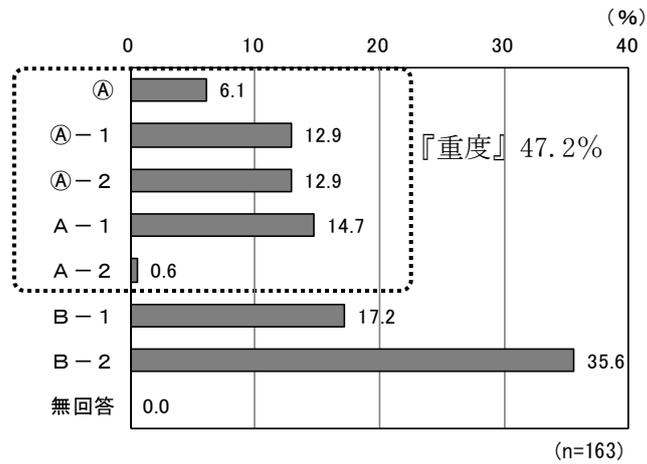


(上段:人 下段:%)		合計	問6①. 身体障害者手帳の等級						
			1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		1081	373	189	149	263	47	49	11
		100.0	34.5	17.5	13.8	24.3	4.3	4.5	1.0
年齢	18~19歳	6	2	1	1	1	1	0	0
		100.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	20歳代	14	5	1	1	2	0	4	1
		100.0	35.7	7.1	7.1	14.3	0.0	28.6	7.1
	30歳代	34	12	8	8	4	2	0	0
		100.0	35.3	23.5	23.5	11.8	5.9	0.0	0.0
	40歳代	59	27	12	6	5	4	5	0
		100.0	45.8	20.3	10.2	8.5	6.8	8.5	0.0
	50歳代	101	40	21	10	18	5	4	3
	100.0	39.6	20.8	9.9	17.8	5.0	4.0	3.0	
60歳代	219	74	39	39	48	9	10	0	
	100.0	33.8	17.8	17.8	21.9	4.1	4.6	0.0	
70歳代	352	109	60	45	104	15	14	5	
	100.0	31.0	17.0	12.8	29.5	4.3	4.0	1.4	
80歳以上	293	103	46	39	80	11	12	2	
	100.0	35.2	15.7	13.3	27.3	3.8	4.1	0.7	

(問6において「療育手帳」を回答した方限定)

○「B-2」が35.6%で最も高くなっています。なお、「㉠~A2」までの『重度』は47.2%となっています。

○年齢別にみると、数が少なく参考となりますが、『重度』は“50歳代”が60.0%で高くなっています。

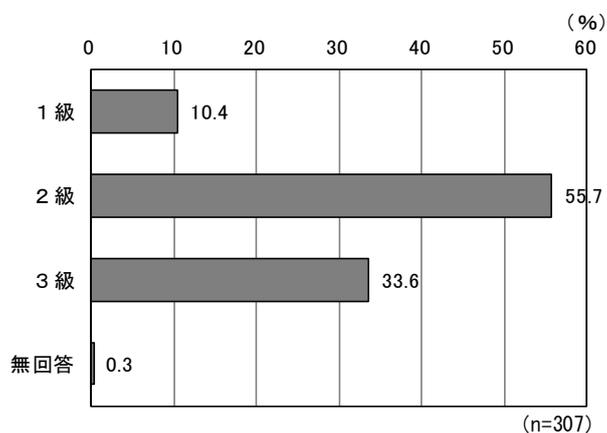


上段：人 下段：%		合計	問6②. 療育手帳の等級							
			㉠	㉠-1	㉠-2	A-1	A-2	B-1	B-2	無回答
全体		163 100.0	10 6.1	21 12.9	21 12.9	24 14.7	1 0.6	28 17.2	58 35.6	0 0.0
年齢	18~19歳	10 100.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0
	20歳代	65 100.0	4 6.2	10 15.4	8 12.3	6 9.2	0 0.0	12 18.5	25 38.5	0 0.0
	30歳代	37 100.0	0 0.0	2 5.4	6 16.2	11 29.7	0 0.0	4 10.8	14 37.8	0 0.0
	40歳代	26 100.0	0 0.0	4 15.4	4 15.4	3 11.5	1 3.8	6 23.1	8 30.8	0 0.0
	50歳代	15 100.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	0 0.0	3 20.0	3 20.0	0 0.0
	60歳代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	70歳代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(問6において「精神障害者保健福祉手帳」を回答した方限定)

○「2級」が55.7%で最も高く、次いで「3級」が33.6%、「1級」が10.4%の順となっています。

○年齢別にみると、“20歳代～70歳代”は「2級」が最も高くなっています。



(上段：人 下段：%)		合計	問6③. 精神障害者保健福祉手帳の等級			
			1級	2級	3級	無回答
全体		307 100.0	32 10.4	171 55.7	103 33.6	1 0.3
年齢	18～19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	35 100.0	2 5.7	18 51.4	15 42.9	0 0.0
	30歳代	59 100.0	3 5.1	34 57.6	22 37.3	0 0.0
	40歳代	79 100.0	6 7.6	48 60.8	25 31.6	0 0.0
	50歳代	57 100.0	4 7.0	34 59.6	19 33.3	0 0.0
	60歳代	43 100.0	8 18.6	24 55.8	11 25.6	0 0.0
	70歳代	24 100.0	6 25.0	10 41.7	7 29.2	1 4.2
	80歳以上	7 100.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	0 0.0

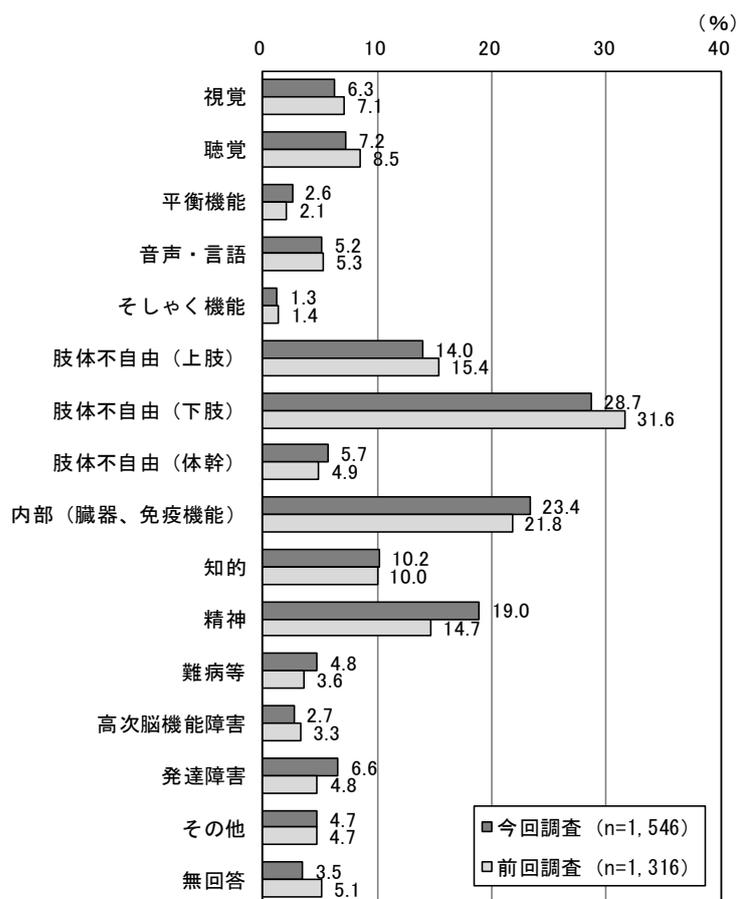
○「肢体不自由（下肢）」が28.7%で最も高く、次いで「内部（臓器、免疫機能）」が23.4%、「精神」が19.0%の順となっています。

○前回調査に比べ、「精神」が4.3ポイント増加しています。

○性別にみると、「内部（臓器、免疫機能）」は“男性”の方が14.6ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、“18歳～20歳代”は「知的」、「30歳代～50歳代」は「精神」が最も高くなっています。

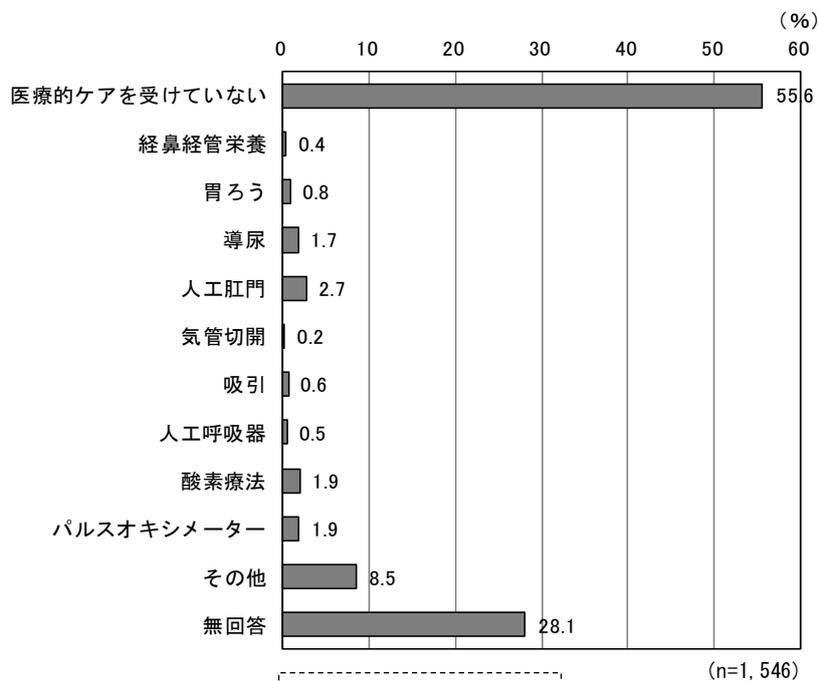
○障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「肢体不自由（下肢）」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問7. 障がいの種類								
		視覚	聴覚	平衡機能	音声・言語	そしゃく機能	肢体不自由（上肢）	肢体不自由（下肢）	肢体不自由（体幹）	
全体	1546 100.0	97 6.3	112 7.2	40 2.6	80 5.2	20 1.3	217 14.0	444 28.7	88 5.7	
性別	男性	793 100.0	52 6.6	51 6.4	18 2.3	48 6.1	10 1.3	118 14.9	188 23.7	42 5.3
	女性	729 100.0	42 5.8	59 8.1	21 2.9	31 4.3	10 1.4	95 13.0	251 34.4	44 6.0
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	3 2.8	3 2.8	1 0.9	2 1.9	0 0.0	3 2.8	6 5.6	3 2.8
	30歳代	122 100.0	6 4.9	7 5.7	1 0.8	5 4.1	1 0.8	13 10.7	16 13.1	3 2.5
	40歳代	159 100.0	7 4.4	8 5.0	4 2.5	11 6.9	0 0.0	14 8.8	20 12.6	3 1.9
	50歳代	172 100.0	11 6.4	14 8.1	2 1.2	6 3.5	5 2.9	26 15.1	44 25.6	9 5.2
	60歳代	265 100.0	15 5.7	10 3.8	3 1.1	22 8.3	4 1.5	47 17.7	108 40.8	16 6.0
	70歳代	377 100.0	26 6.9	30 8.0	16 4.2	23 6.1	3 0.8	73 19.4	142 37.7	32 8.5
	80歳以上	312 100.0	28 9.0	39 12.5	13 4.2	10 3.2	6 1.9	37 11.9	102 32.7	21 6.7
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	85 7.9	100 9.3	33 3.1	59 5.5	18 1.7	213 19.7	429 39.7	84 7.8
	知的障がい	163 100.0	8 4.9	7 4.3	6 3.7	14 8.6	2 1.2	13 8.0	14 8.6	4 2.5
	精神障がい	307 100.0	7 2.3	6 2.0	6 2.0	14 4.6	0 0.0	6 2.0	12 3.9	3 1.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問7. 障がいの種類								
		内部（臓器、免疫機能）	知的	精神	難病等	高次脳機能障害	発達障害	その他	無回答	
全体	1546 100.0	361 23.4	158 10.2	293 19.0	74 4.8	42 2.7	102 6.6	73 4.7	54 3.5	
性別	男性	793 100.0	243 30.6	92 11.6	116 14.6	30 3.8	31 3.9	57 7.2	38 4.8	26 3.3
	女性	729 100.0	117 16.0	63 8.6	173 23.7	43 5.9	11 1.5	41 5.6	33 4.5	19 2.6
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	9 60.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	2 1.9	64 59.8	30 28.0	5 4.7	0 0.0	44 41.1	5 4.7	0 0.0
	30歳代	122 100.0	8 6.6	33 27.0	52 42.6	3 2.5	2 1.6	25 20.5	0 0.0	0 0.0
	40歳代	159 100.0	22 13.8	20 12.6	79 49.7	5 3.1	3 1.9	14 8.8	8 5.0	2 1.3
	50歳代	172 100.0	30 17.4	15 8.7	64 37.2	13 7.6	6 3.5	10 5.8	3 1.7	1 0.6
	60歳代	265 100.0	71 26.8	6 2.3	38 14.3	11 4.2	13 4.9	1 0.4	9 3.4	4 1.5
	70歳代	377 100.0	122 32.4	5 1.3	19 5.0	25 6.6	11 2.9	2 0.5	18 4.8	17 4.5
	80歳以上	312 100.0	105 33.7	4 1.3	8 2.6	11 3.5	7 2.2	0 0.0	29 9.3	20 6.4
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	357 33.0	26 2.4	28 2.6	66 6.1	30 2.8	10 0.9	58 5.4	32 3.0
	知的障がい	163 100.0	0 0.0	138 84.7	19 11.7	8 4.9	0 0.0	53 32.5	5 3.1	3 1.8
	精神障がい	307 100.0	5 1.6	11 3.6	260 84.7	8 2.6	13 4.2	46 15.0	8 2.6	2 0.7

○「医療的ケアを受けていない」が 55.6%で最も高くなっています。なお、医療的ケアの内容については、「その他」の 8.5%が最も高く、次いで「人工肛門」が 2.7%、「酸素療法」と「パルスオキシメーター」がともに 1.9%の順となっています。



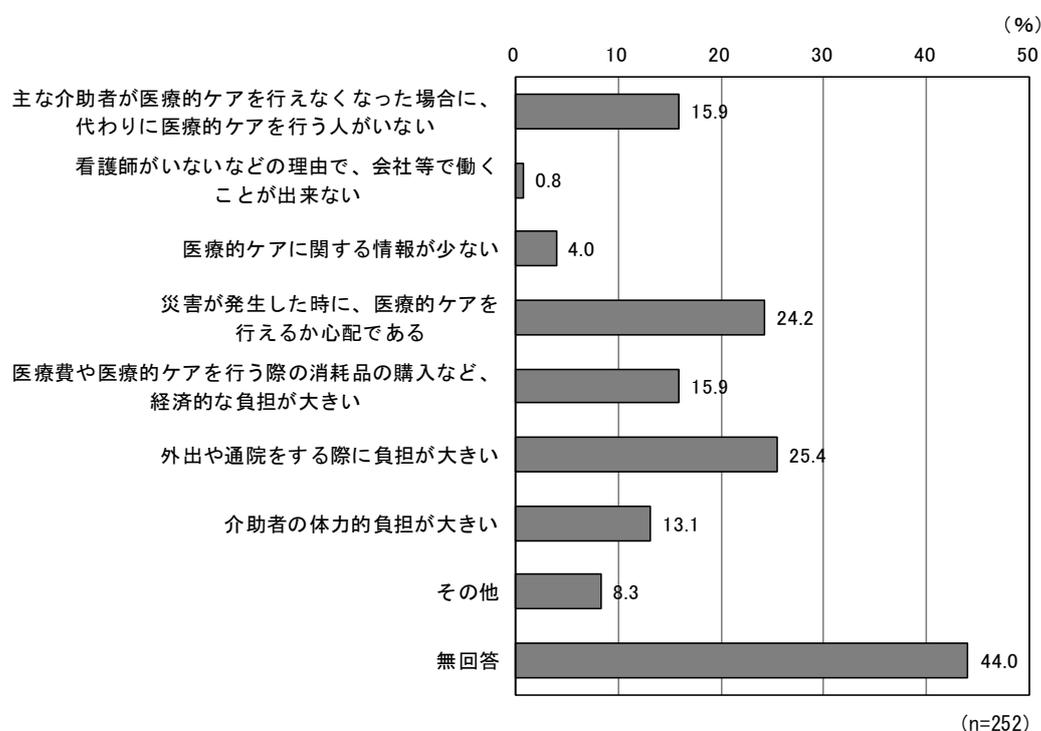
【その他（例）】  
 ・透析  
 ・人工膀胱

〔上段：人 下段：％〕	合計	問8. 現在在宅で受けている医療的ケア						
		医療的ケ アを受け ていない	経鼻経管 栄養	胃ろう	導尿	人工肛門	気管切開	
全体	1546 100.0	860 55.6	6 0.4	13 0.8	27 1.7	42 2.7	3 0.2	
年齢	18～19歳	15 100.0	13 86.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	73 68.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	122 100.0	90 73.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0
	40歳代	159 100.0	101 63.5	1 0.6	0 0.0	1 0.6	2 1.3	1 0.6
	50歳代	172 100.0	117 68.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	2 1.2	0 0.0
	60歳代	265 100.0	148 55.8	0 0.0	1 0.4	6 2.3	8 3.0	0 0.0
	70歳代	377 100.0	186 49.3	3 0.8	3 0.8	12 3.2	14 3.7	1 0.3
	80歳以上	312 100.0	128 41.0	2 0.6	7 2.2	6 1.9	15 4.8	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	556 51.4	6 0.6	11 1.0	27 2.5	38 3.5	3 0.3
	知的障がい	163 100.0	109 66.9	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	307 100.0	208 67.8	1 0.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問8. 現在在宅で受けている医療的ケア						
		吸引	人工呼吸 器	酸素療法	パルスオ キシメー ター	その他	無回答	
全体	1546 100.0	9 0.6	7 0.5	30 1.9	29 1.9	132 8.5	434 28.1	
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	3 2.8	6 5.6	24 22.4
	30歳代	122 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8	6 4.9	24 19.7
	40歳代	159 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	7 4.4	44 27.7
	50歳代	172 100.0	1 0.6	2 1.2	4 2.3	5 2.9	14 8.1	33 19.2
	60歳代	265 100.0	2 0.8	0 0.0	2 0.8	1 0.4	28 10.6	75 28.3
	70歳代	377 100.0	1 0.3	2 0.5	9 2.4	8 2.1	28 7.4	122 32.4
	80歳以上	312 100.0	4 1.3	2 0.6	12 3.8	8 2.6	41 13.1	102 32.7
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	8 0.7	6 0.6	27 2.5	27 2.5	113 10.5	304 28.1
	知的障がい	163 100.0	2 1.2	2 1.2	1 0.6	3 1.8	8 4.9	40 24.5
	精神障がい	307 100.0	2 0.7	0 0.0	2 0.7	2 0.7	14 4.6	76 24.8

(在宅での医療的ケアを行っている方限定)

- 「外出や通院をする際に負担が大きい」が25.4%で最も高く、次いで「災害が発生した時に、医療的ケアを行えるか心配である」が24.2%、「主な介助者が医療的ケアを行えなくなった場合に、代わりに医療的ケアを行う人がいない」と「医療費や医療的ケアを行う際の消耗品の購入など、経済的な負担が大きい」がともに15.9%の順となっています。
- 年齢別にみると、“30歳代～40歳代”は「災害が発生した時に、医療的ケアを行えるか心配である」、「50歳代～60歳代」と“80歳以上”は「外出や通院をする際に負担が大きい」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい”は「災害が発生した時に、医療的ケアを行えるか心配である」と「外出や通院をする際に負担が大きい」が最も高くなっています。



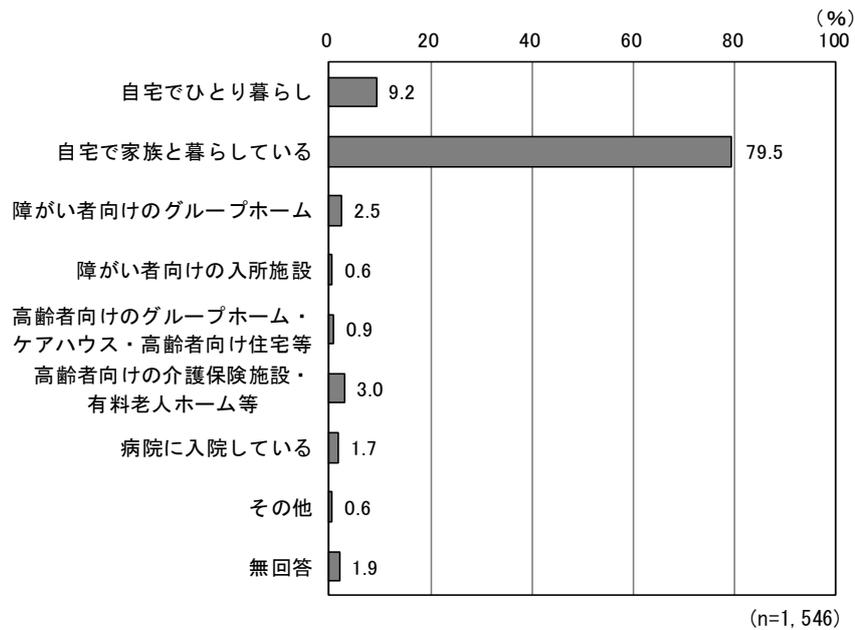
( 上段 : 人 下段 : % )	合計	問8-1. 在宅での医療的ケアで困っていること								
		主な介護者が医療的ケアを行えなくなった場合に、代わりに医療的ケアを行う人がいない	看護師がいないなどの理由で、会社等で働くことが出来ない	医療的ケアに関する情報が少ない	災害が発生した時に、医療的ケアを行えるか心配である	医療費や医療的ケアを行う際の消耗品などの購入など、経済的な負担が大きい	外出や通院をする際に負担が大きい	介護者の体力的負担が大きい	その他	無回答
全体	252 100.0	40 15.9	2 0.8	10 4.0	61 24.2	40 15.9	64 25.4	33 13.1	21 8.3	111 44.0
年齢	18～19歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
	20歳代	10 100.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0
	30歳代	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	40歳代	14 100.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	6 42.9	4 28.6	3 21.4	2 14.3	1 7.1
	50歳代	22 100.0	4 18.2	0 0.0	2 9.1	8 36.4	4 18.2	10 45.5	2 9.1	1 4.5
	60歳代	42 100.0	2 4.8	0 0.0	2 4.8	8 19.0	6 14.3	9 21.4	1 2.4	3 7.1
	70歳代	69 100.0	13 18.8	0 0.0	3 4.3	21 30.4	13 18.8	17 24.6	12 17.4	4 5.8
	80歳以上	82 100.0	16 19.5	1 1.2	2 2.4	12 14.6	10 12.2	19 23.2	12 14.6	8 9.8
障がいの種類	身体障がい	221 100.0	32 14.5	1 0.5	10 4.5	53 24.0	35 15.8	55 24.9	27 12.2	19 8.6
	知的障がい	14 100.0	3 21.4	1 7.1	0 0.0	2 14.3	3 21.4	4 28.6	3 21.4	1 7.1
	精神障がい	23 100.0	9 39.1	0 0.0	2 8.7	10 43.5	6 26.1	10 43.5	6 26.1	2 8.7

## 2. 住まいや暮らしについて

### 問9. 現在の暮らし

【SA】

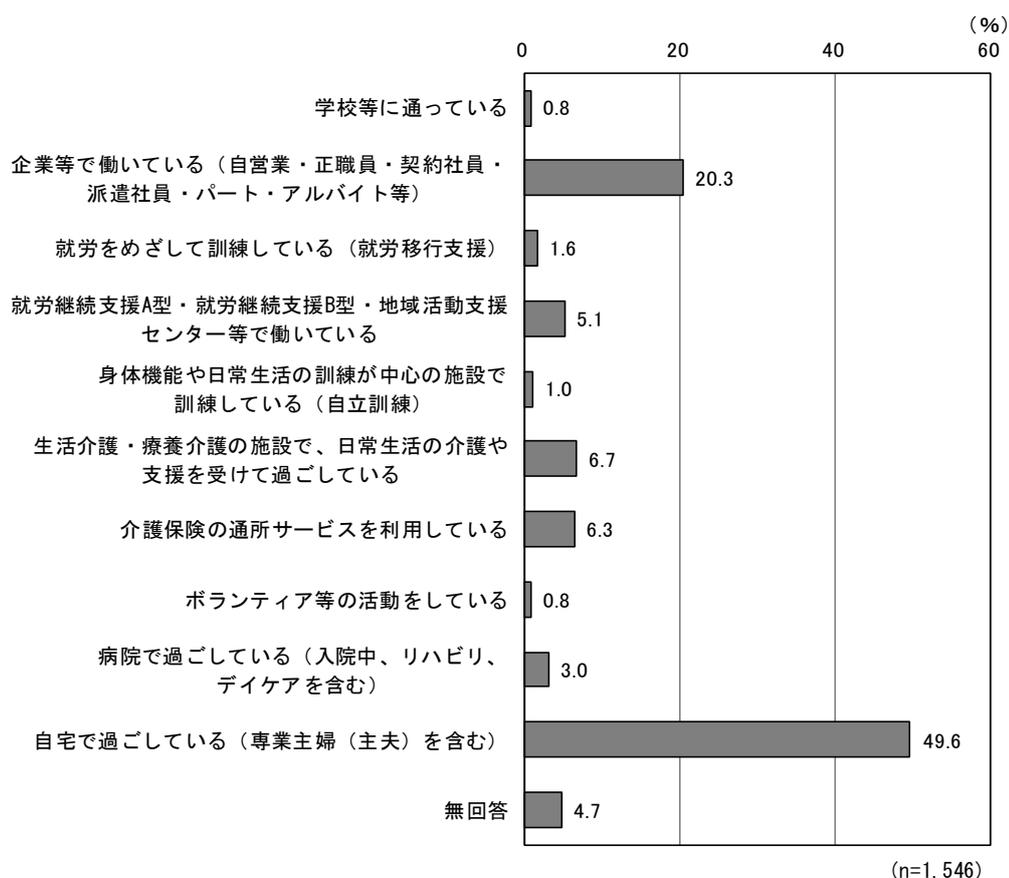
- 「自宅で家族と暮らしている」が79.5%で最も高く、次いで「自宅でひとり暮らし」が9.2%、「高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等」が3.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、すべての年代で「自宅で家族と暮らしている」が最も高くなっています。また、“70歳代～80歳以上”で「自宅でひとり暮らし」の人は1割程度となっています。



	合計	問9. 現在の暮らし									
		自宅でひとり暮らし	自宅で家族と暮らしている	障がい者向けのグループホーム	障がい者向けの入所施設	高齢者向けのグループホーム・ケアハウス・高齢者向け住宅等	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等	病院に入院している	その他	無回答	
全体	1546 100.0	143 9.2	1229 79.5	38 2.5	10 0.6	14 0.9	46 3.0	27 1.7	9 0.6	30 1.9	
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	12 80.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	3 2.8	97 90.7	3 2.8	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	1 0.9
	30歳代	122 100.0	4 3.3	102 83.6	11 9.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	2 1.6	1 0.8
	40歳代	159 100.0	13 8.2	130 81.8	10 6.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	2 1.3
	50歳代	172 100.0	24 14.0	136 79.1	7 4.1	2 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.6	0 0.0	2 1.2
	60歳代	265 100.0	22 8.3	214 80.8	4 1.5	0 0.0	3 1.1	5 1.9	11 4.2	1 0.4	5 1.9
	70歳代	377 100.0	41 10.9	309 82.0	0 0.0	2 0.5	2 0.5	10 2.7	4 1.1	2 0.5	7 1.9
	80歳以上	312 100.0	34 10.9	217 69.6	0 0.0	3 1.0	7 2.2	29 9.3	10 3.2	2 0.6	10 3.2
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	99 9.2	867 80.2	10 0.9	6 0.6	11 1.0	41 3.8	20 1.9	8 0.7	19 1.8
	知的障がい	163 100.0	4 2.5	121 74.2	28 17.2	5 3.1	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.5
	精神障がい	307 100.0	42 13.7	245 79.8	6 2.0	0 0.0	1 0.3	2 0.7	6 2.0	1 0.3	4 1.3

○「自宅で過ごしている（専業主婦（主夫）を含む）」が49.6%で最も高く、次いで「企業等で働いている（自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等）」が20.3%、「生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしている」が6.7%の順となっています。

○障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしている」、「身体障がい」と“精神障がい”は「自宅で過ごしている（専業主婦（主夫）を含む）」が最も高くなっています。

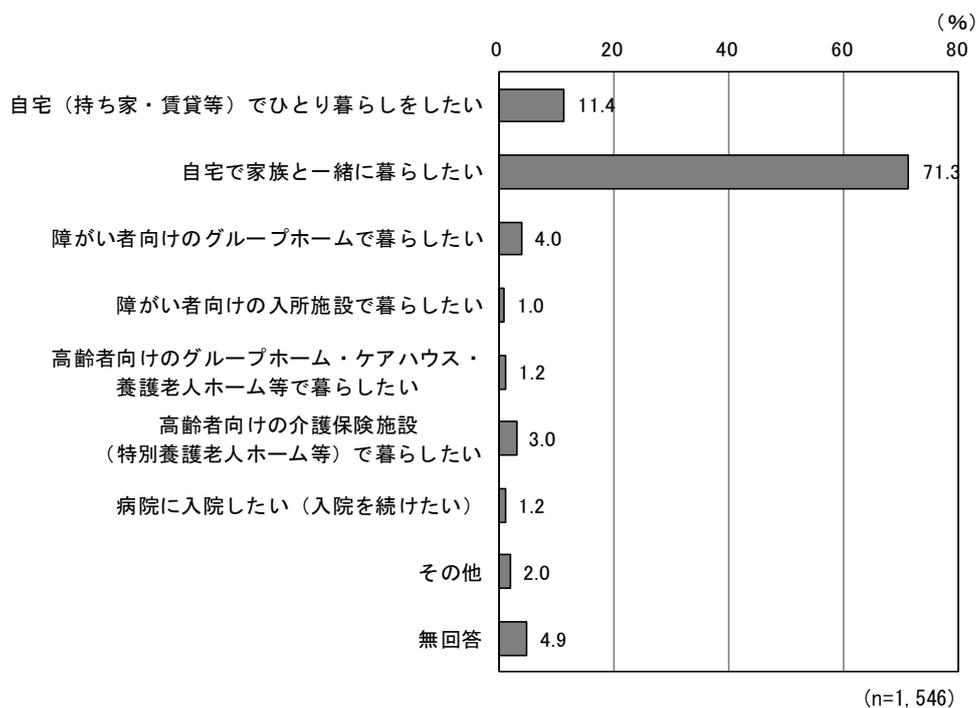


〔上段：人 下段：％〕	合計	問10. 平日の日中の過ごし方						
		学校等に 通っている	企業等で 働いている (自営業・正職 員・契約 社員・派 遣社員・ パート・ アルバイト等)	就労をめ ざして訓 練してい る(就労 移行支 援)	就労継続 支援A 型・就労 継続支援 B型・地 域活動支 援セン ター等で 働いてい る	身体機能 や日常生 活の訓練 が中心の 施設で訓 練してい る(自立 訓練)	生活介 護・療養 介護の施 設で、日 常生活の 介護や支 援を受け て過ごし ている	
全体	1546 100.0	12 0.8	314 20.3	25 1.6	79 5.1	16 1.0	103 6.7	
年齢	18～19歳	15 100.0	9 60.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0
	20歳代	107 100.0	3 2.8	32 29.9	8 7.5	20 18.7	0 0.0	19 17.8
	30歳代	122 100.0	0 0.0	47 38.5	3 2.5	19 15.6	1 0.8	10 8.2
	40歳代	159 100.0	0 0.0	61 38.4	6 3.8	20 12.6	2 1.3	7 4.4
	50歳代	172 100.0	0 0.0	63 36.6	4 2.3	11 6.4	3 1.7	9 5.2
	60歳代	265 100.0	0 0.0	59 22.3	4 1.5	5 1.9	1 0.4	10 3.8
	70歳代	377 100.0	0 0.0	43 11.4	0 0.0	1 0.3	5 1.3	11 2.9
	80歳以上	312 100.0	0 0.0	5 1.6	0 0.0	0 0.0	4 1.3	32 10.3
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	4 0.4	203 18.8	5 0.5	11 1.0	12 1.1	60 5.6
	知的障がい	163 100.0	6 3.7	43 26.4	5 3.1	37 22.7	2 1.2	44 27.0
	精神障がい	307 100.0	2 0.7	72 23.5	15 4.9	34 11.1	3 1.0	4 1.3

〔上段：人 下段：％〕	合計	問10. 平日の日中の過ごし方				
		介護保険 の通所 サービス を利用し ている	ボラン ティア等 の活動を している	病院で過 ごしてい る(入院 中、リハ イケアを 含む)	自宅で過 ごしてい る(専業 主婦(主 夫)を含 む)	無回答
全体	1546 100.0	98 6.3	12 0.8	47 3.0	767 49.6	73 4.7
年齢	18～19歳	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 6.7
	20歳代	107 100.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	21 2.8
	30歳代	122 100.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	39 0.8
	40歳代	159 100.0	3 1.9	0 0.0	2 1.3	56 35.2
	50歳代	172 100.0	3 1.7	1 0.6	4 2.3	70 40.7
	60歳代	265 100.0	13 4.9	2 0.8	14 5.3	143 54.0
	70歳代	377 100.0	28 7.4	5 1.3	7 1.9	256 67.9
	80歳以上	312 100.0	51 16.3	3 1.0	18 5.8	176 56.4
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	89 8.2	9 0.8	35 3.2	600 55.5
	知的障がい	163 100.0	3 1.8	0 0.0	0 0.0	20 12.3
	精神障がい	307 100.0	2 0.7	2 0.7	12 3.9	149 48.5

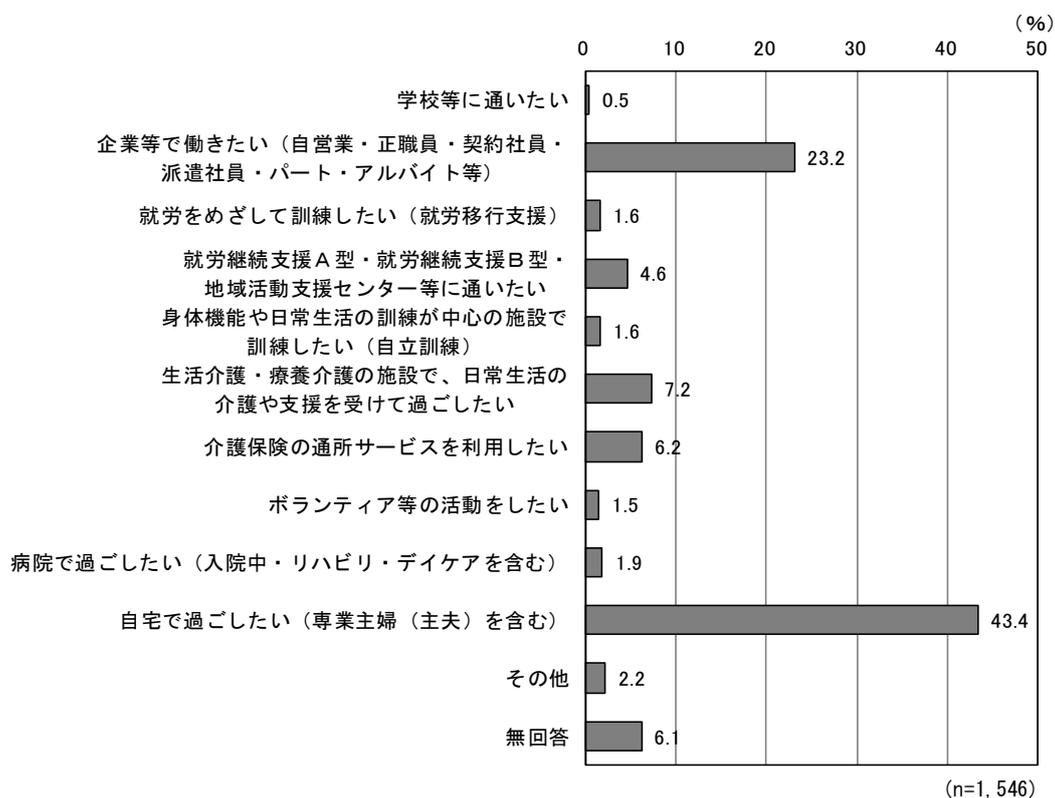
○「自宅で家族と一緒に暮らしたい」が 71.3%で最も高く、次いで「自宅（持ち家・賃貸等）でひとり暮らしをしたい」が 11.4%、「障がい者向けのグループホームで暮らしたい」が 4.0%の順となっています。

○障がいの種類別にみると、すべての障がいで「自宅で家族と一緒に暮らしたい」が最も高くなっていますが、“知的障がい”は「障がい者向けのグループホームで暮らしたい」も高くなっています。



上段：人 下段：％		合計	問11. 今後3年以内にどのように暮らしたいか								
			自宅（持ち家・賃貸等）でひとり暮らしをしたい	自宅で家族と一緒に暮らしたい	障がい者向けのグループホームで暮らしたい	障がい者向けの入所施設で暮らしたい	高齢者向けのグループホーム・ケアハウス・養護老人ホーム等で暮らしたい	高齢者向けの介護保険施設（特別養護老人ホーム等）で暮らしたい	病院に入院したい（入院を続けたい）	その他	無回答
全体		1546 100.0	176 11.4	1103 71.3	62 4.0	15 1.0	19 1.2	46 3.0	18 1.2	31 2.0	76 4.9
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	9 60.0	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	14 13.1	68 63.6	12 11.2	2 1.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	5 4.7	4 3.7
	30歳代	122 100.0	13 10.7	82 67.2	14 11.5	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	10 8.2
	40歳代	159 100.0	16 10.1	118 74.2	14 8.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 3.8	4 2.5
	50歳代	172 100.0	25 14.5	124 72.1	9 5.2	5 2.9	0 0.0	0 0.0	1 0.6	3 1.7	5 2.9
	60歳代	265 100.0	26 9.8	207 78.1	3 1.1	0 0.0	7 2.6	4 1.5	6 2.3	5 1.9	7 2.6
	70歳代	377 100.0	47 12.5	287 76.1	1 0.3	5 1.3	2 0.5	8 2.1	4 1.1	4 1.1	19 5.0
	80歳以上	312 100.0	31 9.9	198 63.5	2 0.6	1 0.3	10 3.2	34 10.9	5 1.6	6 1.9	25 8.0
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	114 10.5	801 74.1	14 1.3	7 0.6	17 1.6	42 3.9	11 1.0	18 1.7	57 5.3
	知的障がい	163 100.0	9 5.5	94 57.7	46 28.2	8 4.9	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	5 3.1
	精神障がい	307 100.0	54 17.6	210 68.4	12 3.9	1 0.3	2 0.7	2 0.7	4 1.3	12 3.9	10 3.3

- 「自宅で過ごしたい（専業主婦（主夫）を含む）」が 43.4%で最も高く、次いで「企業等で働きたい（自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等）」が 23.2%、「生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしたい」が 7.2%の順となっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい” “精神障がい” は「企業等で働きたい（自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等）」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問12. 今後3年以内に平日の日中をどのように過ごしたいか						
		学校等に 通いたい	企業等で 働きたい (自営 業・正職 員・契約 社員・派 遣社員・ パート・ アルバイト 等)	就労をめ ざして訓 練したい (就労移 行支援)	就労継続 支援A 型・就労 継続支援 B型・地 域活動支 援セン ター等に 通いたい	身体機能 や日常生 活の訓練 が中心の 施設で訓 練したい (自立訓 練)	生活介護・療養 介護の施 設で、日 常生活の 介護や支 援を受け て過ごし たい	
全体	1546 100.0	7 0.5	358 23.2	25 1.6	71 4.6	25 1.6	112 7.2	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	6 40.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	5 33.3
	20歳代	107 100.0	0 0.0	45 42.1	3 2.8	20 18.7	0 0.0	20 18.7
	30歳代	122 100.0	1 0.8	59 48.4	6 4.9	18 14.8	2 1.6	9 7.4
	40歳代	159 100.0	1 0.6	75 47.2	6 3.8	16 10.1	1 0.6	9 5.7
	50歳代	172 100.0	1 0.6	73 42.4	4 2.3	10 5.8	4 2.3	9 5.2
	60歳代	265 100.0	0 0.0	56 21.1	5 1.9	4 1.5	5 1.9	12 4.5
	70歳代	377 100.0	1 0.3	35 9.3	1 0.3	1 0.3	6 1.6	16 4.2
	80歳以上	312 100.0	0 0.0	5 1.6	0 0.0	0 0.0	7 2.2	30 9.6
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	6 0.6	203 18.8	7 0.6	12 1.1	20 1.9	64 5.9
	知的障がい	163 100.0	0 0.0	52 31.9	1 0.6	34 20.9	4 2.5	48 29.4
	精神障がい	307 100.0	2 0.7	107 34.9	19 6.2	28 9.1	3 1.0	6 2.0

上段：人 下段：%	合計	問12. 今後3年以内に平日の日中をどのように過ごしたいか						
		介護保険 の通所 サービス を利用し たい	ボラン ティア等 の活動を したい	病院で過 ごしたい (入院 中・リハ ビリ・デ イケアを 含む)	自宅で過 ごしたい (専業主 婦(主 夫)を含 む)	その他	無回答	
全体	1546 100.0	96 6.2	23 1.5	29 1.9	671 43.4	34 2.2	95 6.1	
年齢	18～19歳	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	0 0.0	3 2.8	3 2.8	6 5.6	4 3.7	3 2.8
	30歳代	122 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 13.1	4 3.3	7 5.7
	40歳代	159 100.0	3 1.9	2 1.3	1 0.6	33 20.8	5 3.1	7 4.4
	50歳代	172 100.0	3 1.7	2 1.2	2 1.2	51 29.7	3 1.7	10 5.8
	60歳代	265 100.0	13 4.9	6 2.3	8 3.0	137 51.7	7 2.6	12 4.5
	70歳代	377 100.0	22 5.8	8 2.1	8 2.1	253 67.1	6 1.6	20 5.3
	80歳以上	312 100.0	55 17.6	2 0.6	7 2.2	169 54.2	5 1.6	32 10.3
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	89 8.2	18 1.7	19 1.8	555 51.3	20 1.9	68 6.3
	知的障がい	163 100.0	3 1.8	2 1.2	1 0.6	10 6.1	3 1.8	5 3.1
	精神障がい	307 100.0	4 1.3	4 1.3	7 2.3	102 33.2	11 3.6	14 4.6

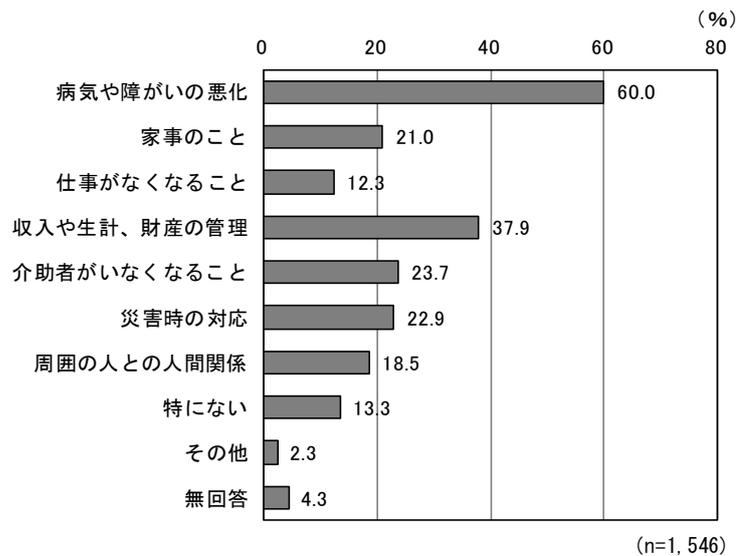
問 13. 不安や心配に感じていること

【MA】

○「病気や障がいの悪化」が 60.0%で最も高く、次いで「収入や生計、財産の管理」が 37.9%、「介助者がいなくなること」が 23.7%の順となっています。

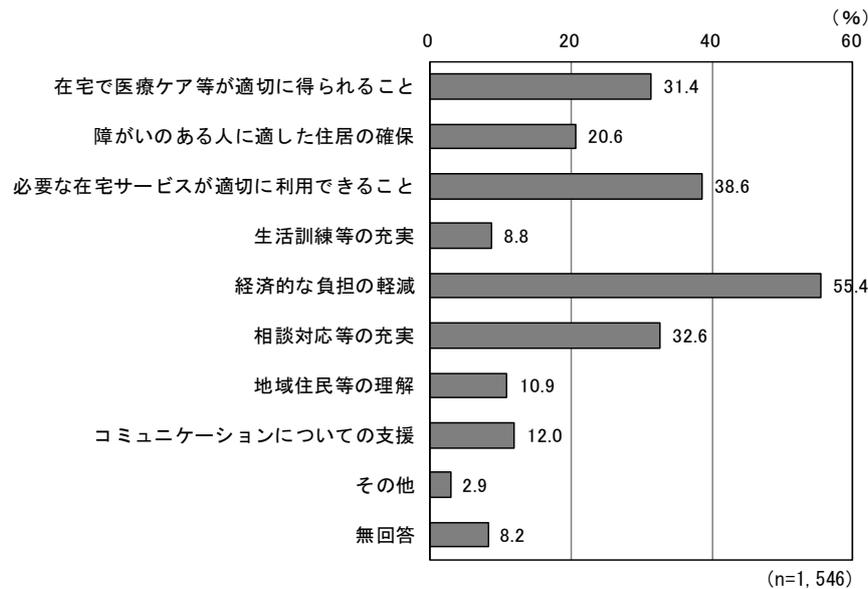
○年齢別にみると、“18 歳～40 歳代”は「収入や生計、財産の管理」、「50 歳代～80 歳以上”は「病気や障がいの悪化」が最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、“身体障がい”“精神障がい”は「病気や障がいの悪化」、「知的障がい”は「収入や生計、財産の管理」が最も高くなっています。



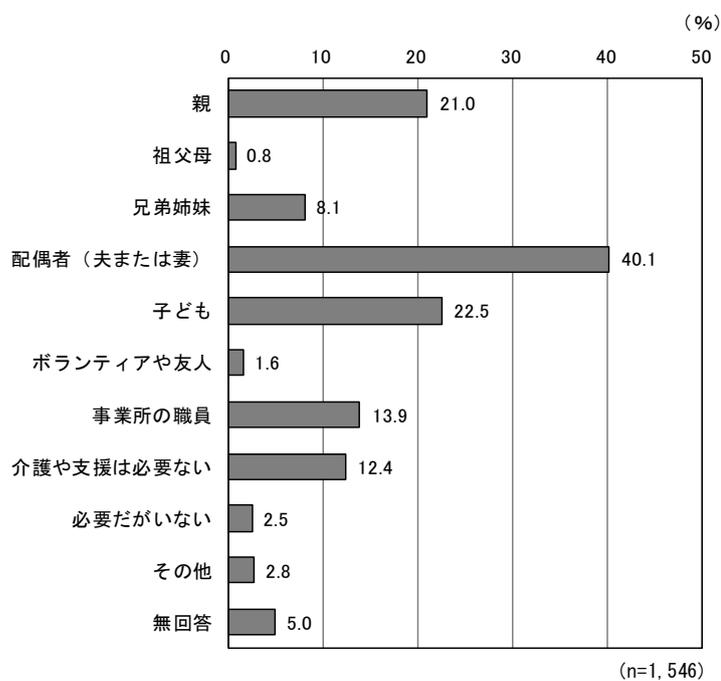
	合計	問13. 不安や心配に感じていること										
		病気や障がいの悪化	家事のこと	仕事がなくなること	収入や生計、財産の管理	介助者がいなくなること	災害時の対応	周囲の人との人間関係	特にない	その他	無回答	
全体	1546 100.0	927 60.0	324 21.0	190 12.3	586 37.9	366 23.7	354 22.9	286 18.5	206 13.3	36 2.3	66 4.3	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	6 40.0	2 13.3	8 53.3	7 46.7	6 40.0	5 33.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	51 47.7	30 28.0	34 31.8	74 69.2	47 43.9	28 26.2	52 48.6	8 7.5	1 0.9	1 0.9
	30歳代	122 100.0	65 53.3	33 27.0	34 27.9	67 54.9	34 27.9	31 25.4	54 44.3	10 8.2	3 2.5	2 1.6
	40歳代	159 100.0	92 57.9	36 22.6	43 27.0	100 62.9	27 17.0	40 25.2	58 36.5	14 8.8	9 5.7	4 2.5
	50歳代	172 100.0	114 66.3	49 28.5	39 22.7	93 54.1	36 20.9	42 24.4	35 20.3	16 9.3	7 4.1	5 2.9
	60歳代	265 100.0	187 70.6	41 15.5	21 7.9	101 38.1	51 19.2	68 25.7	39 14.7	27 10.2	4 1.5	11 4.2
	70歳代	377 100.0	236 62.6	72 19.1	12 3.2	92 24.4	79 21.0	77 20.4	16 4.2	63 16.7	7 1.9	21 5.6
	80歳以上	312 100.0	171 54.8	52 16.7	2 0.6	44 14.1	80 25.6	59 18.9	22 7.1	62 19.9	5 1.6	20 6.4
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	677 62.6	189 17.5	76 7.0	315 29.1	243 22.5	249 23.0	102 9.4	167 15.4	19 1.8	47 4.3
	知的障がい	163 100.0	60 36.8	42 25.8	38 23.3	90 55.2	79 48.5	52 31.9	68 41.7	17 10.4	2 1.2	3 1.8
	精神障がい	307 100.0	198 64.5	93 30.3	80 26.1	194 63.2	57 18.6	57 18.6	128 41.7	18 5.9	16 5.2	10 3.3

- 「経済的な負担の軽減」が 55.4%で最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 38.6%、「相談対応等の充実」が 32.6%の順となっています。
- 年齢別にみると、“80 歳以上”は「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”“精神障がい”は「経済的な負担の軽減」、「知的障がい”は「障がいのある人に適した住居の確保」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問14. 地域で生活するためにあれば良い支援										
		在宅で医療ケア等が適切に得られること	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答	
全体	1546 100.0	485 31.4	319 20.6	596 38.6	136 8.8	856 55.4	504 32.6	169 10.9	185 12.0	45 2.9	127 8.2	
年齢	18～19歳	15 100.0	2 13.3	7 46.7	7 46.7	0 0.0	10 66.7	9 60.0	3 26.7	4 40.0	0 0.0	
	20歳代	107 100.0	9 8.4	45 42.1	30 28.0	16 15.0	60 56.1	52 48.6	25 23.4	25 23.4	1 0.9	8 7.5
	30歳代	122 100.0	9 7.4	42 34.4	26 21.3	24 19.7	72 59.0	63 51.6	27 22.1	28 23.0	1 0.8	6 4.9
	40歳代	159 100.0	21 13.2	36 22.6	35 22.0	16 10.1	114 71.7	68 42.8	35 22.0	34 21.4	7 4.4	10 6.3
	50歳代	172 100.0	40 23.3	43 25.0	53 30.8	13 7.6	123 71.5	60 34.9	20 11.6	20 11.6	4 2.3	11 6.4
	60歳代	265 100.0	92 34.7	52 19.6	119 44.9	21 7.9	157 59.2	84 31.7	17 6.4	23 8.7	12 4.5	12 4.5
	70歳代	377 100.0	164 43.5	60 15.9	174 46.2	27 7.2	189 50.1	94 24.9	24 6.4	22 5.8	8 2.1	35 9.3
	80歳以上	312 100.0	141 45.2	32 10.3	148 47.4	18 5.8	121 38.8	69 22.1	16 5.1	26 8.3	11 3.5	43 13.8
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	415 38.4	186 17.2	486 45.0	79 7.3	573 53.0	297 27.5	82 7.6	91 8.4	30 2.8	94 8.7
	知的障がい	163 100.0	17 10.4	76 46.6	50 30.7	27 16.6	72 44.2	72 44.2	47 28.8	40 24.5	1 0.6	14 8.6
	精神障がい	307 100.0	43 14.0	67 21.8	65 21.2	35 11.4	218 71.0	142 46.3	48 15.6	63 20.5	11 3.6	12 3.9

- 「配偶者（夫または妻）」が 40.1%で最も高く、次いで「子ども」が 22.5%、「親」が 21.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、“18歳～40歳代”は「親」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「配偶者（夫または妻）」、“知的障がい”“精神障がい”は「親」が最も高くなっています。

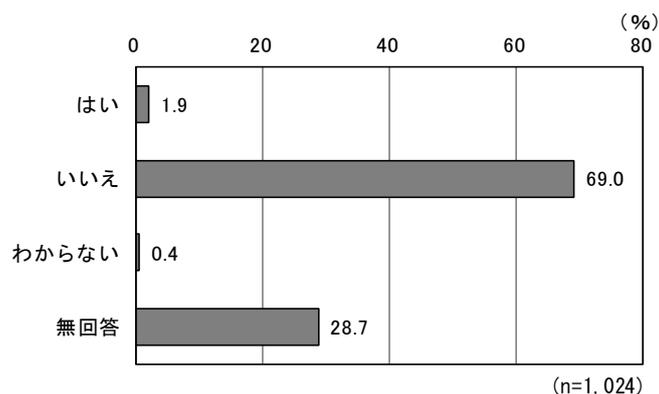


〔上段：人 下段：％〕	合計	問15. 介護や支援をしている人						
		親	祖父母	兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	子ども	ボランティアや友人	
全体	1546 100.0	325 21.0	12 0.8	125 8.1	620 40.1	348 22.5	25 1.6	
年齢	18～19歳	15 100.0	14 93.3	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	89 83.2	7 6.5	17 15.9	7 6.5	1 0.9	3 2.8
	30歳代	122 100.0	86 70.5	1 0.8	14 11.5	16 13.1	3 2.5	2 1.6
	40歳代	159 100.0	77 48.4	1 0.6	22 13.8	46 28.9	10 6.3	3 1.9
	50歳代	172 100.0	36 20.9	1 0.6	15 8.7	72 41.9	18 10.5	5 2.9
	60歳代	265 100.0	12 4.5	0 0.0	20 7.5	150 56.6	57 21.5	2 0.8
	70歳代	377 100.0	6 1.6	1 0.3	27 7.2	212 56.2	94 24.9	5 1.3
	80歳以上	312 100.0	0 0.0	0 0.0	6 1.9	113 36.2	163 52.2	4 1.3
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	80 7.4	4 0.4	64 5.9	513 47.5	311 28.8
知的障がい		163 100.0	139 85.3	5 3.1	40 24.5	7 4.3	0 0.0	4 2.5
精神障がい		307 100.0	122 39.7	4 1.3	28 9.1	102 33.2	30 9.8	7 2.3

〔上段：人 下段：％〕	合計	問15. 介護や支援をしている人					
		事業所の職員	介護や支援は必要ない	必要だがいない	その他	無回答	
全体	1546 100.0	215 13.9	191 12.4	39 2.5	43 2.8	77 5.0	
年齢	18～19歳	15 100.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	28 26.2	6 5.6	0 0.0	2 1.9	4 3.7
	30歳代	122 100.0	27 22.1	16 13.1	4 3.3	3 2.5	1 0.8
	40歳代	159 100.0	30 18.9	20 12.6	5 3.1	4 2.5	6 3.8
	50歳代	172 100.0	26 15.1	24 14.0	13 7.6	5 2.9	8 4.7
	60歳代	265 100.0	21 7.9	57 21.5	5 1.9	4 1.5	9 3.4
	70歳代	377 100.0	25 6.6	48 12.7	9 2.4	8 2.1	24 6.4
	80歳以上	312 100.0	49 15.7	17 5.4	2 0.6	15 4.8	23 7.4
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	112 10.4	157 14.5	26 2.4	25 2.3
知的障がい		163 100.0	68 41.7	0 0.0	0 0.0	3 1.8	3 1.8
精神障がい		307 100.0	39 12.7	28 9.1	15 4.9	15 4.9	14 4.6

(介護や支援を受けている方限定)

- 「はい」 (18 歳未満がいる) が 1.9% となっています。
- 年齢別にみると、「はい」 (18 歳未満がいる) は、回答が少なく参考となりますが、“18～19 歳” “40 歳代” で高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい” で「はい」 (18 歳未満がいる) の割合が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問15-1. 介護や支援者の中に18歳未満の人はいるか			
			はい	いいえ	わからな い	無回答
全体		1024 100.0	19 1.9	707 69.0	4 0.4	294 28.7
年 齢	18～19歳	9 100.0	1 11.1	8 88.9	0 0.0	0 0.0
	20歳代	69 100.0	1 1.4	43 62.3	1 1.4	24 34.8
	30歳代	74 100.0	3 4.1	48 64.9	0 0.0	23 31.1
	40歳代	98 100.0	7 7.1	62 63.3	1 1.0	28 28.6
	50歳代	101 100.0	2 2.0	66 65.3	0 0.0	33 32.7
	60歳代	173 100.0	0 0.0	123 71.1	0 0.0	50 28.9
	70歳代	271 100.0	3 1.1	189 69.7	1 0.4	78 28.8
	80歳以上	221 100.0	2 0.9	161 72.9	1 0.5	57 25.8
障 が い の 種 類	身体障がい	731 100.0	9 1.2	508 69.5	2 0.3	212 29.0
	知的障がい	92 100.0	2 2.2	64 69.6	1 1.1	25 27.2
	精神障がい	211 100.0	9 4.3	137 64.9	1 0.5	64 30.3

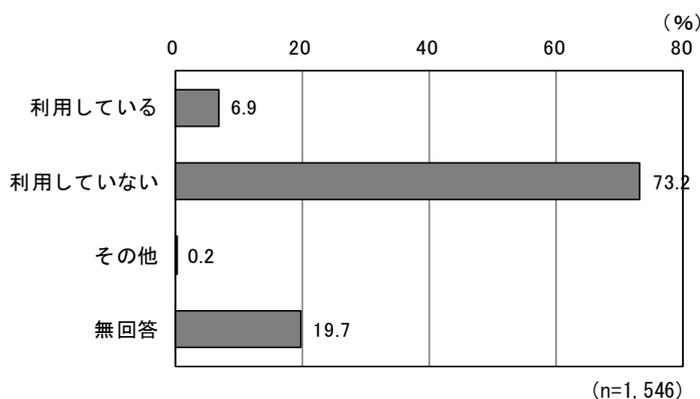
問 16. 在宅時、電気を必要とする医療機器を利用しているか

【SA】

○「利用していない」が73.2%で最も高くなっています。

○年齢別にみると、“80歳以上”で「利用している」が最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、“身体障がい”で「利用している」が最も高くなっています。

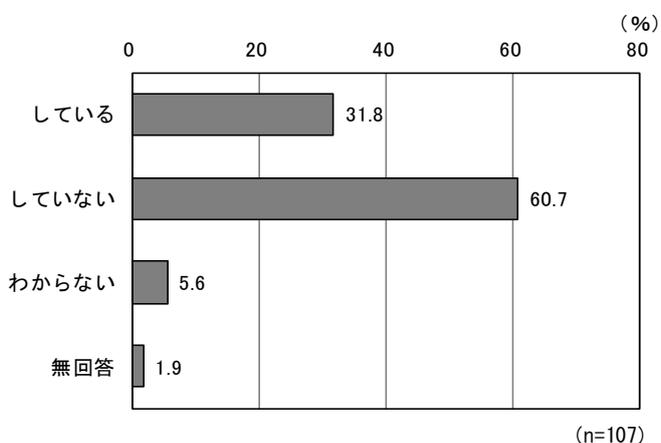


〔上段：人 下段：%〕		合計	問16. 在宅時、電気を必要とする医療機器を利用しているか			
			利用して いる	利用して いない	その他	無回答
全体		1546 100.0	107 6.9	1131 73.2	3 0.2	305 19.7
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	13 86.7	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	2 1.9	89 83.2	0 0.0	16 15.0
	30歳代	122 100.0	4 3.3	99 81.1	0 0.0	19 15.6
	40歳代	159 100.0	7 4.4	121 76.1	0 0.0	31 19.5
	50歳代	172 100.0	11 6.4	129 75.0	0 0.0	32 18.6
	60歳代	265 100.0	18 6.8	191 72.1	1 0.4	55 20.8
	70歳代	377 100.0	26 6.9	268 71.1	1 0.3	82 21.8
	80歳以上	312 100.0	37 11.9	210 67.3	0 0.0	65 20.8
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	96 8.9	767 71.0	3 0.3	215 19.9
	知的障がい	163 100.0	6 3.7	138 84.7	0 0.0	19 11.7
	精神障がい	307 100.0	10 3.3	232 75.6	0 0.0	65 21.2

(問 16 で「利用している」と回答した方限定)

○「していない」が 60.7%となっています。

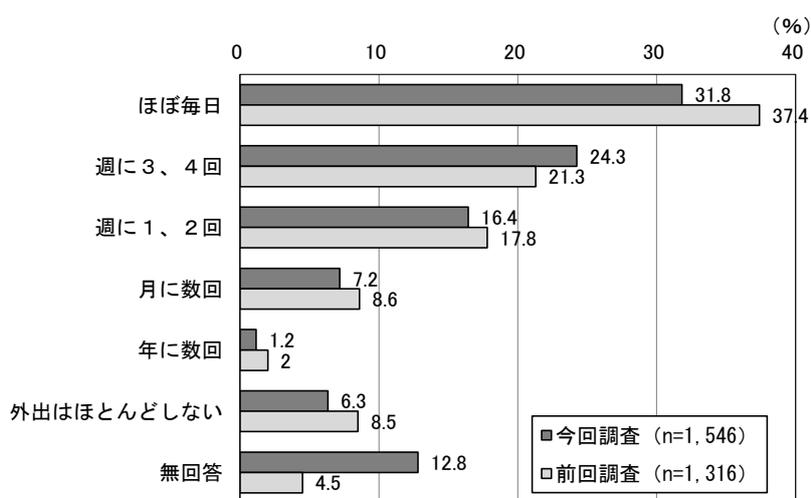
○年齢別にみると、“70 歳代”は「していない」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問16-1. 停電時の備えをしているか				
		している	していない	わからない	無回答	
全体	107 100.0	34 31.8	65 60.7	6 5.6	2 1.9	
年齢	18～19歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
	20歳代	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	
	30歳代	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	
	40歳代	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	1 14.3
	50歳代	11 100.0	1 9.1	7 63.6	2 18.2	1 9.1
	60歳代	18 100.0	5 27.8	12 66.7	1 5.6	0 0.0
	70歳代	26 100.0	8 30.8	18 69.2	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	37 100.0	14 37.8	21 56.8	2 5.4	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	96 100.0	32 33.3	57 59.4	5 5.2	2 2.1
	知的障がい	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7
	精神障がい	10 100.0	1 10.0	7 70.0	2 20.0	0 0.0

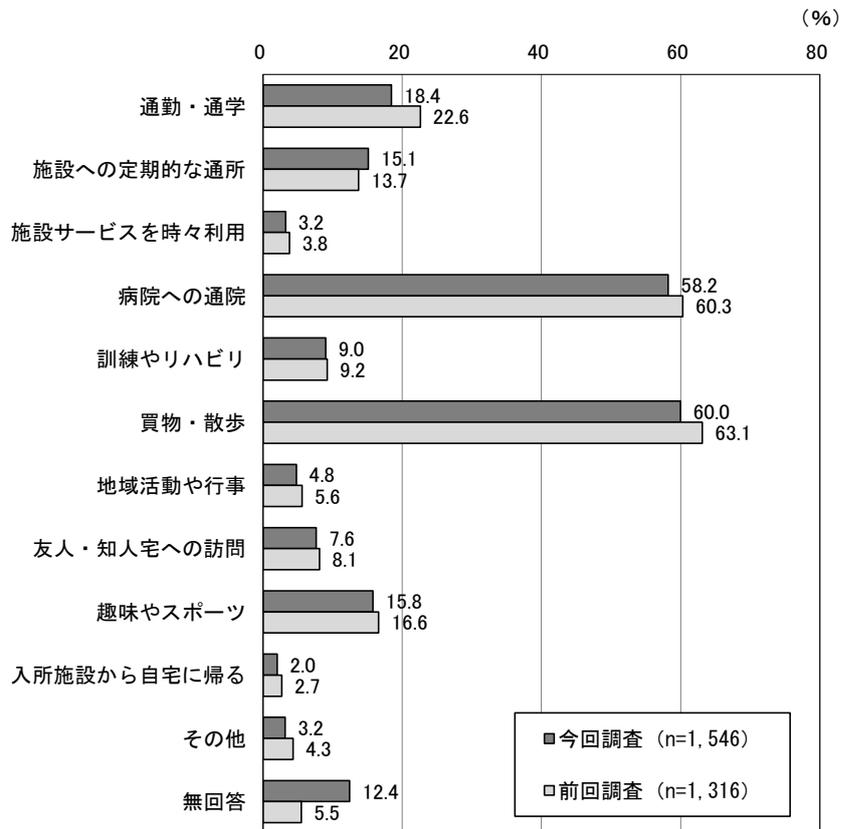
(介護や支援を受けている方限定)

- 「ほぼ毎日」が31.8%で最も高く、次いで「週に3、4回」が24.3%、「週に1、2回」が16.4%の順となっています。
- 性別にみると、男性は「ほぼ毎日」、女性は「週に3、4回」が高くなっています。
- 年齢別にみると、年齢が若くなるにつれ「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”が「週に3、4回」、「知的障がい」「精神障がい」は「ほぼ毎日」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問17. 日頃どのくらい外出をしますか						
			ほぼ毎日	週に3、4回	週に1、2回	月に数回	年に数回	外出はほとんどしない	無回答
全体		1546 100.0	492 31.8	375 24.3	254 16.4	111 7.2	18 1.2	98 6.3	198 12.8
性別	男性	793 100.0	309 39.0	192 24.2	107 13.5	40 5.0	6 0.8	41 5.2	98 12.4
	女性	729 100.0	178 24.4	179 24.6	140 19.2	67 9.2	12 1.6	56 7.7	97 13.3
年齢	18～19歳	15 100.0	13 86.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	62 57.9	20 18.7	6 5.6	5 4.7	0 0.0	3 2.8	11 10.3
	30歳代	122 100.0	65 53.3	17 13.9	12 9.8	9 7.4	0 0.0	5 4.1	14 11.5
	40歳代	159 100.0	79 49.7	27 17.0	17 10.7	8 5.0	0 0.0	3 1.9	25 15.7
	50歳代	172 100.0	71 41.3	38 22.1	25 14.5	8 4.7	1 0.6	5 2.9	24 14.0
	60歳代	265 100.0	75 28.3	73 27.5	47 17.7	14 5.3	2 0.8	18 6.8	36 13.6
	70歳代	377 100.0	84 22.3	103 27.3	82 21.8	38 10.1	4 1.1	21 5.6	45 11.9
	80歳以上	312 100.0	37 11.9	93 29.8	63 20.2	27 8.7	11 3.5	42 13.5	39 12.5
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	281 26.0	303 28.0	192 17.8	83 7.7	16 1.5	77 7.1	129 11.9
	知的障がい	163 100.0	119 73.0	18 11.0	6 3.7	5 3.1	0 0.0	5 3.1	10 6.1
	精神障がい	307 100.0	102 33.2	53 17.3	57 18.6	23 7.5	3 1.0	18 5.9	51 16.6

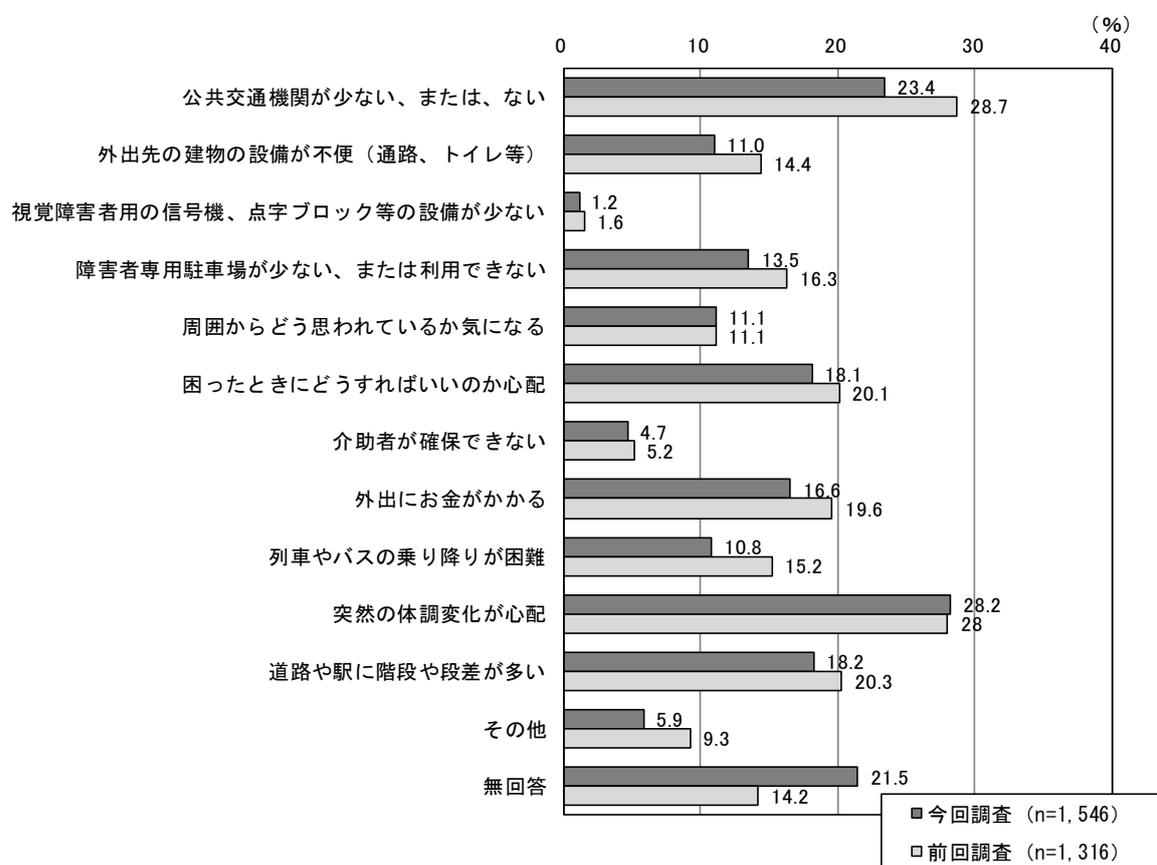
- 「買物・散歩」が60.0%で最も高く、次いで「病院への通院」が58.2%、「通勤・通学」が18.4%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「買物・散歩」が3.1ポイント、「病院への通院」が2.1ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、“60歳代”と“80歳以上”は「病院への通院」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「病院への通院」、「知的障がい」「精神障がい”は「買物・散歩」が最も高くなっています。



(上段：人 下段：%)	合計	問18. 外出する時の主な目的						
		通勤・通学	施設への定期的な通所	施設サービスを時々利用	病院への通院	訓練やリハビリ	買物・散歩	
全体	1546 100.0	285 18.4	234 15.1	50 3.2	900 58.2	139 9.0	927 60.0	
年齢	18～19歳	15 100.0	9 60.0	6 40.0	0 0.0	4 26.7	2 13.3	8 53.3
	20歳代	107 100.0	40 37.4	37 34.6	11 10.3	58 54.2	9 8.4	68 63.6
	30歳代	122 100.0	44 36.1	28 23.0	4 3.3	56 45.9	5 4.1	75 61.5
	40歳代	159 100.0	54 34.0	25 15.7	6 3.8	89 56.0	9 5.7	106 66.7
	50歳代	172 100.0	56 32.6	19 11.0	4 2.3	97 56.4	13 7.6	106 61.6
	60歳代	265 100.0	46 17.4	22 8.3	4 1.5	168 63.4	40 15.1	165 62.3
	70歳代	377 100.0	29 7.7	40 10.6	11 2.9	228 60.5	38 10.1	244 64.7
	80歳以上	312 100.0	3 1.0	54 17.3	9 2.9	190 60.9	23 7.4	145 46.5
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	161 14.9	127 11.7	23 2.1	646 59.8	118 10.9
知的障がい		163 100.0	57 35.0	78 47.9	17 10.4	74 45.4	5 3.1	105 64.4
精神障がい		307 100.0	70 22.8	38 12.4	13 4.2	189 61.6	15 4.9	192 62.5

(上段：人 下段：%)	合計	問18. 外出する時の主な目的						
		地域活動や行事	友人・知人宅への訪問	趣味やスポーツ	入所施設から自宅に帰る	その他	無回答	
全体	1546 100.0	74 4.8	118 7.6	244 15.8	31 2.0	49 3.2	192 12.4	
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	0 0.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	1 6.7
	20歳代	107 100.0	5 4.7	6 5.6	26 24.3	1 0.9	4 3.7	13 12.1
	30歳代	122 100.0	4 3.3	11 9.0	31 25.4	5 4.1	5 4.1	15 12.3
	40歳代	159 100.0	6 3.8	11 6.9	26 16.4	9 5.7	7 4.4	23 14.5
	50歳代	172 100.0	7 4.1	13 7.6	22 12.8	6 3.5	3 1.7	22 12.8
	60歳代	265 100.0	17 6.4	16 6.0	41 15.5	2 0.8	9 3.4	32 12.1
	70歳代	377 100.0	18 4.8	37 9.8	64 17.0	1 0.3	9 2.4	38 10.1
	80歳以上	312 100.0	16 5.1	24 7.7	25 8.0	6 1.9	10 3.2	44 14.1
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	58 5.4	95 8.8	164 15.2	10 0.9	33 3.1
知的障がい		163 100.0	9 5.5	7 4.3	35 21.5	18 11.0	9 5.5	12 7.4
精神障がい		307 100.0	7 2.3	16 5.2	45 14.7	5 1.6	8 2.6	50 16.3

- 「突然の体調変化が心配」が 28.2%で最も高く、次いで「公共交通機関が少ない、または、ない」が 23.4%、「道路や駅に階段や段差が多い」が 18.2%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「公共交通機関が少ない、または、ない」が 5.3 ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、“50 歳代”は「公共交通機関が少ない、または、ない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”“精神障がい”は「突然の体調変化が心配」、「知的障がい」は「困ったときにどうすればいいのか心配」が最も高くなっています。
- 居住地域別にみると、“船穂・草深”と“印旛”で「公共交通機関が少ない、または、ない」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問19. 外出するときに困ること						
		公共交通機関が少ない、または、ない	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ等）	視覚障害者用の信号機、点字ブロック等の設備が少ない	障害者専用駐車場が少ない、または利用できない	周囲からどう思われているか気になる	困ったときにどうすればいいの心配	介助者が確保できない
全体	1546 100.0	362 23.4	170 11.0	18 1.2	209 13.5	172 11.1	280 18.1	73 4.7
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	2 33.3	5 0.0
	20歳代	107 100.0	20 18.7	14 13.1	0 0.0	10 9.3	32 29.9	45 42.1
	30歳代	122 100.0	26 21.3	14 11.5	1 0.8	13 10.7	33 27.0	6 31.1
	40歳代	159 100.0	42 26.4	13 8.2	5 3.1	10 6.3	38 23.9	31 19.5
	50歳代	172 100.0	51 29.7	16 9.3	1 0.6	34 19.8	28 16.3	30 17.4
	60歳代	265 100.0	63 23.8	34 12.8	4 1.5	44 16.6	19 7.2	42 15.8
	70歳代	377 100.0	92 24.4	40 10.6	4 1.1	58 15.4	10 2.7	41 10.9
	80歳以上	312 100.0	60 19.2	35 11.2	3 1.0	35 11.2	7 2.2	44 14.1
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	248 22.9	140 13.0	16 1.5	186 17.2	53 4.9	143 13.2
	知的障がい	163 100.0	29 17.8	19 11.7	1 0.6	17 10.4	30 18.4	55 33.7
	精神障がい	307 100.0	99 32.2	16 5.2	0 0.0	14 4.6	98 31.9	91 29.6
居住地域	北部	398 100.0	97 24.4	42 10.6	3 0.8	64 16.1	44 11.1	74 18.6
	南部	504 100.0	90 17.9	56 11.1	6 1.2	61 12.1	57 11.3	84 16.7
	船穂・草深	225 100.0	65 28.9	26 11.6	3 1.3	22 9.8	28 12.4	45 20.0
	印旛	204 100.0	60 29.4	20 9.8	2 1.0	28 13.7	18 8.8	31 15.2
	本埜	191 100.0	46 24.1	23 12.0	4 2.1	30 15.7	23 12.0	40 20.9

〔上段：人 下段：％〕	合計	問19. 外出するときに困ること						
		外出にお金がかかる	列車やバスの乗り降りが困難	突然の体調変化が心配	道路や駅に階段や段差が多い	その他	無回答	
全体	1546 100.0	256 16.6	167 10.8	436 28.2	282 18.2	91 5.9	332 21.5	
年齢	18～19歳	15 100.0	5 33.3	3 20.0	3 20.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3
	20歳代	107 100.0	25 23.4	8 7.5	27 25.2	9 8.4	10 9.3	15 14.0
	30歳代	122 100.0	30 24.6	5 4.1	43 35.2	12 9.8	4 3.3	18 14.8
	40歳代	159 100.0	36 22.6	9 5.7	51 32.1	16 10.1	11 6.9	38 23.9
	50歳代	172 100.0	38 22.1	14 8.1	49 28.5	37 21.5	5 2.9	37 21.5
	60歳代	265 100.0	38 14.3	38 14.3	73 27.5	69 26.0	16 6.0	48 18.1
	70歳代	377 100.0	54 14.3	44 11.7	109 28.9	81 21.5	21 5.6	92 24.4
	80歳以上	312 100.0	26 8.3	44 14.1	77 24.7	53 17.0	23 7.4	79 25.3
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	139 12.9	133 12.3	294 27.2	243 22.5	65 6.0	234 21.6
	知的障がい	163 100.0	20 12.3	13 8.0	24 14.7	15 9.2	10 6.1	36 22.1
	精神障がい	307 100.0	100 32.6	25 8.1	126 41.0	30 9.8	18 5.9	51 16.6
居住地域	北部	398 100.0	60 15.1	43 10.8	117 29.4	69 17.3	14 3.5	90 22.6
	南部	504 100.0	86 17.1	71 14.1	146 29.0	117 23.2	36 7.1	102 20.2
	船穂・草深	225 100.0	53 23.6	21 9.3	61 27.1	34 15.1	21 9.3	42 18.7
	印旛	204 100.0	30 14.7	19 9.3	45 22.1	29 14.2	12 5.9	50 24.5
	本埜	191 100.0	26 13.6	11 5.8	60 31.4	31 16.2	8 4.2	41 21.5

### 3. 災害時の対応について

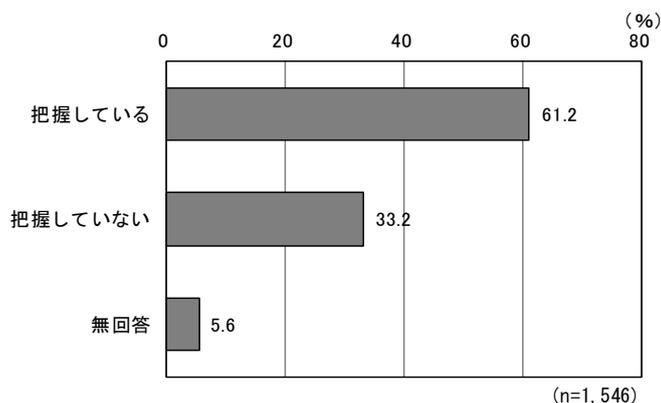
#### 問 20. 地区の市防災計画の避難所を把握しているか

【SA】

○「把握している」が61.2%となっています。

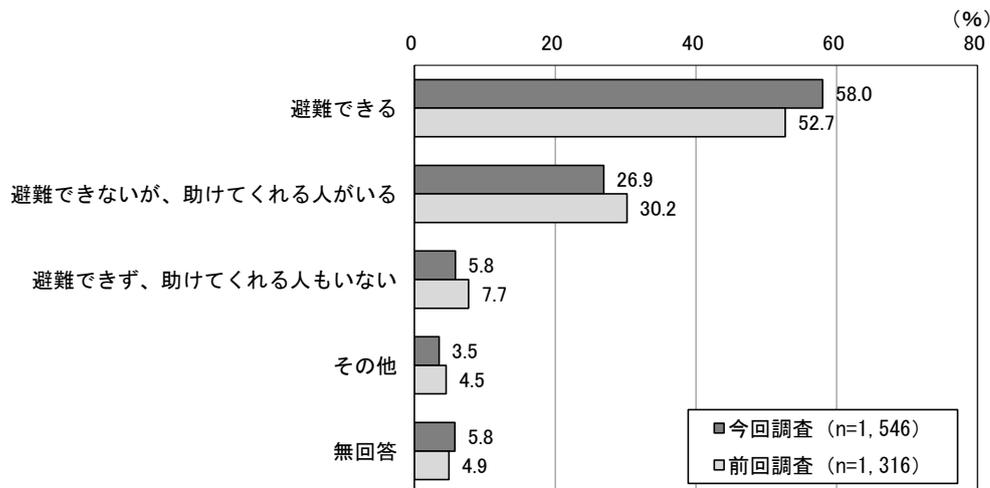
○年齢別にみると、“70歳代”は「把握している」が最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、“身体障がい”で「把握している」が最も高くなっています。



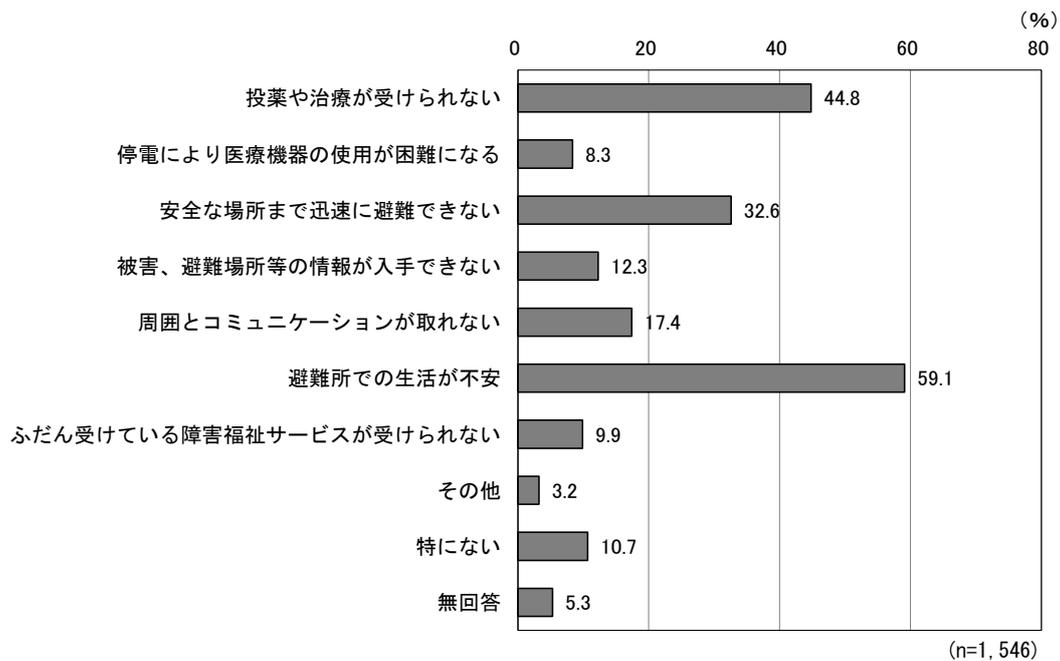
〔上段：人 下段：%〕	合計	問20. 地区の市防災計画の 避難所を把握しているか			
		把握して いる	把握して いない	無回答	
全体	1546 100.0	946 61.2	514 33.2	86 5.6	
年齢	18～19歳	15 100.0	8 53.3	7 46.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	68 63.6	34 31.8	5 4.7
	30歳代	122 100.0	70 57.4	52 42.6	0 0.0
	40歳代	159 100.0	99 62.3	54 34.0	6 3.8
	50歳代	172 100.0	109 63.4	56 32.6	7 4.1
	60歳代	265 100.0	160 60.4	97 36.6	8 3.0
	70歳代	377 100.0	240 63.7	114 30.2	23 6.1
	80歳以上	312 100.0	183 58.7	96 30.8	33 10.6
障がいの 種類	身体障がい	1081 100.0	679 62.8	336 31.1	66 6.1
	知的障がい	163 100.0	102 62.6	53 32.5	8 4.9
	精神障がい	307 100.0	172 56.0	129 42.0	6 2.0

- 「避難できる」が58.0%で最も高い一方、「避難できず、助けてくれる人もいない」が5.8%となっています。
- 前回調査と比べ、「避難できる」が5.3ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“80歳代”は「避難できないが、助けてくれる人がいる」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”で「避難できないが、助けてくれる人がいる」が最も高くなっています。



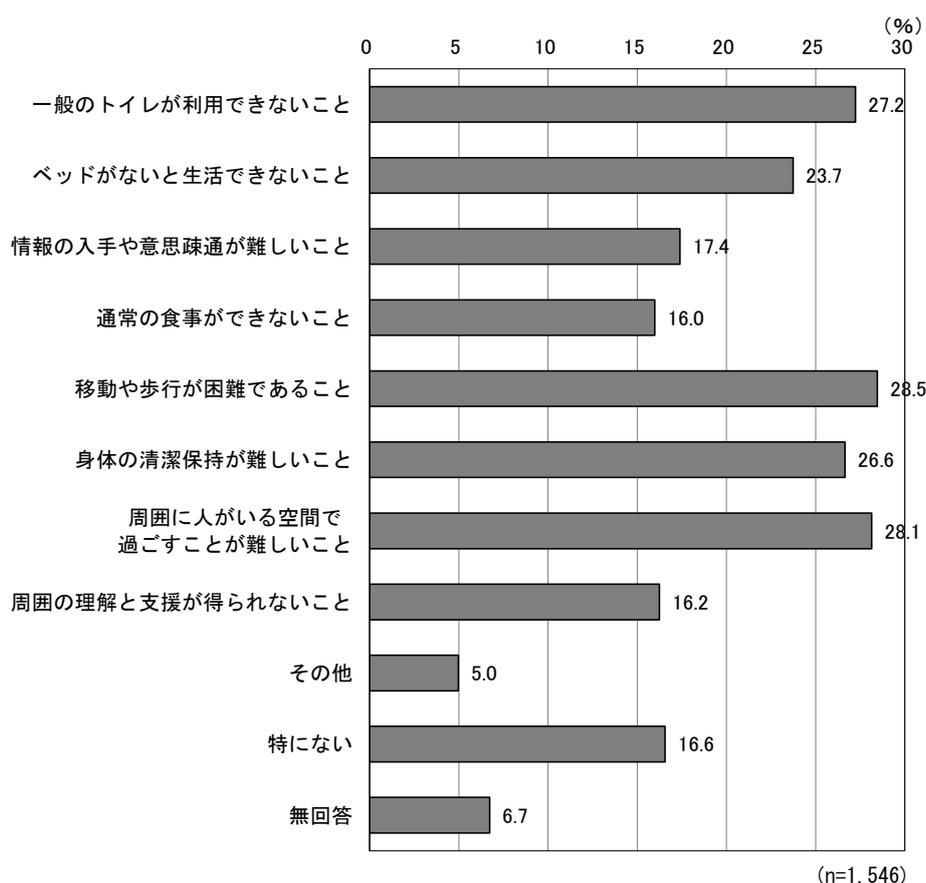
上段：人 下段：%	合計	問21. 災害時に自力で避難できるか					
		避難できる	避難できないが、助けてくれる人がいる	避難できず、助けてくれる人もいない	その他	無回答	
全体	1546 100.0	897 58.0	416 26.9	90 5.8	54 3.5	89 5.8	
年齢	18～19歳	15 100.0	7 46.7	6 40.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	61 57.0	27 25.2	7 6.5	7 6.5	5 4.7
	30歳代	122 100.0	79 64.8	35 28.7	3 2.5	4 3.3	1 0.8
	40歳代	159 100.0	117 73.6	26 16.4	6 3.8	3 1.9	7 4.4
	50歳代	172 100.0	114 66.3	30 17.4	11 6.4	7 4.1	10 5.8
	60歳代	265 100.0	174 65.7	59 22.3	13 4.9	6 2.3	13 4.9
	70歳代	377 100.0	228 60.5	94 24.9	21 5.6	7 1.9	27 7.2
	80歳以上	312 100.0	108 34.6	138 44.2	27 8.7	17 5.4	22 7.1
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	607 56.2	312 28.9	69 6.4	34 3.1	59 5.5
	知的障がい	163 100.0	64 39.3	72 44.2	9 5.5	6 3.7	12 7.4
	精神障がい	307 100.0	224 73.0	43 14.0	15 4.9	13 4.2	12 3.9

- 「避難所での生活が不安」が 59.1%で最も高く、次いで「投薬や治療が受けられない」が 44.8%、「安全な場所まで迅速に避難できない」が 32.6%となっています。
- 年齢別にみると、すべての年代で「避難所での生活が不安」が最も高く、“20 歳代”では 74.8%となっています。
- 障がいの種類別にみると、すべての障がいで「避難所での生活が不安」が最も高く、“知的障がい”では 74.8%となっています。



	合計	問22. 災害時に心配なこと										
		投薬や治療が受けられない	停電により医療機器の使用が困難になる	安全な場所まで迅速に避難できない	被害、避難場所等の情報が入手できない	周囲とコミュニケーションが取れない	避難所での生活が不安	ふだん受けている障害福祉サービスが受けられない	その他	特にない	無回答	
全体	1546	693	129	504	190	269	914	153	50	165	82	
	100.0	44.8	8.3	32.6	12.3	17.4	59.1	9.9	3.2	10.7	5.3	
年齢	18~19歳	15	2	1	5	2	8	9	4	0	5	0
		100.0	13.3	6.7	33.3	13.3	53.3	60.0	26.7	0.0	33.3	0.0
	20歳代	107	41	6	27	14	51	80	17	13	11	2
		100.0	38.3	5.6	25.2	13.1	47.7	74.8	15.9	12.1	10.3	1.9
	30歳代	122	53	2	28	16	34	87	15	7	13	1
		100.0	43.4	1.6	23.0	13.1	27.9	71.3	12.3	5.7	10.7	0.8
	40歳代	159	87	7	40	18	45	103	18	9	14	7
		100.0	54.7	4.4	25.2	11.3	28.3	64.8	11.3	5.7	8.8	4.4
50歳代	172	89	21	48	25	35	104	15	3	15	5	
	100.0	51.7	12.2	27.9	14.5	20.3	60.5	8.7	1.7	8.7	2.9	
60歳代	265	127	28	95	38	37	169	20	5	27	9	
	100.0	47.9	10.6	35.8	14.3	14.0	63.8	7.5	1.9	10.2	3.4	
70歳代	377	161	31	121	41	31	197	25	8	48	24	
	100.0	42.7	8.2	32.1	10.9	8.2	52.3	6.6	2.1	12.7	6.4	
80歳以上	312	126	31	134	34	24	155	38	5	31	32	
	100.0	40.4	9.9	42.9	10.9	7.7	49.7	12.2	1.6	9.9	10.3	
障がいの種類	身体障がい	1081	479	108	395	117	107	593	90	26	124	61
		100.0	44.3	10.0	36.5	10.8	9.9	54.9	8.3	2.4	11.5	5.6
	知的障がい	163	42	10	60	32	77	122	33	10	13	5
	100.0	25.8	6.1	36.8	19.6	47.2	74.8	20.2	6.1	8.0	3.1	
精神障がい	307	181	16	59	40	93	206	32	14	27	10	
	100.0	59.0	5.2	19.2	13.0	30.3	67.1	10.4	4.6	8.8	3.3	

- 「移動や歩行が困難であること」が 28.5%で最も高く、次いで「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」が 28.1%、「一般のトイレが利用できないこと」が 27.2%となっています。
- 男女別にみると、“男性”は「一般のトイレが利用できないこと」と「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」、「女性」は「移動や歩行が困難であること」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「移動や歩行が困難であること」、「知的障がい」は「情報の入手や意思疎通が難しいこと」、「精神障がい」は「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問23. 避難所での生活で心配なこと						
		一般のトイレが利用できないこと	ベッドがないと生活できないこと	情報の入手や意思疎通が難しいこと	通常の食事ができないこと	移動や歩行が困難であること	身体の清潔保持が難しいこと	
全体	1546 100.0	421 27.2	367 23.7	269 17.4	247 16.0	440 28.5	412 26.6	
性別	男性	793 100.0	207 26.1	171 21.6	142 17.9	130 16.4	203 25.6	203 25.6
	女性	729 100.0	206 28.3	192 26.3	123 16.9	108 14.8	230 31.6	199 27.3
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	1 6.7	6 40.0	3 20.0	3 20.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	23 21.5	8 7.5	40 37.4	16 15.0	8 7.5	29 27.1
	30歳代	122 100.0	25 20.5	6 4.9	31 25.4	15 12.3	17 13.9	22 18.0
	40歳代	159 100.0	29 18.2	13 8.2	28 17.6	22 13.8	22 13.8	32 20.1
	50歳代	172 100.0	46 26.7	26 15.1	35 20.3	29 16.9	32 18.6	43 25.0
	60歳代	265 100.0	76 28.7	75 28.3	36 13.6	35 13.2	84 31.7	78 29.4
	70歳代	377 100.0	112 29.7	112 29.7	53 14.1	60 15.9	124 32.9	101 26.8
	80歳以上	312 100.0	106 34.0	125 40.1	39 12.5	65 20.8	148 47.4	102 32.7
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	333 30.8	330 30.5	137 12.7	178 16.5	403 37.3	305 28.2
	知的障がい	163 100.0	29 17.8	7 4.3	74 45.4	21 12.9	17 10.4	36 22.1
	精神障がい	307 100.0	58 18.9	28 9.1	64 20.8	50 16.3	29 9.4	72 23.5

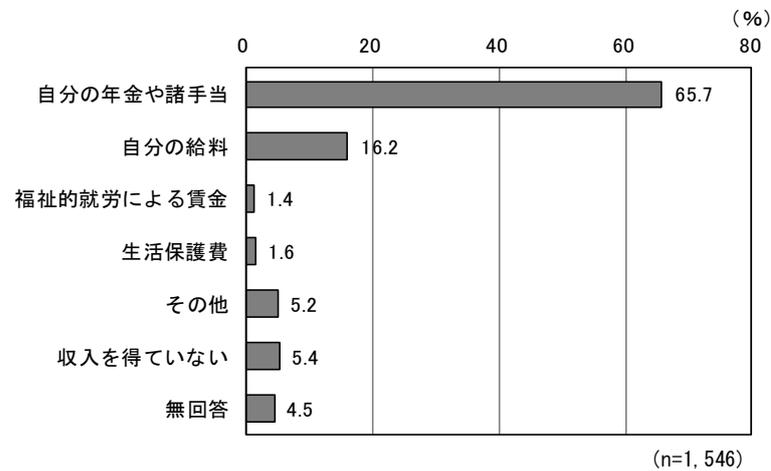
上段：人 下段：%	合計	問23. 避難所での生活で心配なこと					
		周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと	周囲の理解と支援が得られないこと	その他	特になし	無回答	
全体	1546 100.0	435 28.1	251 16.2	77 5.0	256 16.6	104 6.7	
性別	男性	793 100.0	207 26.1	115 14.5	34 4.3	152 19.2	46 5.8
	女性	729 100.0	221 30.3	132 18.1	41 5.6	102 14.0	55 7.5
年齢	18～19歳	15 100.0	6 40.0	5 33.3	1 6.7	5 33.3	0 0.0
	20歳代	107 100.0	56 52.3	48 44.9	9 8.4	16 15.0	3 2.8
	30歳代	122 100.0	55 45.1	46 37.7	9 7.4	18 14.8	0 0.0
	40歳代	159 100.0	63 39.6	41 25.8	13 8.2	30 18.9	16 10.1
	50歳代	172 100.0	58 33.7	26 15.1	10 5.8	28 16.3	12 7.0
	60歳代	265 100.0	69 26.0	32 12.1	9 3.4	49 18.5	13 4.9
	70歳代	377 100.0	71 18.8	30 8.0	11 2.9	69 18.3	27 7.2
	80歳以上	312 100.0	53 17.0	22 7.1	14 4.5	38 12.2	30 9.6
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	196 18.1	100 9.3	49 4.5	189 17.5	79 7.3
	知的障がい	163 100.0	72 44.2	70 42.9	8 4.9	23 14.1	5 3.1
	精神障がい	307 100.0	176 57.3	95 30.9	20 6.5	45 14.7	16 5.2

## 4. 就労状況について

### 問 24. 主な収入

【SA】

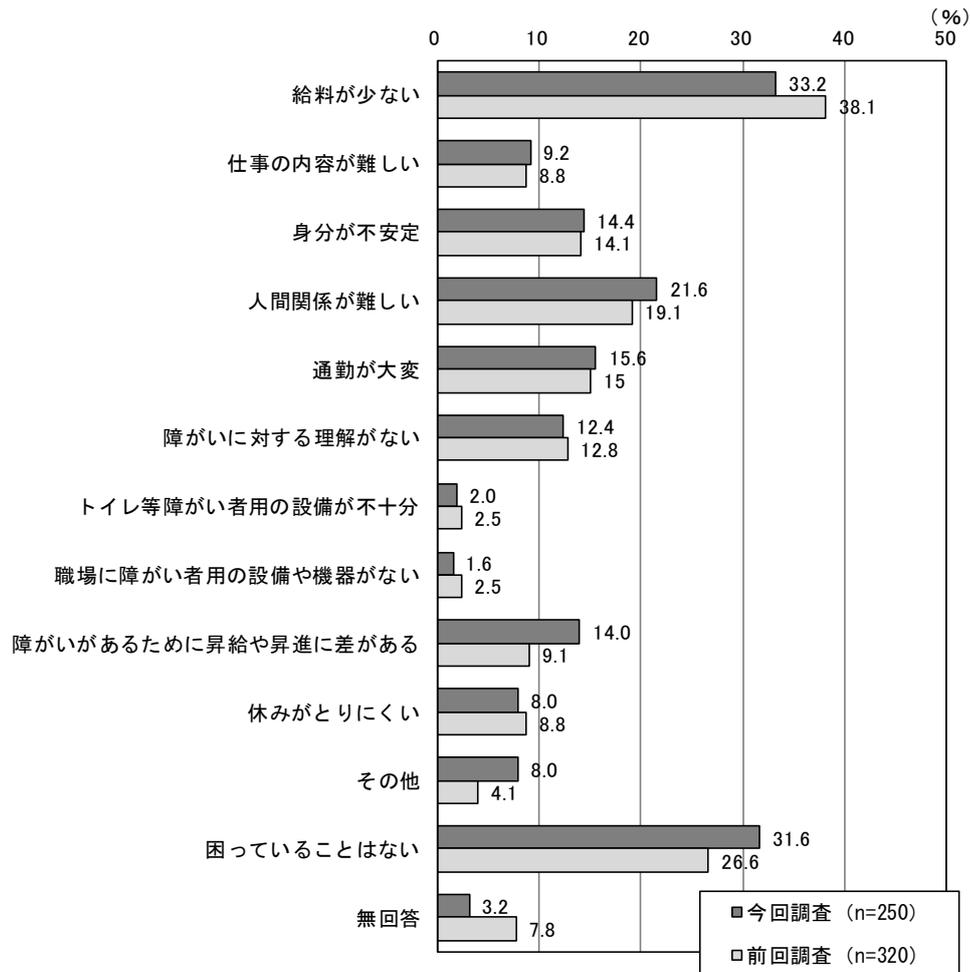
- 「自分の年金や諸手当」が 65.7%最も高い一方、「収入を得ていない」は 5.4%となっています。  
 ○年齢別にみると、“40 歳代”を除くすべての年代で「自分の年金や諸手当」が最も高くなっています。



〔 上段：人 下段：% 〕		合計	問24. 主な収入						無回答
			自分の年金や諸手当	自分の給料	福祉的就労による賃金	生活保護費	その他	収入を得ていない	
全体		1546	1016	250	22	25	80	83	70
		100.0	65.7	16.2	1.4	1.6	5.2	5.4	4.5
年齢	18～19歳	15	0	1	3	1	0	10	0
		100.0	0.0	6.7	20.0	6.7	0.0	66.7	0.0
	20歳代	107	57	30	5	0	1	10	4
		100.0	53.3	28.0	4.7	0.0	0.9	9.3	3.7
	30歳代	122	61	40	2	0	4	10	5
		100.0	50.0	32.8	1.6	0.0	3.3	8.2	4.1
	40歳代	159	56	59	7	10	10	12	5
		100.0	35.2	37.1	4.4	6.3	6.3	7.5	3.1
	50歳代	172	65	57	4	3	21	13	9
	100.0	37.8	33.1	2.3	1.7	12.2	7.6	5.2	
60歳代	265	180	39	1	4	14	16	11	
	100.0	67.9	14.7	0.4	1.5	5.3	6.0	4.2	
70歳代	377	313	15	0	5	15	4	25	
	100.0	83.0	4.0	0.0	1.3	4.0	1.1	6.6	
80歳以上	312	274	5	0	1	15	8	9	
	100.0	87.8	1.6	0.0	0.3	4.8	2.6	2.9	
障がいの種類	身体障がい	1081	759	150	2	14	58	48	50
		100.0	70.2	13.9	0.2	1.3	5.4	4.4	4.6
	知的障がい	163	103	31	5	3	0	9	12
	100.0	63.2	19.0	3.1	1.8	0.0	5.5	7.4	
精神障がい	307	153	69	15	12	21	28	9	
	100.0	49.8	22.5	4.9	3.9	6.8	9.1	2.9	

(問 24 で「2 自分の給料」を回答された方)

- 「給料が少ない」が 33.2% で最も高く、次いで「困っていることはない」が 31.6%、「人間関係が難しい」が 21.6% となっています。
- 年齢別にみると、“20 歳代～30 歳代” “50 歳代” は「給料が少ない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい” は「給料が少ない」、「精神障がい” は「人間関係が難しい」が最も高くなっています。

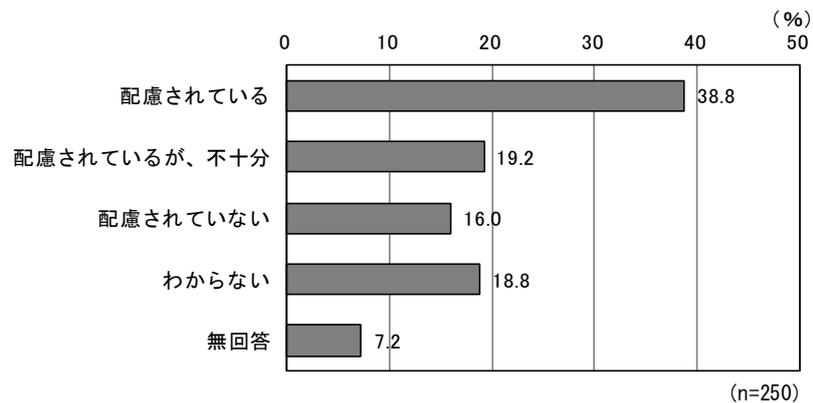


上段：人 下段：%	合計	問24-1. 仕事上障がいがあることで困っていること						
		給料が少 ない	仕事の内 容が難し い	身分が不 安定	人間関係 が難しい	通勤が大 変	障がいに 対する理 解がない	トイレ等 障がい者 用の設備 が不十分
全体	250 100.0	83 33.2	23 9.2	36 14.4	54 21.6	39 15.6	31 12.4	5 2.0
年齢	18～19歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	30 100.0	13 43.3	5 16.7	5 16.7	12 40.0	3 10.0	5 16.7
	30歳代	40 100.0	17 42.5	1 2.5	7 17.5	12 30.0	6 15.0	5 12.5
	40歳代	59 100.0	16 27.1	6 10.2	10 16.9	12 20.3	10 16.9	7 11.9
	50歳代	57 100.0	24 42.1	8 14.0	11 19.3	14 24.6	12 21.1	10 17.5
	60歳代	39 100.0	9 23.1	2 5.1	2 5.1	2 5.1	6 15.4	2 5.1
	70歳代	15 100.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7
	80歳以上	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	150 100.0	39 26.0	9 6.0	12 8.0	18 12.0	27 18.0	14 9.3
	知的障がい	31 100.0	16 51.6	3 9.7	3 9.7	6 19.4	5 16.1	1 3.2
	精神障がい	69 100.0	30 43.5	11 15.9	21 30.4	33 47.8	8 11.6	17 24.6

上段：人 下段：%	合計	問24-1. 仕事上障がいがあることで困っていること					
		職場に障 がい者用 の設備や 機器がな い	障がいが あるため 昇給や 昇進に差 がある	休みがと りにくい	その他	困ってい ることは ない	無回答
全体	250 100.0	4 1.6	35 14.0	20 8.0	20 8.0	79 31.6	8 3.2
年齢	18～19歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	20歳代	30 100.0	1 3.3	7 23.3	3 10.0	6 20.0	1 3.3
	30歳代	40 100.0	0 0.0	5 12.5	3 7.5	6 15.0	8 20.0
	40歳代	59 100.0	0 0.0	9 15.3	4 6.8	5 8.5	19 32.2
	50歳代	57 100.0	3 5.3	13 22.8	1 1.8	7 12.3	12 21.1
	60歳代	39 100.0	0 0.0	0 0.0	5 12.8	1 2.6	18 46.2
	70歳代	15 100.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	12 80.0
	80歳以上	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
障がいの種類	身体障がい	150 100.0	4 2.7	16 10.7	13 8.7	13 8.7	63 42.0
	知的障がい	31 100.0	0 0.0	11 35.5	0 0.0	1 3.2	5 16.1
	精神障がい	69 100.0	1 1.4	10 14.5	8 11.6	7 10.1	7 10.1

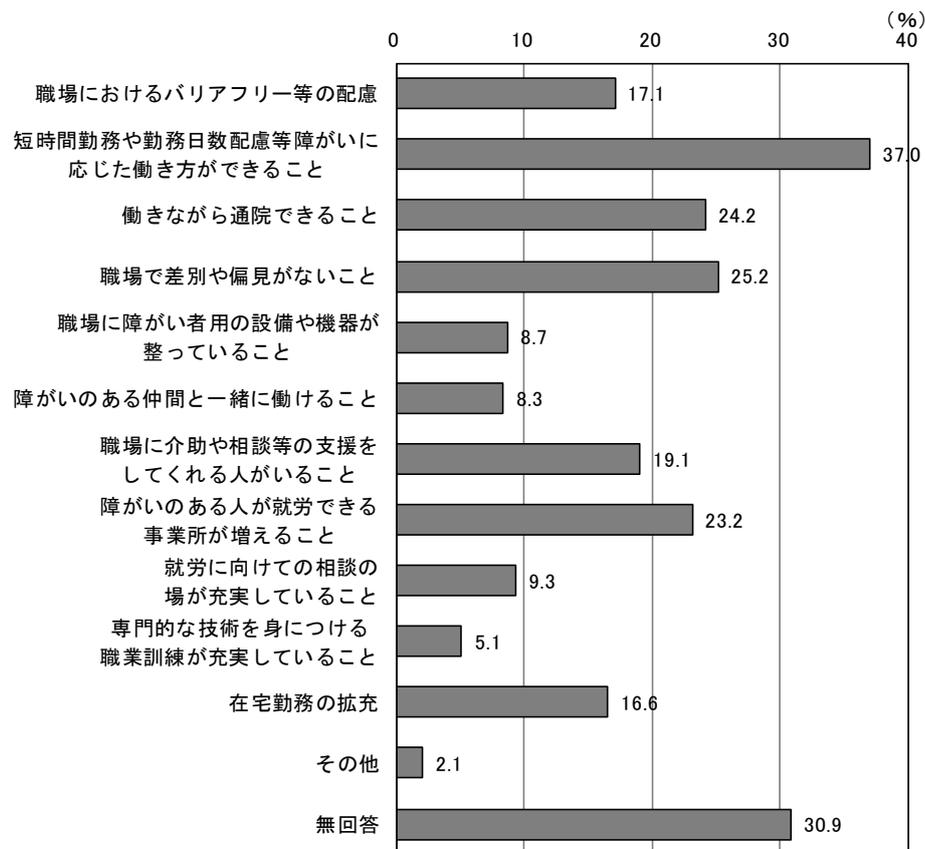
(問 24 で「2 自分の給料」を回答された方)

- 「配慮されている」が 38.8%で最も高い一方、「配慮されていない」は 16.0%となっています。
- 男女別にみると、“男性”は「配慮されている」、「女性”は「わからない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、“70 歳代”は「わからない」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問24-2. 職場では障がいの配慮はされているか					
		配慮されている	配慮されているが、不十分	配慮されていない	わからない	無回答	
全体	250 100.0	97 38.8	48 19.2	40 16.0	47 18.8	18 7.2	
性別	男性	169 100.0	74 43.8	34 20.1	25 14.8	23 13.6	13 7.7
	女性	79 100.0	22 27.8	13 16.5	15 19.0	24 30.4	5 6.3
年齢	18～19歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	30 100.0	13 43.3	5 16.7	4 13.3	8 26.7	0 0.0
	30歳代	40 100.0	16 40.0	11 27.5	5 12.5	4 10.0	4 10.0
	40歳代	59 100.0	24 40.7	9 15.3	10 16.9	13 22.0	3 5.1
	50歳代	57 100.0	19 33.3	16 28.1	10 17.5	9 15.8	3 5.3
	60歳代	39 100.0	15 38.5	5 12.8	7 17.9	6 15.4	6 15.4
	70歳代	15 100.0	5 33.3	0 0.0	3 20.0	7 46.7	0 0.0
	80歳以上	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
障がいの種類	身体障がい	150 100.0	63 42.0	24 16.0	27 18.0	27 18.0	9 6.0
	知的障がい	31 100.0	16 51.6	9 29.0	1 3.2	4 12.9	1 3.2
	精神障がい	69 100.0	17 24.6	15 21.7	14 20.3	16 23.2	7 10.1

- 「短時間勤務や勤務日数配慮等障がいに応じた働き方ができること」が 37.0%で最も高く、次いで「職場で差別や偏見がないこと」が 25.2%、「働きながら通院できること」が 24.2%となっています。
- 年齢別にみると、“20 歳代”は「職場に介助や相談等の支援をしてくれる人がいること」、「30 歳代”は「職場で差別や偏見がないこと」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”と“精神障がい”は「短時間勤務や勤務日数配慮等障がいに応じた働き方ができること」、「知的障がい”は「職場に介助や相談等の支援をしてくれる人がいること」が最も高くなっています。



(n=1, 546)

上段：人 下段：%	合計	問25. 障がいがあっても働きやすくするために必要なこと							
		職場におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数配慮等障がいに応じた働き方ができること	働きながら通院できること	職場で差別や偏見がないこと	職場に障がい者のための設備や機器が整っていること	障がいの仲間と一緒に働けること	職場に介助や相談等の支援をしてくれる人がいること	
全体	1546 100.0	264 17.1	572 37.0	374 24.2	389 25.2	134 8.7	129 8.3	295 19.1	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	2 13.3	0 0.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	3 20.0
	20歳代	107 100.0	6 5.6	43 40.2	17 15.9	46 43.0	7 6.5	22 20.6	47 43.9
	30歳代	122 100.0	13 10.7	56 45.9	28 23.0	58 47.5	6 4.9	22 18.0	38 31.1
	40歳代	159 100.0	17 10.7	70 44.0	49 30.8	58 36.5	8 5.0	24 15.1	37 23.3
	50歳代	172 100.0	28 16.3	82 47.7	62 36.0	54 31.4	10 5.8	17 9.9	36 20.9
	60歳代	265 100.0	69 26.0	122 46.0	73 27.5	57 21.5	27 10.2	17 6.4	49 18.5
	70歳代	377 100.0	72 19.1	128 34.0	85 22.5	71 18.8	45 11.9	18 4.8	53 14.1
	80歳以上	312 100.0	55 17.6	67 21.5	56 17.9	36 11.5	31 9.9	7 2.2	30 9.6
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	231 21.4	380 35.2	266 24.6	227 21.0	116 10.7	57 5.3	152 14.1
	知的障がい	163 100.0	17 10.4	48 29.4	9 5.5	65 39.9	8 4.9	46 28.2	73 44.8
	精神障がい	307 100.0	19 6.2	157 51.1	101 32.9	102 33.2	11 3.6	30 9.8	76 24.8

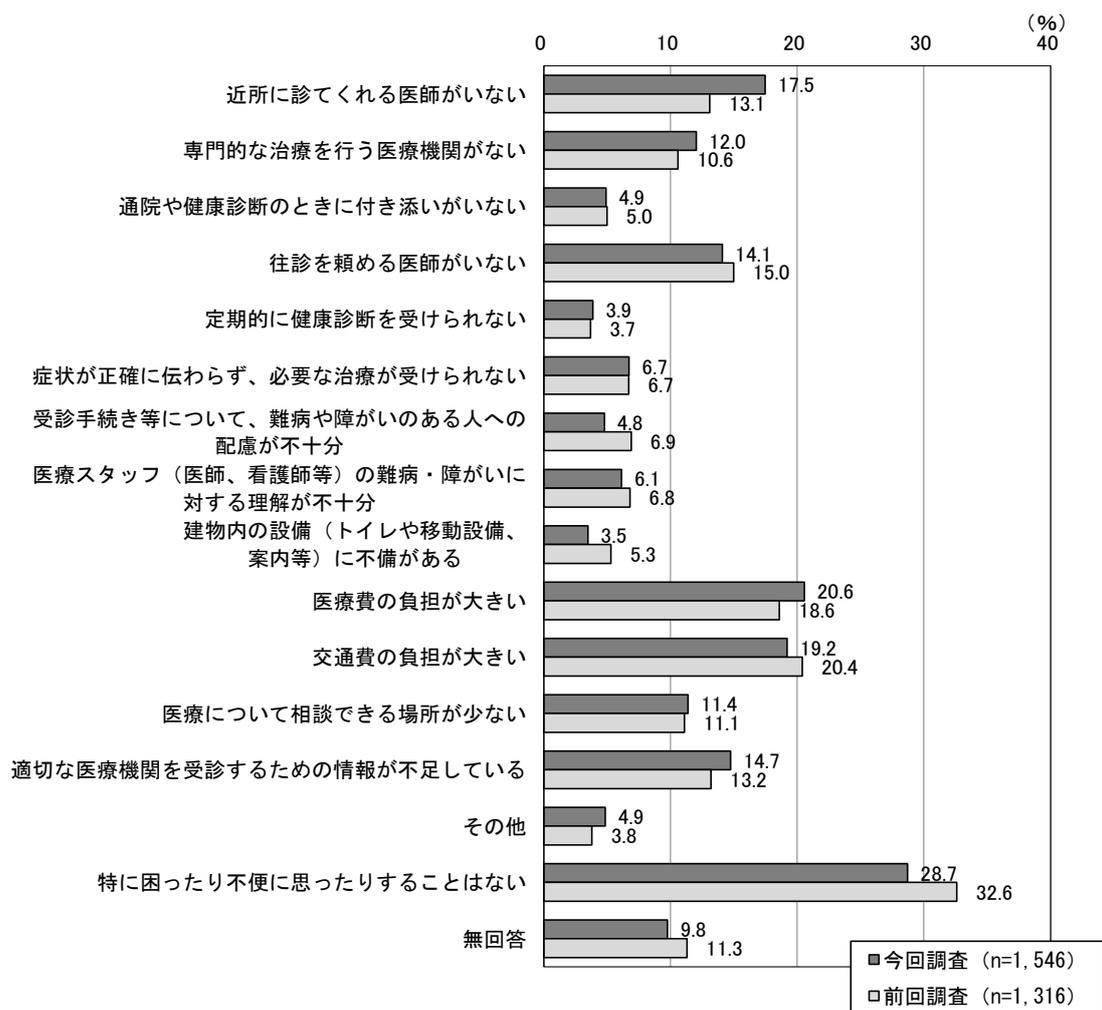
上段：人 下段：%	合計	問25. 障がいがあっても働きやすくするために必要なこと						
		障がいのある人が就労できる事業所が増えること	就労に向けての相談の場が充実していること	専門的な技術や身につける職業訓練が充実していること	在宅勤務の拡充	その他	無回答	
全体	1546 100.0	358 23.2	144 9.3	79 5.1	256 16.6	32 2.1	477 30.9	
年齢	18～19歳	15 100.0	7 46.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0	6 40.0
	20歳代	107 100.0	34 31.8	20 18.7	9 8.4	13 12.1	5 4.7	15 14.0
	30歳代	122 100.0	34 27.9	23 18.9	11 9.0	32 26.2	1 0.8	12 9.8
	40歳代	159 100.0	39 24.5	18 11.3	13 8.2	32 20.1	6 3.8	29 18.2
	50歳代	172 100.0	52 30.2	22 12.8	10 5.8	36 20.9	3 1.7	30 17.4
	60歳代	265 100.0	73 27.5	21 7.9	16 6.0	65 24.5	5 1.9	60 22.6
	70歳代	377 100.0	83 22.0	23 6.1	11 2.9	52 13.8	7 1.9	145 38.5
	80歳以上	312 100.0	32 10.3	13 4.2	8 2.6	22 7.1	5 1.6	173 55.4
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	229 21.2	76 7.0	45 4.2	185 17.1	18 1.7	374 34.6
	知的障がい	163 100.0	54 33.1	21 12.9	9 5.5	7 4.3	5 3.1	37 22.7
	精神障がい	307 100.0	78 25.4	46 15.0	27 8.8	66 21.5	7 2.3	60 19.5

## 5. 健康と医療について

### 問 26. 健康管理や医療で困ったり不便に思うこと

【MA】

- 「特に困ったり不便に思ったりすることはない」が28.7%で最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」が20.6%、「交通費の負担が大きい」が19.2%となっています。
- 前回調査に比べ、「特に困ったり不便に思ったりすることはない」が3.9ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、“20歳代”は「近所に診てくれる医師がいない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい”は「医療費の負担が大きい」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問26. 健康管理や医療で困ったり不便に思うこと								
		近所に診 てくれる 医師がい ない	専門的な 治療を行 う医療機 関がない	通院や健 康診断の ときに付 き添いが ない	往診を頼 める医師 がない	定期的に 健康診断 を受けら れない	症状が正 確に伝わ らず、必 要な治療 が受けら れない	受診手続 き等につ いて、難 病や障が いのある 人への配 慮が不十 分	医療ス タッフ (医師、 看護師 等)の難 病・障が いに対す る理解が 不十分	
全体	1546 100.0	270 17.5	186 12.0	76 4.9	218 14.1	60 3.9	104 6.7	74 4.8	95 6.1	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	3 20.0	0 0.0	2 13.3	3 20.0	5 33.3	1 6.7	3 20.0
	20歳代	107 100.0	29 27.1	18 16.8	5 4.7	10 9.3	13 12.1	17 15.9	5 4.7	14 13.1
	30歳代	122 100.0	27 22.1	15 12.3	4 3.3	6 4.9	7 5.7	17 13.9	6 4.9	10 8.2
	40歳代	159 100.0	29 18.2	21 13.2	8 5.0	10 6.3	2 1.3	13 8.2	9 5.7	16 10.1
	50歳代	172 100.0	39 22.7	22 12.8	13 7.6	20 11.6	9 5.2	13 7.6	9 5.2	16 9.3
	60歳代	265 100.0	50 18.9	38 14.3	7 2.6	38 14.3	8 3.0	13 4.9	16 6.0	13 4.9
	70歳代	377 100.0	47 12.5	39 10.3	20 5.3	52 13.8	7 1.9	9 2.4	14 3.7	14 3.7
	80歳以上	312 100.0	45 14.4	29 9.3	17 5.4	76 24.4	9 2.9	16 5.1	14 4.5	9 2.9
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	161 14.9	122 11.3	50 4.6	170 15.7	25 2.3	44 4.1	53 4.9	56 5.2
	知的障がい	163 100.0	30 18.4	27 16.6	9 5.5	16 9.8	16 9.8	26 16.0	13 8.0	18 11.0
	精神障がい	307 100.0	85 27.7	40 13.0	18 5.9	35 11.4	21 6.8	37 12.1	12 3.9	24 7.8

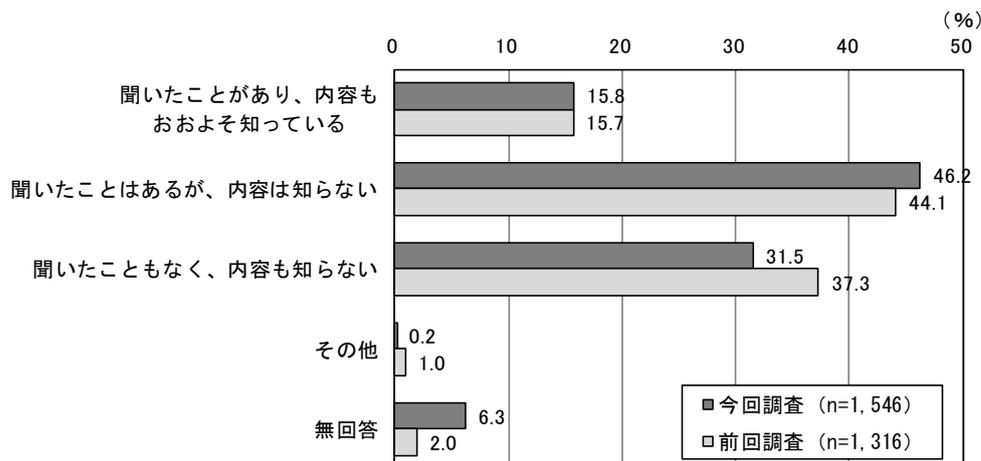
上段：人 下段：%	合計	問26. 健康管理や医療で困ったり不便に思うこと								
		建物内の 設備（ト イレや移 動設備、 案内等） に不備が ある	医療費の 負担が大 きい	交通費の 負担が大 きい	医療につ いて相談 できる場 所が少な い	適切な医 療機関を 受診する ための情 報が不足 している	その他	特に困っ たり不便 に思っ たりす ることは ない	無回答	
全体	1546 100.0	54 3.5	318 20.6	297 19.2	176 11.4	228 14.7	75 4.9	444 28.7	151 9.8	
年齢	18～19歳	15 100.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	0 0.0	3 20.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	4 3.7	25 23.4	24 22.4	17 15.9	21 19.6	10 9.3	24 22.4	6 5.6
	30歳代	122 100.0	4 3.3	29 23.8	31 25.4	13 10.7	25 20.5	8 6.6	33 27.0	5 4.1
	40歳代	159 100.0	1 0.6	38 23.9	40 25.2	25 15.7	25 15.7	8 5.0	45 28.3	10 6.3
	50歳代	172 100.0	4 2.3	48 27.9	45 26.2	27 15.7	32 18.6	10 5.8	49 28.5	12 7.0
	60歳代	265 100.0	13 4.9	61 23.0	48 18.1	35 13.2	41 15.5	12 4.5	79 29.8	17 6.4
	70歳代	377 100.0	18 4.8	68 18.0	57 15.1	34 9.0	43 11.4	11 2.9	128 34.0	46 12.2
	80歳以上	312 100.0	7 2.2	43 13.8	49 15.7	22 7.1	37 11.9	15 4.8	80 25.6	53 17.0
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	48 4.4	195 18.0	179 16.6	97 9.0	141 13.0	45 4.2	336 31.1	123 11.4
	知的障がい	163 100.0	3 1.8	24 14.7	20 12.3	19 11.7	29 17.8	9 5.5	41 25.2	15 9.2
	精神障がい	307 100.0	3 1.0	104 33.9	101 32.9	59 19.2	58 18.9	22 7.2	68 22.1	8 2.6

## 6. 障がいに関する法律の理解について

### 問 27. 障害者虐待防止法を知っているか

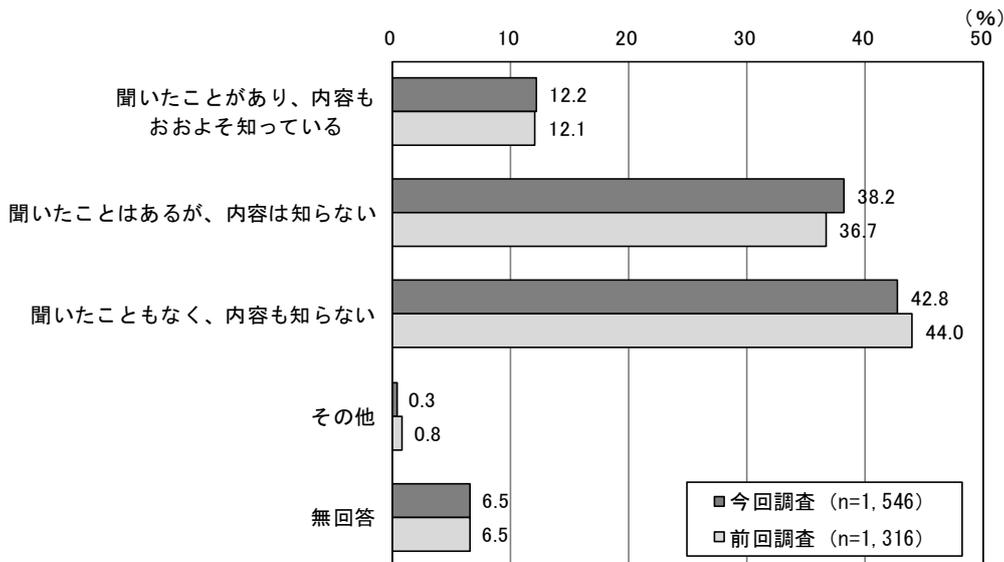
【SA】

- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が46.2%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたこともなく、内容も知らない」が5.8ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、“40歳代”は「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい”は「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高くなっています。



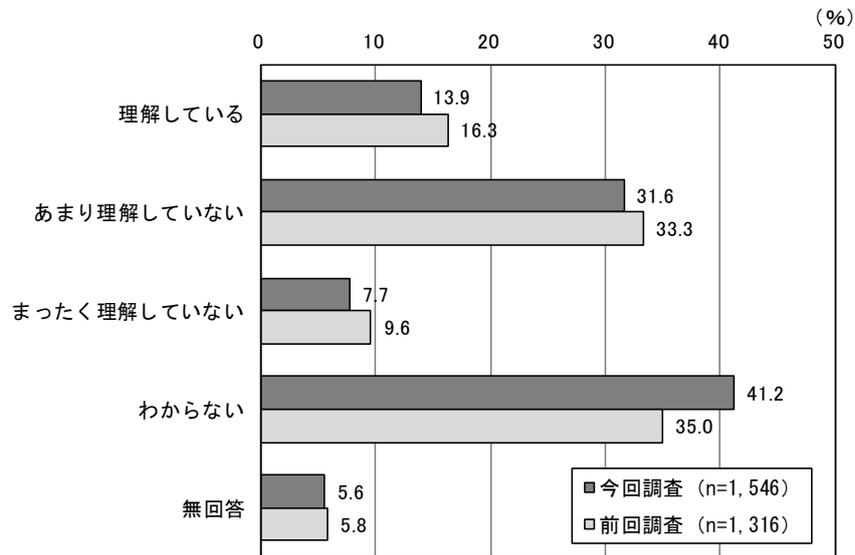
上段：人 下段：%	合計	問27. 障害者虐待防止法を知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	1546 100.0	244 15.8	715 46.2	487 31.5	3 0.2	97 6.3	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	7 46.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	19 17.8	55 51.4	29 27.1	0 0.0	4 3.7
	30歳代	122 100.0	24 19.7	62 50.8	35 28.7	0 0.0	1 0.8
	40歳代	159 100.0	30 18.9	61 38.4	65 40.9	1 0.6	2 1.3
	50歳代	172 100.0	23 13.4	78 45.3	66 38.4	0 0.0	5 2.9
	60歳代	265 100.0	50 18.9	115 43.4	91 34.3	1 0.4	8 3.0
	70歳代	377 100.0	56 14.9	193 51.2	100 26.5	0 0.0	28 7.4
	80歳以上	312 100.0	37 11.9	136 43.6	94 30.1	0 0.0	45 14.4
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	169 15.6	513 47.5	321 29.7	0 0.0	78 7.2
	知的障がい	163 100.0	33 20.2	82 50.3	37 22.7	2 1.2	9 5.5
	精神障がい	307 100.0	45 14.7	126 41.0	132 43.0	1 0.3	3 1.0

- 「聞いたこともなく、内容も知らない」が42.8%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたこともなく、内容も知らない」が1.2ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、“70歳代”は「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高く、“20歳代”は「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたこともなく、内容も知らない」が同率で最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい”は「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高くなっています。



	上段：人 下段：%	合計	問28. 障害者差別解消法を知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		1546 100.0	188 12.2	591 38.2	661 42.8	5 0.3	101 6.5
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	5 33.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	18 16.8	43 40.2	43 40.2	0 0.0	3 2.8
	30歳代	122 100.0	22 18.0	45 36.9	55 45.1	0 0.0	0 0.0
	40歳代	159 100.0	22 13.8	61 38.4	74 46.5	1 0.6	1 0.6
	50歳代	172 100.0	19 11.0	58 33.7	90 52.3	0 0.0	5 2.9
	60歳代	265 100.0	44 16.6	99 37.4	115 43.4	1 0.4	6 2.3
	70歳代	377 100.0	36 9.5	165 43.8	147 39.0	1 0.3	28 7.4
	80歳以上	312 100.0	21 6.7	111 35.6	124 39.7	1 0.3	55 17.6
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	131 12.1	433 40.1	428 39.6	2 0.2	87 8.0
	知的障がい	163 100.0	25 15.3	70 42.9	61 37.4	2 1.2	5 3.1
	精神障がい	307 100.0	30 9.8	97 31.6	177 57.7	1 0.3	2 0.7

- 「わからない」が41.2%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「理解している」が2.4ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、すべての年代で「わからない」が最も高いものの、“70歳代”は「理解している」の割合が高くなっています。

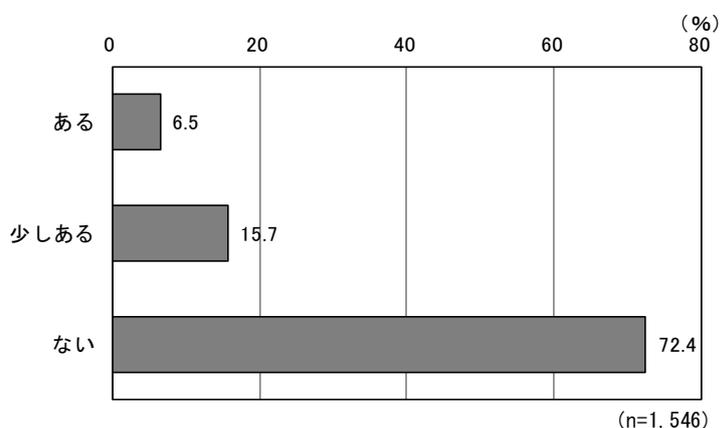


上段：人 下段：%	合計	問29. 地域の人への障がいに対する理解で感じていること					
		理解している	あまり理解していない	まったく理解していない	わからない	無回答	
全体	1546 100.0	215 13.9	489 31.6	119 7.7	637 41.2	86 5.6	
年齢	18～19歳	15 100.0	2 13.3	5 33.3	0 0.0	8 53.3	0 0.0
	20歳代	107 100.0	9 8.4	41 38.3	11 10.3	42 39.3	4 3.7
	30歳代	122 100.0	14 11.5	46 37.7	14 11.5	47 38.5	1 0.8
	40歳代	159 100.0	18 11.3	50 31.4	19 11.9	71 44.7	1 0.6
	50歳代	172 100.0	10 5.8	60 34.9	20 11.6	75 43.6	7 4.1
	60歳代	265 100.0	35 13.2	87 32.8	21 7.9	114 43.0	8 3.0
	70歳代	377 100.0	77 20.4	120 31.8	12 3.2	144 38.2	24 6.4
	80歳以上	312 100.0	49 15.7	77 24.7	19 6.1	129 41.3	38 12.2
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	171 15.8	338 31.3	63 5.8	438 40.5	71 6.6
	知的障がい	163 100.0	20 12.3	63 38.7	9 5.5	65 39.9	6 3.7
	精神障がい	307 100.0	24 7.8	105 34.2	51 16.6	125 40.7	2 0.7

問 30. 1年以内に差別・偏見を受けたことがあるか

【SA】

- 「ない」が72.4%で最も高い一方、「ある」は6.5%となっています。
- 年齢別にみると、“20歳代～40歳代”で「ある」の割合が高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“精神障がい”で「ある」の割合が高くなっています。

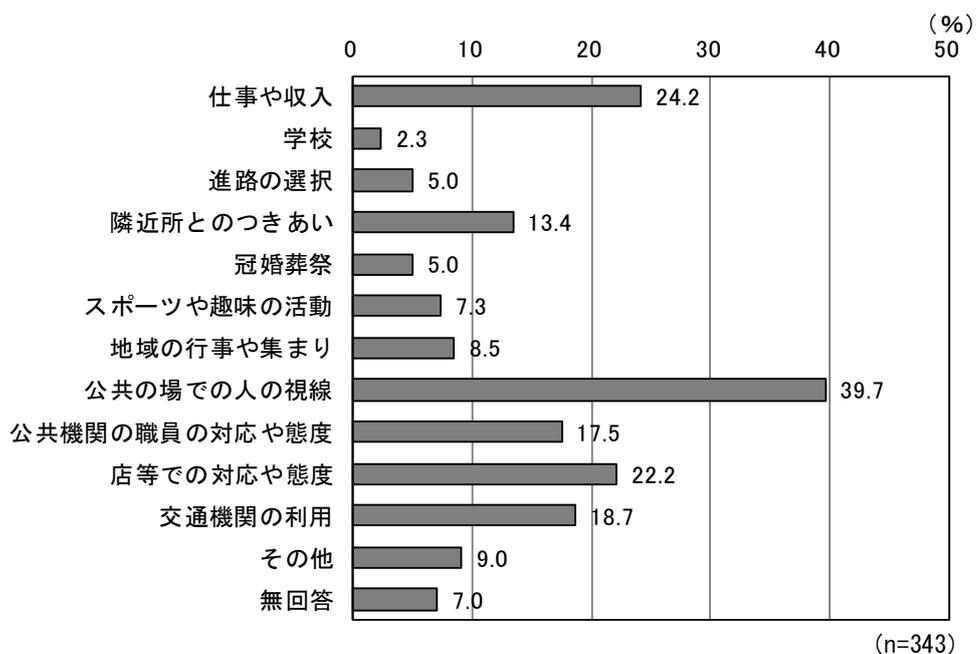


〔上段：人 下段：％〕		合計	問30. 1年以内に差別・偏見を受けたことがあるか			
			ある	少しある	ない	無回答
全体		1546 100.0	101 6.5	242 15.7	1120 72.4	83 5.4
年齢	18～19歳	15 100.0	0 0.0	7 46.7	8 53.3	0 0.0
	20歳代	107 100.0	12 11.2	27 25.2	63 58.9	5 4.7
	30歳代	122 100.0	23 18.9	31 25.4	65 53.3	3 2.5
	40歳代	159 100.0	19 11.9	34 21.4	100 62.9	6 3.8
	50歳代	172 100.0	15 8.7	38 22.1	116 67.4	3 1.7
	60歳代	265 100.0	15 5.7	31 11.7	209 78.9	10 3.8
	70歳代	377 100.0	10 2.7	43 11.4	302 80.1	22 5.8
	80歳以上	312 100.0	5 1.6	28 9.0	248 79.5	31 9.9
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	39 3.6	138 12.8	844 78.1
知的障がい		163 100.0	16 9.8	48 29.4	89 54.6	10 6.1
精神障がい		307 100.0	53 17.3	64 20.8	183 59.6	7 2.3

(問 30 で「ある」「少しある」と回答した方限定)

○「公共の場での人の視線」が 39.7% で最も高く、「仕事や収入」が 24.2%、「店等での対応や態度」が 22.2% の順となっています。

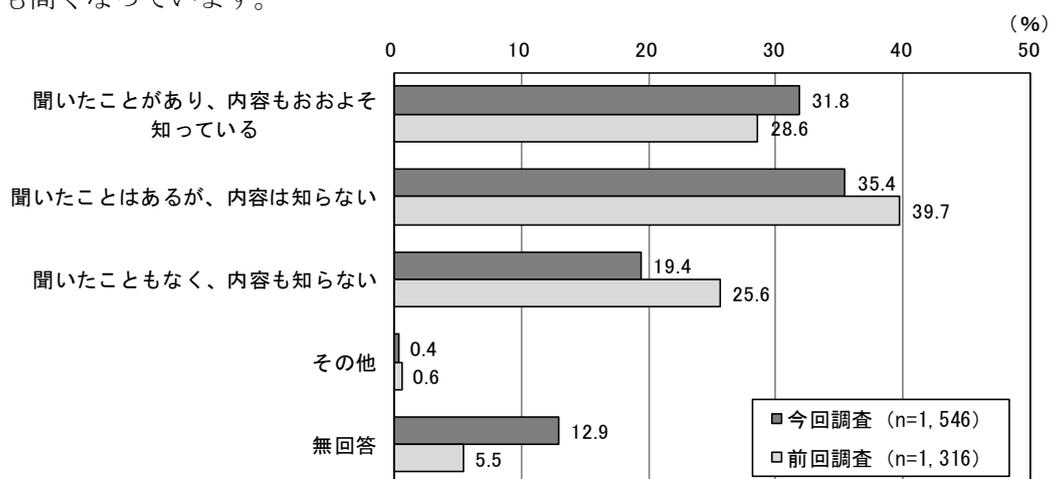
○年齢別にみると、多くの年代で「公共の場での人の視線」が最も高いものの、“50 歳代”は「仕事や収入」、「80 歳以上」は「店等での対応や態度」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問30-1. 差別・偏見を受けた場面							
		仕事や収入	学校	進路の選択	隣近所とのつきあい	冠婚葬祭	スポーツや趣味の活動	地域の行事や集まり	
全体	343 100.0	83 24.2	8 2.3	17 5.0	46 13.4	17 5.0	25 7.3	29 8.5	
年齢	18～19歳	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
	20歳代	39 100.0	7 17.9	1 2.6	3 7.7	3 7.7	2 5.1	1 2.6	1 2.6
	30歳代	54 100.0	19 35.2	1 1.9	3 5.6	9 16.7	2 3.7	6 11.1	4 7.4
	40歳代	53 100.0	20 37.7	3 5.7	5 9.4	8 15.1	3 5.7	2 3.8	3 5.7
	50歳代	53 100.0	21 39.6	1 1.9	0 0.0	7 13.2	4 7.5	1 1.9	5 9.4
	60歳代	46 100.0	4 8.7	0 0.0	1 2.2	6 13.0	4 8.7	5 10.9	3 6.5
	70歳代	53 100.0	8 15.1	1 1.9	1 1.9	8 15.1	1 1.9	6 11.3	9 17.0
	80歳以上	33 100.0	1 3.0	0 0.0	3 9.1	4 12.1	1 3.0	1 3.0	4 12.1
	障がいの種類	身体障がい	177 100.0	35 19.8	3 1.7	6 3.4	19 10.7	9 5.1	14 7.9
知的障がい		64 100.0	11 17.2	2 3.1	3 4.7	6 9.4	4 6.3	4 6.3	4 6.3
精神障がい		117 100.0	41 35.0	3 2.6	7 6.0	22 18.8	6 5.1	6 5.1	9 7.7

〔上段：人 下段：％〕	合計	問30-1. 差別・偏見を受けた場面						
		公共の場での人の視線	公共機関の職員の対応や態度	店等での対応や態度	交通機関の利用	その他	無回答	
全体	343 100.0	136 39.7	60 17.5	76 22.2	64 18.7	31 9.0	24 7.0	
年齢	18～19歳	7 100.0	5 71.4	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	20歳代	39 100.0	23 59.0	8 20.5	8 20.5	4 10.3	3 7.7	5 12.8
	30歳代	54 100.0	21 38.9	9 16.7	14 25.9	9 16.7	6 11.1	1 1.9
	40歳代	53 100.0	23 43.4	8 15.1	6 11.3	6 11.3	5 9.4	2 3.8
	50歳代	53 100.0	18 34.0	9 17.0	11 20.8	9 17.0	7 13.2	3 5.7
	60歳代	46 100.0	19 41.3	8 17.4	16 34.8	13 28.3	5 10.9	3 6.5
	70歳代	53 100.0	21 39.6	11 20.8	11 20.8	15 28.3	2 3.8	4 7.5
	80歳以上	33 100.0	5 15.2	5 15.2	8 24.2	6 18.2	2 6.1	5 15.2
	障がいの種類	身体障がい	177 100.0	63 35.6	32 18.1	47 26.6	39 22.0	14 7.9
知的障がい		64 100.0	39 60.9	8 12.5	14 21.9	8 12.5	3 4.7	7 10.9
精神障がい		117 100.0	42 35.9	23 19.7	15 12.8	20 17.1	17 14.5	3 2.6

- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 35.4%で最も高く、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が 31.8%、「聞いたこともなく、内容も知らない」が 19.4%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は 3.2 ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“20 歳代～30 歳代”と“60 歳代”で「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が最も高くなっています。

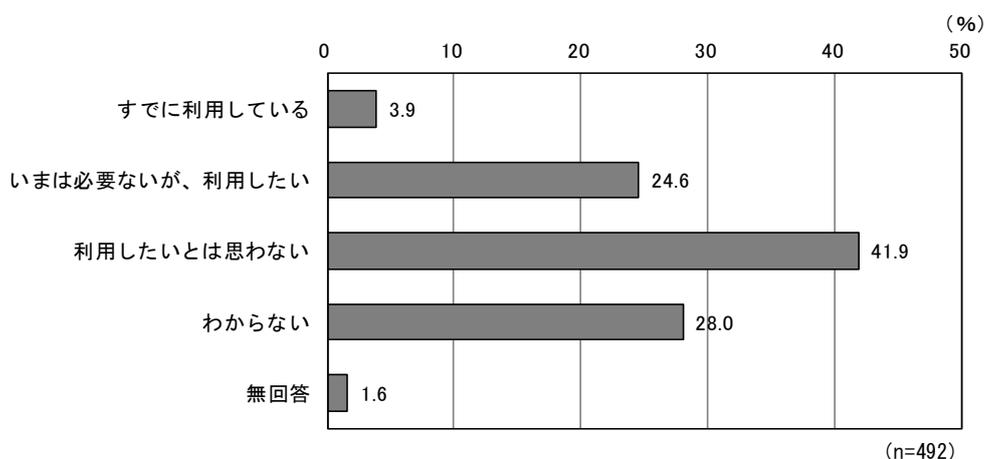


※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%	合計	問31. 成年後見制度を知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	1546	492	548	300	6	200	
	100.0	31.8	35.4	19.4	0.4	12.9	
年齢	18～19歳	15	3	6	3	0	3
		100.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	20歳代	107	36	30	25	1	15
		100.0	33.6	28.0	23.4	0.9	14.0
	30歳代	122	46	40	27	0	9
		100.0	37.7	32.8	22.1	0.0	7.4
	40歳代	159	52	56	34	2	15
		100.0	32.7	35.2	21.4	1.3	9.4
50歳代	172	52	72	35	1	12	
	100.0	30.2	41.9	20.3	0.6	7.0	
60歳代	265	101	89	40	1	34	
	100.0	38.1	33.6	15.1	0.4	12.8	
70歳代	377	127	135	68	0	47	
	100.0	33.7	35.8	18.0	0.0	12.5	
80歳以上	312	71	113	65	1	62	
	100.0	22.8	36.2	20.8	0.3	19.9	
障がいの種類	身体障がい	1081	348	389	202	1	141
		100.0	32.2	36.0	18.7	0.1	13.0
	知的障がい	163	66	46	31	4	16
	100.0	40.5	28.2	19.0	2.5	9.8	
精神障がい	307	84	117	72	1	33	
	100.0	27.4	38.1	23.5	0.3	10.7	

(問 30 で「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」を回答した方限定)

- 「利用したいとは思わない」が 41.9%で最も高く、次いで「わからない」が 28.0%、「いまは必要ないが、利用したい」が 24.6%の順となっています。
- 性別にみると、「利用したいとは思わない」は“男性”の方が 3.7 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「利用したいとは思わない」が最も高いものの、“20 歳代”は「いまは必要ないが、利用したい」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「いまは必要ないが、利用したい」が最も高くなっています。



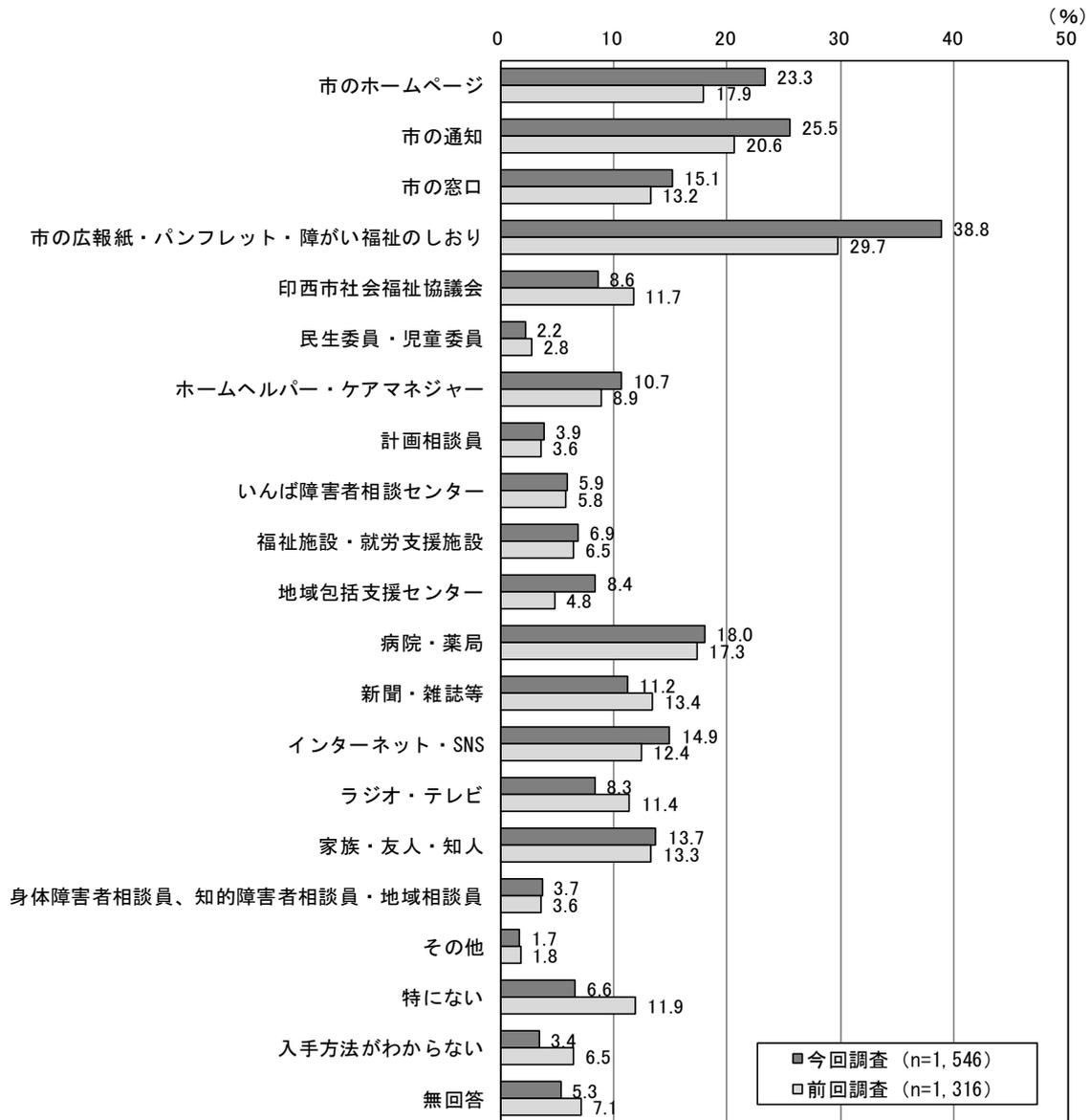
〔 上段：人 下段：% 〕		合計	問31-1. 成年後見制度を利用したいか				
			すでに利用している	いまは必要ないが、利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答
全体		492 100.0	19 3.9	121 24.6	206 41.9	138 28.0	8 1.6
性別	男性	265 100.0	9 3.4	68 25.7	116 43.8	69 26.0	3 1.1
	女性	222 100.0	10 4.5	51 23.0	89 40.1	67 30.2	5 2.3
年齢	18～19歳	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	20歳代	36 100.0	2 5.6	13 36.1	8 22.2	12 33.3	1 2.8
	30歳代	46 100.0	3 6.5	11 23.9	18 39.1	14 30.4	0 0.0
	40歳代	52 100.0	0 0.0	17 32.7	16 30.8	19 36.5	0 0.0
	50歳代	52 100.0	5 9.6	13 25.0	18 34.6	15 28.8	1 1.9
	60歳代	101 100.0	3 3.0	28 27.7	43 42.6	27 26.7	0 0.0
	70歳代	127 100.0	4 3.1	25 19.7	67 52.8	31 24.4	0 0.0
	80歳以上	71 100.0	2 2.8	11 15.5	34 47.9	18 25.4	6 8.5
障がいの種類	身体障がい	348 100.0	8 2.3	74 21.3	164 47.1	95 27.3	7 2.0
	知的障がい	66 100.0	10 15.2	28 42.4	10 15.2	18 27.3	0 0.0
	精神障がい	84 100.0	2 2.4	23 27.4	30 35.7	28 33.3	1 1.2

## 7. 情報や相談について

### 問 32. 障がい福祉に関する情報の入手先

【MA】

- 「市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり」が 38.8%で最も高く、次いで「市の通知」が 25.5%、「市のホームページ」が 23.3%の順となっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり」が最も高いものの、“20 歳代”は「家族・友人・知人」、「30 歳代」は「市のホームページ」が最も高くなっています。

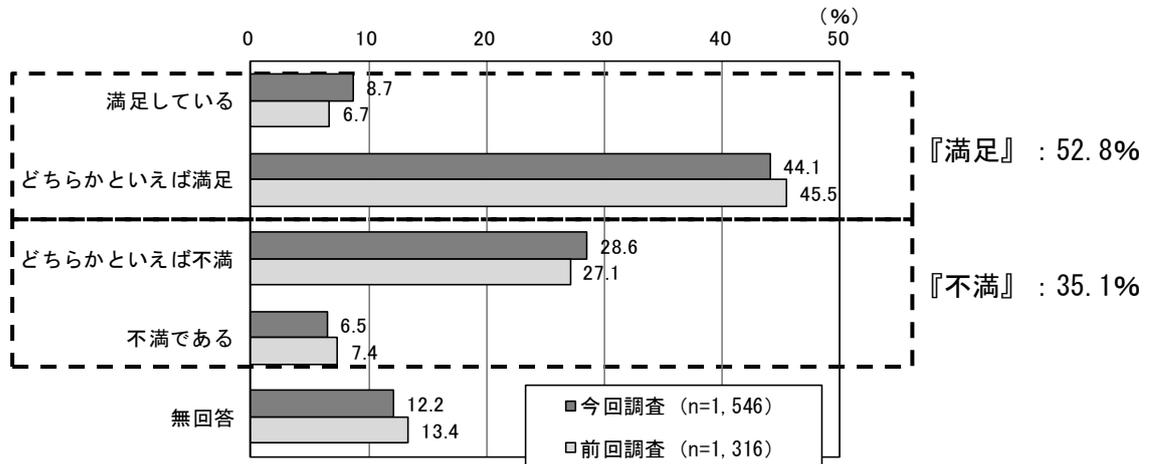


※「市のホームページ」「市の通知」「市の窓口」「市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり」は、前回調査では「国・県・市のホームページ」「県や市の通知」「県や市の窓口」「県や市の広報紙・パンフレット」で調査をしています。また、「計画相談員」は、前回調査では「身体障害者相談員」として調査をしています。

〔上段：人 下段：％〕	合計	問32. 障がい福祉に関する情報の入手先											
		市のホームページ	市の通知	市の窓口	市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり	印西市社会福祉協議会	民生委員・児童委員	ホームヘルパー・ケアマネジャー	計画相談員	いんば障害者相談センター	福祉施設・就労支援施設	地域包括支援センター	
全体	1546 100.0	360 23.3	394 25.5	234 15.1	600 38.8	133 8.6	34 2.2	165 10.7	60 3.9	91 5.9	106 6.9	130 8.4	
年齢	18～19歳	15 100.0	5 33.3	5 33.3	2 13.3	4 26.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	4 26.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	20 18.7	19 17.8	24 22.4	24 22.4	3 2.8	0 0.0	2 1.9	18 16.8	22 20.6	22 20.6	6 5.6
	30歳代	122 100.0	41 33.6	28 23.0	20 16.4	39 32.0	5 4.1	0 0.0	2 1.6	15 12.3	17 13.9	26 21.3	3 2.5
	40歳代	159 100.0	47 29.6	39 24.5	30 18.9	53 33.3	10 6.3	0 0.0	4 2.5	10 6.3	17 10.7	22 13.8	7 4.4
	50歳代	172 100.0	48 27.9	39 22.7	29 16.9	50 29.1	9 5.2	1 0.6	13 7.6	4 2.3	14 8.1	14 8.1	12 7.0
	60歳代	265 100.0	74 27.9	67 25.3	40 15.1	110 41.5	18 6.8	5 1.9	22 8.3	3 1.1	7 2.6	3 1.1	13 4.9
	70歳代	377 100.0	74 19.6	113 30.0	56 14.9	175 46.4	50 13.3	9 2.4	52 13.8	6 1.6	4 1.1	7 1.9	41 10.9
	80歳以上	312 100.0	47 15.1	80 25.6	29 9.3	139 44.6	34 10.9	19 6.1	70 22.4	1 0.3	7 2.2	7 2.2	47 15.1
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	252 23.3	281 26.0	149 13.8	465 43.0	106 9.8	31 2.9	148 13.7	19 1.8	23 2.1	29 2.7
知的障がい		163 100.0	34 20.9	53 32.5	31 19.0	57 35.0	13 8.0	1 0.6	8 4.9	30 18.4	46 28.2	50 30.7	9 5.5
精神障がい		307 100.0	72 23.5	63 20.5	59 19.2	82 26.7	14 4.6	1 0.3	8 2.6	17 5.5	29 9.4	33 10.7	17 5.5

〔上段：人 下段：％〕	合計	問32. 障がい福祉に関する情報の入手先										
		病院・薬局	新聞・雑誌等	インターネット・SNS	ラジオ・テレビ	家族・友人・知人	身体障害者相談員、知的障害者相談員・地域相談員	その他	特になし	入手方法がわからない	無回答	
全体	1546 100.0	278 18.0	173 11.2	231 14.9	129 8.3	212 13.7	57 3.7	27 1.7	102 6.6	53 3.4	82 5.3	
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0
	20歳代	107 100.0	12 11.2	8 7.5	21 19.6	6 5.6	42 39.3	8 7.5	3 2.8	4 3.7	6 5.6	6 5.6
	30歳代	122 100.0	17 13.9	7 5.7	30 24.6	6 4.9	21 17.2	3 2.5	5 4.1	4 3.3	7 5.7	3 2.5
	40歳代	159 100.0	37 23.3	12 7.5	41 25.8	10 6.3	22 13.8	13 8.2	6 3.8	14 8.8	7 4.4	1 0.6
	50歳代	172 100.0	30 17.4	13 7.6	36 20.9	8 4.7	13 7.6	6 3.5	3 1.7	16 9.3	5 2.9	7 4.1
	60歳代	265 100.0	56 21.1	29 10.9	48 18.1	25 9.4	16 6.0	3 1.1	3 1.1	15 5.7	14 5.3	10 3.8
	70歳代	377 100.0	72 19.1	56 14.9	31 8.2	41 10.9	51 13.5	11 2.9	2 0.5	22 5.8	5 1.3	20 5.3
	80歳以上	312 100.0	51 16.3	43 13.8	17 5.4	30 9.6	41 13.1	10 3.2	3 1.0	23 7.4	8 2.6	32 10.3
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	201 18.6	132 12.2	138 12.8	104 9.6	128 11.8	30 2.8	11 1.0	76 7.0	28 2.6
知的障がい		163 100.0	8 4.9	16 9.8	24 14.7	14 8.6	52 31.9	22 13.5	8 4.9	7 4.3	7 4.3	7 4.3
精神障がい		307 100.0	69 22.5	22 7.2	75 24.4	11 3.6	39 12.7	9 2.9	9 2.9	14 4.6	21 6.8	7 2.3

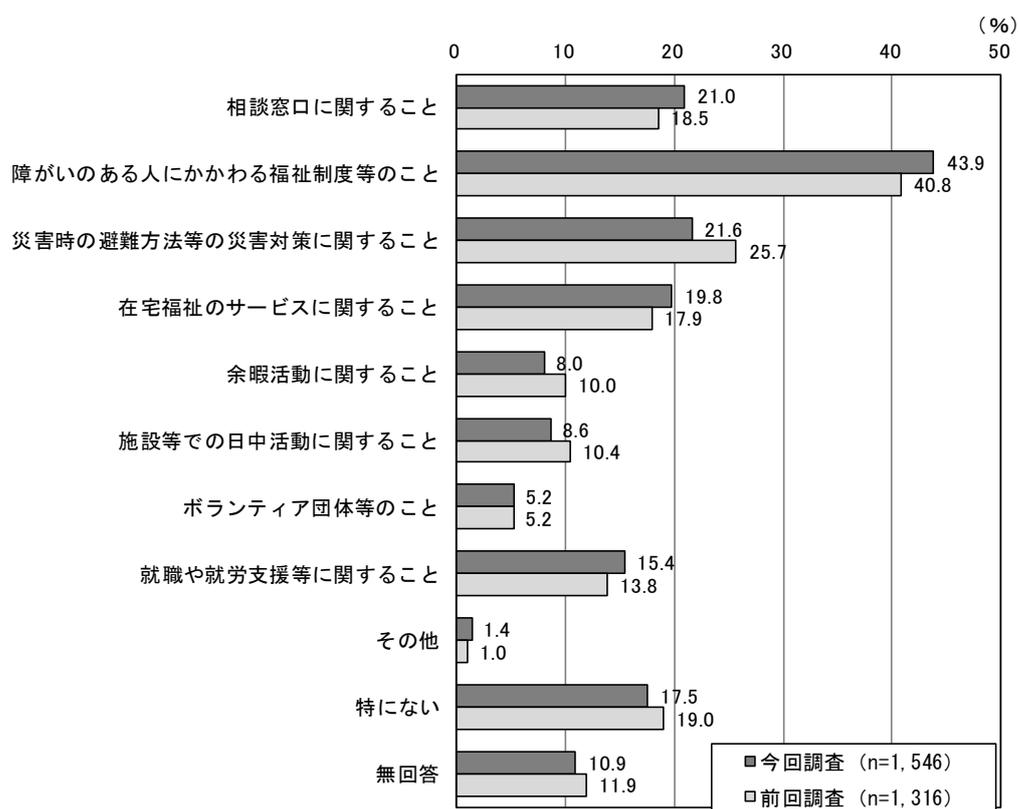
- 「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が52.8%、「どちらかといえば不満」と「不満である」を『不満』が35.1%となっています。
- 前回調査と比べ、『満足』は0.6ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、多くの年代で『満足』が最も高いものの、“50歳代”は『不満』が最も高くなっています。



上段：人 下段：%		合計	問33. 福祉の情報に満足しているか				
			満足して いる	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満であ る	無回答
全体		1546 100.0	134 8.7	682 44.1	442 28.6	100 6.5	188 12.2
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	7 46.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	7 6.5	44 41.1	32 29.9	8 7.5	16 15.0
	30歳代	122 100.0	11 9.0	57 46.7	33 27.0	11 9.0	10 8.2
	40歳代	159 100.0	13 8.2	68 42.8	50 31.4	18 11.3	10 6.3
	50歳代	172 100.0	9 5.2	68 39.5	69 40.1	15 8.7	11 6.4
	60歳代	265 100.0	22 8.3	120 45.3	86 32.5	22 8.3	15 5.7
	70歳代	377 100.0	34 9.0	185 49.1	91 24.1	12 3.2	55 14.6
	80歳以上	312 100.0	35 11.2	132 42.3	72 23.1	9 2.9	64 20.5
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	97 9.0	492 45.5	292 27.0	54 5.0
知的障がい		163 100.0	10 6.1	78 47.9	42 25.8	10 6.1	23 14.1
精神障がい		307 100.0	23 7.5	119 38.8	112 36.5	40 13.0	13 4.2

○「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」が43.9%で最も高く、次いで「災害時の避難方法等の災害対策に関すること」が21.6%、「相談窓口に関すること」が21.0%の順となっています。

○年齢別にみると、すべての年代で「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」が最も高く、“20歳代”“40歳代～50歳代”では5割を超えています。



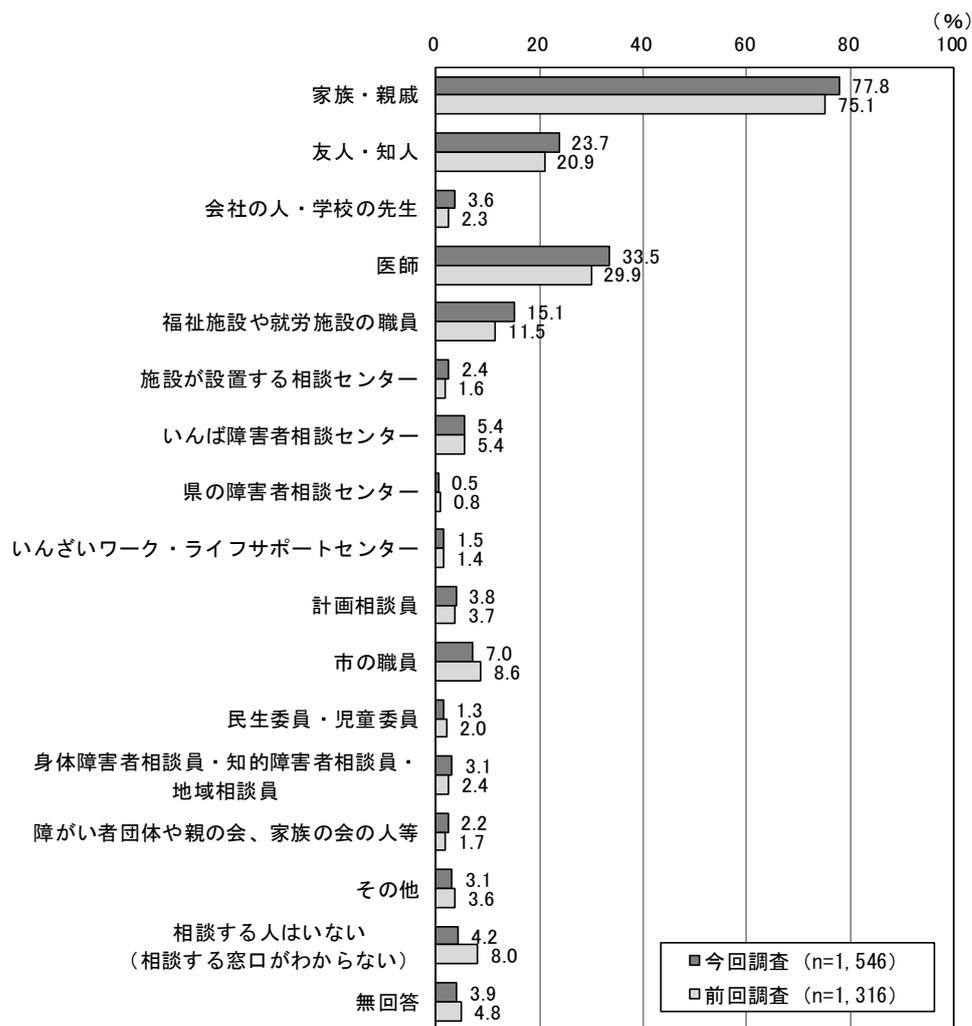
〔上段：人 下段：％〕	合計	問34. 生活に関する事で知りたい情報						
		相談窓口 に関する こと	障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと	災害時の避難方法等の災害対策に関すること	在宅福祉のサービスに関すること	余暇活動に関すること	施設等での日中活動に関すること	
全体	1546 100.0	324 21.0	678 43.9	334 21.6	306 19.8	124 8.0	133 8.6	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	9 60.0	5 33.3	2 13.3	6 40.0	3 20.0
	20歳代	107 100.0	24 22.4	58 54.2	28 26.2	13 12.1	26 24.3	16 15.0
	30歳代	122 100.0	36 29.5	59 48.4	20 16.4	9 7.4	14 11.5	14 11.5
	40歳代	159 100.0	43 27.0	84 52.8	34 21.4	23 14.5	13 8.2	16 10.1
	50歳代	172 100.0	37 21.5	96 55.8	30 17.4	22 12.8	12 7.0	13 7.6
	60歳代	265 100.0	58 21.9	131 49.4	67 25.3	50 18.9	23 8.7	13 4.9
	70歳代	377 100.0	74 19.6	141 37.4	81 21.5	92 24.4	20 5.3	27 7.2
	80歳以上	312 100.0	45 14.4	96 30.8	65 20.8	93 29.8	9 2.9	28 9.0
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	199 18.4	460 42.6	248 22.9	260 24.1	68 6.3	79 7.3
	知的障がい	163 100.0	34 20.9	80 49.1	47 28.8	17 10.4	36 22.1	31 19.0
	精神障がい	307 100.0	92 30.0	152 49.5	42 13.7	32 10.4	25 8.1	30 9.8

〔上段：人 下段：％〕	合計	問34. 生活に関する事で知りたい情報					
		ボランティア団体等のこと	就職や就労支援等に関すること	その他	特になし	無回答	
全体	1546 100.0	81 5.2	238 15.4	21 1.4	271 17.5	169 10.9	
年齢	18～19歳	15 100.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	
	20歳代	107 100.0	8 7.5	37 34.6	3 2.8	12 11.2	7 6.5
	30歳代	122 100.0	9 7.4	55 45.1	5 4.1	11 9.0	7 5.7
	40歳代	159 100.0	10 6.3	47 29.6	6 3.8	24 15.1	8 5.0
	50歳代	172 100.0	15 8.7	46 26.7	1 0.6	29 16.9	13 7.6
	60歳代	265 100.0	12 4.5	29 10.9	1 0.4	47 17.7	25 9.4
	70歳代	377 100.0	15 4.0	13 3.4	2 0.5	75 19.9	50 13.3
	80歳以上	312 100.0	10 3.2	1 0.3	2 0.6	71 22.8	54 17.3
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	52 4.8	93 8.6	10 0.9	205 19.0	127 11.7
	知的障がい	163 100.0	8 4.9	41 25.2	6 3.7	17 10.4	18 11.0
	精神障がい	307 100.0	22 7.2	110 35.8	7 2.3	49 16.0	15 4.9

○「家族・親戚」が77.8%で最も高く、次いで「医師」が33.5%、「友人・知人」が23.7%の順となっています。

○年齢別にみると、すべての年代で「家族・親戚」が最も高いものの、“20歳代”は「福祉施設や就労施設の職員」も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、すべての障がいで「家族・親戚」が最も高いものの、“知的障がい”は「福祉施設や就労施設の職員」、「精神障がい」は「医師」も高くなっています。

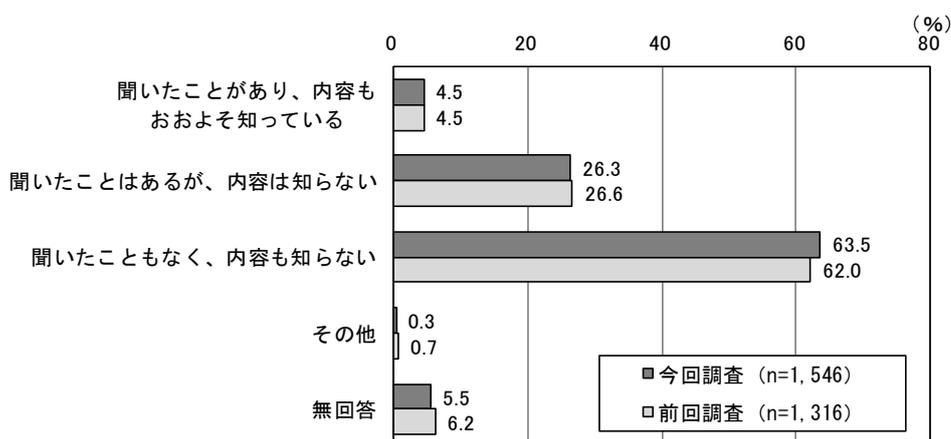


〔上段：人 下段：％〕	合計	問35. 悩みや困ったことを相談する相手								
		家族・親 戚	友人・知 人	会社の 人・学校 の先生	医師	福祉施設 や就労施 設の職員	施設が設 置する相 談セン ター	いんば障 害者相談 センター	県の障害 者相談セ ンター	いんざい ワーク・ ライフサ ポートセ ンター
全体	1546 100.0	1203 77.8	367 23.7	55 3.6	518 33.5	234 15.1	37 2.4	83 5.4	7 0.5	23 1.5
年齢	18～19歳	15 100.0	11 73.3	5 33.3	5 33.3	4 26.7	3 20.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0
	20歳代	107 100.0	84 78.5	31 29.0	9 8.4	35 32.7	43 40.2	3 2.8	17 15.9	0 0.0
	30歳代	122 100.0	94 77.0	41 33.6	16 13.1	44 36.1	35 28.7	3 2.5	12 9.8	0 0.0
	40歳代	159 100.0	121 76.1	40 25.2	12 7.5	64 40.3	35 22.0	5 3.1	14 8.8	0 0.0
	50歳代	172 100.0	126 73.3	57 33.1	8 4.7	69 40.1	22 12.8	3 1.7	13 7.6	3 1.7
	60歳代	265 100.0	220 83.0	63 23.8	4 1.5	87 32.8	18 6.8	1 0.4	6 2.3	2 0.8
	70歳代	377 100.0	290 76.9	91 24.1	1 0.3	122 32.4	35 9.3	10 2.7	8 2.1	0 0.0
	80歳以上	312 100.0	248 79.5	36 11.5	0 0.0	90 28.8	39 12.5	12 3.8	10 3.2	2 0.6
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	864 79.9	264 24.4	23 2.1	340 31.5	109 10.1	25 2.3	30 2.8	3 0.3
	知的障がい	163 100.0	128 78.5	44 27.0	26 16.0	36 22.1	83 50.9	7 4.3	36 22.1	1 0.6
	精神障がい	307 100.0	216 70.4	66 21.5	11 3.6	155 50.5	54 17.6	7 2.3	26 8.5	3 1.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問35. 悩みや困ったことを相談する相手							
		計画相談 員	市の職員	民生委 員・児童 委員	身体障害 者相談 員・知的 障害者相 談員・地 域相談員	障がい者 団体や親 の会、家 族の会 の人等	その他	相談する 人はいな い（相談 する窓 口がわ からな い）	無回答
全体	1546 100.0	58 3.8	108 7.0	20 1.3	48 3.1	34 2.2	48 3.1	65 4.2	61 3.9
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	20歳代	107 100.0	12 11.2	4 3.7	0 0.0	7 6.5	4 3.7	3 2.8	2 1.9
	30歳代	122 100.0	12 9.8	7 5.7	0 0.0	5 4.1	11 9.0	6 4.9	2 1.6
	40歳代	159 100.0	13 8.2	8 5.0	0 0.0	7 4.4	12 7.5	4 2.5	1 0.6
	50歳代	172 100.0	5 2.9	12 7.0	1 0.6	10 5.8	3 1.7	5 2.9	1 0.6
	60歳代	265 100.0	7 2.6	26 9.8	5 1.9	6 2.3	1 0.4	7 2.6	7 2.6
	70歳代	377 100.0	3 0.8	32 8.5	2 0.5	8 2.1	2 0.5	8 2.1	14 3.7
	80歳以上	312 100.0	2 0.6	15 4.8	12 3.8	4 1.3	0 0.0	14 4.5	7 2.2
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	22 2.0	82 7.6	19 1.8	28 2.6	13 1.2	27 2.5	42 3.9
	知的障がい	163 100.0	22 13.5	16 9.8	0 0.0	19 11.7	18 11.0	1 0.6	2 1.2
	精神障がい	307 100.0	18 5.9	15 4.9	1 0.3	6 2.0	9 2.9	17 5.5	5 1.6

○「聞いたこともなく、内容も知らない」が63.5%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.3%、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が4.5%の順となっています。

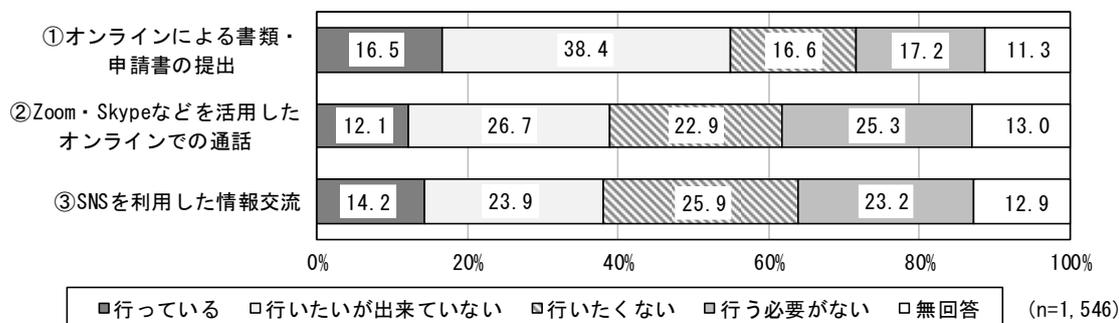
○障がいの種類別にみると、すべての障がいで「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高いものの、“知的障がい”は「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」がやや高くなっています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%	合計	問36. 印西市障がい者プランを知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	1546 100.0	69 4.5	406 26.3	981 63.5	5 0.3	85 5.5	
年齢	18～19歳	15 100.0	1 6.7	3 20.0	11 73.3	0 0.0	0 0.0
	20歳代	107 100.0	6 5.6	23 21.5	70 65.4	1 0.9	7 6.5
	30歳代	122 100.0	8 6.6	20 16.4	93 76.2	0 0.0	1 0.8
	40歳代	159 100.0	5 3.1	37 23.3	113 71.1	0 0.0	4 2.5
	50歳代	172 100.0	7 4.1	29 16.9	132 76.7	1 0.6	3 1.7
	60歳代	265 100.0	13 4.9	66 24.9	179 67.5	0 0.0	7 2.6
	70歳代	377 100.0	14 3.7	129 34.2	209 55.4	1 0.3	24 6.4
	80歳以上	312 100.0	13 4.2	95 30.4	166 53.2	2 0.6	36 11.5
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	49 4.5	313 29.0	650 60.1	2 0.2
知的障がい		163 100.0	13 8.0	50 30.7	87 53.4	1 0.6	12 7.4
精神障がい		307 100.0	7 2.3	48 15.6	247 80.5	2 0.7	3 1.0

○「行っている」については、「オンラインによる書類・申請書の提出」が16.5%で最も高く、次いで「SNSを利用した情報交流」が14.2%、「Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話」が12.1%の順となっています。



【①オンラインによる書類・申請書の提出】

〔上段：人 下段：％〕	合計	問37. ①オンラインによる書類・申請書の提出					
		行っている	行いたいが出ていない	行いたくない	行わない	無回答	
全体	1546 100.0	255 16.5	594 38.4	256 16.6	266 17.2	175 11.3	
年齢	18～19歳	15 100.0	4 26.7	8 53.3	0 0.0	2 13.3	1 6.7
	20歳代	107 100.0	20 18.7	49 45.8	12 11.2	18 16.8	8 7.5
	30歳代	122 100.0	30 24.6	47 38.5	21 17.2	19 15.6	5 4.1
	40歳代	159 100.0	39 24.5	60 37.7	24 15.1	28 17.6	8 5.0
	50歳代	172 100.0	33 19.2	78 45.3	27 15.7	19 11.0	15 8.7
	60歳代	265 100.0	60 22.6	113 42.6	35 13.2	38 14.3	19 7.2
	70歳代	377 100.0	48 12.7	138 36.6	78 20.7	66 17.5	47 12.5
	80歳以上	312 100.0	17 5.4	95 30.4	59 18.9	74 23.7	67 21.5
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	178 16.5	403 37.3	180 16.7	184 17.0	136 12.6
	知的障がい	163 100.0	8 4.9	73 44.8	34 20.9	30 18.4	18 11.0
	精神障がい	307 100.0	69 22.5	125 40.7	48 15.6	50 16.3	15 4.9

【②Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話】

〔上段：人 下段：％〕		合計	問37. ②Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話				
			行っている	行いたい が出来て いない	行いたく ない	行う必要 がない	無回答
全体		1546 100.0	187 12.1	413 26.7	354 22.9	391 25.3	201 13.0
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	6 40.0	1 6.7	4 26.7	1 6.7
	20歳代	107 100.0	16 15.0	33 30.8	28 26.2	22 20.6	8 7.5
	30歳代	122 100.0	27 22.1	32 26.2	26 21.3	32 26.2	5 4.1
	40歳代	159 100.0	34 21.4	38 23.9	36 22.6	42 26.4	9 5.7
	50歳代	172 100.0	30 17.4	47 27.3	46 26.7	34 19.8	15 8.7
	60歳代	265 100.0	36 13.6	81 30.6	63 23.8	63 23.8	22 8.3
	70歳代	377 100.0	27 7.2	108 28.6	87 23.1	99 26.3	56 14.9
	80歳以上	312 100.0	11 3.5	63 20.2	66 21.2	92 29.5	80 25.6
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	124 11.5	285 26.4	238 22.0	276 25.5	158 14.6
	知的障がい	163 100.0	7 4.3	58 35.6	40 24.5	41 25.2	17 10.4
	精神障がい	307 100.0	57 18.6	73 23.8	87 28.3	71 23.1	19 6.2

【③SNS を利用した情報交流】

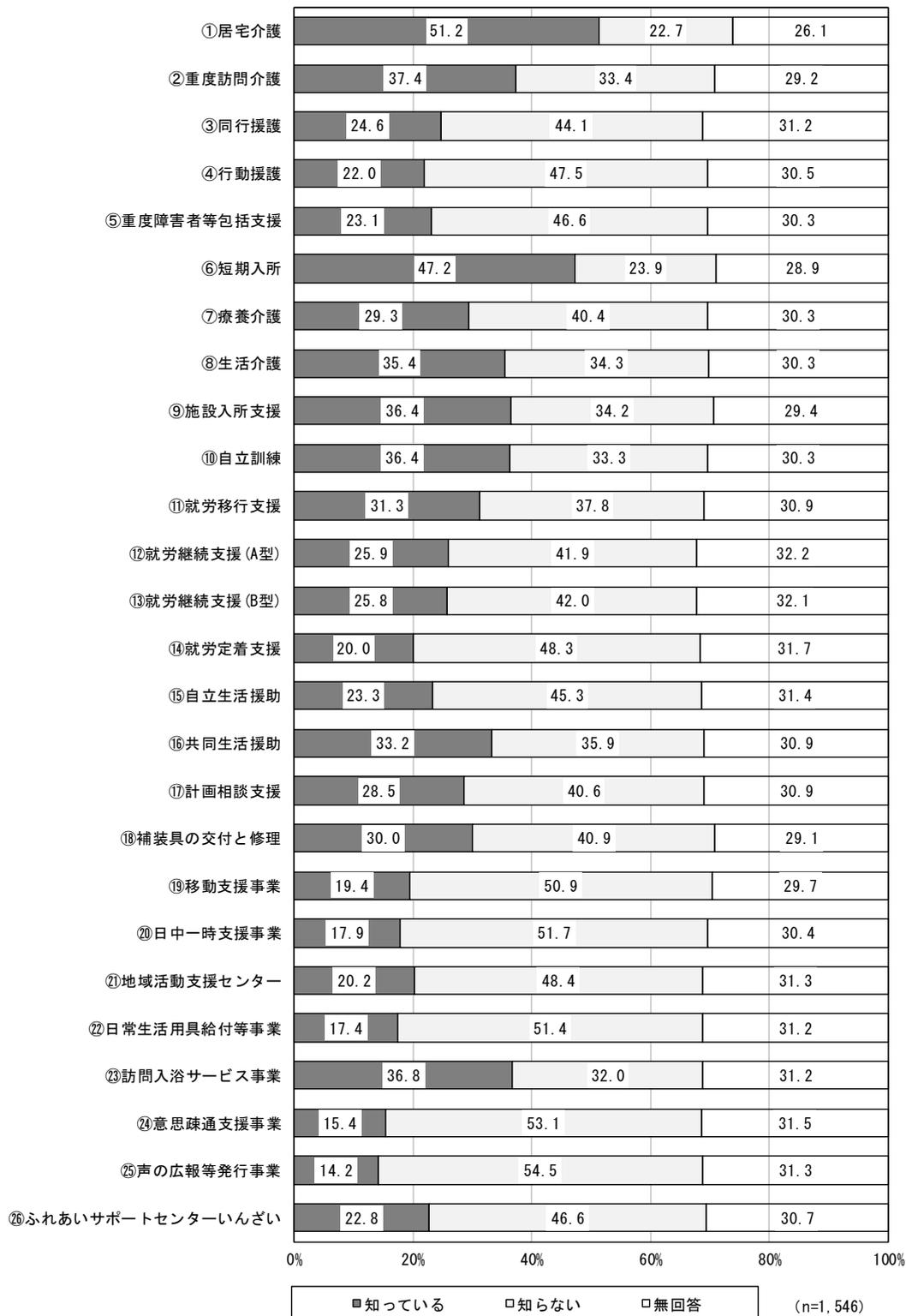
〔上段：人 下段：％〕		合計	問37. ③SNSを利用した情報交流				
			行っている	行いたい が出来て いない	行いたく ない	行う必要 がない	無回答
全体		1546 100.0	219 14.2	369 23.9	400 25.9	359 23.2	199 12.9
年齢	18～19歳	15 100.0	5 33.3	5 33.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7
	20歳代	107 100.0	28 26.2	25 23.4	26 24.3	19 17.8	9 8.4
	30歳代	122 100.0	35 28.7	26 21.3	33 27.0	23 18.9	5 4.1
	40歳代	159 100.0	38 23.9	41 25.8	34 21.4	38 23.9	8 5.0
	50歳代	172 100.0	41 23.8	39 22.7	51 29.7	26 15.1	15 8.7
	60歳代	265 100.0	34 12.8	68 25.7	77 29.1	65 24.5	21 7.9
	70歳代	377 100.0	25 6.6	106 28.1	97 25.7	92 24.4	57 15.1
	80歳以上	312 100.0	10 3.2	55 17.6	78 25.0	91 29.2	78 25.0
障 が い の 種 類	身体障がい	1081 100.0	126 11.7	257 23.8	283 26.2	259 24.0	156 14.4
	知的障がい	163 100.0	19 11.7	47 28.8	45 27.6	34 20.9	18 11.0
	精神障がい	307 100.0	77 25.1	72 23.5	77 25.1	61 19.9	20 6.5

## 8. 障がいのある人の福祉サービスについて

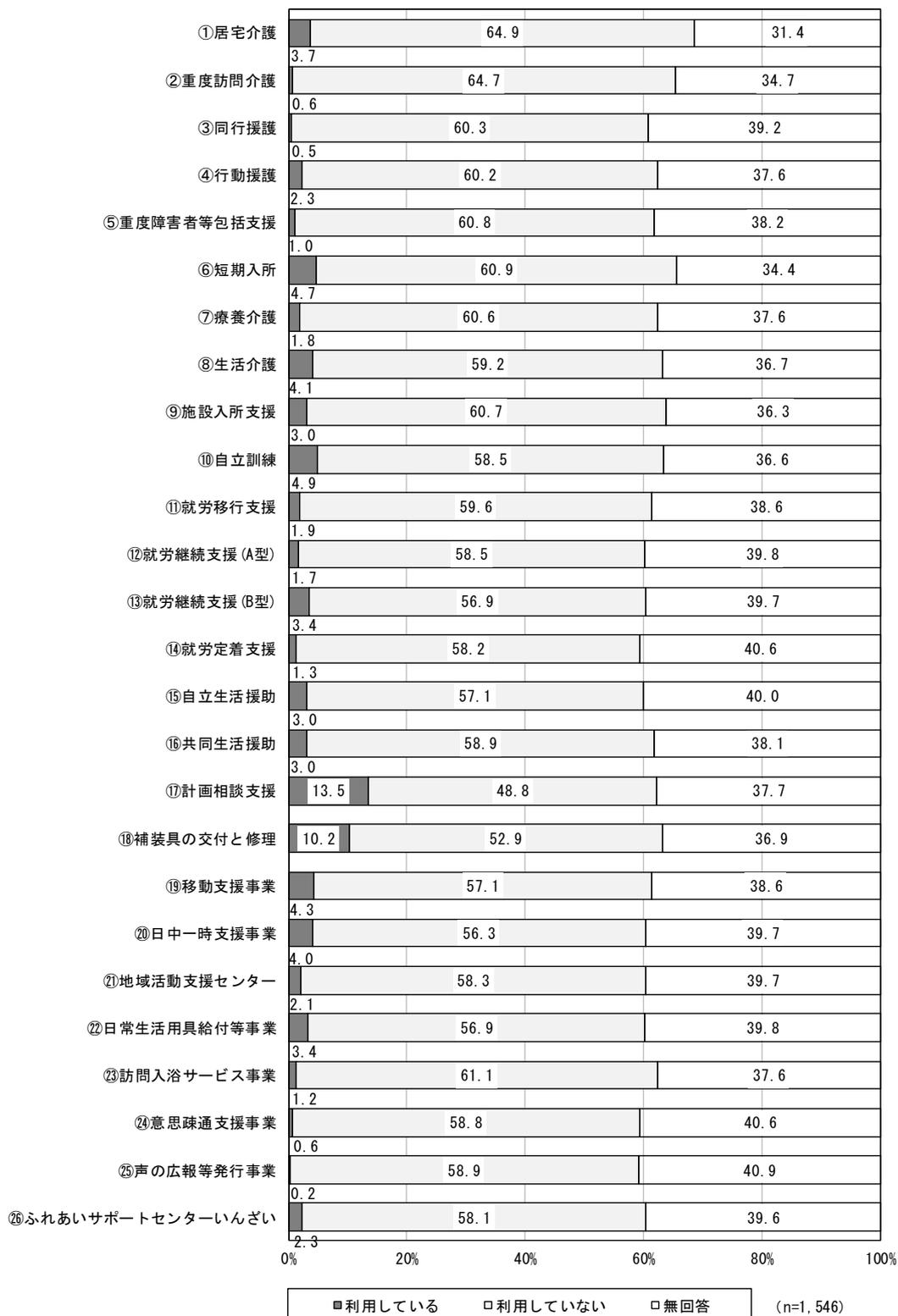
### 問 38 (1). 障害福祉サービスの内容を知っているか

【SA】

○印西市で実施している障害福祉サービスのうち、内容を「知っている」サービスについては、「①居宅介護」が51.2%で最も高く、次いで「⑥短期入所」が47.2%、「②重度訪問介護」が37.4%の順となっています。

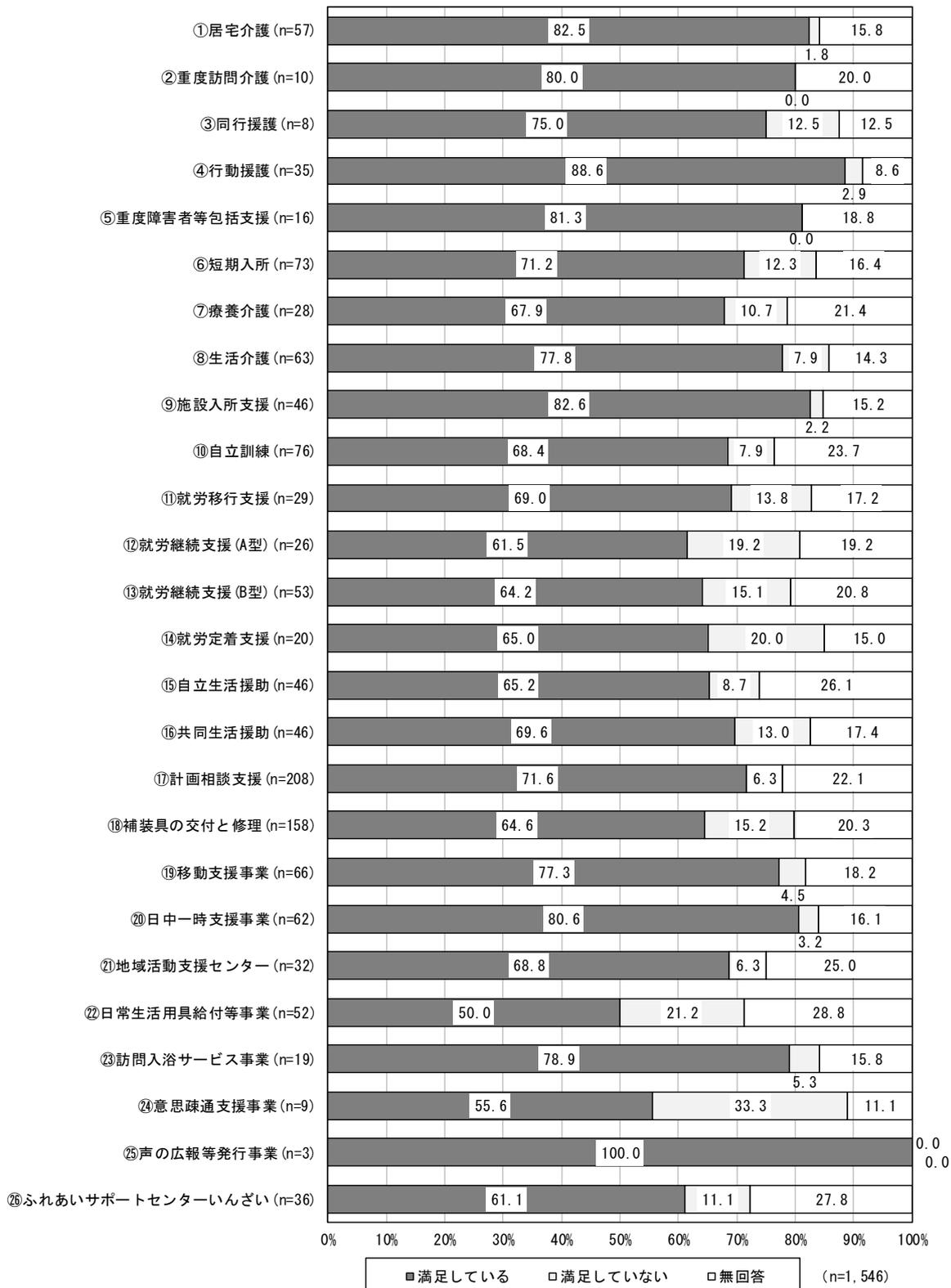


○市で実施している障害福祉サービスのうち、「利用している」サービスについては、「⑰計画相談支援」が 13.5%で最も高く、次いで「⑱補装具の交付と修理」が 10.2%、「⑩自立訓練」が 4.9%となっています。

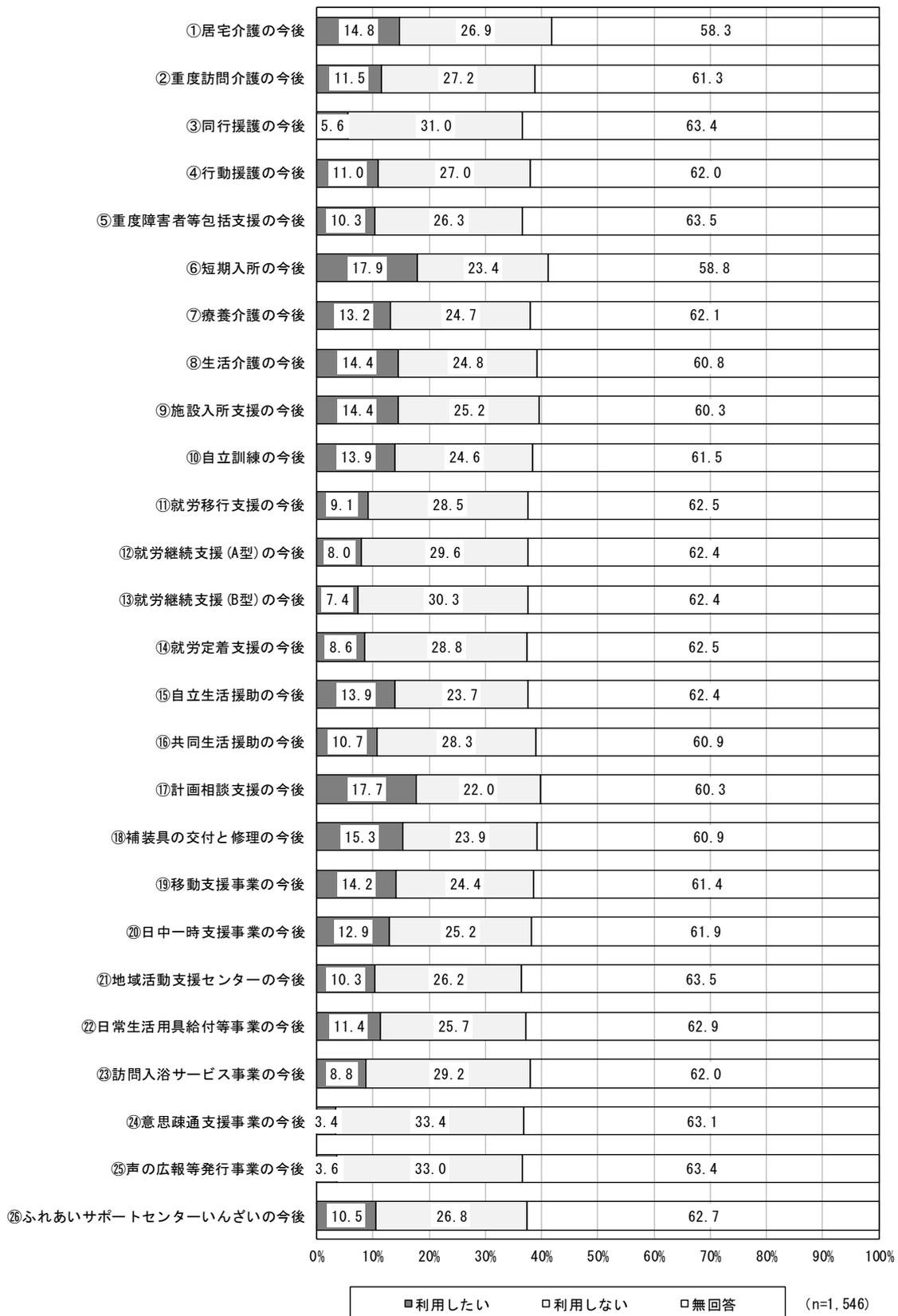


(問 38 (2) において「利用している」を回答した方限定)

○回答数が少なく参考となりますが、市で実施している障害福祉サービスのうち、「満足している」が高いサービスは「①居宅介護」「②重度訪問介護」「④行動援護」「⑤重度障害者等包括支援」「⑨施設入所支援」「⑳日中一時支援事業」「㉕声の広報等発行事業」となっています。



○市で実施している障害福祉サービスのうち、「今後利用したい」サービスについては、「⑥短期入所」が17.9%で最も高く、次いで「⑰計画相談支援の今後」が17.7%、「⑱補装具の交付と修理の今後」が15.3%となっています。

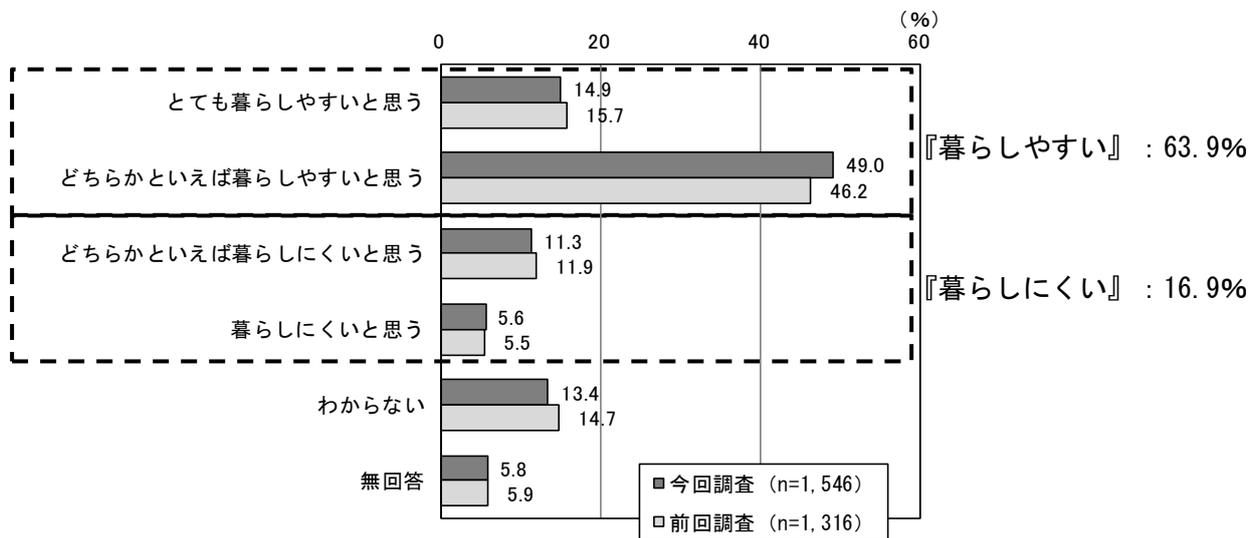


## 9. 障がい者施策について

問 39. 印西市はあなたにとって暮らしやすいか

【SA】

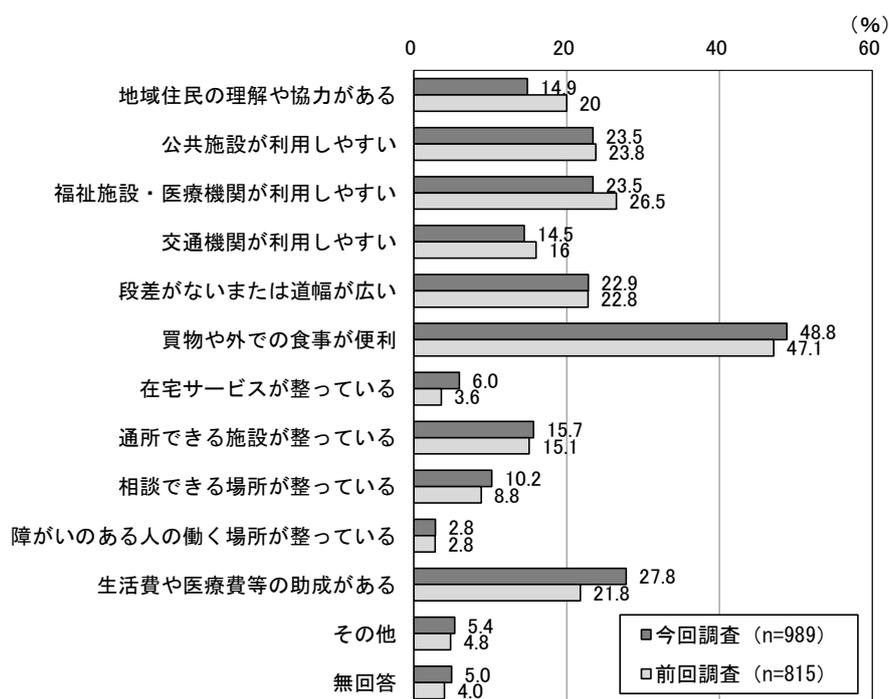
- 「とても暮らしやすいと思う」と「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を合わせた『暮らしやすい』が 63.9%、「どちらかといえば暮らしにくいと思う」と「暮らしにくいと思う」を『暮らしにくい』が 16.9%となっています。
- 前回調査と比べ、『暮らしやすい』は 2.0 ポイント増加しました。
- 性別にみると、『暮らしやすい』は“男性”の方が 2.6 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、『暮らしやすい』は“30 歳代”が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、『暮らしやすい』は“知的障がい”が最も高くなっています。
- 居住地域別にみると、『暮らしやすい』は“船穂・草深”が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問39. 印西市はあなたにとって暮らしやすいか					無回答
			とても暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしにくいと思う	暮らしにくいと思う	わからない	
全体		1546 100.0	231 14.9	758 49.0	174 11.3	86 5.6	207 13.4	90 5.8
性別	男性	793 100.0	125 15.8	393 49.6	86 10.8	35 4.4	113 14.2	41 5.2
	女性	729 100.0	103 14.1	355 48.7	85 11.7	50 6.9	90 12.3	46 6.3
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	7 46.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3
	20歳代	107 100.0	15 14.0	55 51.4	15 14.0	9 8.4	11 10.3	2 1.9
	30歳代	122 100.0	27 22.1	63 51.6	14 11.5	9 7.4	7 5.7	2 1.6
	40歳代	159 100.0	28 17.6	67 42.1	26 16.4	12 7.5	21 13.2	5 3.1
	50歳代	172 100.0	22 12.8	91 52.9	19 11.0	13 7.6	20 11.6	7 4.1
	60歳代	265 100.0	33 12.5	140 52.8	31 11.7	10 3.8	43 16.2	8 3.0
	70歳代	377 100.0	49 13.0	200 53.1	35 9.3	13 3.4	57 15.1	23 6.1
	80歳以上	312 100.0	51 16.3	128 41.0	29 9.3	18 5.8	46 14.7	40 12.8
障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	151 14.0	542 50.1	109 10.1	48 4.4	158 14.6	73 6.8
	知的障がい	163 100.0	36 22.1	77 47.2	17 10.4	7 4.3	20 12.3	6 3.7
	精神障がい	307 100.0	46 15.0	138 45.0	52 16.9	35 11.4	30 9.8	6 2.0
居住地域	北部	398 100.0	55 13.8	189 47.5	45 11.3	20 5.0	62 15.6	27 6.8
	南部	504 100.0	88 17.5	262 52.0	54 10.7	25 5.0	56 11.1	19 3.8
	船穂・草深	225 100.0	41 18.2	118 52.4	20 8.9	13 5.8	25 11.1	8 3.6
	印旛	204 100.0	20 9.8	88 43.1	28 13.7	19 9.3	39 19.1	10 4.9
	本埜	191 100.0	24 12.6	94 49.2	22 11.5	6 3.1	23 12.0	22 11.5

(問 39 において「とても暮らしやすいと思う」「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を回答した方限定)

- 「買物や外での食事が便利」が 48.8% で最も高く、次いで「生活費や医療費等の助成がある」が 27.8%、「公共施設が利用しやすい」と「福祉施設・医療機関が利用しやすい」がともに 23.5% の順となっています。
- 前回調査と比べ、「買物や外での食事が便利」は 1.7 ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、すべての年代で「買物や外での食事が便利」が最も高く、なかでも“20 歳代～50 歳代”は半数を超えています。

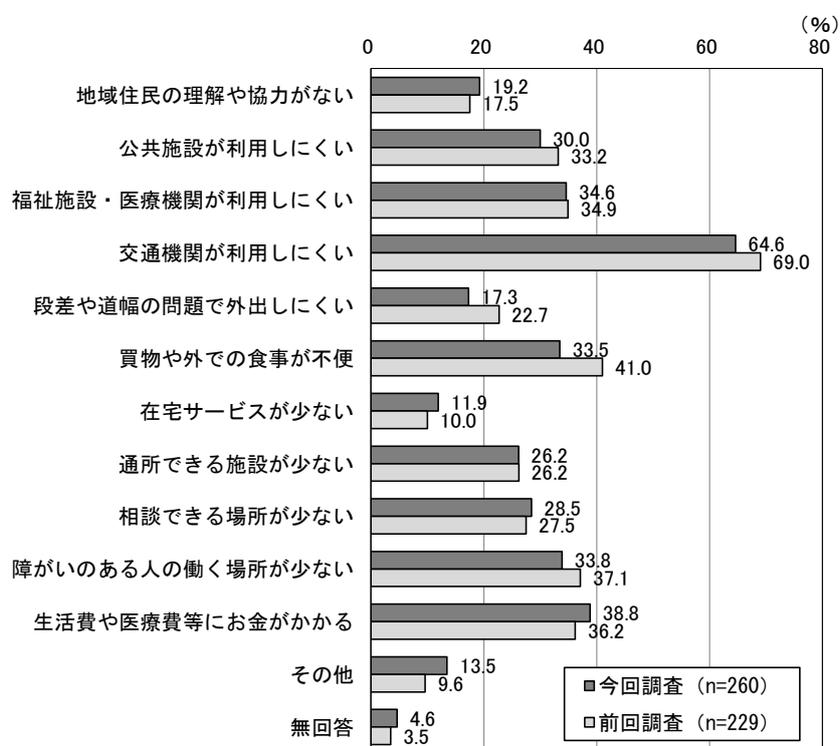


上段：人 下段：%	合計	問39-1. 印西市が暮らしやすいと感じるところ							
		地域住民の理解や協力がある	公共施設が利用しやすい	福祉施設・医療機関が利用しやすい	交通機関が利用しやすい	段差がないまたは道幅が広い	買物や外での食事が便利	在宅サービスが整っている	
全体	989 100.0	147 14.9	232 23.5	232 23.5	143 14.5	226 22.9	483 48.8	59 6.0	
年齢	18～19歳	10 100.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	7 70.0	0 0.0
	20歳代	70 100.0	8 11.4	14 20.0	13 18.6	9 12.9	12 17.1	41 58.6	0 0.0
	30歳代	90 100.0	10 11.1	31 34.4	25 27.8	15 16.7	26 28.9	51 56.7	2 2.2
	40歳代	95 100.0	4 4.2	23 24.2	21 22.1	16 16.8	26 27.4	54 56.8	1 1.1
	50歳代	113 100.0	8 7.1	24 21.2	20 17.7	14 12.4	30 26.5	66 58.4	8 7.1
	60歳代	173 100.0	20 11.6	35 20.2	33 19.1	26 15.0	43 24.9	86 49.7	12 6.9
	70歳代	249 100.0	56 22.5	61 24.5	64 25.7	39 15.7	41 16.5	116 46.6	17 6.8
	80歳以上	179 100.0	40 22.3	38 21.2	52 29.1	19 10.6	46 25.7	57 31.8	19 10.6
障がいの種類	身体障がい	693 100.0	118 17.0	159 22.9	160 23.1	94 13.6	161 23.2	314 45.3	49 7.1
	知的障がい	113 100.0	15 13.3	24 21.2	34 30.1	18 15.9	25 22.1	64 56.6	1 0.9
	精神障がい	184 100.0	12 6.5	50 27.2	41 22.3	29 15.8	40 21.7	103 56.0	8 4.3

上段：人 下段：%	合計	問39-1. 印西市が暮らしやすいと感じるところ						
		通所できる施設が整っている	相談できる場所が整っている	障がいのある人の働く場所が整っている	生活費や医療費等の助成がある	その他	無回答	
全体	989 100.0	155 15.7	101 10.2	28 2.8	275 27.8	53 5.4	49 5.0	
年齢	18～19歳	10 100.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	20歳代	70 100.0	18 25.7	7 10.0	4 5.7	17 24.3	3 4.3	4 5.7
	30歳代	90 100.0	20 22.2	12 13.3	7 7.8	23 25.6	9 10.0	2 2.2
	40歳代	95 100.0	17 17.9	17 17.9	6 6.3	26 27.4	9 9.5	4 4.2
	50歳代	113 100.0	10 8.8	12 10.6	3 2.7	29 25.7	4 3.5	6 5.3
	60歳代	173 100.0	24 13.9	10 5.8	4 2.3	56 32.4	8 4.6	5 2.9
	70歳代	249 100.0	25 10.0	22 8.8	3 1.2	73 29.3	9 3.6	12 4.8
	80歳以上	179 100.0	36 20.1	19 10.6	0 0.0	48 26.8	10 5.6	14 7.8
障がいの種類	身体障がい	693 100.0	92 13.3	62 8.9	12 1.7	203 29.3	32 4.6	38 5.5
	知的障がい	113 100.0	43 38.1	21 18.6	10 8.8	28 24.8	5 4.4	6 5.3
	精神障がい	184 100.0	27 14.7	26 14.1	9 4.9	47 25.5	15 8.2	5 2.7

(問 39 において「どちらかといえば暮らしにくいと思う」「暮らしにくいと思う」を回答した方限定)

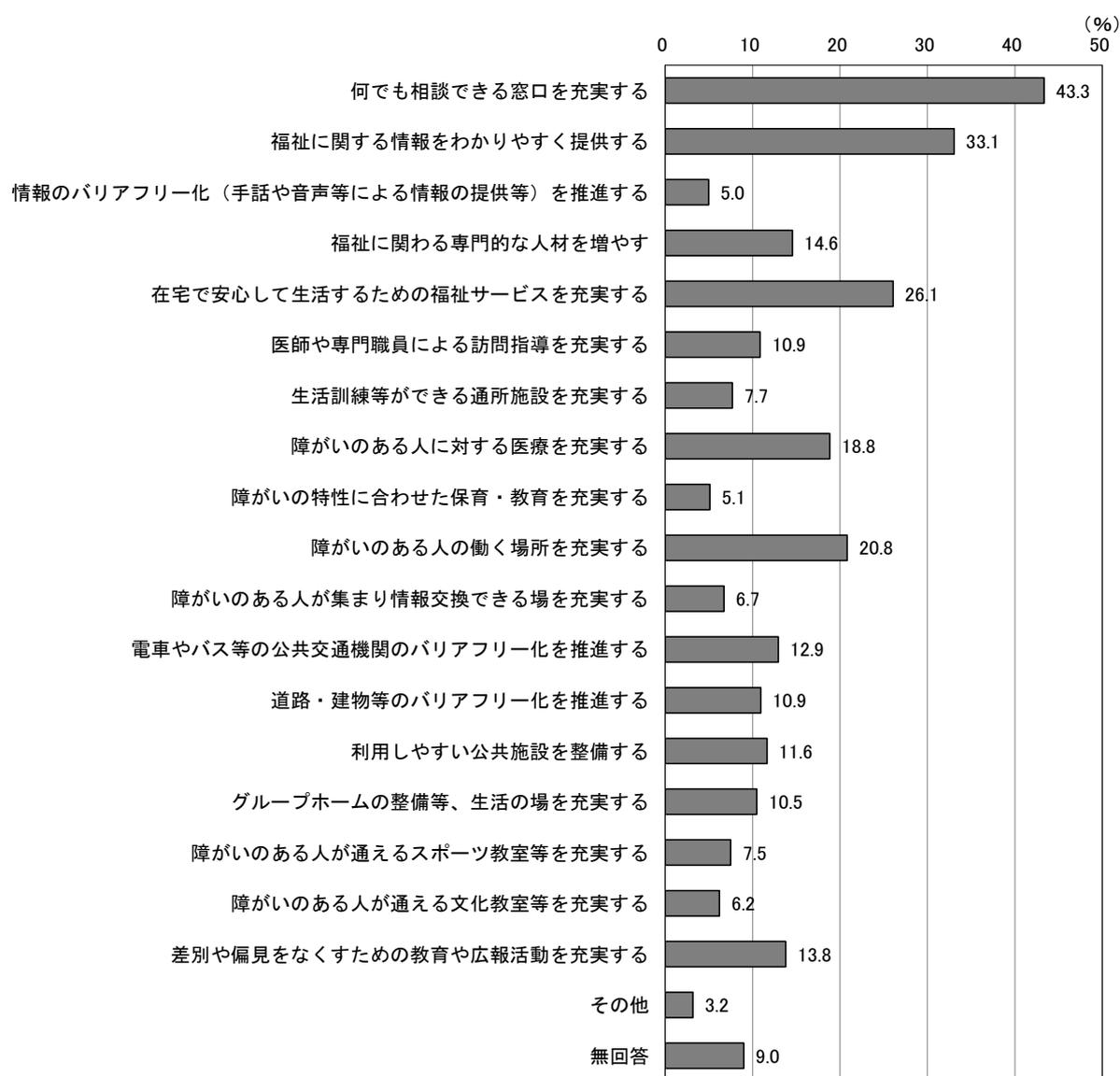
- 「交通機関が利用しにくい」が 64.6%で最も高く、次いで「生活費や医療費等にお金がかかる」が 38.8%、「福祉施設・医療機関が利用しにくい」が 34.6%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「交通機関が利用しにくい」は 4.4 ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、多くの年代で「交通機関が利用しにくい」が高くなっていますが、“30 歳代”は「障がいのある人の働く場所が少ない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「障がいのある人の働く場所が少ない」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問39-2. 印西市が暮らしにくいと感じるところ							
		地域住民の理解や協力が無い	公共施設が利用しにくい	福祉施設・医療機関が利用しにくい	交通機関が利用しにくい	段差や道幅の問題で外出しにくい	買物や外での食事が不便	在宅サービスが少ない	
全体	260 100.0	50 19.2	78 30.0	90 34.6	168 64.6	45 17.3	87 33.5	31 11.9	
年齢	18～19歳	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	20歳代	24 100.0	8 33.3	4 16.7	10 41.7	12 50.0	0 0.0	4 16.7	2 8.3
	30歳代	23 100.0	10 43.5	5 21.7	9 39.1	15 65.2	5 21.7	7 30.4	0 0.0
	40歳代	38 100.0	9 23.7	11 28.9	8 21.1	23 60.5	3 7.9	11 28.9	6 15.8
	50歳代	32 100.0	9 28.1	8 25.0	10 31.3	22 68.8	7 21.9	13 40.6	6 18.8
	60歳代	41 100.0	1 2.4	19 46.3	18 43.9	32 78.0	9 22.0	16 39.0	2 4.9
	70歳代	48 100.0	8 16.7	14 29.2	15 31.3	29 60.4	9 18.8	17 35.4	8 16.7
	80歳以上	47 100.0	3 6.4	15 31.9	18 38.3	30 63.8	10 21.3	16 34.0	7 14.9
障がいの種類	身体障がい	157 100.0	17 10.8	55 35.0	56 35.7	110 70.1	36 22.9	57 36.3	23 14.6
	知的障がい	24 100.0	5 20.8	5 20.8	7 29.2	11 45.8	2 8.3	2 8.3	2 8.3
	精神障がい	87 100.0	31 35.6	23 26.4	33 37.9	53 60.9	9 10.3	29 33.3	10 11.5

上段：人 下段：%	合計	問39-2. 印西市が暮らしにくいと感じるところ						
		通所できる施設が少ない	相談できる場所が少ない	障がいのある人の働く場所が少ない	生活費や医療費等にお金がかかる	その他	無回答	
全体	260 100.0	68 26.2	74 28.5	88 33.8	101 38.8	35 13.5	12 4.6	
年齢	18～19歳	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 0.0	0 0.0
	20歳代	24 100.0	9 37.5	9 37.5	11 45.8	8 33.3	6 25.0	2 8.3
	30歳代	23 100.0	9 39.1	12 52.2	18 78.3	12 52.2	3 13.0	0 0.0
	40歳代	38 100.0	12 31.6	15 39.5	19 50.0	18 47.4	7 18.4	0 0.0
	50歳代	32 100.0	10 31.3	11 34.4	18 56.3	21 65.6	4 12.5	0 0.0
	60歳代	41 100.0	5 12.2	9 22.0	8 19.5	12 29.3	8 19.5	1 2.4
	70歳代	48 100.0	13 27.1	8 16.7	9 18.8	15 31.3	4 8.3	4 8.3
	80歳以上	47 100.0	9 19.1	8 17.0	1 2.1	12 25.5	2 4.3	4 8.5
障がいの種類	身体障がい	157 100.0	36 22.9	29 18.5	29 18.5	47 29.9	18 11.5	9 5.7
	知的障がい	24 100.0	9 37.5	9 37.5	14 58.3	9 37.5	4 16.7	2 8.3
	精神障がい	87 100.0	28 32.2	41 47.1	51 58.6	50 57.5	14 16.1	0 0.0

- 「何でも相談できる窓口を充実する」が 43.3%で最も高く、次いで「福祉に関する情報をわかりやすく提供する」が 33.1%、「在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実する」が 26.1%の順となっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「交通機関が利用しにくい」が高くなっていますが、“20 歳代～30 歳代”は「障がいのある人の働く場所を充実する」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「グループホームの整備等、生活の場を充実する」が最も高くなっています。



(n=1,546)

上段：人 下段：%	合計	問40. 暮らしやすいまちづくりのために希望すること										
		何でも相談できる窓口を充実する	福祉に関する情報をわかりやすく提供する	情報のバリアフリー化（手話や音声等による情報の提供等）を推進する	福祉に関する専門的な人材を増やす	在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実する	医師や専門職員による訪問指導を充実する	生活訓練等ができる通所施設を充実する	障がいのある人に対する医療を充実する	障がいの特性に合わせた保育・教育を充実する	障がいのある人の働く場所を充実する	
全体	1546 100.0	670 43.3	511 33.1	77 5.0	225 14.6	403 26.1	168 10.9	119 7.7	291 18.8	79 5.1	322 20.8	
年齢	18～19歳	15 100.0	3 20.0	5 33.3	1 6.7	3 20.0	1 6.7	1 20.0	3 26.7	4 33.3	5 53.3	
	20歳代	107 100.0	40 37.4	22 20.6	4 3.7	16 15.0	11 10.3	6 5.6	10 9.3	16 15.0	12 11.2	
	30歳代	122 100.0	52 42.6	34 27.9	7 5.7	22 18.0	11 9.0	4 3.3	14 11.5	24 19.7	17 13.9	
	40歳代	159 100.0	71 44.7	60 37.7	9 5.7	30 18.9	26 16.4	10 6.3	10 6.3	29 18.2	15 9.4	
	50歳代	172 100.0	75 43.6	62 36.0	13 7.6	25 14.5	44 25.6	14 8.1	14 8.1	42 24.4	4 2.3	
	60歳代	265 100.0	128 48.3	101 38.1	13 4.9	38 14.3	69 26.0	24 9.1	13 4.9	66 24.9	10 3.8	
	70歳代	377 100.0	159 42.2	137 36.3	17 4.5	50 13.3	133 35.3	51 13.5	34 9.0	71 18.8	7 1.9	
	80歳以上	312 100.0	134 42.9	87 27.9	13 4.2	38 12.2	107 34.3	56 17.9	21 6.7	37 11.9	8 2.6	
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	457 42.3	387 35.8	65 6.0	137 12.7	327 30.2	130 12.0	82 7.6	201 18.6	39 3.6
知的障がい		163 100.0	68 41.7	34 20.9	3 1.8	38 23.3	21 12.9	6 3.7	18 11.0	28 17.2	18 11.0	
精神障がい		307 100.0	150 48.9	92 30.0	9 2.9	47 15.3	56 18.2	28 9.1	26 8.5	72 23.5	21 6.8	

上段：人 下段：%	合計	問40. 暮らしやすいまちづくりのために希望すること										
		障がいのある人が集まり情報交換できる場を充実する	電車やバス等の公共交通機関のバリアフリー化を推進する	道路・建物等のバリアフリー化を推進する	利用しやすい公共施設を整備する	グループホームの整備等、生活の場を充実する	障がいのある人が通えるスポーツ教室等を充実する	障がいのある人が通える文化教室等を充実する	差別や偏見をなくすための教育や広報活動を充実する	その他	無回答	
全体	1546 100.0	104 6.7	200 12.9	169 10.9	180 11.6	162 10.5	116 7.5	96 6.2	213 13.8	49 3.2	139 9.0	
年齢	18～19歳	15 100.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	9 60.0	4 26.7	1 6.7	3 20.0	0 0.0	
	20歳代	107 100.0	13 12.1	9 8.4	7 6.5	8 7.5	38 35.5	16 15.0	11 10.3	34 31.8	2 1.9	
	30歳代	122 100.0	11 9.0	9 7.4	7 5.7	10 8.2	29 23.8	12 9.8	6 4.9	35 28.7	6 4.9	
	40歳代	159 100.0	12 7.5	16 10.1	11 6.9	16 10.1	24 15.1	14 8.8	12 7.5	32 20.1	11 6.9	
	50歳代	172 100.0	12 7.0	25 14.5	24 14.0	24 14.0	18 10.5	15 8.7	12 7.0	22 12.8	8 4.7	
	60歳代	265 100.0	18 6.8	43 16.2	33 12.5	33 12.5	10 3.8	23 8.7	21 7.9	32 12.1	12 4.5	
	70歳代	377 100.0	21 5.6	56 14.9	40 10.6	53 14.1	14 3.7	22 5.8	17 4.5	30 8.0	4 1.1	
	80歳以上	312 100.0	17 5.4	39 12.5	42 13.5	34 10.9	19 6.1	10 3.2	16 5.1	21 6.7	6 1.9	
	障がいの種類	身体障がい	1081 100.0	62 5.7	163 15.1	137 12.7	143 13.2	59 5.5	77 7.1	67 6.2	109 10.1	25 2.3
知的障がい		163 100.0	12 7.4	9 5.5	6 3.7	12 7.4	82 50.3	29 17.8	11 6.7	45 27.6	5 3.1	
精神障がい		307 100.0	29 9.4	26 8.5	23 7.5	23 7.5	31 10.1	13 4.2	18 5.9	66 21.5	22 7.2	

○自由意見として、397人から、495件の回答がありました。主な内容は次のとおりです。

主な意見	件数
交通・移動支援 等 ◇バスの本数が少なすぎて、日常の買物や通院時に利用できない。 ◇車の免許がないので、市役所に仕事の相談など遠くて行かない。 ◇電動車椅子利用者でも利用できるタクシーを充実させてほしい。タクシー券があっても車いすが乗せられず、乗車拒否されてしまい、困ってしまうケースが多い。 ◇交通機関が利用しにくい為、市役所近辺の公共施設の利用ができない。 ◇今は車の運転ができていますので行動しやすいが、免許返納後の買い物や通院が不便。 ◇市民の高齢化が進むことが確実視されている現在、移動手段の革新が必要。	61件
行政・行政施策 等 ◇印西市は福祉にもっと力を入れてほしい。 ◇精神障害者保健福祉手帳を所持していても、活用することがない。 ◇発達障がいは、まだ他の障がいに比べて対応が遅れているところが多い。 ◇郵便物に障がい者関連書類と明記してほしい。 ◇市役所（人によって）の方の接し方があまり良いと感じない。 ◇千葉県が実施している「障害者用駐車場利用証」が十分に認知されていない。一般の広報活動を充実させることに加え、障害者用駐車場での「利用証」提示を求める看板、専用コーンの配置が必要。	59件
相談・情報提供 等 ◇障がいに応じて利用できる制度等を紹介したパンフレットやしおりを定期的に送ってほしい。制度も変わっていくので、新しい情報がほしい。 ◇なんでも相談できる窓口があると良い。 ◇どこで情報が得られるか、相談ができるか分からない。 ◇障がい者に関する情報をもっと発信してほしい。 ◇補聴器の提供を受けているが、他の医療器具、補装具に関する情報がほしい。 ◇高齢者は、情報ツール（スマホ、パソコン）の利用に不得手で、町内会にまわってくる回覧板が唯一。しかし、自治会に加入していないと、回覧板が回ってこない。紙媒体はどんな時代になっても必要だと考える。	53件
不安・心配・困り事 等 ◇現在は子どもの協力を受け普通に生活をしているが、急に倒れた場合のことを考えると、子どもの勤務、体の負担などが気になる。 ◇今後ひとりになった時、印西市で暮らしていけるか不安。 ◇将来、介護が必要になった場合の経済的負担が心配。施設入所が必要になった場合、入所できる施設があるのか不安。 ◇軽度の障がいであり、不都合は感じていないが、外出時（1人で）の交通事故に対する心配がある。 ◇親亡き後に何の心配もなく安心して過ごせる印西市にしてほしい。 ◇障がいのある人の働く場所が少なく、子どもの学費などの返済ができない。働く場所があったとしても、障がいに対する偏見や差別が気になり、仕事を見つけたとしても見つけづらい。体力についても心配があり、長時間働けるかが不安である。	49件

感謝・印西市の良いところ 等	49 件
<p>◇障がい者に対する手厚い助成等が行われており、感謝している。また、障がい福祉課の皆様をはじめ、丁寧に説明していただき感謝している。</p> <p>◇障がい福祉課の窓口に行くことが度々あるが、筆談をしてくれるからいつも助かっている。</p> <p>◇市の障がい課の職員の方々は、前向きに対応されていると感じる。</p> <p>◇電話や窓口でゆっくり分かりやすく説明していただき、また、窓口に行くのが難しい場合でも代替案や郵送等でやり取りができるので、ありがたい。</p> <p>◇いんば障がい者相談センターの支援員にとっても助けられている。</p>	
雇用・就労 等	26 件
<p>◇障がいのある人の働く場所が少ないため、働きたくてもなかなか働く場所がない。</p> <p>◇発達障がいや精神疾患患者のための居場所になり得る場や、働く場所が少ない。</p> <p>◇就労継続支援施設が増えると良い。</p> <p>◇障害のある人の働く場所を、公共の通勤手段も含めて充実させて欲しい。</p> <p>◇障がい者の働く場所、職種が少なく、あっても条件が合わない。</p>	
行政手続き 等	24 件
<p>◇本庁でしかできない障がい福祉課の手続きを、出張所やオンライン等でできるようにしてほしい。</p> <p>◇障がい福祉課は平日しか開庁していないため、来庁が困難である。市民課のように土日にも開庁するか、ネットを活用した手続きを拡充してほしい。</p> <p>◇申請書類が大変なので、WEB 申請ができると良い。</p> <p>◇市役所の本庁でしか出来ない障がい福祉課の手続きを、出張所やオンライン等で出来るようにしてほしい。</p>	
医療・医療的ケア 等	24 件
<p>◇病院数をもっと増やしてほしいし、カウンセリングも安価にできる病院がほしい。</p> <p>◇病院を探す際に、印西市ではほとんど見つからず、あったとしても遠いうえに予約でいっぱい、3ヶ月待ちが当たり前であった。</p> <p>◇救急で日医大行きたくても断られる。印西市にあるのに印西市民が断られるのは残念である。</p> <p>◇医療的ケアが必要な人の通える施設がゼロである。</p>	
障害福祉サービス 等	22 件
<p>◇障がい者の高齢化によりグループホームや施設の不足が考えられる。早めに生活の場を充実していただきたい。</p> <p>◇入所施設・グループホーム等が少なく、選ぶことができない。</p> <p>◇子どもが不自由でも障がいの程度が低いと判断されて、車いすなどの貸与が受けられず、自費で購入せざるを得ない。外出時に移動で時間がかかり疲れてしまうため、外出するのを控えている電動の車いす、シニアカーなどの貸し出しをお願いしたい。</p> <p>◇視覚障害者専用グループホームを増やしてほしい。</p>	
バリアフリー 等	22 件
<p>◇車いすのまま入れる医療機関を増やしてほしい。</p> <p>◇横断歩道等に視覚障がい者向けの音声してほしい。</p> <p>◇公共のバスを車いすで自由に乗車できるようにしてほしい。</p> <p>◇JR 木下駅から広がる歩道等が狭く、ひっきりなしに段差がある。</p>	

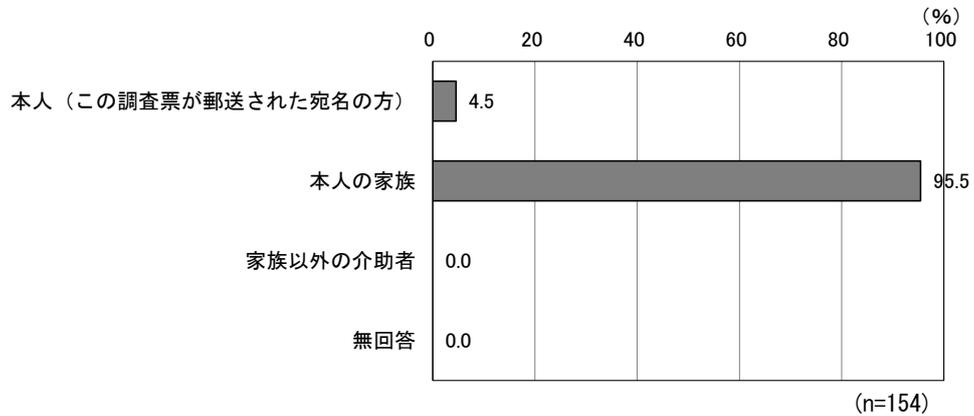
経済的援助・経済的負担 等	18 件
<p>◇生活費など金銭面がとても苦しい。特に医療費や薬代がとてもかかるから、何とかしてほしい。</p> <p>◇鉄道路線利用時の料金について、市から補助を受けられるようにしてほしい。</p> <p>◇物価高騰しているので、このままでは生活できなくなる。</p> <p>◇聴覚の障がいがあり、補聴器が非常に高額なことから、年齢を問わず購入の際に補助があると助かる。</p>	
アンケートについて 等	11 件
<p>◇アンケート内容が多すぎる。提出する人が困難。</p> <p>◇高齢者なので質問が細かく、多くて困っていた。</p> <p>◇視覚障がいの私にとっては、文字の大きい文面にしてほしい。</p>	
介護・介助 等	10 件
<p>◇通院が伴うケースが多く、介助者がいないと家族が仕事を休む事になる。通院が多くなれば家族は仕事を続けられない。</p> <p>◇障がいと要介護状態が重なると、本人と家族の負担が大きいので、その点更なる支援をいただければありがたい。</p> <p>◇8050 問題で障害者本人が親の介護をしているケースの支援を至急お願いしたい。</p>	
マナー・周知・啓発 等	9 件
<p>◇駐車場で車いすマークの所に、一般の人が停めていることが多い。注意喚起の記載をお願いしたい。</p> <p>◇車いす利用の駐車場も不足している。そのうえ、健常者が利用しているのが目立つ。</p>	
期待 等	8 件
<p>◇障がい者、健常者共に支え合える安全で安心なまちづくりを期待する。</p> <p>◇これからも暮らしやすい都市を目指していただきたい。</p>	
防災 等	7 件
<p>◇障がい者の避難場所の確保。</p> <p>◇災害、地震発生時の人工透析器の安定のための支援が必要。</p>	
将来の生活 等	6 件
<p>◇今の所、あまり困ったことはないが、この先年を取って「自分でできなくなったら」と、少し思う様になった。</p>	
教育 等	6 件
<p>◇小さい時から(小・中学校)障がいのある子もない子と一緒に学べる環境が良いと思う。</p>	
交流 等	6 件
<p>◇生きがいを感じられるように障がい者でも利用できるスポーツ教室など趣味を充実させるサービスを展開するのも重要。</p>	
その他 等	25 件
<p>◇近年交通量が増え、特に大型車なので歩行者、自転車での外出時に非常に危険を感じる。</p> <p>◇大型ショップが多いが、障害者専用駐車が少ない。見た目には障害者と分からないので、どんな場においても配慮して頂けず、辛い思いをする。</p> <p>◇選挙の投票場が遠く、体調の悪い時等は困っている。投票場へ近くで行けるよう、数を増やす等の対応をお願いしたい。</p>	

### Ⅲ 障がい児アンケート

#### 1. あなたのことについて

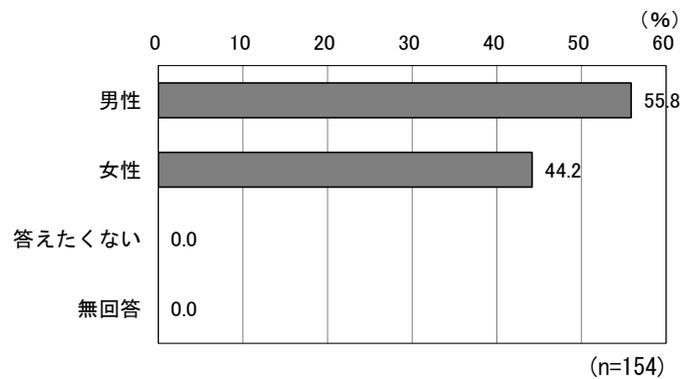
問1. 調査票の記入者

【SA】



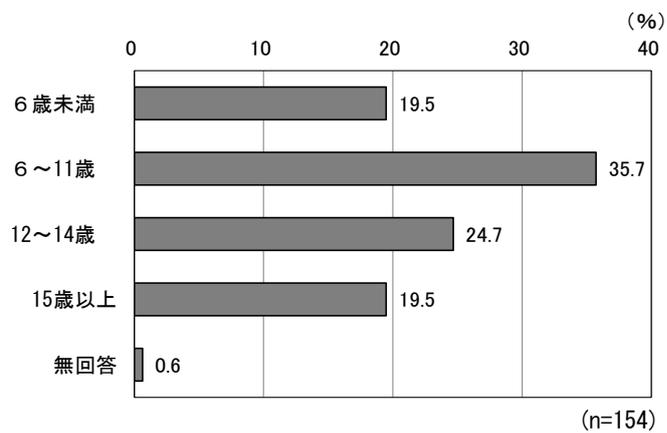
問2. 性別

【SA】



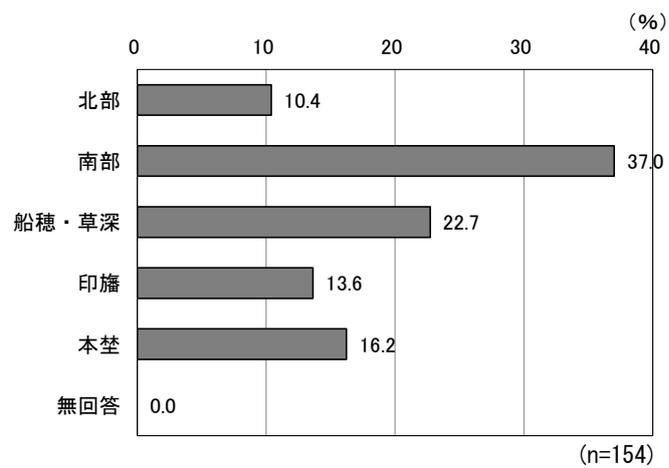
問3. 年齢

【SA】



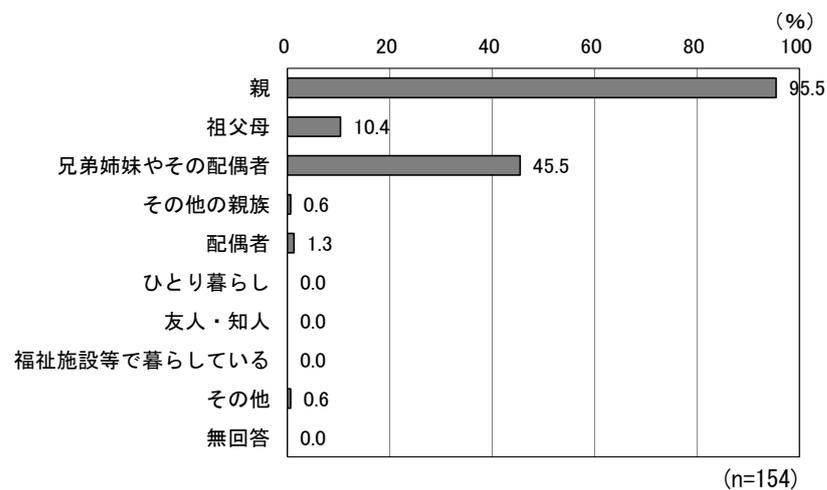
問4. 居住地

【SA】



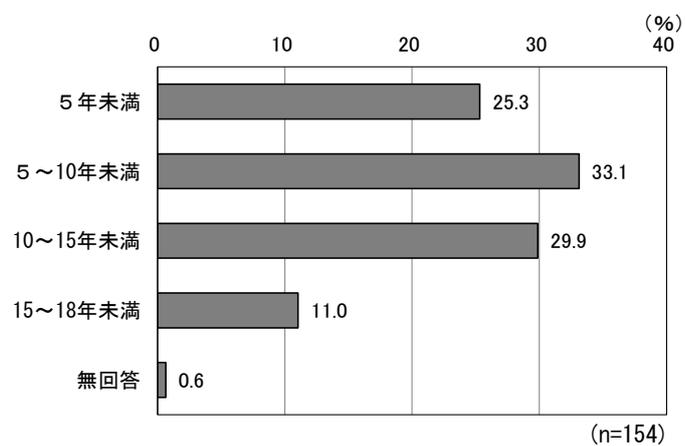
問5. 同居者

【SA】



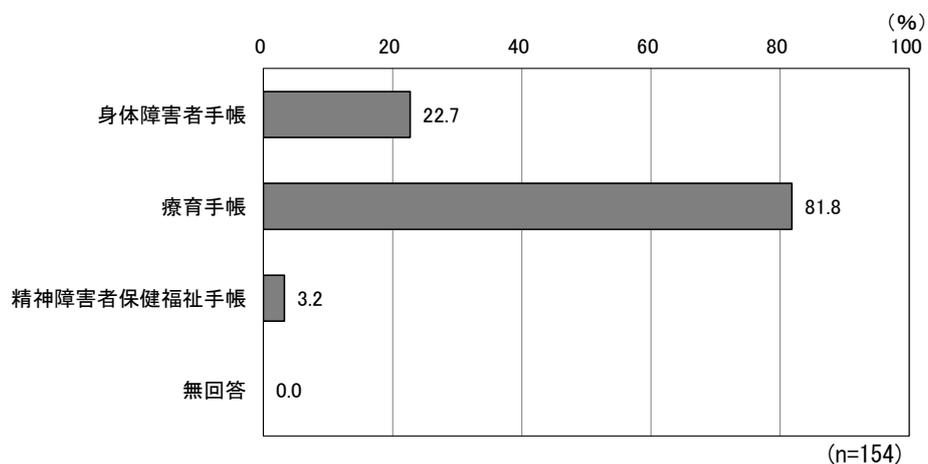
問6. 印西市の居住年数

【SA】



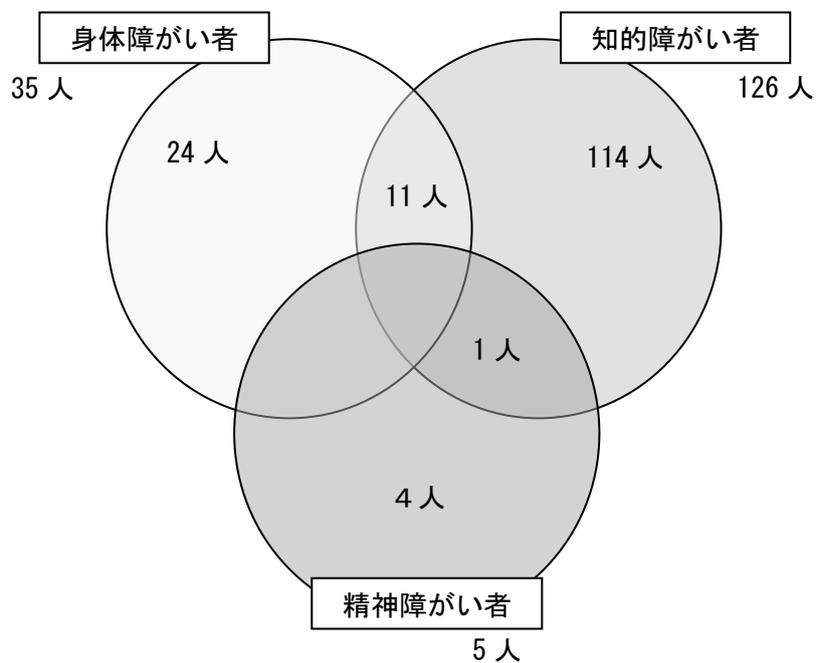
○「療育手帳」が81.8%で最も高く、次いで「身体障害者手帳」が22.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が3.2%の順となっています。

○年齢別にみると、すべての年代で「療育手帳」が最も高くなっていますが、“6歳未満”は「身体障害者手帳」の割合も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問7. 持っている手帳の種類				
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答	
全体	154 100.0	35 22.7	126 81.8	5 3.2	0 0.0	
年齢	6歳未満	30 100.0	12 40.0	22 73.3	0 0.0	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	13 23.6	46 83.6	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	5 13.2	33 86.8	3 7.9	0 0.0
	15歳以上	30 100.0	5 16.7	24 80.0	2 6.7	0 0.0

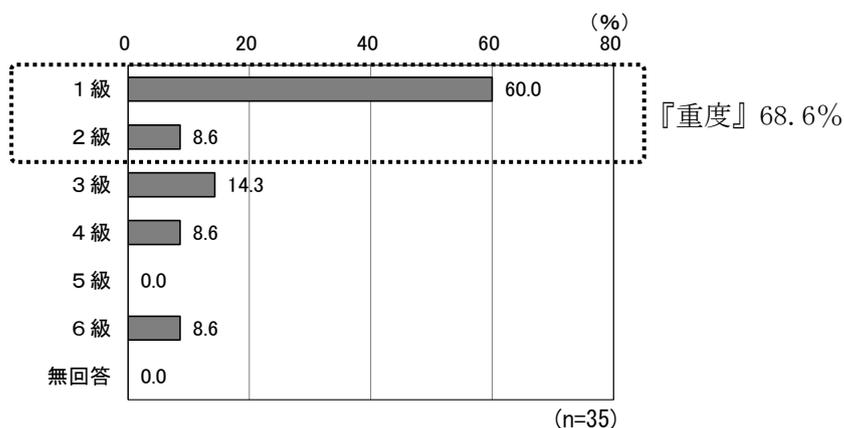
- 3種の障がいの状況をベン図で示すと次のとおりです。
- 身体障がい者が 35 人、知的障がい者が 126 人、精神障がい者が 5 人となっています。
- 重複については、「身体障がい」と「知的障がい」が 11 人、「知的障がい」と「精神障がい」が 1 人となっています。



(問7において「身体障害者手帳」を回答した方限定)

○「身体障害者手帳1級」が60.0%で最も高く、「身体障害者手帳2級」の8.6%と合わせた『重度』は、68.6%となっています。

○年齢別にみると、『重度』は“6歳未満”が66.6%で最も高くなっています。

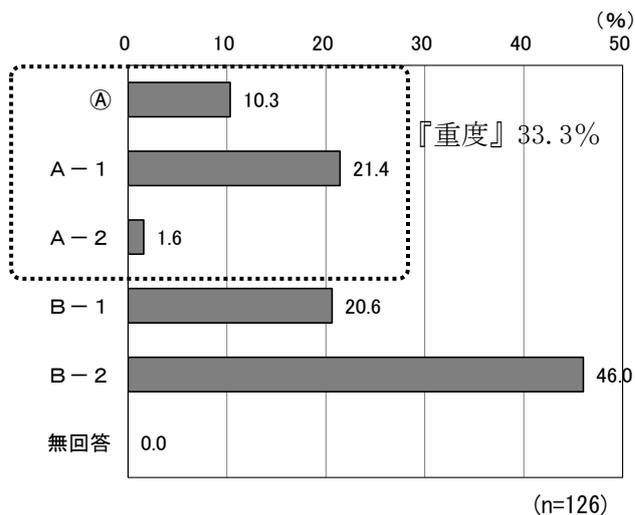


〔上段：人 下段：%〕		合計	問7①. 身体障害者手帳の等級						
			1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		35 100.0	21 60.0	3 8.6	5 14.3	3 8.6	0 0.0	3 8.6	0 0.0
年齢	6歳未満	12 100.0	7 58.3	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	6～11歳	13 100.0	5 38.5	2 15.4	1 7.7	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0 0.0
	12～14歳	5 100.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	15歳以上	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(問7において「療育手帳」を回答した方限定)

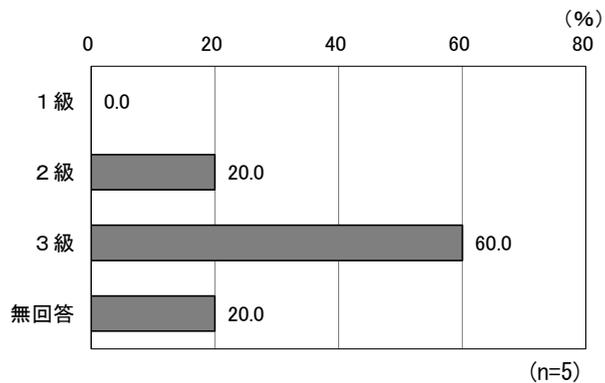
○「B-2」が46.0%で最も高くなっています。なお、「Ⓐ～A2」までの『重度』は33.3%となっています。

○年齢別にみると、数が少なく参考となりますが、『重度』は“15歳以上”が41.6%で比較的高くなっています。



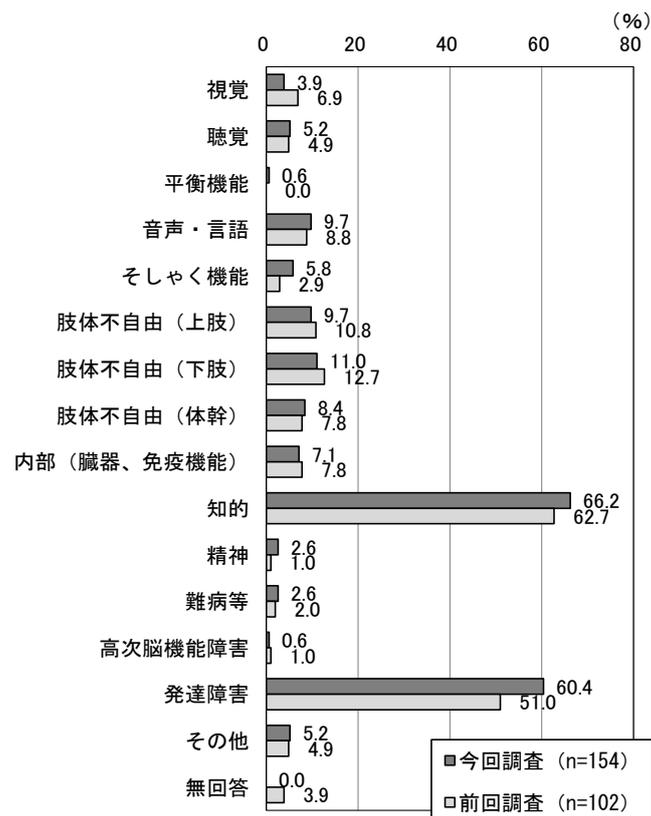
上段：人 下段：%		合計	問7②. 療育手帳の等級					無回答
			Ⓐ	A-1	A-2	B-1	B-2	
全体		126	13	27	2	26	58	0
		100.0	10.3	21.4	1.6	20.6	46.0	0.0
年齢	6歳未満	22	4	3	0	5	10	0
		100.0	18.2	13.6	0.0	22.7	45.5	0.0
	6～11歳	46	4	10	2	10	20	0
		100.0	8.7	21.7	4.3	21.7	43.5	0.0
	12～14歳	33	3	6	0	6	18	0
		100.0	9.1	18.2	0.0	18.2	54.5	0.0
	15歳以上	24	2	8	0	5	9	0
		100.0	8.3	33.3	0.0	20.8	37.5	0.0

○回答数が少なく参考となりますが、「3級」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%		合計	問7③. 精神障害者保健福祉手帳の等級			
			1級	2級	3級	無回答
全体		5 100.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0
年齢	6歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	6～11歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
	15歳以上	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0

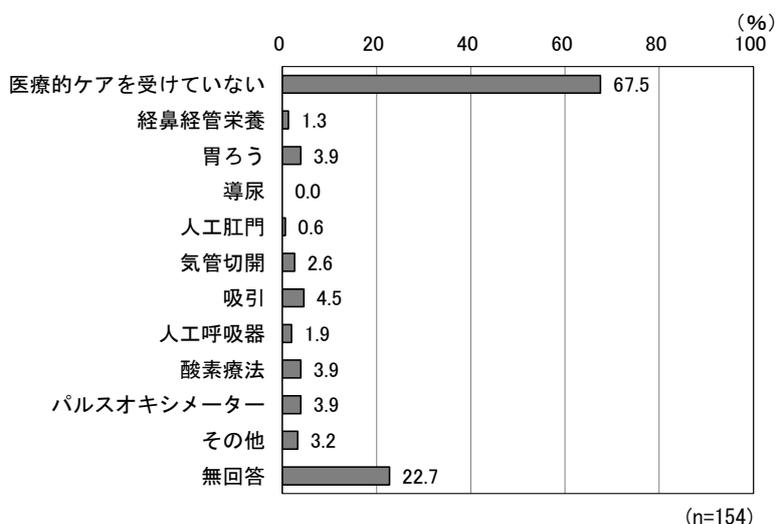
- 「知的」が 66.2% で最も高く、次いで「発達障害」が 60.4%、「肢体不自由（下肢）」が 11.0% の順となっています。
- 前回調査に比べ、「知的」が 3.5 ポイント、「発達障害」が 9.4 ポイント増加しています。
- 性別にみると、「男性」は「発達障害」、「女性」は「知的」が高くなっています。
- 年齢別にみると、「6 歳未満」「6～14 歳」は「知的」、「15 歳以上」は「発達障害」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問8. 障がいの種類							
			視覚	聴覚	平衡機能	音声・言語	そしゃく機能	肢体不自由（上肢）	肢体不自由（下肢）	肢体不自由（体幹）
全体		154 100.0	6 3.9	8 5.2	1 0.6	15 9.7	9 5.8	15 9.7	17 11.0	13 8.4
性別	男性	86 100.0	5 5.8	4 4.7	0 0.0	7 8.1	5 5.8	6 7.0	7 8.1	5 5.8
	女性	68 100.0	1 1.5	4 5.9	1 1.5	8 11.8	4 5.9	9 13.2	10 14.7	8 11.8
年齢	6歳未満	30 100.0	3 10.0	5 16.7	0 0.0	4 13.3	4 13.3	4 13.3	4 13.3	5 16.7
	6～11歳	55 100.0	1 1.8	2 3.6	0 0.0	4 7.3	1 1.8	5 9.1	6 10.9	4 7.3
	12～14歳	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	4 10.5	4 10.5	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3	6 20.0	3 10.0	2 6.7	3 10.0	3 10.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	5 14.3	8 22.9	1 2.9	6 17.1	8 22.9	15 42.9	15 42.9	11 31.4
	知的障がい	126 100.0	3 2.4	3 2.4	0 0.0	10 7.9	4 3.2	6 4.8	8 6.3	6 4.8
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

〔上段：人 下段：％〕		合計	問8. 障がいの種類							
			内部（臓器、免疫機能）	知的	精神	難病等	高次脳機能障害	発達障害	その他	無回答
全体		154 100.0	11 7.1	102 66.2	4 2.6	4 2.6	1 0.6	93 60.4	8 5.2	0 0.0
性別	男性	86 100.0	2 2.3	52 60.5	2 2.3	0 0.0	0 0.0	58 67.4	5 5.8	0 0.0
	女性	68 100.0	9 13.2	50 73.5	2 2.9	4 5.9	1 1.5	35 51.5	3 4.4	0 0.0
年齢	6歳未満	30 100.0	3 10.0	21 70.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	18 60.0	3 10.0	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	4 7.3	37 67.3	1 1.8	3 5.5	1 1.8	30 54.5	2 3.6	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	25 65.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0	24 63.2	0 0.0	0 0.0
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	19 63.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	20 66.7	3 10.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	11 31.4	17 48.6	0 0.0	3 8.6	0 0.0	11 31.4	2 5.7	0 0.0
	知的障がい	126 100.0	3 2.4	95 75.4	4 3.2	1 0.8	1 0.8	83 65.9	8 6.3	0 0.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0

○「医療的ケア」を受けていないが67.5%で最も高くなっています。なお、受けている医療的ケアの内容としては、「吸引」が最も高くなっています。

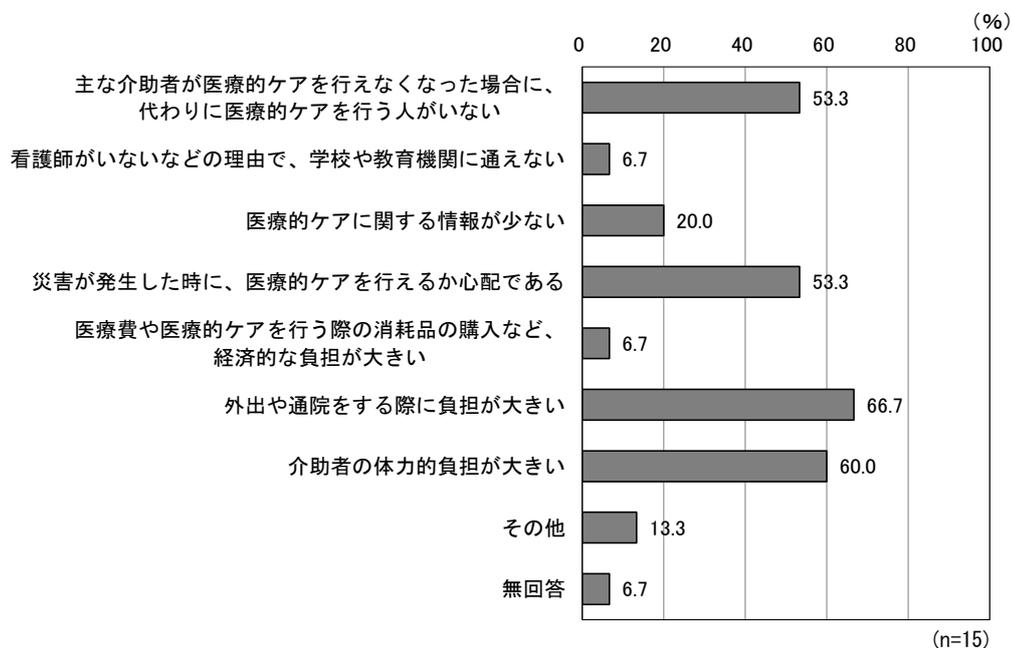


上段：人 下段：%	合計	問9. 現在在宅で受けている医療的ケア						
		医療的ケアを受けていない	経鼻経管栄養	胃ろう	導尿	人工肛門	気管切開	
全体	154 100.0	104 67.5	2 1.3	6 3.9	0 0.0	1 0.6	4 2.6	
年齢	6歳未満	30 100.0	21 70.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	42 76.4	1 1.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	26 68.4	0 0.0	2 5.3	0 0.0	0 0.0	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	15 50.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	20 57.1	2 5.7	6 17.1	0 0.0	1 2.9	4 11.4
	知的障がい	126 100.0	86 68.3	1 0.8	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：人 下段：%	合計	問9. 現在在宅で受けている医療的ケア						
		吸引	人工呼吸器	酸素療法	パルスオキシメーター	その他	無回答	
全体	154 100.0	7 4.5	3 1.9	6 3.9	6 3.9	5 3.2	35 22.7	
年齢	6歳未満	30 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	4 13.3
	6～11歳	55 100.0	3 5.5	2 3.6	2 3.6	2 3.6	1 1.8	10 18.2
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	9 23.7
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	0 0.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	11 36.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	7 20.0	3 8.6	6 17.1	5 14.3	4 11.4	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	1 0.8	0 0.0	2 1.6	2 1.6	1 0.8	34 27.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0

(在宅での医療的ケアを受けている方限定)

○回答数が少なく参考となりますが、「外出や通院をする際に負担が大きい」が 66.7%で最も高くなっています。



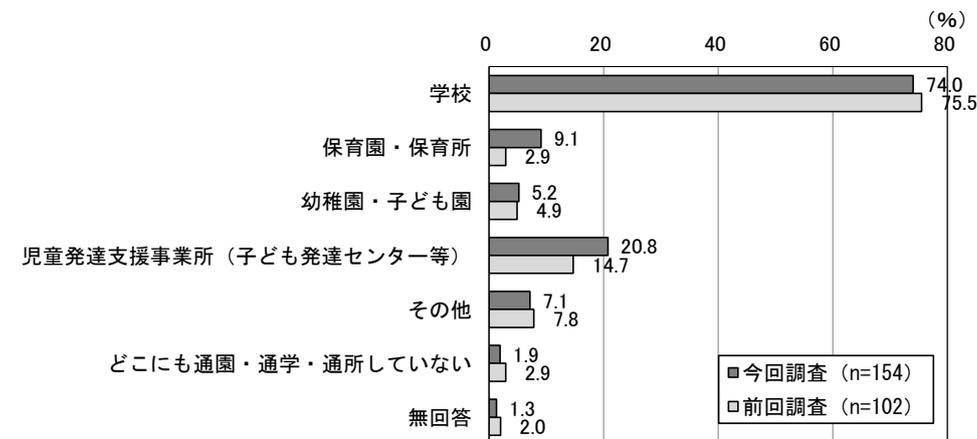
	合計	問9-1. 在宅での医療的ケアで困っていること									
		主な介助者が医療的ケアを行えなくなった場合に、代わりに医療的ケアを行う人がいない	看護師がいないなどの理由で、学校や教育機関に通えない	医療的ケアに関する情報が少ない	災害が発生した時に、医療的ケアを行えるか心配である	医療費や医療的ケアを行う際の消耗品の購入など、経済的な負担が大きい	外出や通院をする際に負担が大きい	介助者の体力的負担が大きい	その他	無回答	
全体	15 100.0	8 53.3	1 6.7	3 20.0	8 53.3	1 6.7	10 66.7	9 60.0	2 13.3	1 6.7	
年齢	6歳未満	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0
	6～11歳	3 100.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0	1 33.3	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
	15歳以上	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
障がいの種類	身体障がい	13 100.0	8 61.5	1 7.7	2 15.4	8 61.5	1 7.7	9 69.2	8 61.5	2 15.4	1 7.7
	知的障がい	6 100.0	3 50.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 2. 住まいや暮らしについて

### 問 10. 日中、通園・通学・通所しているところ

【MA】

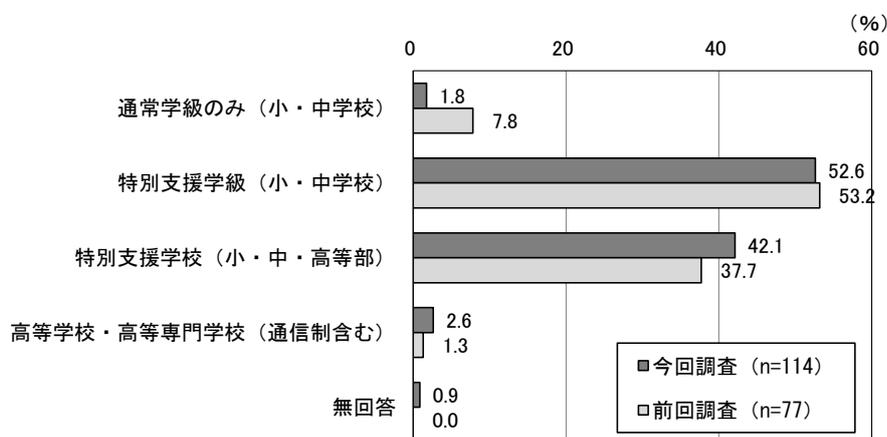
- 「学校」が74.0%で最も高く、次いで「児童発達支援事業所（子ども発達センター等）」が20.8%、「保育園・保育所」が9.1%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「児童発達支援事業所（子ども発達センター等）」が6.1ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“6歳未満”は「児童発達支援事業所（子ども発達センター等）」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問10. 日中、通園・通学・通所しているところ							
		学校	保育園・保育所	幼稚園・子ども園	児童発達支援事業所 (子ども発達センター等)	その他	どこにも通園・通学・通所していない	無回答	
全体	154 100.0	114 74.0	14 9.1	8 5.2	32 20.8	11 7.1	3 1.9	2 1.3	
年齢	6歳未満	30 100.0	0 0.0	13 43.3	5 16.7	22 73.3	3 10.0	2 6.7	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	50 90.9	1 1.8	3 5.5	7 12.7	2 3.6	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	35 92.1	0 0.0	0 0.0	1 2.6	4 10.5	0 0.0	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	28 93.3	0 0.0	0 0.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	20 57.1	4 11.4	1 2.9	9 25.7	3 8.6	3 8.6	0 0.0
	知的障がい	126 100.0	96 76.2	11 8.7	7 5.6	28 22.2	8 6.3	1 0.8	2 1.6
	精神障がい	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

(問 10 において「学校」を回答した方限定)

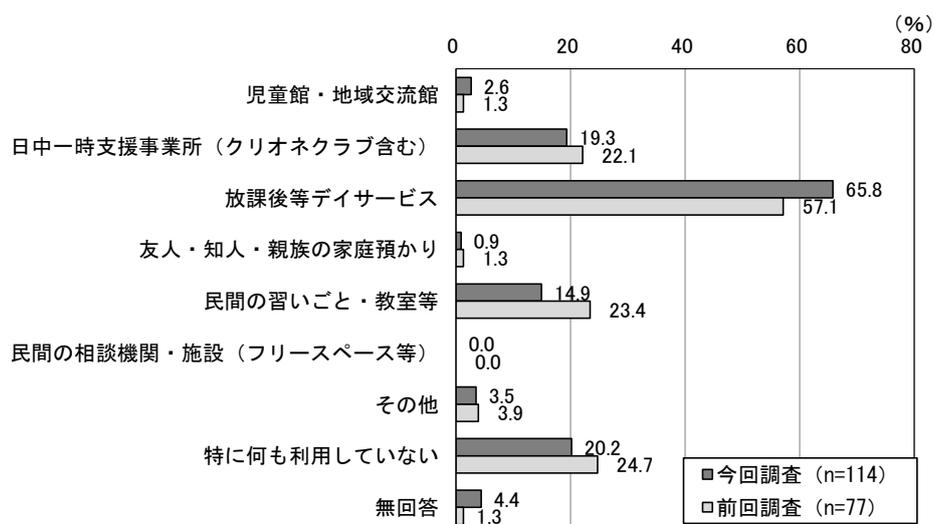
- 「特別支援学級（小・中学校）」が 52.6% で最も高く、次いで「特別支援学校（小・中・高等部）」が 42.1%、「高等学校・高等専門学校（通信制含む）」が 2.6% の順となっています。
- 前回調査に比べ、「通常学級のみ（小・中学校）」が 6.0 ポイント減少しています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問10-1. 現在在籍している学校・学級				無回答
			通常学級のみ (小・中 学校)	特別支援 学級 (小・中 学校)	特別支援 学校 (小・ 中・高等 部)	高等学 校・高等 専門学校 (通信制 含む)	
全体		114 100.0	2 1.8	60 52.6	48 42.1	3 2.6	1 0.9
年齢	6～11歳	50 100.0	2 4.0	28 56.0	20 40.0	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	35 100.0	0 0.0	25 71.4	9 25.7	0 0.0	1 2.9
	15歳以上	28 100.0	0 0.0	7 25.0	18 64.3	3 10.7	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	20 100.0	2 10.0	4 20.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	96 100.0	0 0.0	54 56.3	40 41.7	1 1.0	1 1.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0

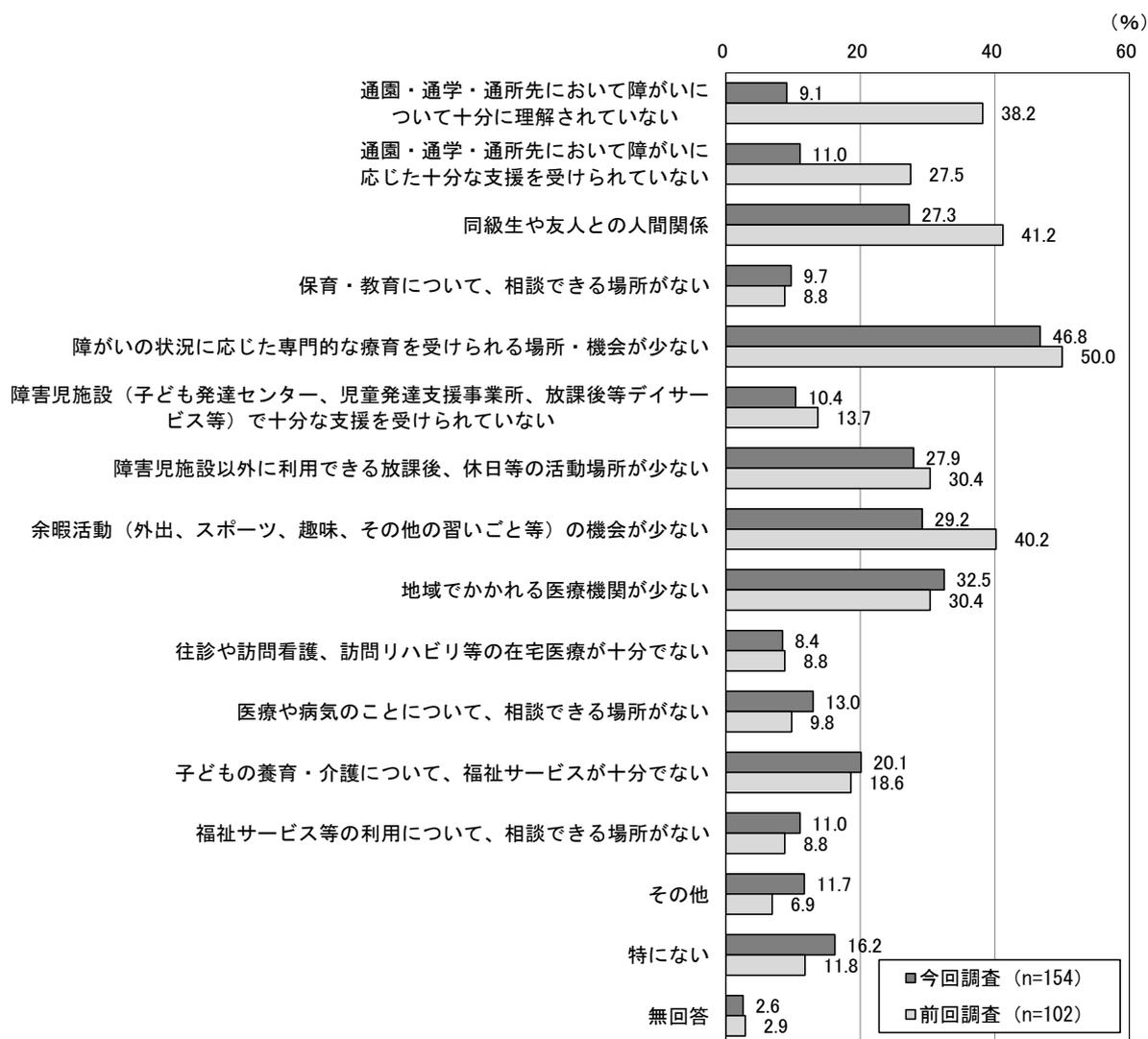
(問 10 において「学校」を回答した方限定)

- 「放課後デイサービス」が 65.8%で最も高く、次いで「特に何も利用していない」が 20.2%、「日中一時支援事業所（クリオネクラブ含む）」が 19.3%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「放課後等デイサービス」が 8.7 ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、すべての年代で「放課後等デイサービス」が最も高くなっており、なかでも“6～11 歳”は 78.0%となっています。



上段：人 下段：%		合計	問10-2. 学校以外で利用しているサービス、施設等							特に何も利用していない	無回答
			児童館・地域交流館	日中一時支援事業所 (クリオネクラブ含む)	放課後等デイサービス	友人・知人・親族の家庭預かり	民間の習いごと・教室等	民間の相談機関・施設 (フリースペース等)	その他		
全体	114	114	3	22	75	1	17	0	4	23	5
	100.0	100.0	2.6	19.3	65.8	0.9	14.9	0.0	3.5	20.2	4.4
年齢	6～11歳	50	2	12	39	0	9	0	2	5	1
		100.0	4.0	24.0	78.0	0.0	18.0	0.0	4.0	10.0	2.0
	12～14歳	35	1	5	23	1	5	0	1	8	0
	100.0	2.9	14.3	65.7	2.9	14.3	0.0	2.9	22.9	0.0	
	15歳以上	28	0	5	13	0	3	0	1	9	4
	100.0	0.0	17.9	46.4	0.0	10.7	0.0	3.6	32.1	14.3	
障がいの種類	身体障がい	20	1	5	14	1	4	0	2	2	0
		100.0	5.0	25.0	70.0	5.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	知的障がい	96	1	19	66	1	13	0	1	19	5
	100.0	1.0	19.8	68.8	1.0	13.5	0.0	1.0	19.8	5.2	
	精神障がい	5	1	0	2	0	0	0	1	2	0
	100.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	

- 「障がいの状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない」が 46.8%で最も高く、次いで「地域でかかれる医療機関が少ない」が 32.5%、「余暇活動（外出、スポーツ、趣味、その他の習いごと等）の機会が少ない」が 29.2%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「通園・通学・通所先において障がいについて十分に理解されていない」が 29.1ポイント、「通園・通学・通所先において障がいに応じた十分な支援を受けられていない」が 16.5ポイント減少しています。
- 年齢別にみると、すべての年代で「障がいの状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない」が最も高いものの、“6歳未満”は「子どもの養育・介護について、福祉サービスが十分でない」も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「子どもの養育・介護について、福祉サービスが十分でない」、「知的障がい」「精神障がい」は「障がいの状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない」が最も高くなっています。

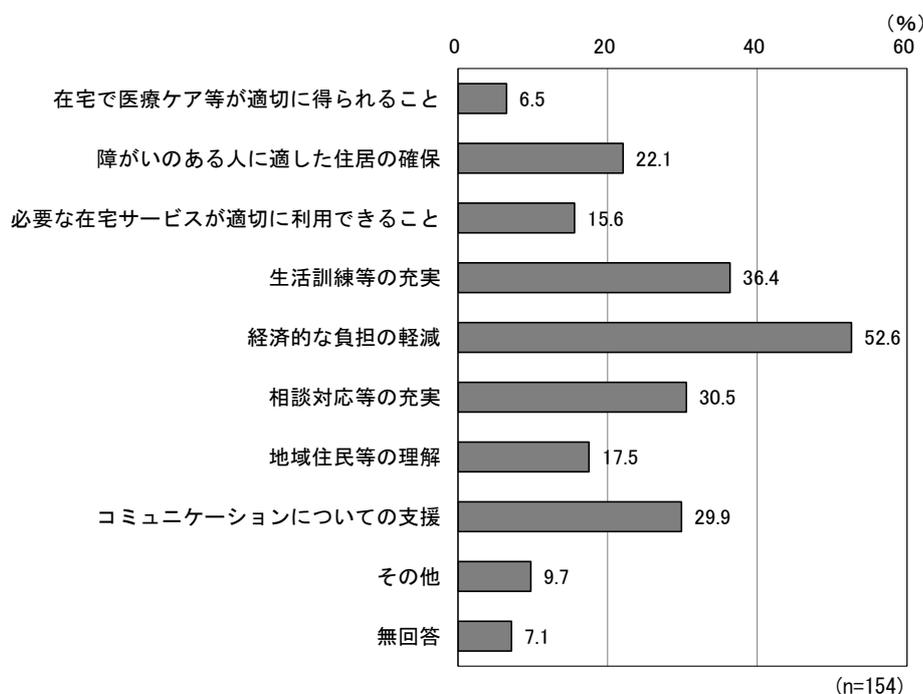


上段：人 下段：%	合計	問11. 日常生活で不安や課題と感じていること								
		通園・通学・通所先において障がいについて十分に理解されていない	通園・通学・通所先において障がいに応じた十分な支援を受けていない	同級生や友人との人間関係	保育・教育について、相談できる場所がない	障がいの状況に応じた専門的な療養を受けられる場所・機会が少ない	障害児施設（子ども発達センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス等）で十分な支援を受けていない	障害児施設以外に利用できる放課後、休日等の活動場所が少ない	余暇活動（外出、スポーツ、趣味、その他の習いごと等）の機会が少ない	
全体	154 100.0	14 9.1	17 11.0	42 27.3	15 9.7	72 46.8	16 10.4	43 27.9	45 29.2	
年齢	6歳未満	30 100.0	4 13.3	2 6.7	9 30.0	4 13.3	16 53.3	6 20.0	12 40.0	11 36.7
	6～11歳	55 100.0	4 7.3	6 10.9	14 25.5	7 12.7	29 52.7	4 7.3	16 29.1	15 27.3
	12～14歳	38 100.0	4 10.5	5 13.2	13 34.2	4 10.5	17 44.7	4 10.5	7 18.4	11 28.9
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	4 13.3	6 20.0	0 0.0	10 33.3	2 6.7	8 26.7	8 26.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	1 2.9	2 5.7	6 17.1	3 8.6	13 37.1	6 17.1	7 20.0	7 20.0
	知的障がい	126 100.0	11 8.7	14 11.1	35 27.8	13 10.3	61 48.4	10 7.9	35 27.8	39 31.0
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0

上段：人 下段：%	合計	問11. 日常生活で不安や課題と感じていること								
		地域でかかれる医療機関が少ない	往診や訪問看護、訪問リハビリ等の在宅医療が十分でない	医療や病気のことに、相談できる場所がない	子どもの養育・介護について、福祉サービスが十分でない	福祉サービス等の利用について、相談できる場所がない	その他	特になし	無回答	
全体	154 100.0	50 32.5	13 8.4	20 13.0	31 20.1	17 11.0	18 11.7	25 16.2	4 2.6	
年齢	6歳未満	30 100.0	12 40.0	4 13.3	6 20.0	15 50.0	4 13.3	6 20.0	3 10.0	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	22 40.0	3 5.5	9 16.4	10 18.2	7 12.7	6 10.9	7 12.7	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	10 26.3	3 7.9	4 10.5	4 10.5	4 10.5	4 10.5	6 15.8	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	3 10.0	1 3.3	2 6.7	2 6.7	2 6.7	8 26.7	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	12 34.3	8 22.9	8 22.9	14 40.0	2 5.7	6 17.1	5 14.3	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	39 31.0	7 5.6	15 11.9	22 17.5	13 10.3	12 9.5	21 16.7	3 2.4
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0

○「経済的な負担の軽減」が 52.6%で最も高く、次いで「生活訓練等の充実」が 36.4%、「相談対応等の充実」が 30.5%の順となっています。

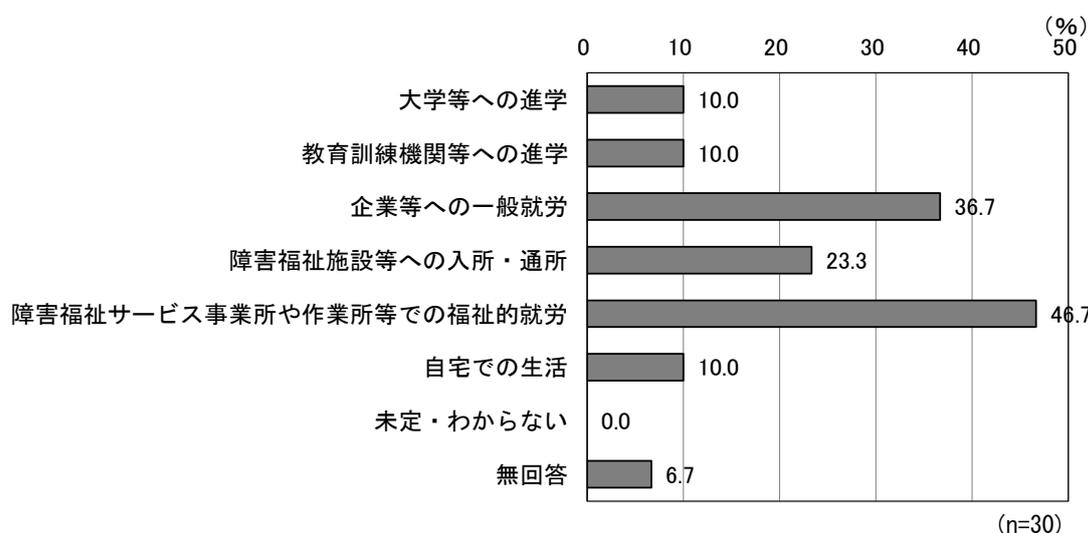
○年齢別にみると、すべての年代で「経済的な負担の軽減」が最も高いものの、“6歳～11歳”は「生活訓練等の充実」も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問12. 地域で生活するためにあれば良い支援									
		在宅で医療ケア等が適切に得られること	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
全体	154 100.0	10 6.5	34 22.1	24 15.6	56 36.4	81 52.6	47 30.5	27 17.5	46 29.9	15 9.7	11 7.1
年齢	6歳未満	30 100.0	2 6.7	1 3.3	6 20.0	8 26.7	19 63.3	9 30.0	6 20.0	9 30.0	4 13.3
	6～11歳	55 100.0	3 5.5	15 27.3	8 14.5	24 43.6	28 50.9	22 40.0	10 18.2	12 21.8	4 7.3
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	9 23.7	6 15.8	14 36.8	15 39.5	8 21.1	7 18.4	12 31.6	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	3 10.0	9 30.0	4 13.3	10 33.3	18 60.0	8 26.7	4 13.3	13 43.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	5 14.3	5 14.3	13 37.1	8 22.9	22 62.9	10 28.6	4 11.4	7 20.0	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	6 4.8	31 24.6	15 11.9	53 42.1	64 50.8	37 29.4	24 19.0	40 31.7	9 7.1
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0

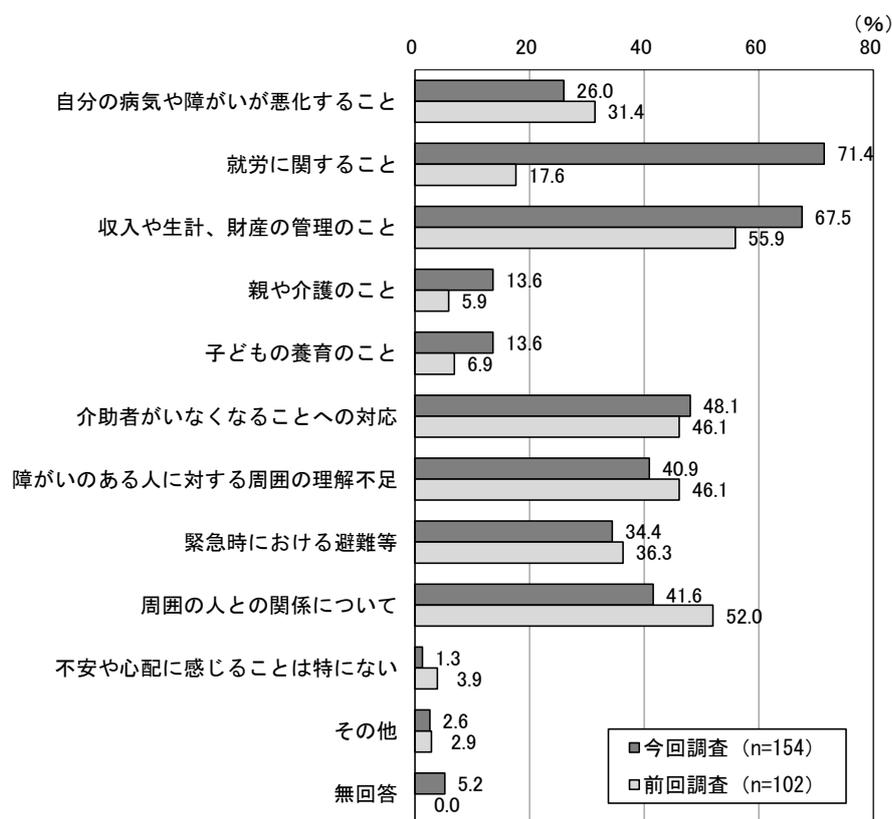
(15歳以上の方限定)

- 「障害福祉サービス事業所や作業所等での福祉的就労」が46.7%で最も高く、次いで「企業等への一般就労」が36.7%、「障害福祉施設等への入所・通所」が23.3%の順となっています。
- 回答数が少なく参考となりますが、“知的障害”は「企業等への一般就労」と「障害福祉サービス事業所や作業所等での福祉的就労」が高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問13. 将来、想定している進路							
		大学等への進学	教育訓練機関等への進学	企業等への一般就労	障害福祉施設等への入所・通所	障害福祉サービス事業所や作業所等での福祉的就労	自宅での生活	未定・わからない	無回答
全体	30 100.0	3 10.0	3 10.0	11 36.7	7 23.3	14 46.7	3 10.0	0 0.0	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0
	知的障がい	24 100.0	2 8.3	2 8.3	11 45.8	4 16.7	11 45.8	2 8.3	0 0.0
	精神障がい	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

- 「就労に関すること」が71.4%で最も高く、次いで「収入や生計、財産の管理のこと」が67.5%、「介助者がいなくなることへの対応」が48.1%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「就労に関すること」が53.8ポイント減少しています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「就労に関すること」が高く、“12～14歳”“15歳以上”は8割を超えています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「収入や生計、財産の管理のこと」と「介助者がいなくなることへの対応」が高くなっています。

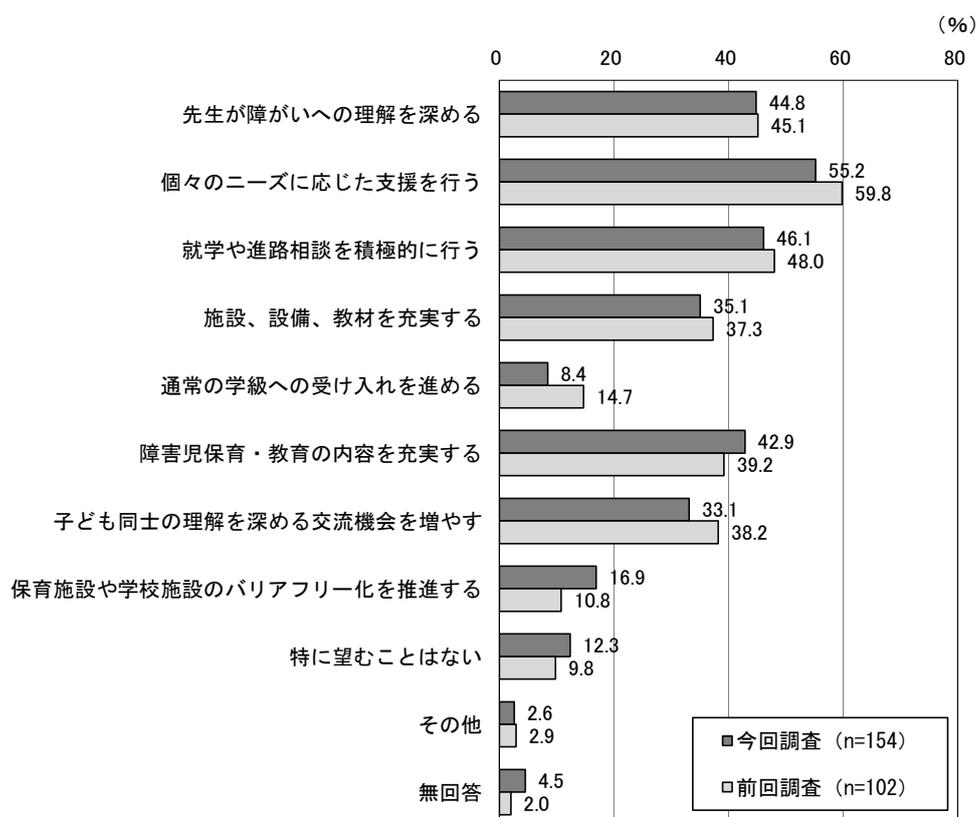


※「就労に関すること」は、前回調査では「仕事がなくなること」で調査をしています。また、前回調査の回答の選択肢にある「将来の生活のこと」は、今回調査では除外しています。

〔上段：人 下段：％〕		合計	問14. 将来、不安や心配に感じていること					介助者が いなくな ることへ の対応
			自分の病 気や障が いが悪化 すること	就労に関 すること	収入や生 計、財産 の管理の こと	親や介護 のこと	子どもの 養育のこ と	
全体		154 100.0	40 26.0	110 71.4	104 67.5	21 13.6	21 13.6	74 48.1
年齢	6歳未満	30 100.0	12 40.0	18 60.0	18 60.0	4 13.3	10 33.3	14 46.7
	6～11歳	55 100.0	14 25.5	35 63.6	36 65.5	7 12.7	8 14.5	29 52.7
	12～14歳	38 100.0	7 18.4	32 84.2	30 78.9	4 10.5	1 2.6	17 44.7
	15歳以上	30 100.0	7 23.3	25 83.3	19 63.3	5 16.7	2 6.7	14 46.7
障が いの 種類	身体障がい	35 100.0	15 42.9	15 42.9	18 51.4	4 11.4	8 22.9	18 51.4
	知的障がい	126 100.0	27 21.4	97 77.0	89 70.6	18 14.3	15 11.9	62 49.2
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	5 100.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0

〔上段：人 下段：％〕		合計	問14. 将来、不安や心配に感じていること					無回答
			障がいの ある人 に対する 周囲の 理解 不足	緊急時 におけ る避 難等	周囲の 人との 関係 について	不安や 心配に 感じる ことは 特にな い	その他	
全体		154 100.0	63 40.9	53 34.4	64 41.6	2 1.3	4 2.6	8 5.2
年齢	6歳未満	30 100.0	14 46.7	11 36.7	15 50.0	0 0.0	1 3.3	4 13.3
	6～11歳	55 100.0	23 41.8	20 36.4	22 40.0	2 3.6	1 1.8	3 5.5
	12～14歳	38 100.0	16 42.1	11 28.9	18 47.4	0 0.0	0 0.0	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	10 33.3	11 36.7	9 30.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0
障が いの 種類	身体障がい	35 100.0	12 34.3	13 37.1	9 25.7	0 0.0	1 2.9	3 8.6
	知的障がい	126 100.0	51 40.5	42 33.3	56 44.4	2 1.6	3 2.4	6 4.8
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 「個々のニーズに応じた支援を行う」が 55.2%で最も高く、次いで「就学や進路相談を積極的に行う」が 46.1%、「先生が障がいへの理解を深める」が 44.8%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「障害児保育・教育の内容を充実する」が 3.7 ポイント、「保育施設や学校施設のバリアフリー化を推進する」が 6.1 ポイント増加しています。
- 性別にみると、“男性”は「就学や進路相談を積極的に行う」、「女性”は「個々のニーズに応じた支援を行う」が高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「個々のニーズに応じた支援を行う」が最も高くなっているものの、“6歳未満”は「先生が障がいへの理解を深める」が最も高くなっています。



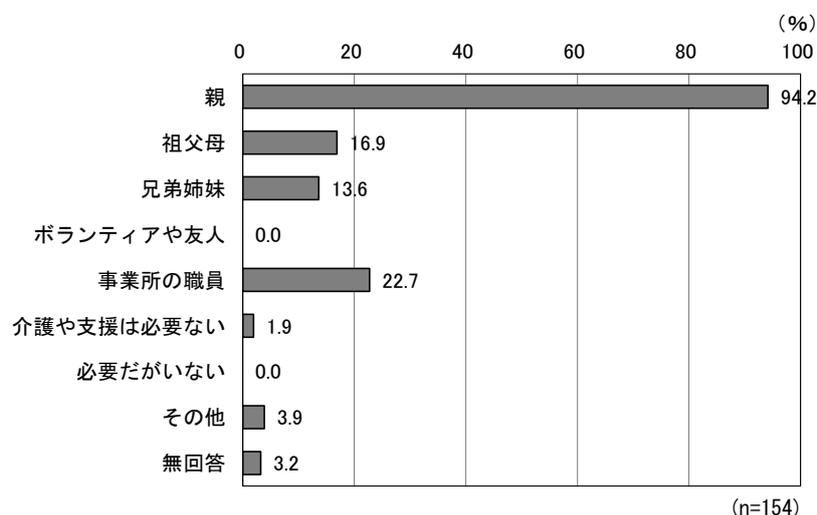
※前回調査の回答の選択肢にある「放課後や長期休暇中の一時預かりできる場所を増やす」は、今回調査では除外しています。

〔上段：人 下段：％〕		合計	問15. 通学先・通園先に希望すること					
			先生が障 がいへの 理解を深 める	個々の ニーズに 応じた支 援を行う	就学や進 路相談を 積極的に 行う	施設、設 備、教材 を充実す る	通常の学 級への受 け入れを 進める	障害児保 育・教育 の内容を充 実する
全体		154 100.0	69 44.8	85 55.2	71 46.1	54 35.1	13 8.4	66 42.9
性別	男性	86 100.0	34 39.5	40 46.5	42 48.8	27 31.4	5 5.8	32 37.2
	女性	68 100.0	35 51.5	45 66.2	29 42.6	27 39.7	8 11.8	34 50.0
年齢	6歳未満	30 100.0	22 73.3	18 60.0	15 50.0	9 30.0	5 16.7	20 66.7
	6～11歳	55 100.0	26 47.3	34 61.8	29 52.7	19 34.5	6 10.9	32 58.2
	12～14歳	38 100.0	17 44.7	22 57.9	16 42.1	18 47.4	1 2.6	9 23.7
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	11 36.7	11 36.7	8 26.7	1 3.3	5 16.7
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	13 37.1	18 51.4	10 28.6	11 31.4	3 8.6	12 34.3
	知的障がい	126 100.0	58 46.0	70 55.6	64 50.8	46 36.5	12 9.5	58 46.0
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0

〔上段：人 下段：％〕		合計	問15. 通学先・通園先に希望すること				
			子ども同 士の理解 を深める 交流機会 を増やす	保育施設 や学校施 設のバリ アフリー 化を推進 する	特に望む ことはない	その他	無回答
全体		154 100.0	51 33.1	26 16.9	19 12.3	4 2.6	7 4.5
性別	男性	86 100.0	27 31.4	12 14.0	13 15.1	1 1.2	5 5.8
	女性	68 100.0	24 35.3	14 20.6	6 8.8	3 4.4	2 2.9
年齢	6歳未満	30 100.0	19 63.3	9 30.0	1 3.3	3 10.0	2 6.7
	6～11歳	55 100.0	19 34.5	12 21.8	6 10.9	0 0.0	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	8 21.1	3 7.9	3 7.9	1 2.6	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	5 16.7	2 6.7	8 26.7	0 0.0	2 6.7
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	11 31.4	11 31.4	1 2.9	3 8.6	4 11.4
	知的障がい	126 100.0	43 34.1	18 14.3	18 14.3	1 0.8	4 3.2
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

○「親」が 94.2%で最も高く、次いで「事業所の職員」が 22.7%、「祖父母」が 16.9%の順となっています。

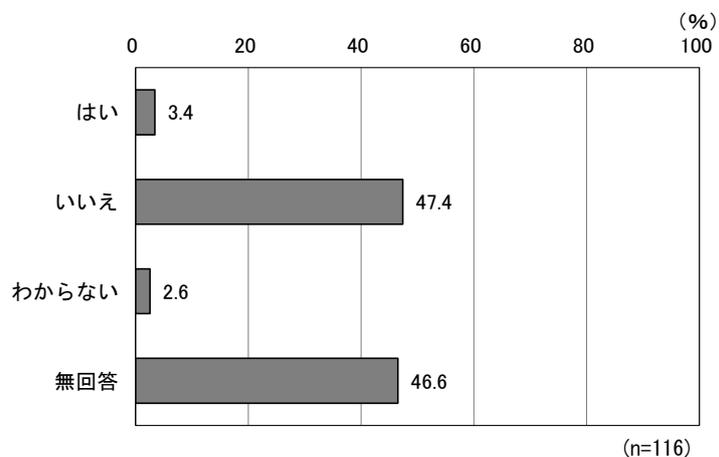
○年齢別にみると、すべての年齢で「親」が最も高くなっていますが、“6～11歳”は「事業所の職員」も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問16. 主な介護・支援者									
		親	祖父母	兄弟姉妹	ボランティアや友人	事業所の職員	介護や支援は必要ない	必要だがいない	その他	無回答	
全体	154 100.0	145 94.2	26 16.9	21 13.6	0 0.0	35 22.7	3 1.9	0 0.0	6 3.9	5 3.2	
年齢	6歳未満	30 100.0	27 90.0	7 23.3	1 3.3	0 0.0	5 16.7	1 3.3	0 0.0	1 3.3	2 6.7
	6～11歳	55 100.0	52 94.5	9 16.4	9 16.4	0 0.0	16 29.1	0 0.0	0 0.0	3 5.5	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	37 97.4	5 13.2	8 21.1	0 0.0	7 18.4	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	29 96.7	5 16.7	3 10.0	0 0.0	7 23.3	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	31 88.6	4 11.4	2 5.7	0 0.0	8 22.9	1 2.9	0 0.0	2 5.7	3 8.6
	知的障がい	126 100.0	120 95.2	23 18.3	20 15.9	0 0.0	31 24.6	2 1.6	0 0.0	5 4.0	3 2.4
	精神障がい	5 100.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(介護・支援を受けている方限定)

○「はい」が 3.4%となっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問16-1. 介護・支援者に18歳未満はいるか			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		116 100.0	4 3.4	55 47.4	3 2.6	54 46.6
年齢	6歳未満	24 100.0	0 0.0	9 37.5	0 0.0	15 62.5
	6～11歳	39 100.0	2 5.1	16 41.0	1 2.6	20 51.3
	12～14歳	31 100.0	2 6.5	16 51.6	1 3.2	12 38.7
	15歳以上	22 100.0	0 0.0	14 63.6	1 4.5	7 31.8
障がいの種類	身体障がい	26 100.0	0 0.0	11 42.3	0 0.0	15 57.7
	知的障がい	93 100.0	4 4.3	45 48.4	3 3.2	41 44.1
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0

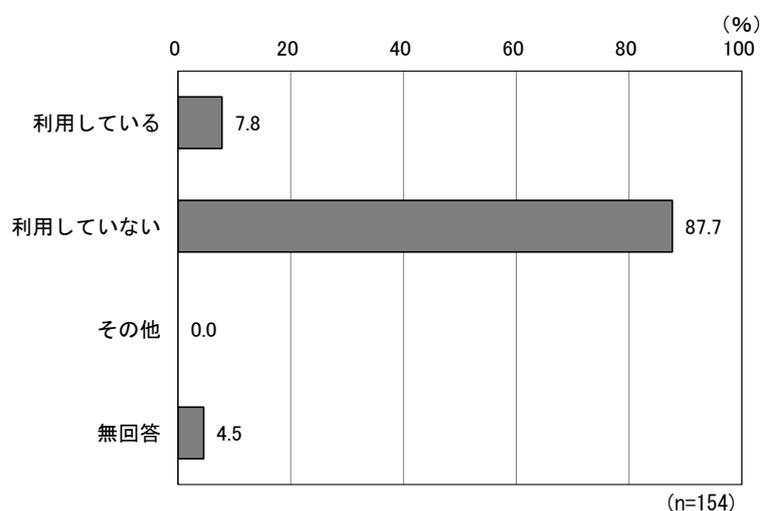
問 17. 電気が必要な医療機器を利用しているか

【SA】

○「利用している」が7.8%となっています。

○年齢別にみると、“15歳以上”で「利用している」が13.3%となっています。

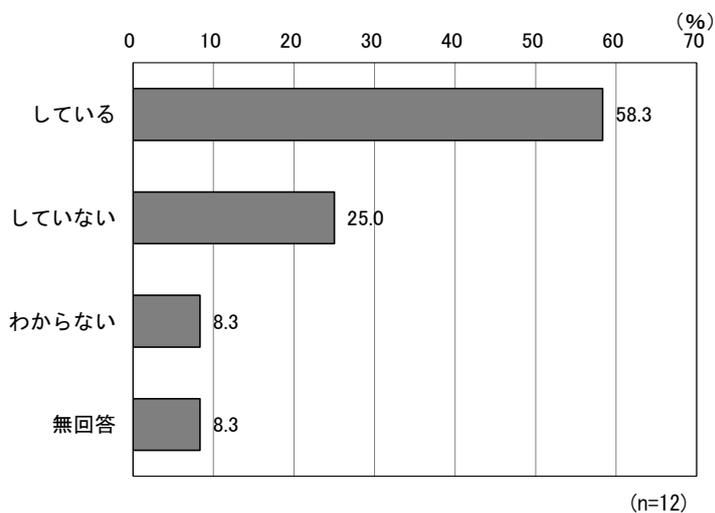
○障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「利用している」が34.3%となっています。



上段：人 下段：%	合計	問17. 電気が必要な医療機器を利用しているか				
		利用している	利用していない	その他	無回答	
全体	154 100.0	12 7.8	135 87.7	0 0.0	7 4.5	
年齢	6歳未満	30 100.0	2 6.7	25 83.3	0 0.0	3 10.0
	6～11歳	55 100.0	4 7.3	49 89.1	0 0.0	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	34 89.5	0 0.0	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	26 86.7	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	12 34.3	20 57.1	0 0.0	3 8.6
	知的障がい	126 100.0	4 3.2	117 92.9	0 0.0	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0

(問 17 において「利用している」を回答した方限定)

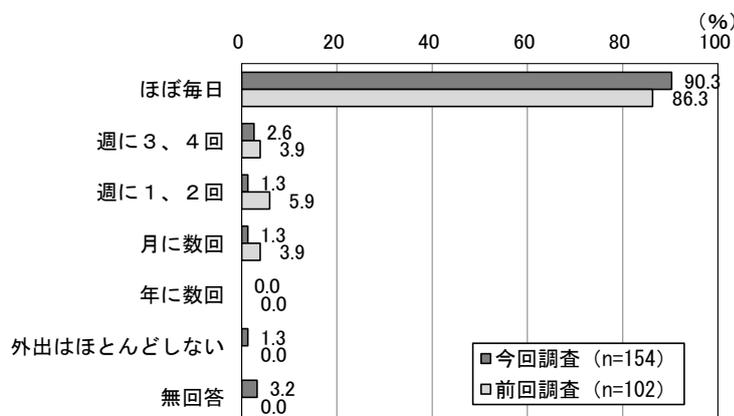
○回答が少なく参考となりますが、停電時の備えを「している」が 58.3%で最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問17-1. 停電時の備えをしているか				
		している	していない	わからない	無回答	
全体	12 100.0	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	
年齢	6歳未満	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	6～11歳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	12～14歳	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	15歳以上	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	12 100.0	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3
	知的障がい	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

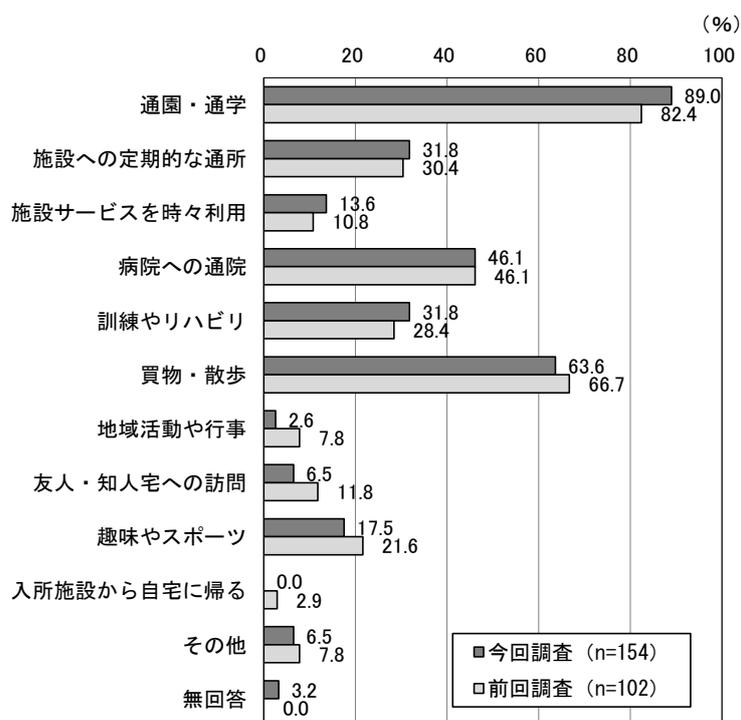
○「ほぼ毎日」が 90.3% となっています。

○前回調査に比べ、「ほぼ毎日」が 4.0 ポイント増加しています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問18. 日頃、どのくらい外出をするか						
			ほぼ毎日	週に3、4回	週に1、2回	月に数回	年に数回	外出はほとんどしない	無回答
全体		154 100.0	139 90.3	4 2.6	2 1.3	2 1.3	0 0.0	2 1.3	5 3.2
年齢	6歳未満	30 100.0	26 86.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.0
	6～11歳	55 100.0	51 92.7	2 3.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	35 92.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	26 86.7	0 0.0	1 3.3	2 6.7	0 0.0	1 3.3	0 0.0
	障がいの種類	身体障がい	35 100.0	25 71.4	2 5.7	2 5.7	0 0.0	0 0.0	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	119 94.4	3 2.4	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	2 1.6
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

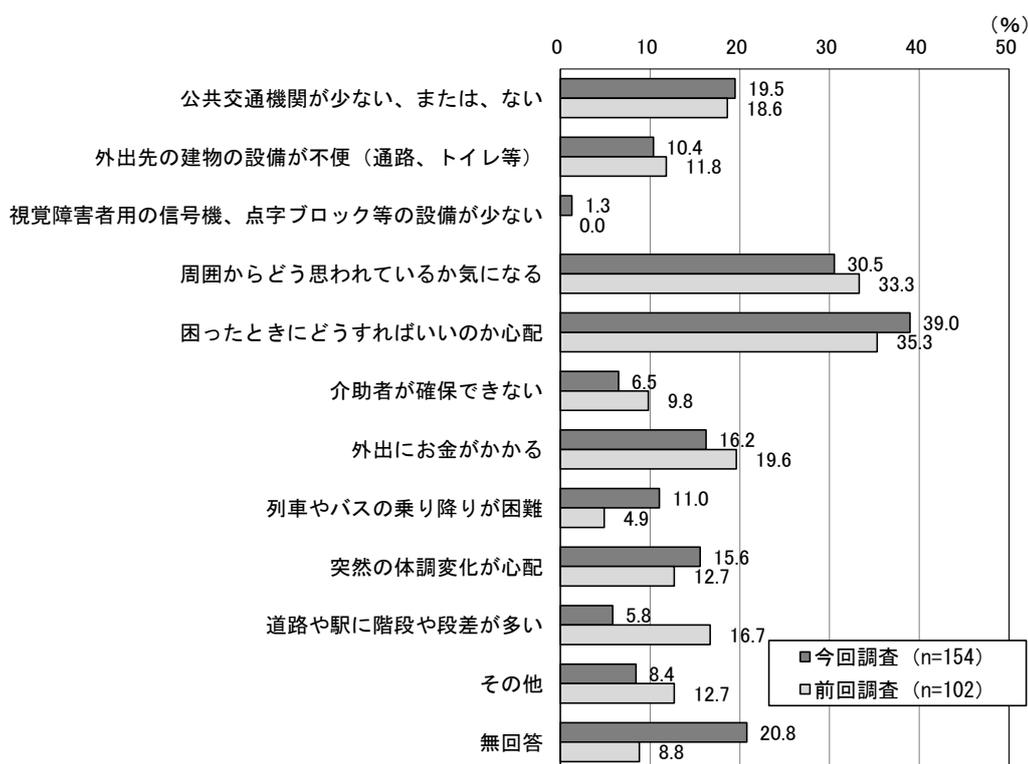
- 「通園・通学」が89.0%で最も高く、次いで「買物・散歩」が63.6%、「病院への通院」が46.1%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「通園・通学」が6.6ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、すべて年代で「通園・通学」が最も高くなっているものの、“6歳未満”は「病院への通院」も高くなっています。



( 上段：人 下段：% )	合計	問19. 外出する時の主な目的						
		通園・通学	施設への定期的な通所	施設サービスを時々利用	病院への通院	訓練やリハビリ	買物・散歩	
全体	154 100.0	137 89.0	49 31.8	21 13.6	71 46.1	49 31.8	98 63.6	
年齢	6歳未満	30 100.0	23 76.7	17 56.7	4 13.3	19 63.3	13 43.3	21 70.0
	6～11歳	55 100.0	51 92.7	19 34.5	6 10.9	24 43.6	20 36.4	35 63.6
	12～14歳	38 100.0	34 89.5	10 26.3	7 18.4	15 39.5	11 28.9	20 52.6
	15歳以上	30 100.0	28 93.3	3 10.0	4 13.3	13 43.3	5 16.7	21 70.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	26 74.3	10 28.6	2 5.7	25 71.4	15 42.9	19 54.3
	知的障がい	126 100.0	115 91.3	43 34.1	19 15.1	52 41.3	41 32.5	83 65.9
	精神障がい	5 100.0	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	3 60.0

( 上段：人 下段：% )	合計	問19. 外出する時の主な目的						
		地域活動や行事	友人・知人宅への訪問	趣味やスポーツ	入所施設から自宅に帰る	その他	無回答	
全体	154 100.0	4 2.6	10 6.5	27 17.5	0 0.0	10 6.5	5 3.2	
年齢	6歳未満	30 100.0	1 3.3	4 13.3	2 6.7	0 0.0	1 3.3	3 10.0
	6～11歳	55 100.0	2 3.6	4 7.3	13 23.6	0 0.0	2 3.6	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	1 2.6	2 5.3	8 21.1	0 0.0	4 10.5	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	0 0.0	0 0.0	4 13.3	0 0.0	3 10.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	2 5.7	4 11.4	3 8.6	0 0.0	2 5.7	4 11.4
	知的障がい	126 100.0	2 1.6	6 4.8	22 17.5	0 0.0	7 5.6	2 1.6
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

- 「困ったときにどうすればいいのか心配」が 39.0%で最も高く、次いで「周囲からどう思われているか気になる」が 30.5%、「公共交通機関が少ない、または、ない」が 19.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「困ったときにどうすればいいのか心配」が 3.7 ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“6歳未満”は「周囲からどう思われているか気になる」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ等）」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問20. 外出する時に困ること						
		公共交通機関が少 ない、ま たは、な い	外出先の 建物の設 備が不便 (通路、 トイレ 等)	視覚障害 者用の信 号機、点 字ブロッ ク等の設 備が少な い	周囲から どう思わ れている か気にな る	困ったと きにどう すれぱい いのか心 配	介助者が 確保でき ない	
全体	154 100.0	30 19.5	16 10.4	2 1.3	47 30.5	60 39.0	10 6.5	
年齢	6歳未満	30 100.0	7 23.3	4 13.3	1 3.3	14 46.7	6 20.0	4 13.3
	6～11歳	55 100.0	11 20.0	6 10.9	1 1.8	20 36.4	20 36.4	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	3 7.9	4 10.5	0 0.0	7 18.4	21 55.3	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	9 30.0	2 6.7	0 0.0	6 20.0	12 40.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	5 14.3	10 28.6	1 2.9	8 22.9	8 22.9	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	26 20.6	10 7.9	1 0.8	41 32.5	51 40.5	8 6.3
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問20. 外出する時に困ること						
		外出にお 金がかか る	列車やバ スの乗り 降りが困 難	突然の体 調変化が 心配	道路や駅 に階段や 段差が多 い	その他	無回答	
全体	154 100.0	25 16.2	17 11.0	24 15.6	9 5.8	13 8.4	32 20.8	
年齢	6歳未満	30 100.0	5 16.7	4 13.3	0 0.0	2 6.7	2 6.7	6 20.0
	6～11歳	55 100.0	10 18.2	2 3.6	6 10.9	2 3.6	5 9.1	12 21.8
	12～14歳	38 100.0	4 10.5	4 10.5	8 21.1	1 2.6	3 7.9	9 23.7
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	7 23.3	10 33.3	4 13.3	3 10.0	5 16.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	5 14.3	7 20.0	7 20.0	5 14.3	4 11.4	6 17.1
	知的障がい	126 100.0	19 15.1	12 9.5	17 13.5	5 4.0	9 7.1	26 20.6
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0

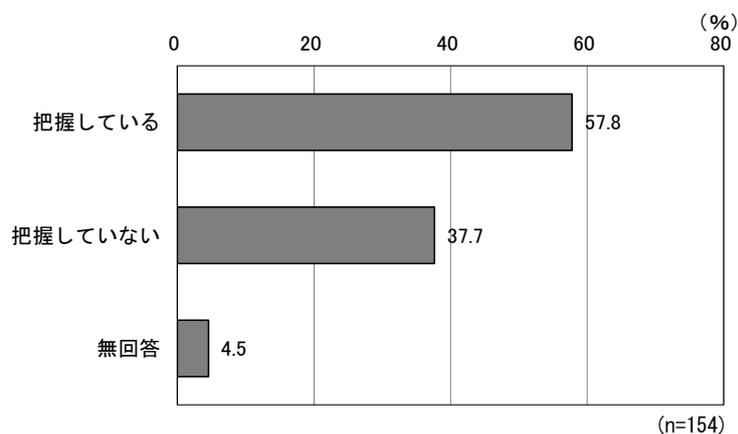
### 3. 災害時の対応について

#### 問 21. 地区の市防災計画の避難所を把握しているか

【SA】

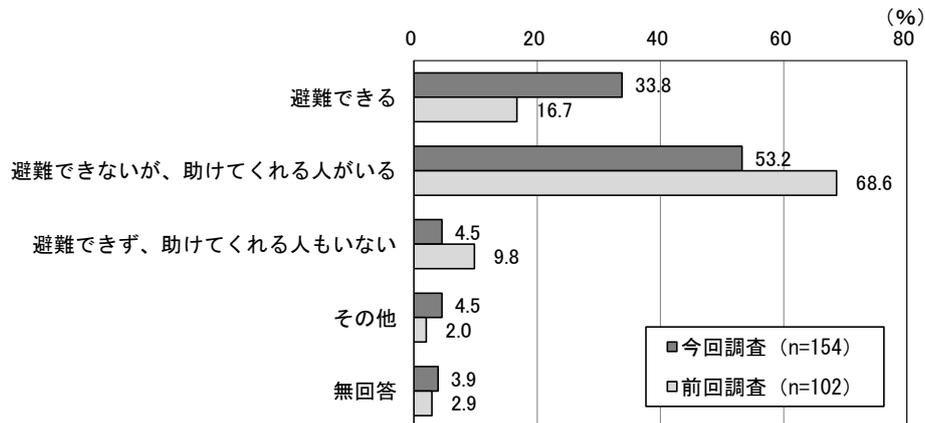
○「把握している」が57.8%となっています。

○年齢別にみると、“12～14歳”“15歳以上”で「把握している」が6割を超えています。



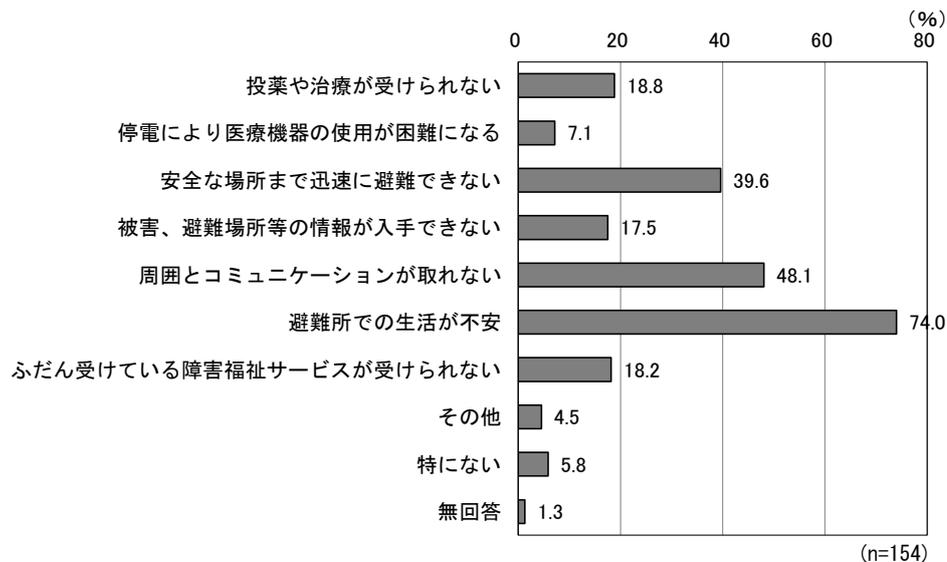
〔上段：人 下段：％〕	合計	問21. 地区の市防災計画の 避難所を把握しているか			
		把握して いる	把握して いない	無回答	
全体	154 100.0	89 57.8	58 37.7	7 4.5	
年齢	6歳未満	30 100.0	14 46.7	13 43.3	3 10.0
	6～11歳	55 100.0	31 56.4	23 41.8	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	25 65.8	11 28.9	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	19 63.3	10 33.3	1 3.3
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	21 60.0	12 34.3	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	74 58.7	47 37.3	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0

- 「避難できないが、助けてくれる人がいる」が 53.2%で最も高く、次いで「避難できる」が 33.8%、「避難できず、助けてくれる人もいない」が 4.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「避難できる」が 17.1 ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“6 歳未満” “6 歳～11 歳”で「避難できないが、助けてくれる人がいる」が 6 割を超えています。



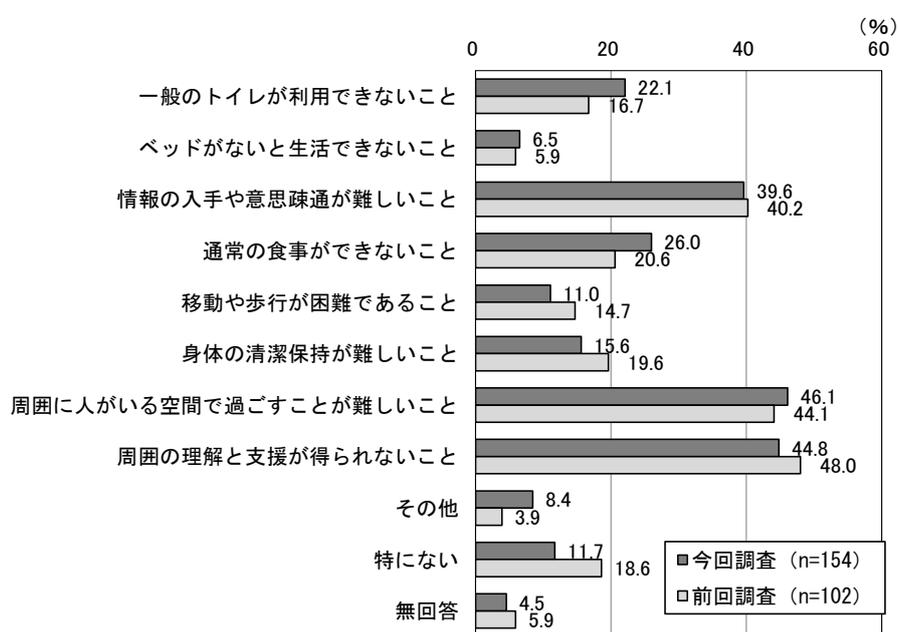
〔上段：人 下段：％〕		合計	問22. 災害時に自力で避難できるか				
			避難できる	避難できないが、助けてくれる人がいる	避難できず、助けてくれる人もいない	その他	無回答
全体		154 100.0	52 33.8	82 53.2	7 4.5	7 4.5	6 3.9
年齢	6 歳未満	30 100.0	4 13.3	20 66.7	2 6.7	2 6.7	2 6.7
	6～11 歳	55 100.0	18 32.7	34 61.8	1 1.8	0 0.0	2 3.6
	12～14 歳	38 100.0	17 44.7	16 42.1	1 2.6	3 7.9	1 2.6
	15 歳以上	30 100.0	12 40.0	12 40.0	3 10.0	2 6.7	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	9 25.7	19 54.3	3 8.6	2 5.7	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	41 32.5	71 56.3	4 3.2	5 4.0	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

- 「避難所での生活が心配」が74.0%で最も高く、次いで「周囲とのコミュニケーションがとれない」が48.1%、「安全な場所まで迅速に避難できない」が39.6%の順となっています。
- 性別にみると、「安全な場所まで迅速に避難できない」は“女性”の方が15.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、すべての年齢で「避難所での生活が不安」が最も高くなっていますが、“6～14歳”は「周囲とコミュニケーションが取れない」も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問23. 災害時に心配なこと										
		投薬や治療が受けられない	停電により医療機器の使用が困難になる	安全な場所まで迅速に避難できない	被害、避難場所等の情報が入手できない	周囲とコミュニケーションが取れない	避難所での生活が不安	ふだん受けている障害福祉サービスが受けられない	その他	特にない	無回答	
全体	154 100.0	29 18.8	11 7.1	61 39.6	27 17.5	74 48.1	114 74.0	28 18.2	7 4.5	9 5.8	2 1.3	
性別	男性	86 100.0	12 14.0	5 5.8	28 32.6	16 18.6	41 47.7	61 70.9	17 19.8	4 4.7	6 7.0	1 1.2
	女性	68 100.0	17 25.0	6 8.8	33 48.5	11 16.2	33 48.5	53 77.9	11 16.2	3 4.4	3 4.4	1 1.5
年齢	6歳未満	30 100.0	4 13.3	1 3.3	15 50.0	6 20.0	13 43.3	25 83.3	8 26.7	1 3.3	1 3.3	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	11 20.0	4 7.3	23 41.8	10 18.2	28 50.9	40 72.7	12 21.8	4 7.3	4 7.3	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	10 26.3	2 5.3	11 28.9	5 13.2	19 50.0	28 73.7	4 10.5	0 0.0	1 2.6	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	4 13.3	11 36.7	6 20.0	14 46.7	20 66.7	4 13.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	15 42.9	10 28.6	17 48.6	6 17.1	8 22.9	25 71.4	6 17.1	3 8.6	2 5.7	0 0.0
	知的障がい	126 100.0	18 14.3	3 2.4	49 38.9	23 18.3	70 55.6	93 73.8	24 19.0	4 3.2	7 5.6	2 1.6
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」が 46.1%で最も高く、次いで「周囲の理解と支援が得られないこと」が 44.8%、「情報の入手や意思疎通が難しいこと」が 39.6%の順となっています。
- 年齢別にみると、多くの年齢で「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」が高くなっていますが、“6～11 歳”は「周囲の理解と支援が得られないこと」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと」が最も高くなっています。
- 居住地域別にみると、“南部”は「情報の入手や意思疎通が難しいこと」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問24. 避難所での生活で心配なこと						
		一般のトイレが利用できないこと	ベッドがないと生活できないこと	情報の入手や意思疎通が難しいこと	通常の食事ができないこと	移動や歩行が困難であること	身体の清潔保持が難しいこと	
全体	154 100.0	34 22.1	10 6.5	61 39.6	40 26.0	17 11.0	24 15.6	
年齢	6歳未満	30 100.0	8 26.7	0 0.0	13 43.3	16 53.3	4 13.3	7 23.3
	6～11歳	55 100.0	14 25.5	4 7.3	21 38.2	12 21.8	7 12.7	4 7.3
	12～14歳	38 100.0	6 15.8	2 5.3	17 44.7	4 10.5	4 10.5	6 15.8
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	4 13.3	10 33.3	8 26.7	2 6.7	7 23.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	13 37.1	5 14.3	9 25.7	11 31.4	15 42.9	9 25.7
	知的障がい	126 100.0	26 20.6	5 4.0	53 42.1	32 25.4	8 6.3	17 13.5
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
居住地域	北部	16 100.0	8 50.0	5 31.3	5 31.3	7 43.8	5 31.3	6 37.5
	南部	57 100.0	10 17.5	3 5.3	28 49.1	12 21.1	6 10.5	9 15.8
	船穂・草深	35 100.0	5 14.3	1 2.9	13 37.1	6 17.1	4 11.4	3 8.6
	印旛	21 100.0	5 23.8	1 4.8	8 38.1	5 23.8	1 4.8	5 23.8
	本埜	25 100.0	6 24.0	0 0.0	7 28.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0

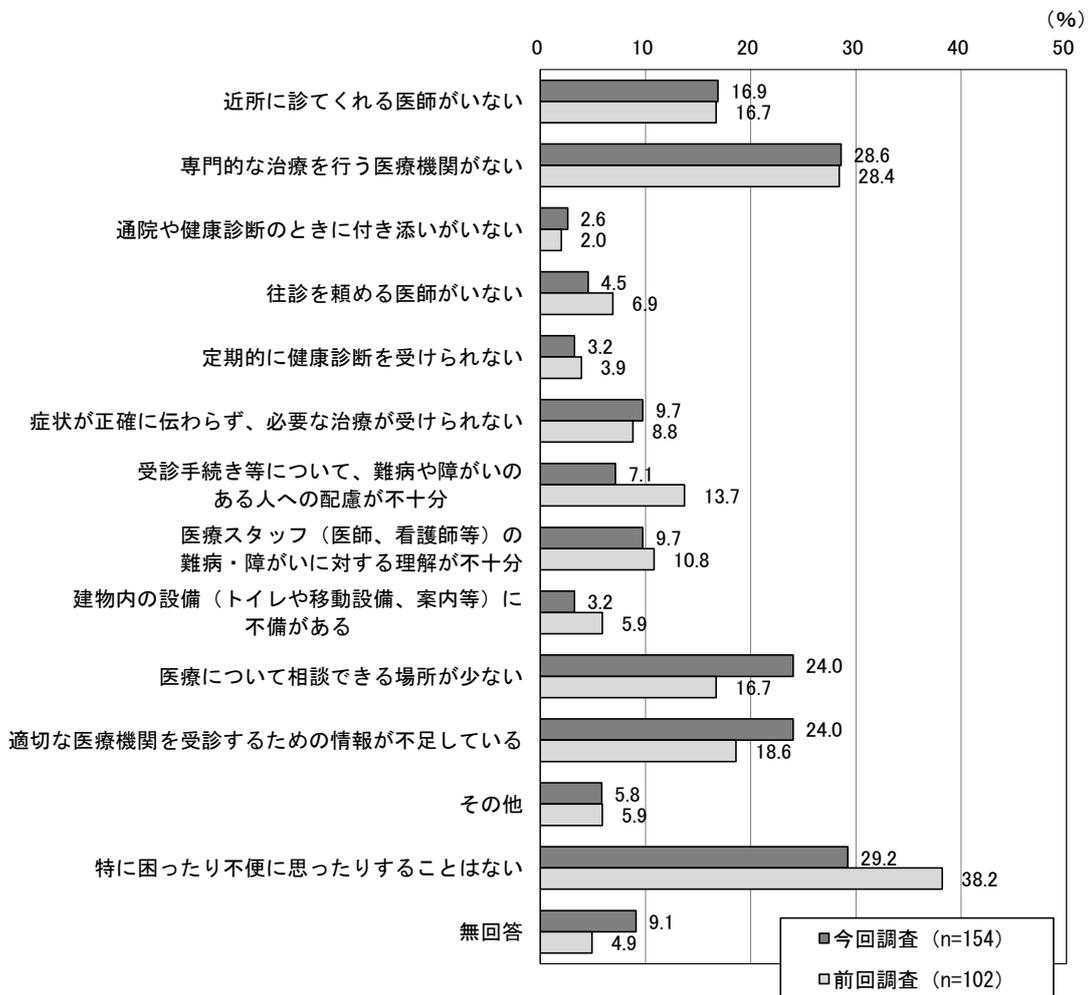
上段：人 下段：%	合計	問24. 避難所での生活で心配なこと					
		周囲に人がいる空間で過ごすことが難しいこと	周囲の理解と支援が得られないこと	その他	特になし	無回答	
全体	154 100.0	71 46.1	69 44.8	13 8.4	18 11.7	7 4.5	
年齢	6歳未満	30 100.0	17 56.7	14 46.7	2 6.7	2 6.7	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	24 43.6	29 52.7	6 10.9	7 12.7	2 3.6
	12～14歳	38 100.0	19 50.0	17 44.7	3 7.9	3 7.9	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	10 33.3	9 30.0	2 6.7	6 20.0	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	9 25.7	12 34.3	4 11.4	5 14.3	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	63 50.0	58 46.0	10 7.9	13 10.3	6 4.8
	精神障がい	5 100.0	4 80.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住地域	北部	16 100.0	14 87.5	7 43.8	1 6.3	0 0.0	1 6.3
	南部	57 100.0	20 35.1	26 45.6	7 12.3	7 12.3	3 5.3
	船穂・草深	35 100.0	16 45.7	18 51.4	1 2.9	5 14.3	2 5.7
	印旛	21 100.0	11 52.4	8 38.1	2 9.5	3 14.3	0 0.0
	本埜	25 100.0	10 40.0	10 40.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0

## 4. 健康と医療について

### 問 25. 健康管理や医療で困ったり不便なこと

【MA】

- 「特に困ったり不便に思ったりすることはない」が 29.2%で最も高く、次いで「専門的な治療を行う医療機関がない」が 28.6%、「医療について相談できる場所が少ない」と「適切な医療機関を受診するための情報が不足している」がともに 24.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、“6歳未満”“6～11歳”は「専門的な治療を行う医療機関がない」が高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「専門的な治療を行う医療機関がない」が最も高くなっています。
- 居住地域別にみると、“北部”と“船穂・草深”は「専門的な治療を行う医療機関がない」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕	合計	問25. 健康管理や医療で困ったり不便なこと						
		近所に診てくれる医師がいない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	往診を頼める医師がいない	定期的に健康診断を受けない	症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	受診手続き等について、難病や障がいのある人への配慮が不十分
全体	154 100.0	26 16.9	44 28.6	4 2.6	7 4.5	5 3.2	15 9.7	11 7.1
年齢	6歳未満	30 100.0	5 16.7	9 30.0	3 10.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7
	6～11歳	55 100.0	9 16.4	21 38.2	1 1.8	2 3.6	3 5.5	6 10.9
	12～14歳	38 100.0	6 15.8	9 23.7	0 0.0	1 2.6	0 0.0	6 15.8
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	5 16.7	0 0.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	7 20.0	9 25.7	2 5.7	4 11.4	0 0.0	3 8.6
	知的障がい	126 100.0	18 14.3	38 30.2	2 1.6	3 2.4	5 4.0	15 11.9
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
居住地域	北部	16 100.0	4 25.0	8 50.0	2 12.5	4 25.0	1 6.3	5 31.3
	南部	57 100.0	8 14.0	14 24.6	2 3.5	2 3.5	3 5.3	5 8.8
	船穂・草深	35 100.0	6 17.1	13 37.1	0 0.0	1 2.9	0 0.0	3 8.6
	印旛	21 100.0	5 23.8	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	本笠	25 100.0	3 12.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0

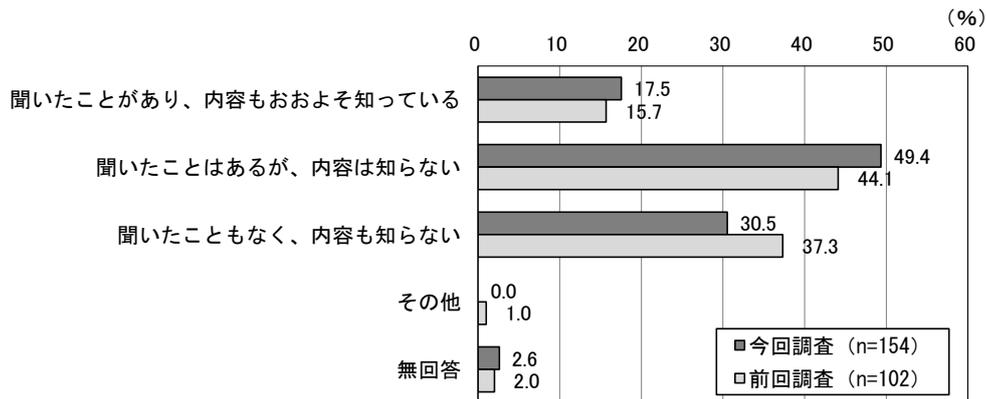
〔上段：人 下段：％〕	合計	問25. 健康管理や医療で困ったり不便なこと						
		医療スタッフ（医師、看護師等）の難病・障がいに対する理解が不十分	建物内の設備（トイレや移動設備、案内等）に不備がある	医療について相談できる場所が少ない	適切な医療機関を受診するための情報が不足している	その他	特に困ったり不便に思ったことはない	無回答
全体	154 100.0	15 9.7	5 3.2	37 24.0	37 24.0	9 5.8	45 29.2	14 9.1
年齢	6歳未満	30 100.0	4 13.3	0 0.0	6 20.0	7 23.3	1 3.3	9 30.0
	6～11歳	55 100.0	6 10.9	3 5.5	19 34.5	17 30.9	2 3.6	10 18.2
	12～14歳	38 100.0	3 7.9	0 0.0	5 13.2	5 13.2	3 7.9	13 34.2
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	2 6.7	7 23.3	8 26.7	3 10.0	12 40.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	2 5.7	3 8.6	6 17.1	8 22.9	3 8.6	7 20.0
	知的障がい	126 100.0	13 10.3	2 1.6	30 23.8	27 21.4	5 4.0	40 31.7
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0
居住地域	北部	16 100.0	3 18.8	2 12.5	5 31.3	3 18.8	1 6.3	4 25.0
	南部	57 100.0	5 8.8	2 3.5	13 22.8	13 22.8	5 8.8	16 28.1
	船穂・草深	35 100.0	2 5.7	1 2.9	10 28.6	10 28.6	2 5.7	7 20.0
	印旛	21 100.0	1 4.8	0 0.0	3 14.3	4 19.0	0 0.0	11 52.4
	本笠	25 100.0	4 16.0	0 0.0	6 24.0	7 28.0	1 4.0	7 28.0

## 5. 障がいに関する法律の理解について

### 問 26. 障害者虐待防止法を知っているか

【SA】

- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が49.4%で最も高く、次いで「聞いたこともなく、内容も知らない」が30.5%、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が17.5%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は1.8ポイント高くなっています。

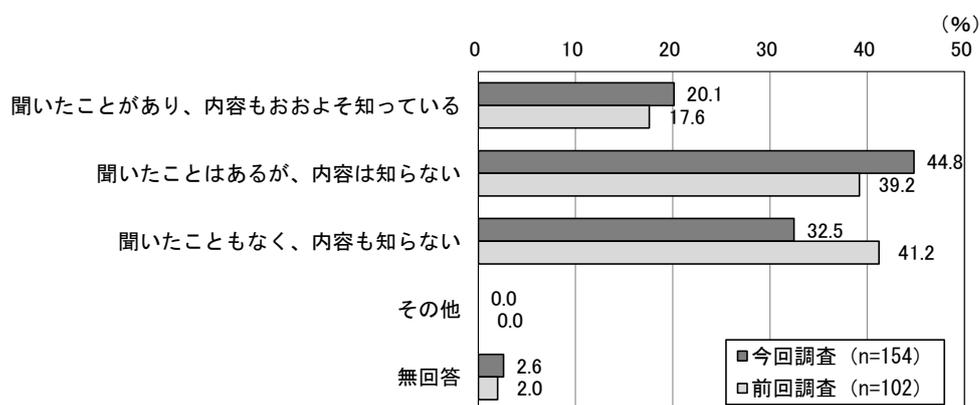


※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%	合計	問26. 障害者虐待防止法を知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	154 100.0	27 17.5	76 49.4	47 30.5	0 0.0	4 2.6	
年齢	6歳未満	30 100.0	3 10.0	16 53.3	10 33.3	0 0.0	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	7 12.7	29 52.7	19 34.5	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	12 31.6	16 42.1	8 21.1	0 0.0	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	5 16.7	14 46.7	10 33.3	0 0.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	1 2.9	22 62.9	11 31.4	0 0.0	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	23 18.3	60 47.6	39 31.0	0 0.0	4 3.2
	精神障がい	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

○「聞いたことはあるが、内容は知らない」が44.8%で最も高く、次いで「聞いたこともなく、内容も知らない」が32.5%、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が20.1%の順となっています。

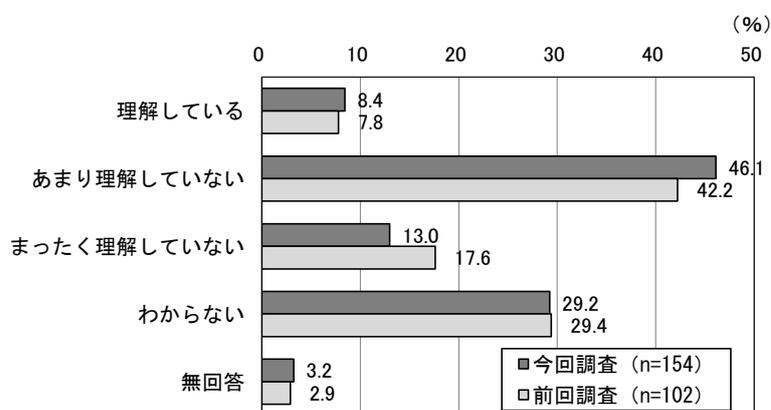
○前回調査と比べ、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は2.5ポイント高くなっています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%		合計	問27. 障害者差別解消法を知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		154 100.0	31 20.1	69 44.8	50 32.5	0 0.0	4 2.6
年齢	6歳未満	30 100.0	4 13.3	14 46.7	11 36.7	0 0.0	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	7 12.7	28 50.9	20 36.4	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	16 42.1	13 34.2	7 18.4	0 0.0	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	13 43.3	12 40.0	0 0.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	4 11.4	21 60.0	9 25.7	0 0.0	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	23 18.3	56 44.4	43 34.1	0 0.0	4 3.2
	精神障がい	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

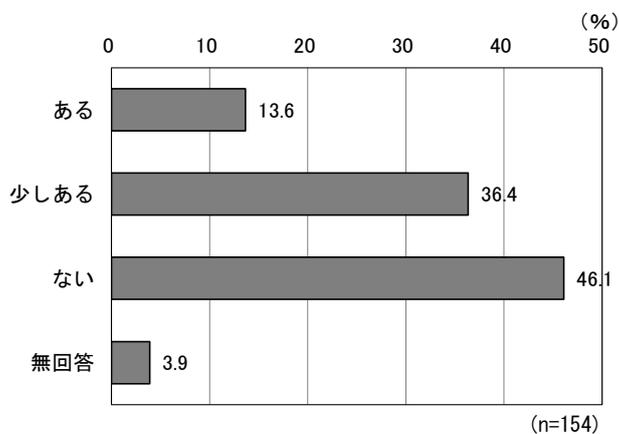
- 「あまり理解していない」が46.1%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「あまり理解していない」が3.9ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、すべての年齢で「あまり理解していない」が最も高いものの、「15歳以上」は「わからない」も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問28. 地域の人への障がいに対する理解で感じていること				
			理解している	あまり理解していない	まったく理解していない	わからない	無回答
全体		154 100.0	13 8.4	71 46.1	20 13.0	45 29.2	5 3.2
年齢	6歳未満	30 100.0	3 10.0	15 50.0	2 6.7	9 30.0	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	3 5.5	24 43.6	11 20.0	17 30.9	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	5 13.2	18 47.4	6 15.8	7 18.4	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	14 46.7	1 3.3	11 36.7	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	3 8.6	18 51.4	5 14.3	8 22.9	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	10 7.9	54 42.9	17 13.5	40 31.7	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0

○「ない」が 46.1%で最も高い一方、「ある」は 13.6%となっています。

○年齢別にみると、“12～14 歳”は「少しある」が最も高くなっています。

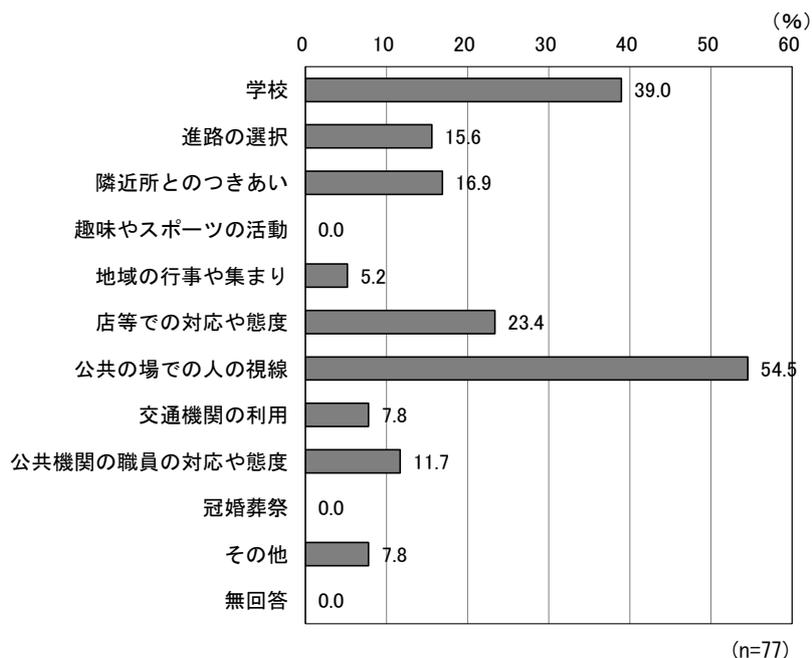


上段：人 下段：%	合計	問29. 1年以内に差別・偏見を受けたことがあるか				
		ある	少しある	ない	無回答	
全体	154 100.0	21 13.6	56 36.4	71 46.1	6 3.9	
年齢	6歳未満	30 100.0	7 23.3	9 30.0	13 43.3	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	10 18.2	21 38.2	24 43.6	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	19 50.0	14 36.8	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	2 6.7	7 23.3	19 63.3	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	6 17.1	11 31.4	17 48.6	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	16 12.7	45 35.7	59 46.8	6 4.8
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0

(問 29 で「ある」「少しある」と回答した方限定)

○「公共の場での人の視線」が 54.5% で最も高く、次いで「学校」が 39.0%、「店等での対応や態度」が 23.4% の順となっています。

○年齢別にみると、多くの年代で「公共の場での人の視線」が高いものの、“12～14 歳は”は「学校」が最も高くなっています。



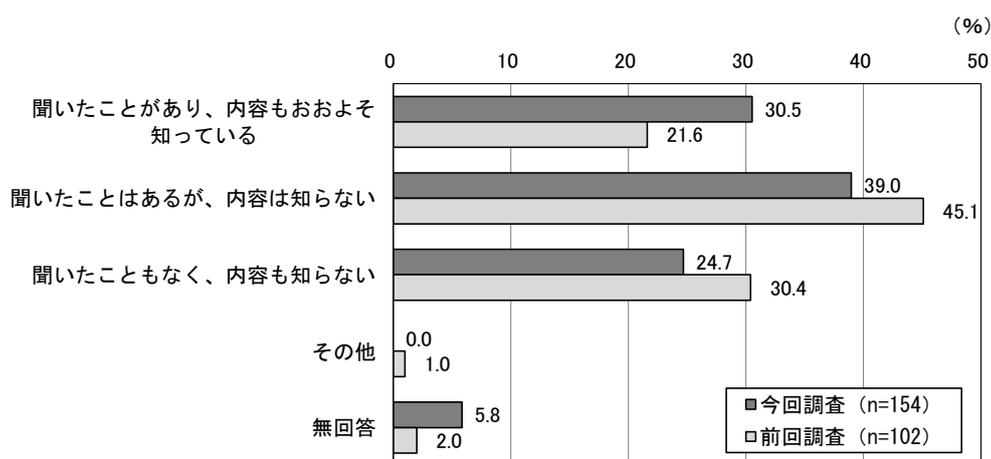
〔上段：人 下段：％〕	合計	問29-1. 差別・偏見を受けた場面						
		学校	進路の選 択	隣近所と のつきあ い	趣味やス ポーツの 活動	地域の行 事や集ま り	店等での 対応や態 度	
全体	77 100.0	30 39.0	12 15.6	13 16.9	0 0.0	4 5.2	18 23.4	
年齢	6歳未満	16 100.0	2 12.5	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5
	6～11歳	31 100.0	12 38.7	2 6.5	6 19.4	0 0.0	1 3.2	8 25.8
	12～14歳	21 100.0	11 52.4	5 23.8	5 23.8	0 0.0	2 9.5	6 28.6
	15歳以上	9 100.0	5 55.6	0 0.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	2 22.2
障がいの種類	身体障がい	17 100.0	4 23.5	3 17.6	1 5.9	0 0.0	1 5.9	6 35.3
	知的障がい	61 100.0	23 37.7	9 14.8	13 21.3	0 0.0	4 6.6	15 24.6
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問29-1. 差別・偏見を受けた場面						
		公共の場 での人の 視線	交通機関 の利用	公共機関 の職員の 対応や態 度	冠婚葬祭	その他	無回答	
全体	77 100.0	42 54.5	6 7.8	9 11.7	0 0.0	6 7.8	0 0.0	
年齢	6歳未満	16 100.0	11 68.8	3 18.8	5 31.3	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	6～11歳	31 100.0	16 51.6	2 6.5	2 6.5	0 0.0	1 3.2	0 0.0
	12～14歳	21 100.0	10 47.6	0 0.0	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	15歳以上	9 100.0	5 55.6	1 11.1	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	17 100.0	11 64.7	3 17.6	1 5.9	0 0.0	2 11.8	0 0.0
	知的障がい	61 100.0	33 54.1	4 6.6	8 13.1	0 0.0	4 6.6	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「聞いたことはあるが、内容は知らない」が39.0%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が30.5%、「聞いたこともなく、内容も知らない」が24.7%の順となっています。

○前回調査と比べ、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は8.9ポイント増加しています。

○年齢別にみると、“12～14歳”で「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が最も高くなっています。

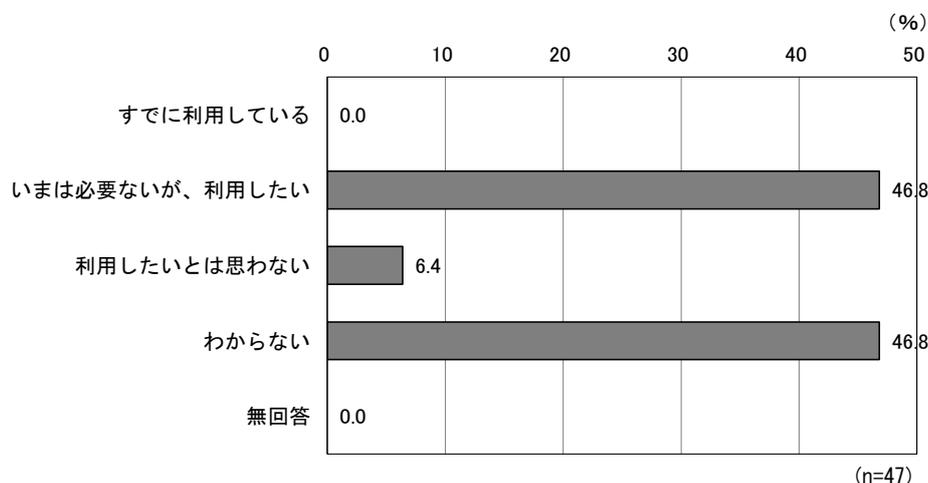


※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%	合計	問30. 成年後見制度を知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	154 100.0	47 30.5	60 39.0	38 24.7	0 0.0	9 5.8	
年齢	6歳未満	30 100.0	10 33.3	14 46.7	4 13.3	0 0.0	2 6.7
	6～11歳	55 100.0	11 20.0	28 50.9	13 23.6	0 0.0	3 5.5
	12～14歳	38 100.0	16 42.1	12 31.6	8 21.1	0 0.0	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	10 33.3	6 20.0	12 40.0	0 0.0	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	13 37.1	15 42.9	4 11.4	0 0.0	3 8.6
	知的障がい	126 100.0	38 30.2	46 36.5	34 27.0	0 0.0	8 6.3
	精神障がい	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

(問 30 で「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」を回答した方限定)

- 「いまは必要ないが、利用したい」と「わからない」がともに 46.8%となっています。
- 年齢別にみると、“6～11 歳”は「わからない」が最も高くなっています。



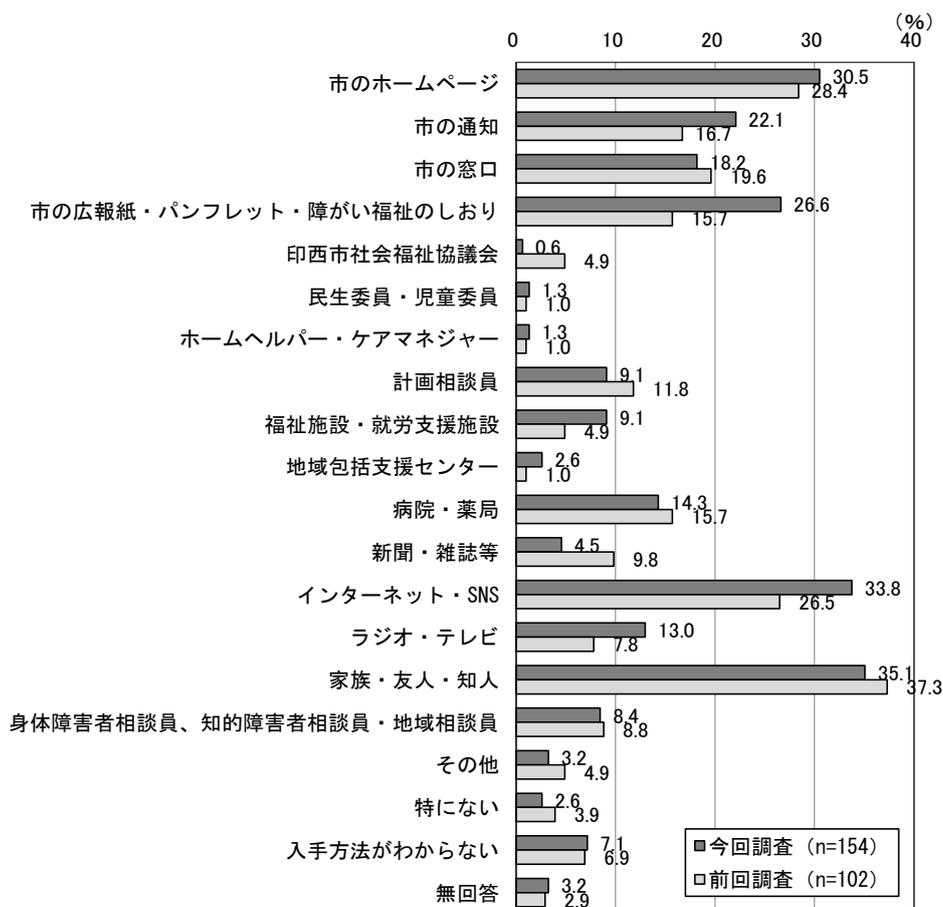
上段：人 下段：%		合計	問30-1. 成年後見制度を利用したいか				
			すでに利用している	いまは必要ないが、利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答
全体		47 100.0	0 0.0	22 46.8	3 6.4	22 46.8	0 0.0
年齢	6 歳未満	10 100.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	6～11 歳	11 100.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	7 63.6	0 0.0
	12～14 歳	16 100.0	0 0.0	9 56.3	0 0.0	7 43.8	0 0.0
	15 歳以上	10 100.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	13 100.0	0 0.0	7 53.8	2 15.4	4 30.8	0 0.0
	知的障がい	38 100.0	0 0.0	19 50.0	1 2.6	18 47.4	0 0.0
	精神障がい	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0

## 6. 相談や情報について

### 問 31. 障がい福祉に関する情報の入手先

【MA】

- 「家族・友人・知人」が35.1%で最も高く、次いで「インターネット・SNS」が33.8%、「市のホームページ」が30.5%の順となっています。
- 性別にみると、「男性」は「インターネット・SNS」、「女性」は「家族・友人・知人」が高くなっています。
- 年齢別にみると、「6歳未満」は「市のホームページ」、「12～14歳」「15歳以上」は「家族・友人・知人」が高くなっています。

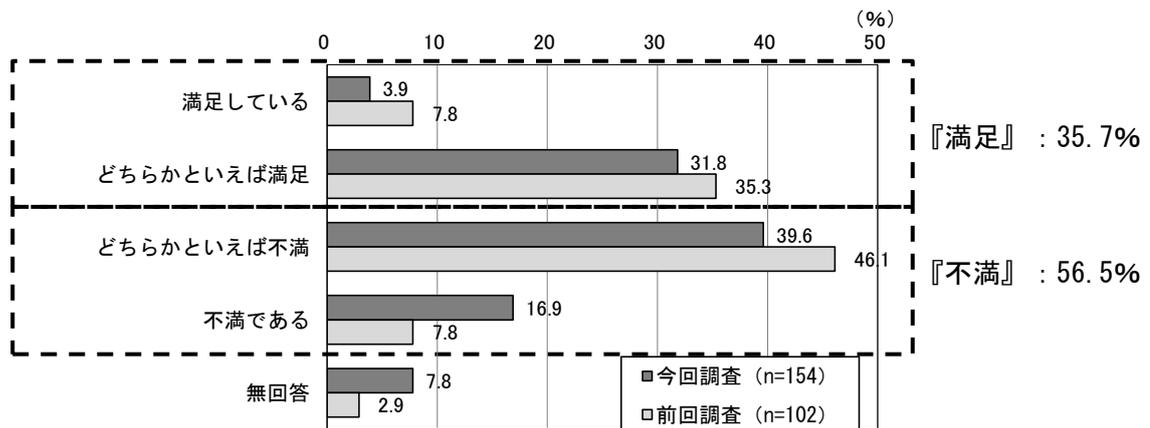


※「市のホームページ」「市の通知」「市の窓口」「市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり」は、前回調査では「国・県・市のホームページ」「県や市の通知」「県や市の窓口」「県や市の広報紙・パンフレット」で調査をしています。また、「計画相談員」は、前回調査では「身体障害者相談員」として調査をしています。

〔上段：人 下段：％〕	合計	問31. 障がい福祉に関する情報の入手先										
		市のホームページ	市の通知	市の窓口	市の広報紙・パンフレット・障がい福祉のしおり	印西市社会福祉協議会	民生委員・児童委員	ホームヘルパー・ケアマネジャー	計画相談員	福祉施設・就労支援施設	地域包括支援センター	
全体	154 100.0	47 30.5	34 22.1	28 18.2	41 26.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3	14 9.1	14 9.1	4 2.6	
性別	男性	86 100.0	25 29.1	16 18.6	15 17.4	20 23.3	0 0.0	1 1.2	1 1.2	5 5.8	8 9.3	1 1.2
	女性	68 100.0	22 32.4	18 26.5	13 19.1	21 30.9	1 1.5	1 1.5	1 1.5	9 13.2	6 8.8	3 4.4
年齢	6歳未満	30 100.0	13 43.3	9 30.0	5 16.7	4 13.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	2 6.7	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	16 29.1	7 12.7	7 12.7	16 29.1	1 1.8	1 1.8	1 1.8	7 12.7	4 7.3	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	10 26.3	9 23.7	9 23.7	13 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.9	5 13.2	0 0.0
	15歳以上	30 100.0	8 26.7	9 30.0	7 23.3	8 26.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3	3 10.0	2 6.7	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	7 20.0	5 14.3	9 25.7	11 31.4	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4 11.4	2 5.7	0 0.0
	知的障がい	126 100.0	41 32.5	28 22.2	22 17.5	33 26.2	0 0.0	2 1.6	2 1.6	12 9.5	11 8.7	3 2.4
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0

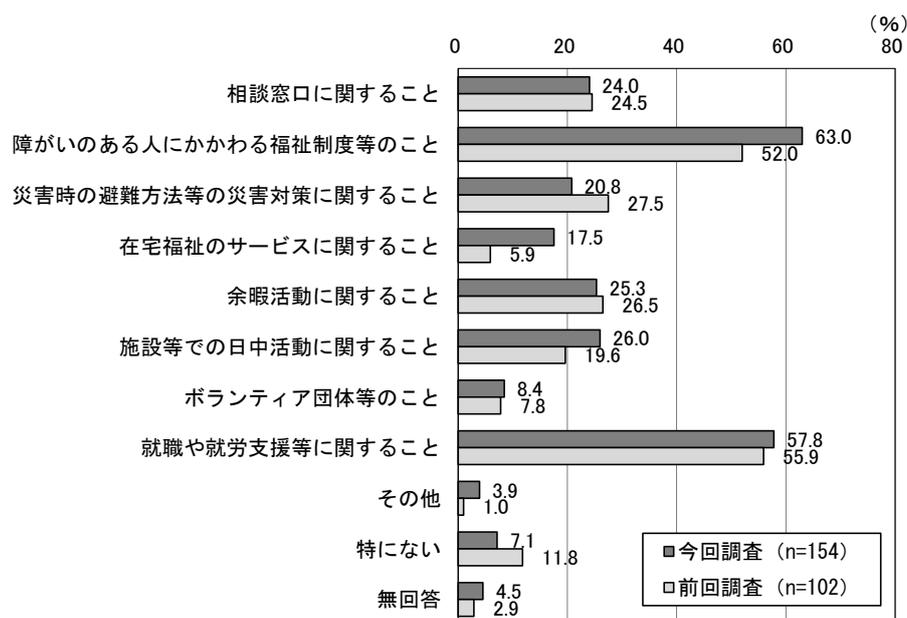
〔上段：人 下段：％〕	合計	問31. 障がい福祉に関する情報の入手先										
		病院・薬局	新聞・雑誌等	インターネット・SNS	ラジオ・テレビ	家族・友人・知人	身体障害者相談員、知的障害者相談員・地域相談員	その他	特になし	入手方法がわからない	無回答	
全体	154 100.0	22 14.3	7 4.5	52 33.8	20 13.0	54 35.1	13 8.4	5 3.2	4 2.6	11 7.1	5 3.2	
性別	男性	86 100.0	13 15.1	6 7.0	30 34.9	12 14.0	29 33.7	7 8.1	2 2.3	3 3.5	7 8.1	3 3.5
	女性	68 100.0	9 13.2	1 1.5	22 32.4	8 11.8	25 36.8	6 8.8	3 4.4	1 1.5	4 5.9	2 2.9
年齢	6歳未満	30 100.0	4 13.3	1 3.3	12 40.0	3 10.0	9 30.0	3 10.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	8 14.5	3 5.5	15 27.3	3 5.5	15 27.3	5 9.1	2 3.6	1 1.8	7 12.7	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	4 10.5	2 5.3	15 39.5	9 23.7	16 42.1	3 7.9	2 5.3	1 2.6	2 5.3	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	1 3.3	9 30.0	5 16.7	13 43.3	2 6.7	1 3.3	2 6.7	0 0.0	2 6.7
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	6 17.1	0 0.0	6 17.1	1 2.9	11 31.4	3 8.6	1 2.9	0 0.0	3 8.6	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	16 12.7	7 5.6	45 35.7	17 13.5	47 37.3	12 9.5	4 3.2	4 3.2	8 6.3	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が 35.7%、「どちらかといえ  
ば不満」と「不満である」を『不満』が 56.5%となっています。
- 前回調査と比べ、『不満』は 2.6 ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、“6 歳未満”は「不満である」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「どちらかといえば満足」、「知的障がい」は「ど  
ちらかといえば不満」が最も高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問32. 福祉の情報に満足しているか				
			満足して いる	どちらか といえ ば満 足	どちらか といえ ば不 満	不満であ る	無回答
全体		154 100.0	6 3.9	49 31.8	61 39.6	26 16.9	12 7.8
年 齢	6 歳未満	30 100.0	2 6.7	8 26.7	8 26.7	10 33.3	2 6.7
	6～11 歳	55 100.0	0 0.0	19 34.5	23 41.8	9 16.4	4 7.3
	12～14 歳	38 100.0	1 2.6	12 31.6	19 50.0	2 5.3	4 10.5
	15 歳以上	30 100.0	3 10.0	9 30.0	11 36.7	5 16.7	2 6.7
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	0 0.0	12 34.3	11 31.4	8 22.9	4 11.4
	知的障がい	126 100.0	5 4.0	41 32.5	51 40.5	18 14.3	11 8.7
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0

- 「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」が 63.0%で最も高く、次いで「就職や就労支援等に関すること」が 57.8%、「施設等での日中活動に関すること」が 26.0%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」が 11.0 ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、“6 歳未満” “6～11 歳”は「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」、「12～14 歳” “15 歳以上”は「就職や就労支援等に関すること」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”は「障がいのある人にかかわる福祉制度等のこと」、「知的障がい”は「就職や就労支援等に関すること」が最も高くなっています。

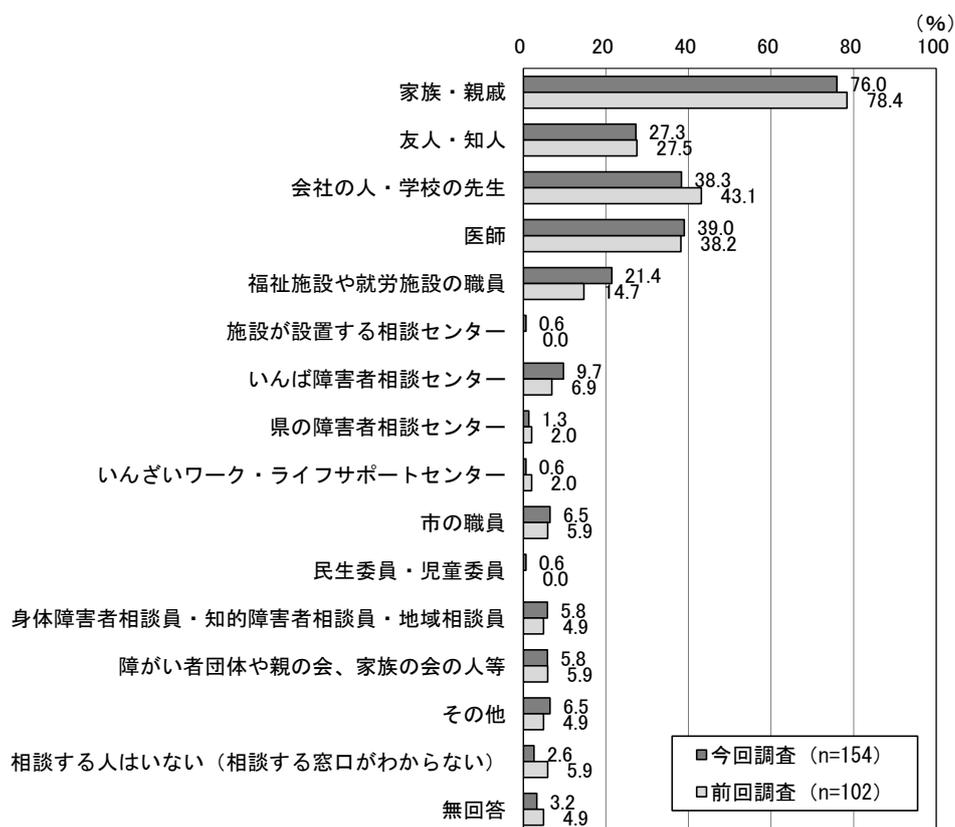


( 上段：人 下段：% )	合計	問33. 生活に関することで知りたい情報						
		相談窓口 に関する こと	障がいのある人にかかわる 福祉制度 等のこと	災害時の 避難方法 等の災害 対策に関 すること	在宅福祉 のサービ スに関す ること	余暇活動 に関する こと	施設等 の日中活 動に関す ること	
全体	154 100.0	37 24.0	97 63.0	32 20.8	27 17.5	39 25.3	40 26.0	
年齢	6歳未満	30 100.0	13 43.3	24 80.0	2 6.7	10 33.3	9 30.0	13 43.3
	6～11歳	55 100.0	16 29.1	31 56.4	13 23.6	8 14.5	14 25.5	15 27.3
	12～14歳	38 100.0	3 7.9	24 63.2	7 18.4	5 13.2	7 18.4	5 13.2
	15歳以上	30 100.0	5 16.7	18 60.0	10 33.3	4 13.3	9 30.0	7 23.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	6 17.1	20 57.1	9 25.7	13 37.1	6 17.1	10 28.6
	知的障がい	126 100.0	33 26.2	80 63.5	24 19.0	17 13.5	34 27.0	34 27.0
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

( 上段：人 下段：% )	合計	問33. 生活に関することで知りたい情報					
		ボラン ティア団 体等のこ と	就職や就 労支援等 に関する こと	その他	特にな い	無回答	
全体	154 100.0	13 8.4	89 57.8	6 3.9	11 7.1	7 4.5	
年齢	6歳未満	30 100.0	3 10.0	9 30.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	4 7.3	30 54.5	2 3.6	8 14.5	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	3 7.9	28 73.7	4 10.5	1 2.6	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	3 10.0	21 70.0	0 0.0	1 3.3	3 10.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	3 8.6	7 20.0	2 5.7	3 8.6	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	10 7.9	82 65.1	4 3.2	9 7.1	7 5.6
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「家族・親戚」が 76.0%で最も高く、次いで「医師」が 39.0%、「会社の人・学校の先生」が 38.3%の順となっています。

○年齢別にみると、すべての年代で「家族・親戚」が最も高いものの、“6歳未満”は「医師」も高くなっています。



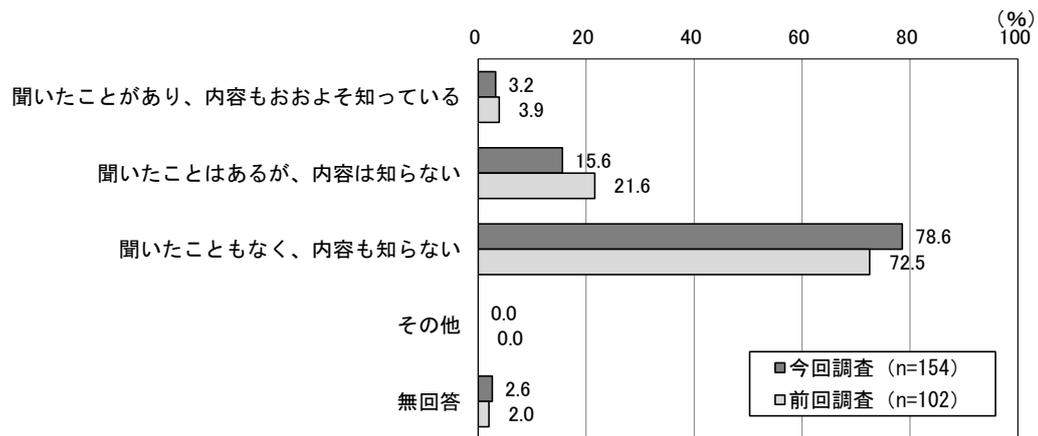
〔上段：人 下段：％〕	合計	問34. 悩みや困ったことを相談する相手								
		家族・親 戚	友人・知 人	会社 の先生	医師	福祉施設 や就労施 設の職員	施設が設 置する相 談セン ター	いんば障 害者相談 センター	県の障害 者相談セ ンター	
全体	154 100.0	117 76.0	42 27.3	59 38.3	60 39.0	33 21.4	1 0.6	15 9.7	2 1.3	
年齢	6歳未満	30 100.0	21 70.0	10 33.3	5 16.7	15 50.0	6 20.0	0 0.0	5 16.7	0 0.0
	6～11歳	55 100.0	41 74.5	15 27.3	21 38.2	19 34.5	14 25.5	1 1.8	4 7.3	1 1.8
	12～14歳	38 100.0	30 78.9	8 21.1	19 50.0	16 42.1	10 26.3	0 0.0	3 7.9	0 0.0
	15歳以上	30 100.0	24 80.0	8 26.7	13 43.3	10 33.3	3 10.0	0 0.0	3 10.0	1 3.3
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	24 68.6	8 22.9	9 25.7	17 48.6	2 5.7	1 2.9	6 17.1	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	98 77.8	34 27.0	52 41.3	45 35.7	31 24.6	1 0.8	11 8.7	0 0.0
	精神障がい	5 100.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問34. 悩みや困ったことを相談する相手								
		いんざい ワーク・ ライフサ ポートセ ンター	市の職員	民生委 員・児童 委員	身体障害 者相談 員・知的 障害者相 談員・地 域相談員	障がい者 団体や親 の会、家 族の会 の人等	その他	相談する 人はいな い（相談 する窓口 がわから ない）	無回答	
全体	154 100.0	1 0.6	10 6.5	1 0.6	9 5.8	9 5.8	10 6.5	4 2.6	5 3.2	
年齢	6歳未満	30 100.0	0 0.0	4 13.3	0 0.0	2 6.7	5 16.7	3 10.0	1 3.3	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	1 1.8	4 7.3	1 1.8	3 5.5	1 1.8	4 7.3	2 3.6	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	2 5.3	2 5.3	2 5.3	0 0.0	2 5.3
	15歳以上	30 100.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3	1 3.3	2 6.7
障 が い の 種 類	身体障がい	35 100.0	0 0.0	3 8.6	0 0.0	3 8.6	3 8.6	2 5.7	0 0.0	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	1 0.8	8 6.3	1 0.8	6 4.8	7 5.6	7 5.6	4 3.2	5 4.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

○「聞いたこともなく、内容も知らない」が78.6%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が15.6%、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が3.2%の順となっています。

○前回調査と比べ、「聞いたこともなく、内容も知らない」は6.1ポイント増加しました。

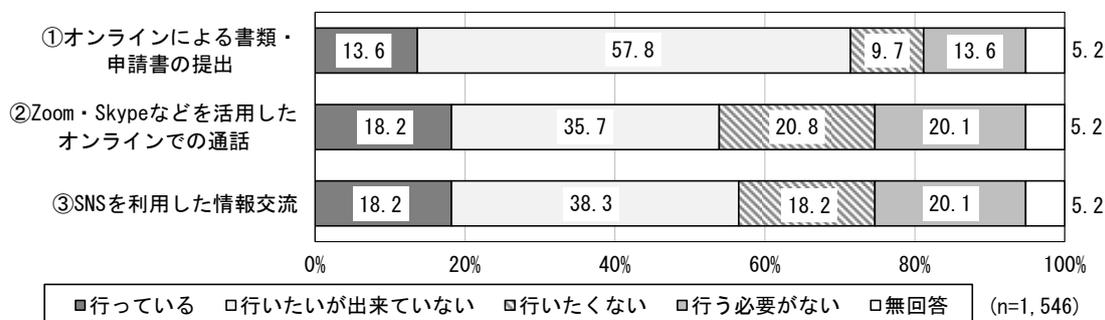
○障がいの種類別にみると、すべての障がいで「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高いものの、“身体障がい”は「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」がやや高くなっています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

〔上段：人 下段：％〕		合計	問35. 印西市障がい者プランを知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		154 100.0	5 3.2	24 15.6	121 78.6	0 0.0	4 2.6
年齢	6歳未満	30 100.0	1 3.3	1 3.3	27 90.0	0 0.0	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	2 3.6	8 14.5	45 81.8	0 0.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	2 5.3	9 23.7	24 63.2	0 0.0	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	0 0.0	6 20.0	24 80.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	3 8.6	5 14.3	26 74.3	0 0.0	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	3 2.4	18 14.3	101 80.2	0 0.0	4 3.2
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0

○「行っている」については、「②Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話」と「③SNSを利用した情報交流」が18.2%、「①オンラインによる書類・申請書の提出」が13.6%となっています。



【①オンラインによる書類・申請書の提出】

( 上段：人 下段：% )		合計	問36①. オンラインによる書類・申請書の提出				
			行っている	行いたいが出来ていない	行いたくない	行わない	無回答
全体		154 100.0	21 13.6	89 57.8	15 9.7	21 13.6	8 5.2
年齢	6歳未満	30 100.0	7 23.3	18 60.0	0 0.0	4 13.3	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	4 7.3	32 58.2	7 12.7	9 16.4	3 5.5
	12～14歳	38 100.0	6 15.8	25 65.8	1 2.6	3 7.9	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	14 46.7	6 20.0	5 16.7	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	4 11.4	21 60.0	3 8.6	5 14.3	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	17 13.5	72 57.1	13 10.3	17 13.5	7 5.6
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

【②Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話】

〔上段：人 下段：％〕		合計	問36②. Zoom・Skypeなどを活用したオンラインでの通話				
			行っている	行いたい が出来て いない	行いたく ない	行う必要 がない	無回答
全体		154 100.0	28 18.2	55 35.7	32 20.8	31 20.1	8 5.2
年齢	6歳未満	30 100.0	7 23.3	9 30.0	3 10.0	10 33.3	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	6 10.9	20 36.4	14 25.5	12 21.8	3 5.5
	12～14歳	38 100.0	11 28.9	15 39.5	5 13.2	4 10.5	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	4 13.3	11 36.7	9 30.0	5 16.7	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	7 20.0	10 28.6	5 14.3	11 31.4	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	22 17.5	43 34.1	29 23.0	25 19.8	7 5.6
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

【③SNSを利用した情報交流】

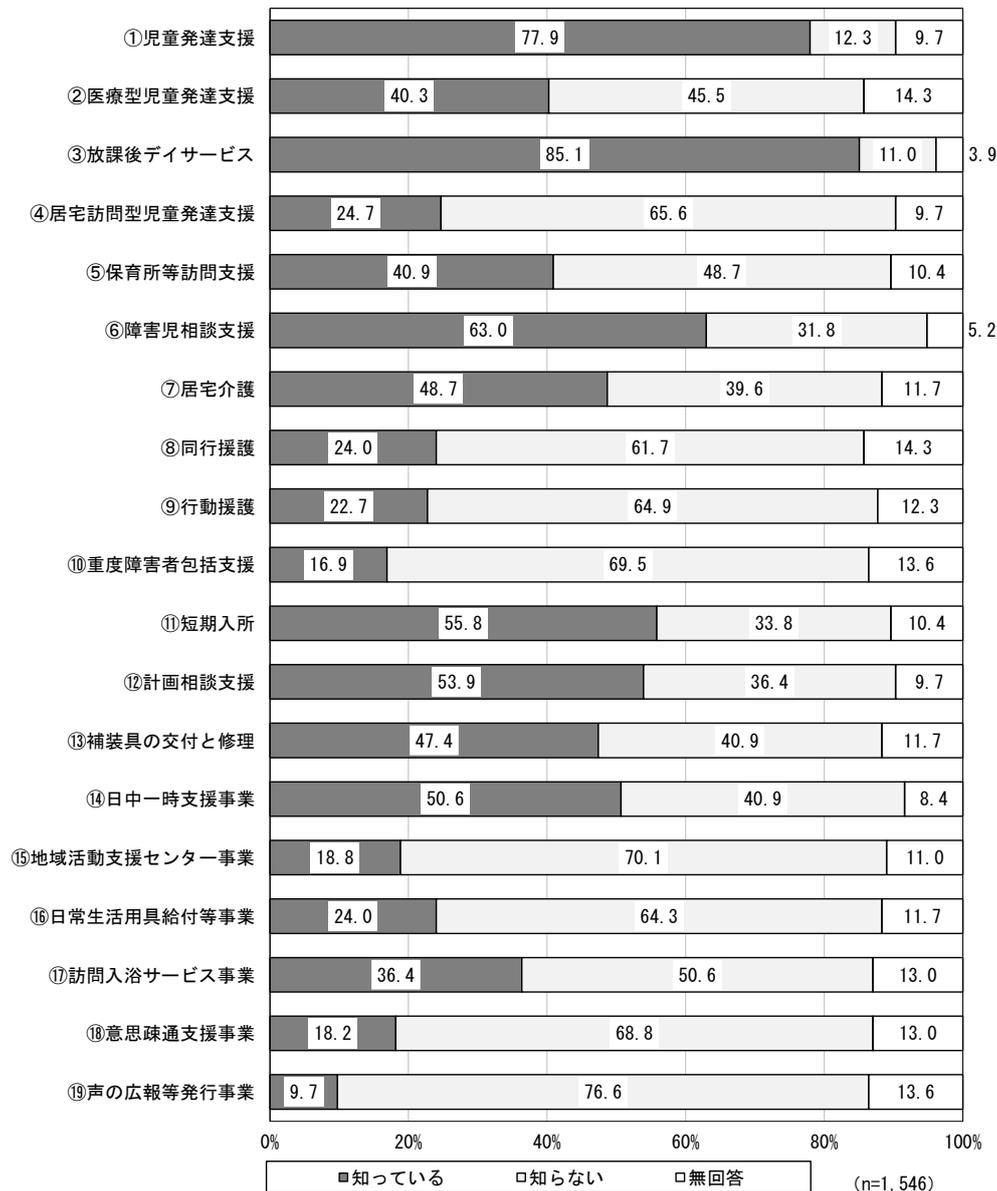
〔上段：人 下段：％〕		合計	問36③. SNSを利用した情報交流				
			行っている	行いたい が出来て いない	行いたく ない	行う必要 がない	無回答
全体		154 100.0	28 18.2	59 38.3	28 18.2	31 20.1	8 5.2
年齢	6歳未満	30 100.0	8 26.7	11 36.7	2 6.7	8 26.7	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	7 12.7	22 40.0	11 20.0	12 21.8	3 5.5
	12～14歳	38 100.0	7 18.4	17 44.7	6 15.8	5 13.2	3 7.9
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	9 30.0	8 26.7	6 20.0	1 3.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	9 25.7	12 34.3	4 11.4	8 22.9	2 5.7
	知的障がい	126 100.0	22 17.5	47 37.3	25 19.8	25 19.8	7 5.6
	精神障がい	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

## 7. 障がいのある子どもの福祉サービスについて

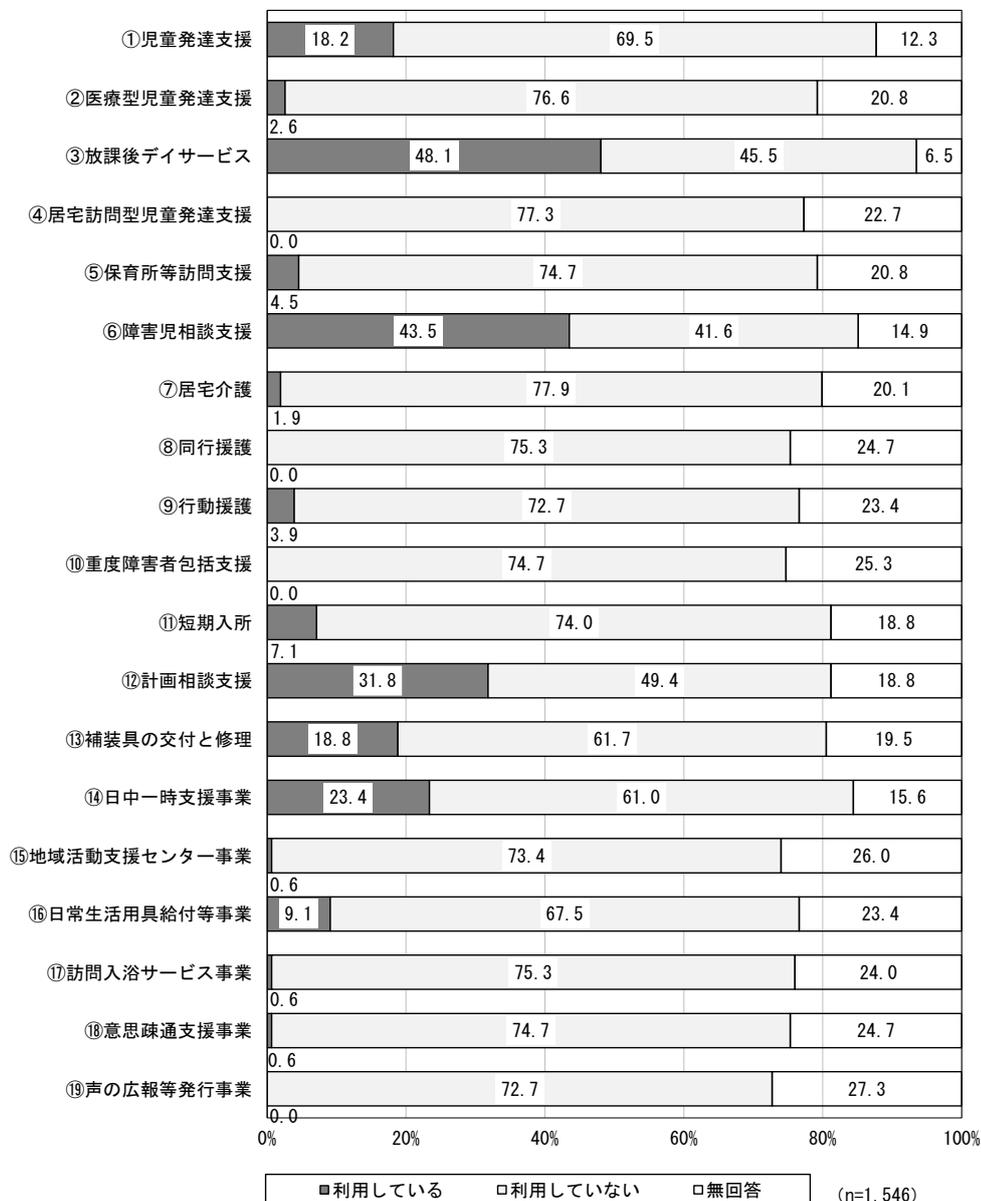
問 37 (1). 障害児福祉サービスの内容を知っているか

【SA】

○印西市で実施している障害児福祉サービスのうち、内容を「知っている」サービスについては、「③放課後デイサービス」が85.1%で最も高く、次いで「①児童発達支援」が77.9%、「⑥障害児相談支援」が63.0%の順となっています。

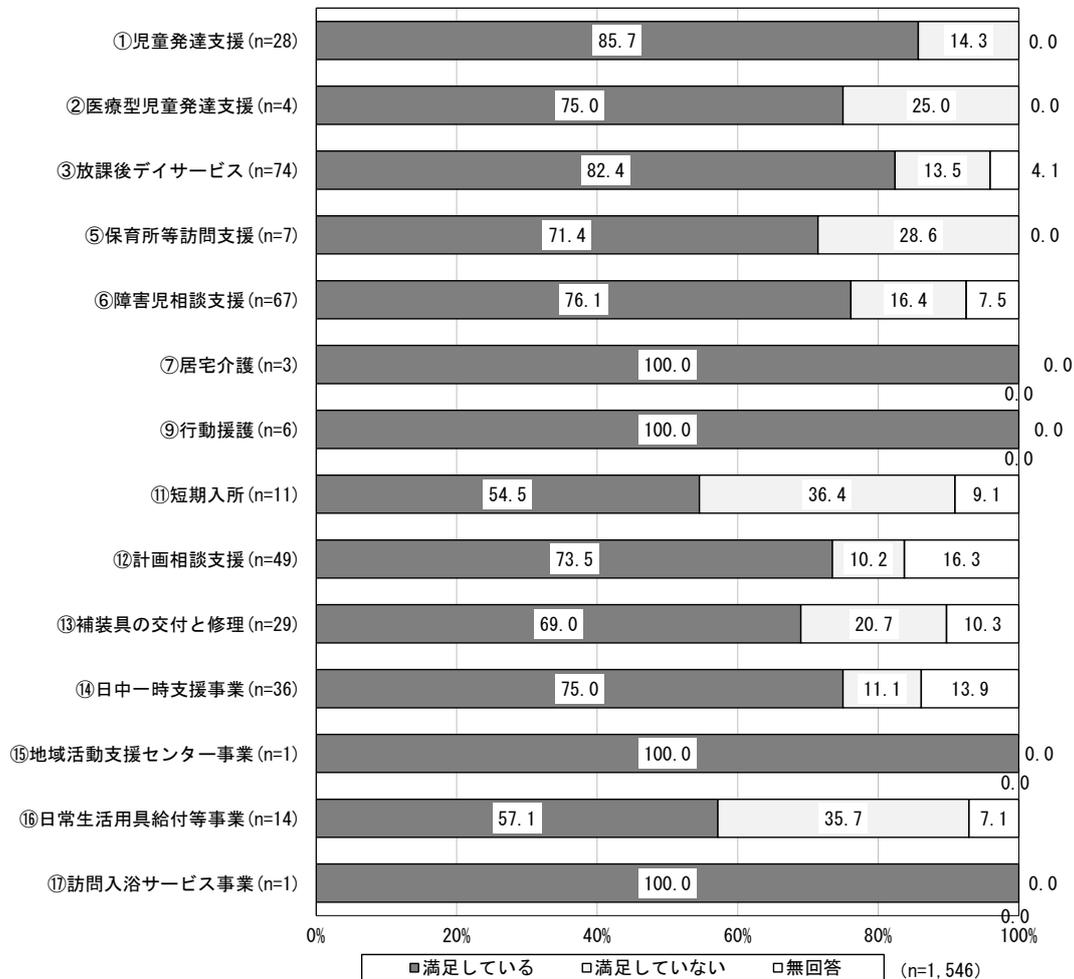


○市で実施している障害福祉サービスのうち、「利用している」サービスについては、「③放課後デイサービス」が48.1%で最も高く、次いで「⑥障害児相談支援」が43.5%、「⑫計画相談支援」が31.8%となっています。



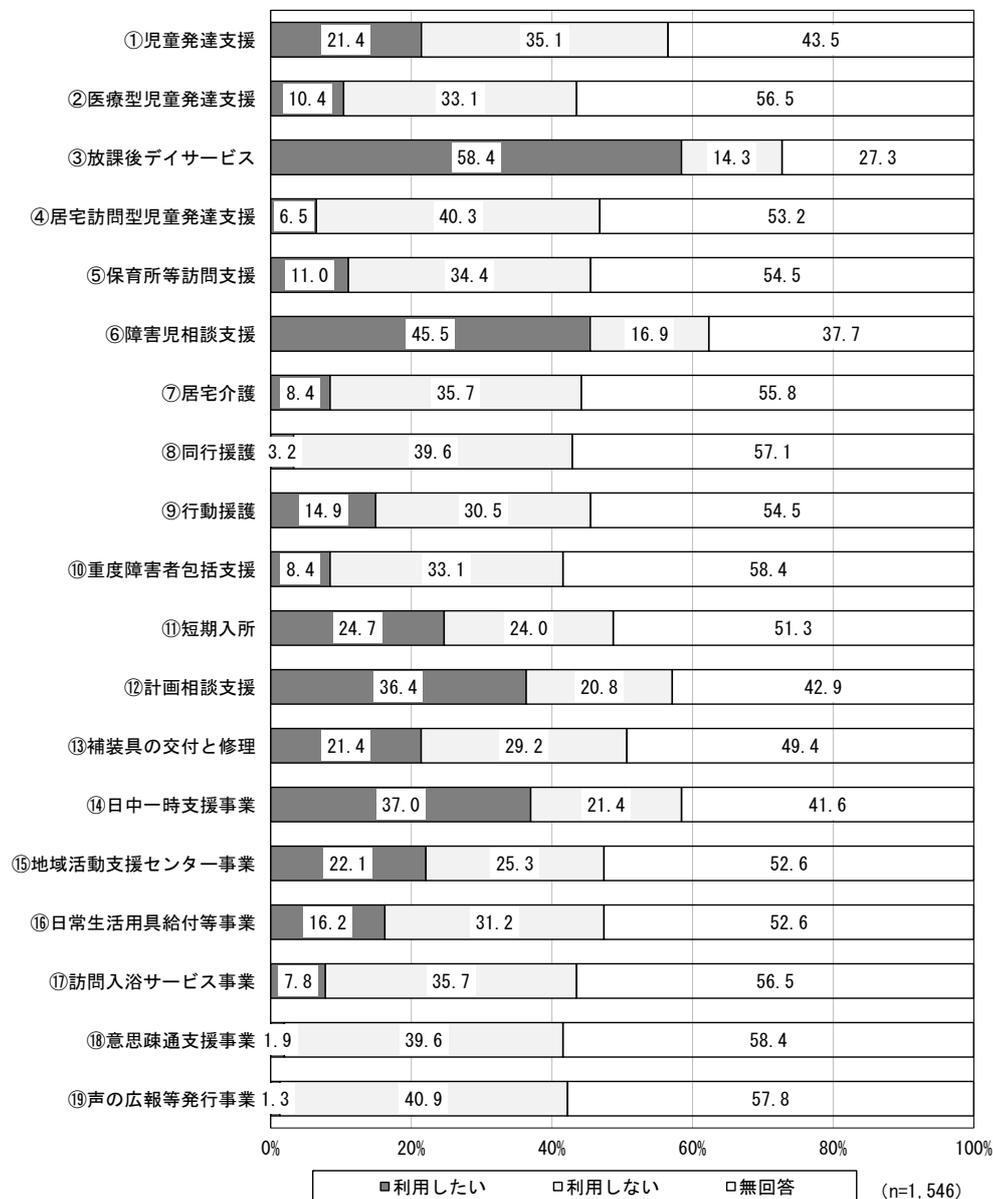
(問 37 (2) において「利用している」を回答した方限定)

○回答数が少なく参考となりますが、市で実施している障害福祉サービスのうち、「満足している」が高いサービスは「①児童発達支援」「③放課後デイサービス」「⑦居宅介護」「⑨行動援護」「⑮地域活動支援センター事業」「⑰訪問入浴サービス事業」となっています。



※「④居宅訪問型児童発達支援」「⑧同行援護」「⑩重度障害者包括支援」「⑲声の広報等発行事業」は利用している人がいない、またはすべて無回答であったため、グラフより除外しています。

○市で実施している障害福祉サービスのうち、「今後利用したい」サービスについては、「③放課後デイサービス」が58.4%で最も高く、次いで「⑥障害児相談支援」が45.5%、「⑭日中一時支援事業」が37.0%となっています。



## 8. 障がい者施策について

### 問 38. 印西市はあなたにとって暮らしやすいか

【SA】

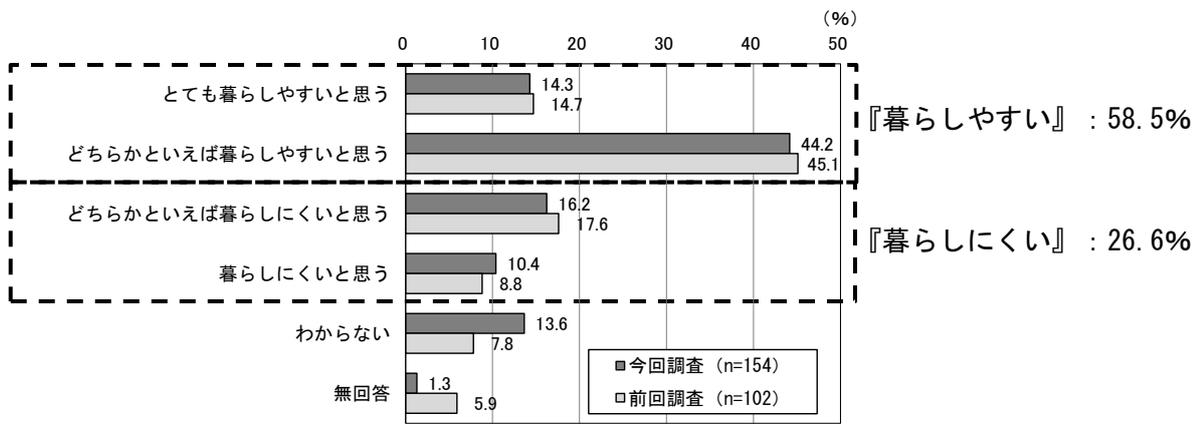
○「とても暮らしやすいと思う」と「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を合わせた『暮らしやすい』が 58.5%、「どちらかといえば暮らしにくいと思う」と「暮らしにくいと思う」を合わせた『暮らしにくい』が 26.6%となっています。

○前回調査と比べ、『暮らしやすい』は 1.3 ポイント減少しました。

○性別にみると、『暮らしやすい』は“男性”の方が 9.9 ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、『暮らしやすい』は“12～14 歳”が最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、『暮らしやすい』は“知的障がい”が最も高くなっています。



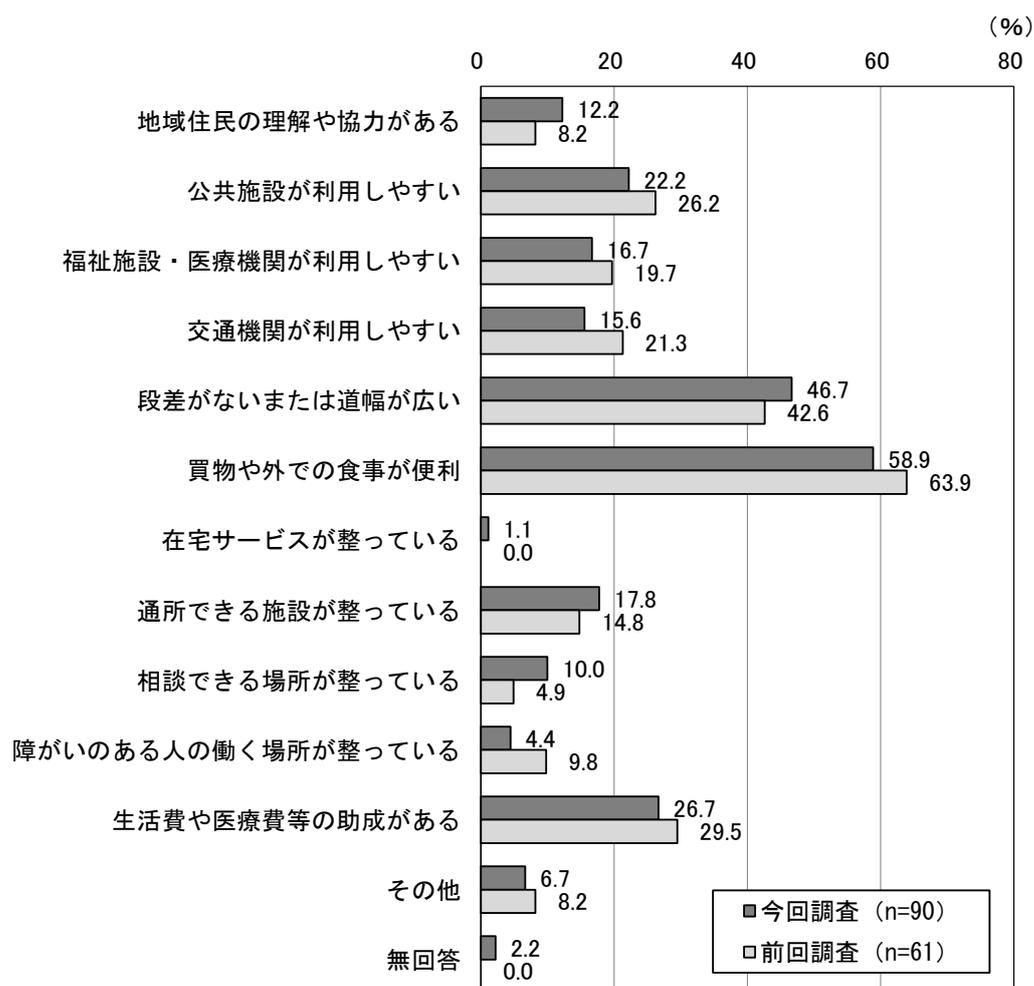
上段: 人 下段: %	合計	問 38. 印西市はあなたにとって暮らしやすいか						
		とても暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしにくいと思う	暮らしにくいと思う	わからない	無回答	
全体	154 100.0	22 14.3	68 44.2	25 16.2	16 10.4	21 13.6	2 1.3	
性別	男性	86 100.0	13 15.1	41 47.7	12 14.0	9 10.5	10 11.6	1 1.2
	女性	68 100.0	9 13.2	27 39.7	13 19.1	7 10.3	11 16.2	1 1.5
年齢	6歳未満	30 100.0	2 6.7	11 36.7	7 23.3	4 13.3	5 16.7	1 3.3
	6～11歳	55 100.0	6 10.9	25 45.5	8 14.5	5 9.1	11 20.0	0 0.0
	12～14歳	38 100.0	7 18.4	20 52.6	5 13.2	3 7.9	2 5.3	1 2.6
	15歳以上	30 100.0	6 20.0	12 40.0	5 16.7	4 13.3	3 10.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	4 11.4	11 31.4	8 22.9	5 14.3	6 17.1	1 2.9
	知的障がい	126 100.0	18 14.3	60 47.6	19 15.1	12 9.5	15 11.9	2 1.6
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0

(問 38 において「とても暮らしやすいと思う」「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を回答した方限定)

○「買物や外での食事が便利」が 58.9% で最も高く、次いで「段差がないまたは道幅が広い」が 46.7%、「生活費や医療費等の助成がある」が 26.7% の順となっています。

○前回調査と比べ、「買物や外での食事が便利」は 5.0 ポイント減少しました。

○年齢別にみると、多くの年齢で「買物や外での食事が便利」が最も高く、なかでも“6 歳未満”“6～11 歳”は 6 割を超えています。

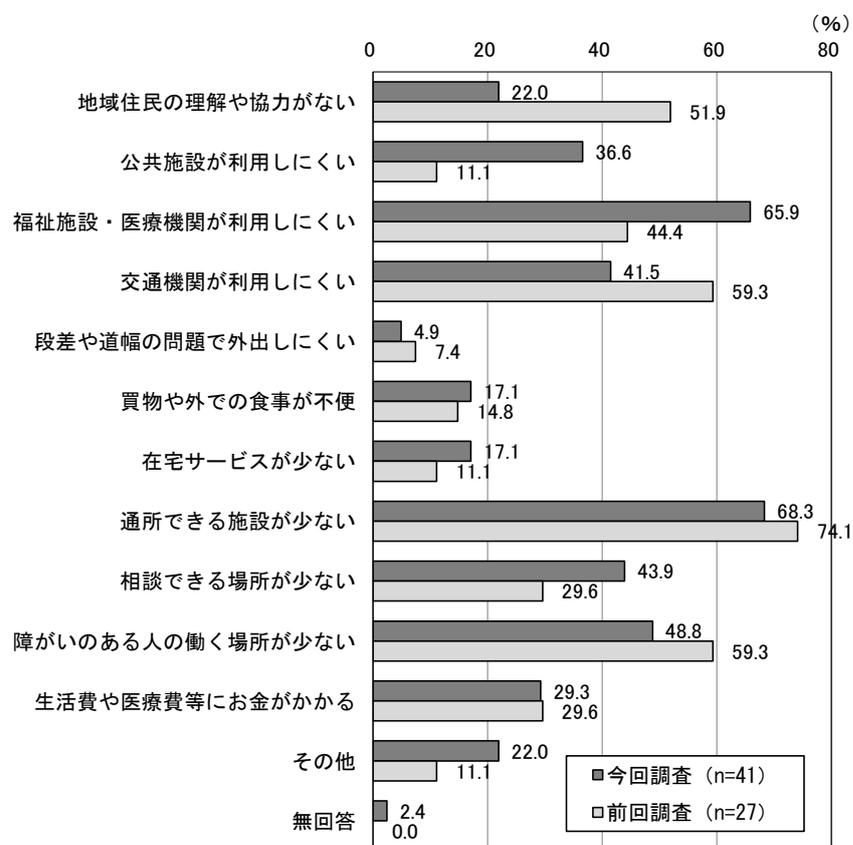


〔上段：人 下段：％〕	合計	問38-1. 印西市が暮らしやすいと感じるところ							
		地域住民の理解や協力がある	公共施設が利用しやすい	福祉施設・医療機関が利用しやすい	交通機関が利用しやすい	段差がないまたは道幅が広い	買物や外での食事が便利	在宅サービスが整っている	
全体	90 100.0	11 12.2	20 22.2	15 16.7	14 15.6	42 46.7	53 58.9	1 1.1	
年齢	6歳未満	13 100.0	1 7.7	3 23.1	1 7.7	1 7.7	6 46.2	9 69.2	0 0.0
	6～11歳	31 100.0	3 9.7	5 16.1	2 6.5	2 6.5	12 38.7	20 64.5	1 3.2
	12～14歳	27 100.0	4 14.8	8 29.6	8 29.6	6 22.2	13 48.1	13 48.1	0 0.0
	15歳以上	18 100.0	3 16.7	3 16.7	4 22.2	5 27.8	11 61.1	10 55.6	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	15 100.0	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	5 33.3	6 40.0	1 6.7
	知的障がい	78 100.0	10 12.8	17 21.8	15 19.2	14 17.9	37 47.4	48 61.5	0 0.0
	精神障がい	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0

〔上段：人 下段：％〕	合計	問38-1. 印西市が暮らしやすいと感じるところ						
		通所できる施設が整っている	相談できる場所が整っている	障がいのある人の働く場所が整っている	生活費や医療費等の助成がある	その他	無回答	
全体	90 100.0	16 17.8	9 10.0	4 4.4	24 26.7	6 6.7	2 2.2	
年齢	6歳未満	13 100.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	6～11歳	31 100.0	5 16.1	3 9.7	1 3.2	7 22.6	3 9.7	1 3.2
	12～14歳	27 100.0	5 18.5	3 11.1	1 3.7	8 29.6	2 7.4	1 3.7
	15歳以上	18 100.0	3 16.7	3 16.7	2 11.1	8 44.4	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7
	知的障がい	78 100.0	16 20.5	9 11.5	4 5.1	22 28.2	5 6.4	2 2.6
	精神障がい	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(問 38 において「どちらかといえば暮らしにくいと思う」「暮らしにくいと思う」を回答した方限定)

- 「通所できる施設が少ない」が 68.3%で最も高く、次いで「福祉施設・医療機関が利用しにくい」が 65.9%、「障がいのある人の働く場所が少ない」が 48.8%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「福祉施設・医療機関が利用しにくい」は 21.5 ポイント増加しました。
- 年齢別にみると、多くの年代で「福祉施設・医療機関が利用しにくい」が高くなっていますが、“6 歳未満”は「通所できる施設が少ない」が最も高くなっています。
- 障がいの種類別にみると、“身体障がい”“知的障がい”は「通所できる施設が少ない」が最も高くなっています。



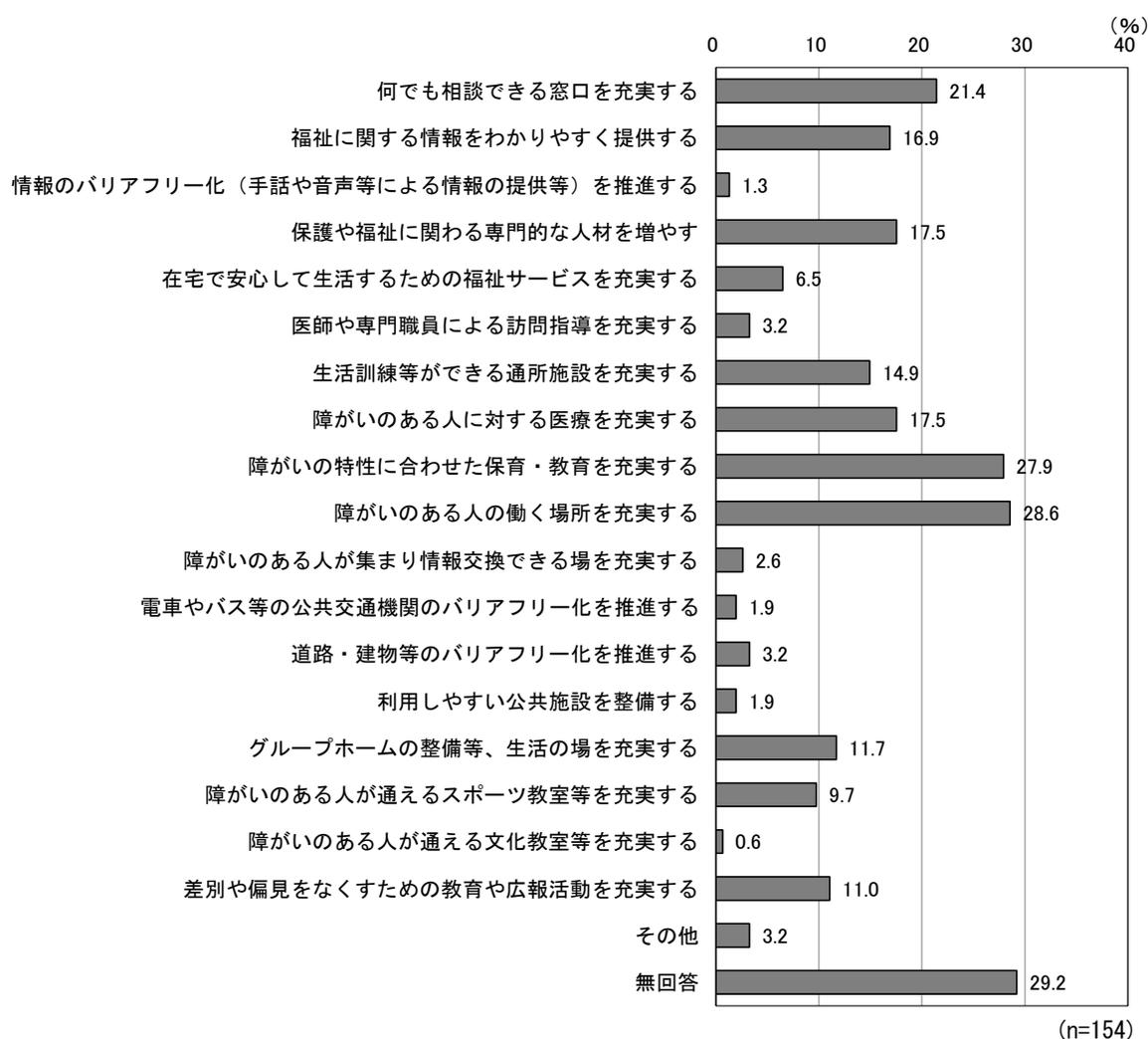
上段：人 下段：%	合計	問38-2. 印西市が暮らしにくいと感じるところ							
		地域住民の理解や協力が無い	公共施設が利用しにくい	福祉施設・医療機関が利用しにくい	交通機関が利用しにくい	段差や道幅の問題で外出しにくい	買物や外での食事が不便	在宅サービスが少ない	
全体	41 100.0	9 22.0	15 36.6	27 65.9	17 41.5	2 4.9	7 17.1	7 17.1	
年齢	6歳未満	11 100.0	2 18.2	7 63.6	4 36.4	6 54.5	1 9.1	2 18.2	4 36.4
	6～11歳	13 100.0	5 38.5	4 30.8	11 84.6	6 46.2	0 0.0	4 30.8	1 7.7
	12～14歳	8 100.0	1 12.5	2 25.0	6 75.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	15歳以上	9 100.0	1 11.1	2 22.2	6 66.7	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	13 100.0	3 23.1	4 30.8	8 61.5	4 30.8	1 7.7	3 23.1	4 30.8
	知的障がい	31 100.0	7 22.6	12 38.7	19 61.3	15 48.4	1 3.2	5 16.1	4 12.9
	精神障がい	3 100.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3

上段：人 下段：%	合計	問38-2. 印西市が暮らしにくいと感じるところ						
		通所できる施設が少ない	相談できる場所が少ない	障がいのある人の働く場所が少ない	生活費や医療費等にお金がかかる	その他	無回答	
全体	41 100.0	28 68.3	18 43.9	20 48.8	12 29.3	9 22.0	1 2.4	
年齢	6歳未満	11 100.0	8 72.7	4 36.4	4 36.4	4 36.4	3 27.3	0 0.0
	6～11歳	13 100.0	10 76.9	9 69.2	8 61.5	5 38.5	1 7.7	0 0.0
	12～14歳	8 100.0	4 50.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	15歳以上	9 100.0	6 66.7	2 22.2	5 55.6	3 33.3	3 33.3	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	13 100.0	11 84.6	4 30.8	3 23.1	4 30.8	3 23.1	0 0.0
	知的障がい	31 100.0	20 64.5	13 41.9	17 54.8	7 22.6	6 19.4	1 3.2
	精神障がい	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0

○「障がいのある人の働く場所を充実する」が28.6%で最も高く、次いで「障がいの特性に合わせた保育・教育を充実する」が27.6%、「何でも相談できる窓口を充実する」が21.4%の順となっています。

○年齢別にみると、“6歳未満”“6～11歳”は「障がいの特性に合わせた保育・教育を充実する」、  
“12～14歳”“15歳以上”は「障がいのある人の働く場所を充実する」が最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、“知的障がい”は「障がいのある人の働く場所を充実する」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問39. 暮らしやすいまちづくりのために希望すること										
		何でも相 談できる 窓口を充 実する	福祉に関 する情報 をわかり やすく提 供する	情報のバ リアフ リー化 (手話や 音声等 による情 報の提供 等)を推 進する	保護や福 祉に関わ る専門的 な人材を 増やす	在宅で安 心して生 活するた めの福祉 サービスを 充実する	医師や専 門職員に よる訪問 指導を充 実する	生活訓練 等ができ る通所施 設を充実 する	障がいの ある人に 対する医 療を充実 する	障がいの 特性に合 わせた保 育・教育 を充実す る	障がいの ある人の 働く場所 を充実す る	
全体	154 100.0	33 21.4	26 16.9	2 1.3	27 17.5	10 6.5	5 3.2	23 14.9	27 17.5	43 27.9	44 28.6	
性別	男性	86 100.0	17 19.8	14 16.3	1 1.2	16 18.6	4 4.7	2 2.3	10 11.6	14 16.3	22 25.6	26 30.2
	女性	68 100.0	16 23.5	12 17.6	1 1.5	11 16.2	6 8.8	3 4.4	13 19.1	13 19.1	21 30.9	18 26.5
年齢	6歳未満	30 100.0	7 23.3	7 23.3	0 0.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	7 23.3	5 16.7	12 40.0	2 6.7
	6～11歳	55 100.0	12 21.8	9 16.4	2 3.6	14 25.5	3 5.5	1 1.8	8 14.5	12 21.8	20 36.4	15 27.3
	12～14歳	38 100.0	5 13.2	6 15.8	0 0.0	3 7.9	0 0.0	3 7.9	5 13.2	6 15.8	8 21.1	13 34.2
	15歳以上	30 100.0	9 30.0	4 13.3	0 0.0	7 23.3	5 16.7	0 0.0	3 10.0	4 13.3	3 10.0	13 43.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	8 22.9	8 22.9	1 2.9	4 11.4	7 20.0	2 5.7	5 14.3	10 28.6	10 28.6	6 17.1
	知的障がい	126 100.0	24 19.0	22 17.5	1 0.8	23 18.3	5 4.0	2 1.6	21 16.7	19 15.1	34 27.0	40 31.7
	精神障がい	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

上段：人 下段：%	合計	問39. 暮らしやすいまちづくりのために希望すること										
		障がいの ある人が 集まり情 報交換で きる場を 充実する	電車やバ ス等の公 共交通機 関のバリ アフリー 化を推 進する	道路・建 物等のバ リアフ リー化を 推進する	利用しや すい公共 施設を整 備する	グループ ホームの 整備等、 生活の場 を充実す る	障がいの ある人が 通えるス ポーツ教 室等を充 実する	障がいの ある人が 通える文 化教室等 を充実す る	差別や偏 見をなく すための 教育や広 報活動を 充実する	その他	無回答	
全体	154 100.0	4 2.6	3 1.9	5 3.2	3 1.9	18 11.7	15 9.7	1 0.6	17 11.0	5 3.2	45 29.2	
性別	男性	86 100.0	1 1.2	2 2.3	5 5.8	2 2.3	9 10.5	9 10.5	0 0.0	13 15.1	4 4.7	25 29.1
	女性	68 100.0	3 4.4	1 1.5	0 0.0	1 1.5	9 13.2	6 8.8	1 1.5	4 5.9	1 1.5	20 29.4
年齢	6歳未満	30 100.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	1 3.3	3 10.0	2 6.7	0 0.0	2 6.7	1 3.3	11 36.7
	6～11歳	55 100.0	2 3.6	1 1.8	1 1.8	0 0.0	7 12.7	7 12.7	0 0.0	7 12.7	2 3.6	11 20.0
	12～14歳	38 100.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	2 5.3	2 5.3	2 5.3	0 0.0	5 13.2	1 2.6	16 42.1
	15歳以上	30 100.0	0 0.0	2 6.7	3 10.0	0 0.0	5 16.7	4 13.3	1 3.3	3 10.0	1 3.3	7 23.3
障がいの種類	身体障がい	35 100.0	1 2.9	1 2.9	2 5.7	0 0.0	6 17.1	1 2.9	0 0.0	1 2.9	1 2.9	9 25.7
	知的障がい	126 100.0	4 3.2	1 0.8	2 1.6	3 2.4	15 11.9	15 11.9	1 0.8	15 11.9	4 3.2	38 30.2
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0

○自由意見として、71人から、123件の回答がありました。主な内容は次のとおりです。

主な意見	件数
<p>医療・医療的ケア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇表面に出ない声が沢山あるので、医師・専門職員の訪問を充実してほしい。</li> <li>◇定期的にS T（言語訓練）のため、鎌ヶ谷市に通院している。そこでも先生が不足しているため、毎週は予約できない。印西市でも通院できたら助かると思う。</li> <li>◇児童発達支援を受けた事はあったが、P T（理学療法士）不在、人員不足のため思う様にリハビリを受けられなかった。サービス、事業として存在していても実際に受けられない状態とならないよう人員や能力の充実をしてほしい。</li> <li>◇リハビリ施設がなく、市外に片道1時間かけて通うしかない。しかも予約がとれずなかなか行けない。</li> <li>◇未就学児の支援は充実しているが、就学以降の支援が不足している。発達検査の実施可能な病院も少なく、残念に思う。</li> <li>◇医療的ケアが必要な子どもが、大人になって通える施設が他の市と比べて少ないように思う。</li> </ul>	26件
<p>学校・教育 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学校では、障がい児の個々の特性を理解し、それに合った指導をしてくれる先生を育成してほしい。</li> <li>◇障がいのある子どもも入れる保育園を増やしてほしい。デイサービスは保育園ほど長時間預かってもらえないので、働くことが難しい。</li> <li>◇発達障がい幼稚園のトラブルが多く、二次障がいの心配があった。</li> <li>◇小学校の支援学級に通っているが、支援員が足りない。</li> <li>◇障がいのある子供も入れる保育園を増やして欲しい。デイサービスは保育園程長時間預かってもらえないので、働くことが難しい。</li> <li>◇先生がいっぱいいっぱいと、本来受けられる支援もまともに受けられない。学校によって人数が違い過ぎるのも問題。</li> </ul>	24件
<p>相談・情報提供 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇小学～中高生たちが通えて、気軽に相談できる場所がほしい。</li> <li>◇療育手帳の取得する時の情報、説明が足りず、時間がかかった。わかり易く、情報提供していただきたい。</li> <li>◇印西市に病院が無くても、千葉県や茨城県で通える範囲での情報は教えてもらえるようにしてほしい。</li> <li>◇市の施策が何なのか全く分からない。こちらから調べて初めて分かるやり方ではなく、対象者へどんどん発信してほしい。</li> <li>◇臨床心理士・OT・STなどの専門職が常駐する相談場所がほしい。</li> </ul>	15件
<p>障がい児福祉サービス 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇短期入所を利用したいが、なかなか利用できないので施設を増やしてほしい。</li> <li>◇放課後デイサービスを利用しているが、本人と環境が合わなく、事業所を変えてきた。本人に合ったサービスが受けられるよう、コーディネートして下さる方がいれば、とても助かる。</li> <li>◇18才までは学校、デイサービスに在籍できるが、卒業後が心配。通所施設を充実していただきたい。</li> </ul>	12件

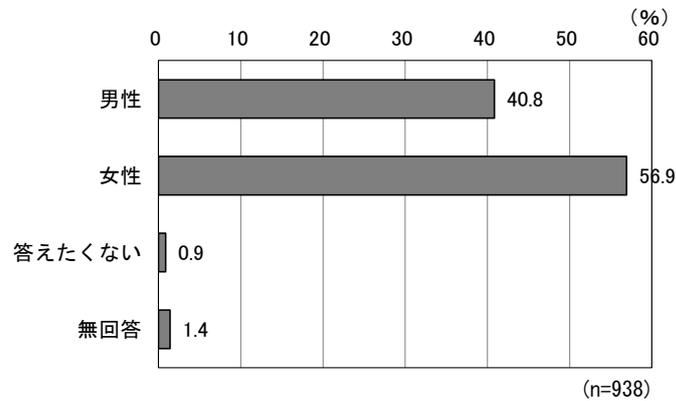
行政・行政施策 等	11 件
<p>◇保育に力を入れているが、障がい福祉にも力を入れてほしい。</p> <p>◇重度心身障害でも、親と分離して楽しく過ごせる場、居場所を確保してほしい。</p> <p>◇障がいのある子どもを育てていく上では、障がい福祉課、保育課、指導課などとの関わりが必要。課同士の繋がりがきちんとなければ、障がいのある子が住みやすい町になるとは思えない。</p>	
雇用・就労 等	5 件
<p>◇自分の住んでいる市で働きたいので、仕事のできる場を増やしてほしいと強く思う。</p> <p>◇障がい児が高校を卒業した後に、通所や働くことのできる施設の増設を早急をお願いしたいです。</p>	
感謝 等	5 件
<p>◇市の福祉課の皆さんにはとても親切に対応頂き、助かっている。</p> <p>◇サービスを受けさせていただき、とても感謝している。</p>	
将来の生活について 等	5 件
<p>◇18 歳までは学校、デイサービスに在籍できるが、卒業後が心配。通所施設を充実して頂けるとありがたい。</p> <p>◇障がい者の親にとっての1番の心配は、親がいなくなったその後のことである。そこにスポットを当てて、本人が生計を立てられ、なおかつ常時相談にのっていただける行政であってほしい。</p>	
交通・移動支援 等	5 件
<p>◇病院へ行くにも通学にも車が必要でお金がかかる。一般の子どもにはかからないところで、金銭的に負担が多くある。</p> <p>◇通院・通学等の移動支援を受けられるようにしてほしい。</p>	
経済的支援 等	5 件
<p>◇母子家庭で障がい児を抱えている家庭に、支援と手当てをもう少し手厚くしてほしい。</p> <p>◇送迎に必要な費用補助もお願いしたい。</p>	
行政手続き 等	4 件
<p>◇申請や手続きに市役所以外の出張所など、身近な所でできるようにしてほしい。</p>	
交流 等	2 件
<p>◇学校以外に習い事や他の小中の子と交流ができるように、市の体育館などで月1回でも何かイベントを行ってほしい。</p>	
その他 等	4 件
<p>◇兄弟姉妹の心のケアができる場所がない。</p> <p>◇障がい者を持つ家族についても色々と考えていただきたいと思う。</p> <p>◇公園が多いのは素晴らしいが、インクルーシブ公園が無いと思う。障がいを問わず、皆で遊べる遊具などを設置してほしい。</p>	

## IV 一般アンケート

### 1. あなたのことについて

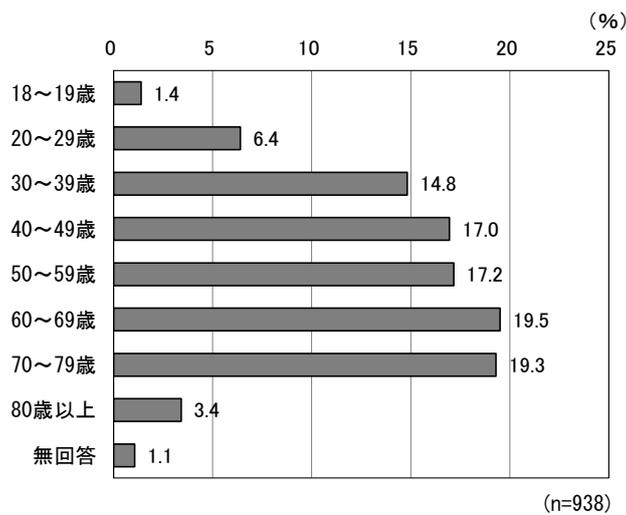
問1. 性別

【SA】



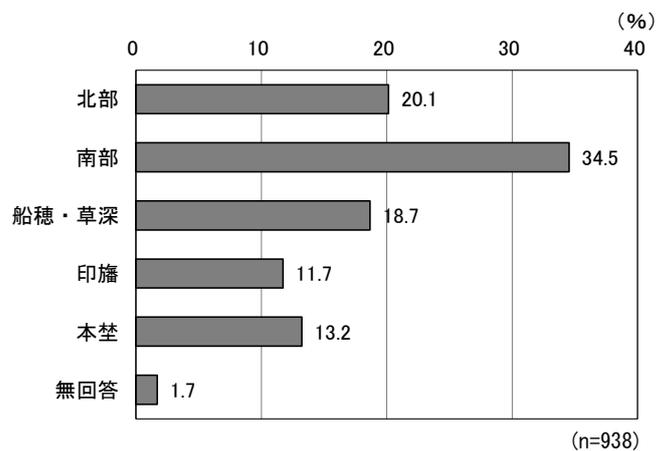
問2. 年齢

【SA】



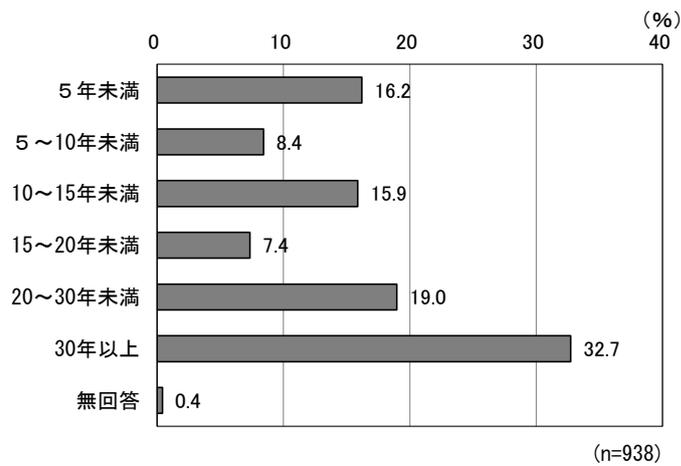
問3. 居住地

【SA】



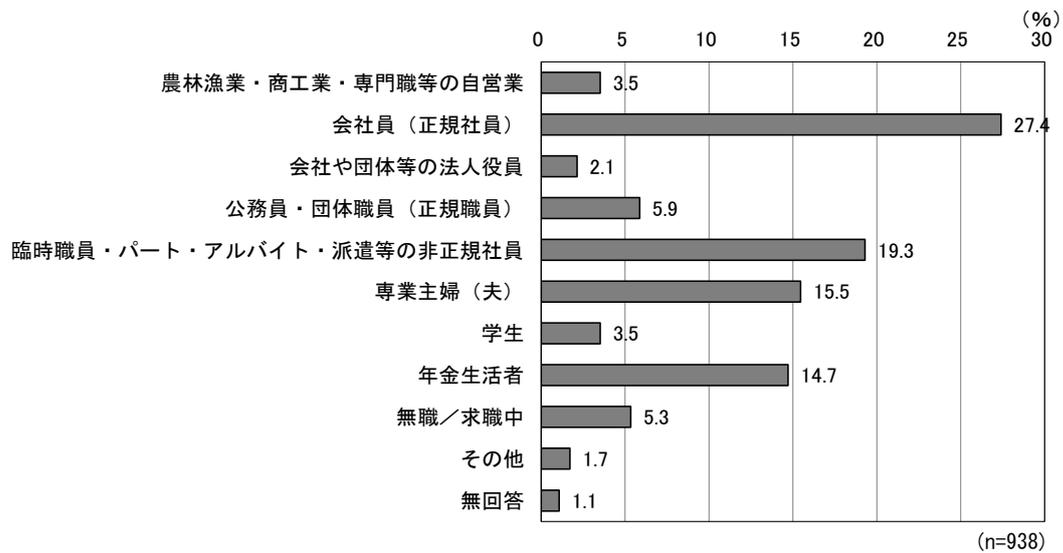
問4. 居住年数

【SA】

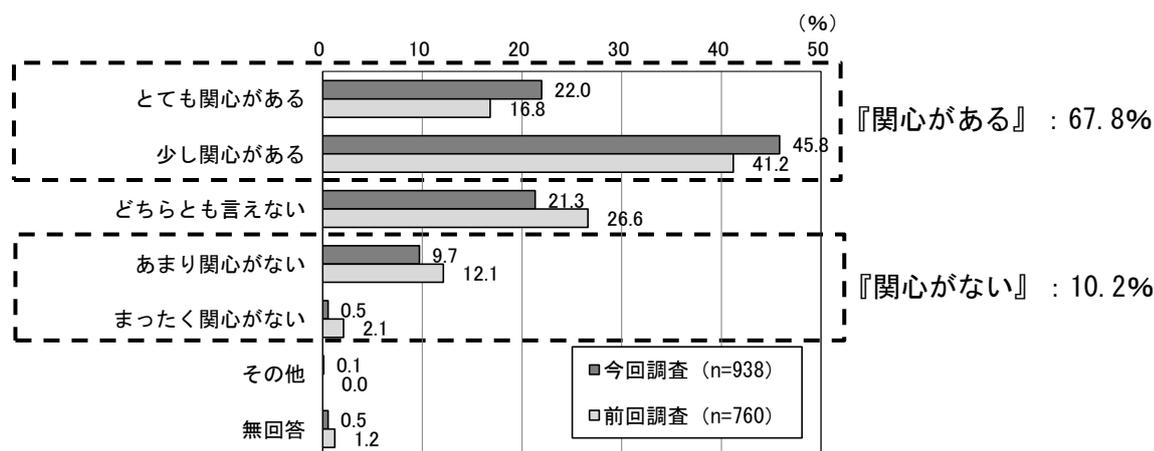


問5. 現在の職業

【SA】



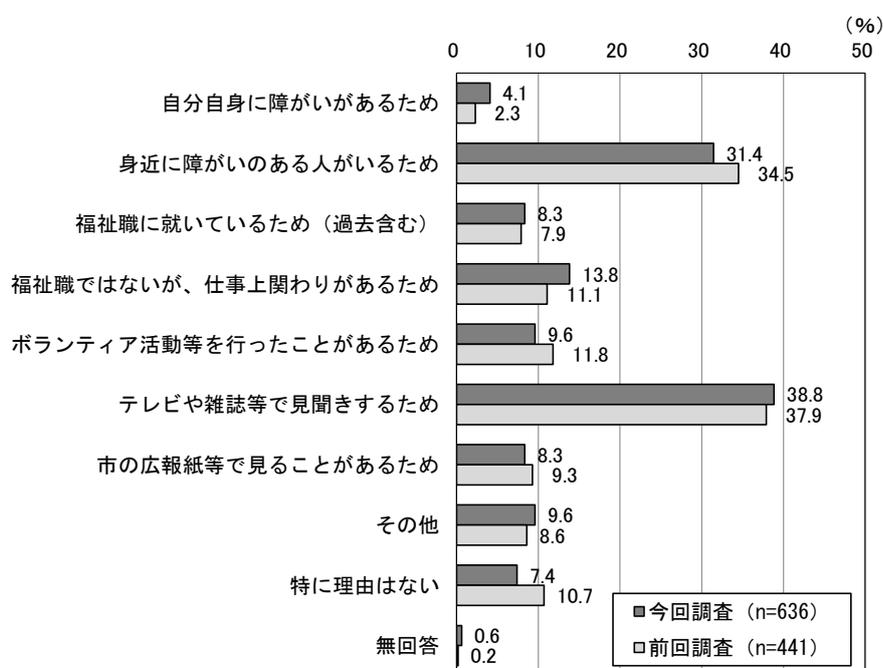
- 「とても関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』が67.8%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』が10.2%となっています。
- 前回調査と比べ、『関心がある』は9.8ポイント増加しました。
- 性別にみると、『関心がある』は“女性”の方が12.2ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「少し関心がある」最も高くなっていますが、“80歳以上”は「とても関心がある」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問6. 障がい福祉について関心があるか							
		とても関心がある	少し関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	まったく関心がない	その他	無回答	
全体	938 100.0	206 22.0	430 45.8	200 21.3	91 9.7	5 0.5	1 0.1	5 0.5	
性別	男性	383 100.0	71 18.5	162 42.3	92 24.0	55 14.4	2 0.5	0 0.0	1 0.3
	女性	534 100.0	132 24.7	258 48.3	104 19.5	35 6.6	3 0.6	1 0.2	1 0.2
年齢	18～19歳	13 100.0	4 30.8	7 53.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	12 20.0	22 36.7	19 31.7	6 10.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0
	30歳代	139 100.0	27 19.4	54 38.8	38 27.3	18 12.9	2 1.4	0 0.0	0 0.0
	40歳代	159 100.0	27 17.0	70 44.0	40 25.2	21 13.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0
	50歳代	161 100.0	34 21.1	70 43.5	40 24.8	17 10.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	183 100.0	36 19.7	101 55.2	28 15.3	16 8.7	1 0.5	0 0.0	1 0.5
	70歳代	181 100.0	49 27.1	95 52.5	28 15.5	8 4.4	1 0.6	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	32 100.0	15 46.9	9 28.1	4 12.5	3 9.4	0 0.0	0 0.0	1 3.1

(問6において「とても関心がある」「少し関心がある」を回答した方限定)

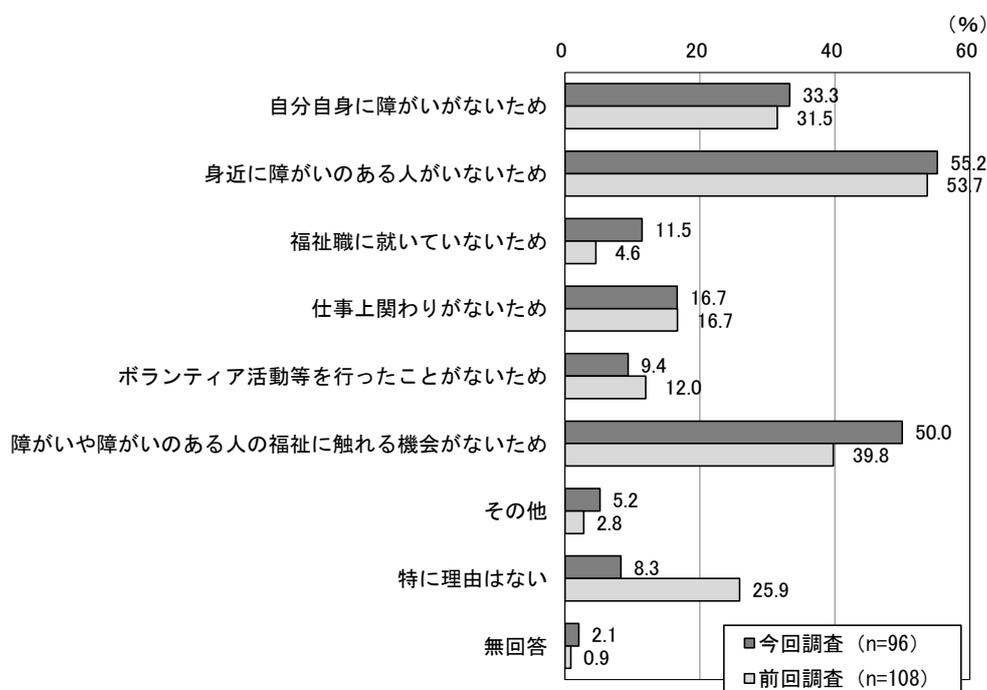
- 「テレビや雑誌等で見聞きするため」が38.8%で最も高く、次いで「身近に障がいのある人がいるため」が31.4%、「福祉職ではないが、仕事上関わりがあるため」が13.8%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「テレビや雑誌等で見聞きするため」は0.9ポイント増加しました。
- 性別にみると、「身近に障がいのある人がいるため」は“女性”の方が6.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年齢で「テレビや雑誌等で見聞きするため」が高くなっていますが、“30歳代～40歳代”は「身近に障がいのある人がいるため」が最も高くなっています。（“50歳代”は「身近に障がいのある人がいるため」と「テレビや雑誌等で見聞きするため」が同率で最も高い）



〔上段：人 下段：％〕		合計	問6-1. 障がい福祉に関心があるきっかけ									
			自分自身 に障がい があるた め	身近に障 がいのある 人がいる ため	福祉職に 就いてい るため (過去含 む)	福祉職で はない が、仕事 上関わり があるた め	ボラン ティア活 動等を 行ったこ とがある ため	テレビや 雑誌等 で見聞き するため	市の広報 紙等で見 ることが あるため	その他	特に理由 はない	無回答
全体		636 100.0	26 4.1	200 31.4	53 8.3	88 13.8	61 9.6	247 38.8	53 8.3	61 9.6	47 7.4	4 0.6
性別	男性	233 100.0	11 4.7	64 27.5	9 3.9	25 10.7	19 8.2	105 45.1	25 10.7	18 7.7	20 8.6	3 1.3
	女性	390 100.0	14 3.6	134 34.4	44 11.3	61 15.6	39 10.0	137 35.1	26 6.7	42 10.8	25 6.4	1 0.3
年齢	18～19歳	11 100.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	0 0.0	4 36.4	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0
	20歳代	34 100.0	1 2.9	5 14.7	5 14.7	10 29.4	6 17.6	11 32.4	1 2.9	4 11.8	2 5.9	0 0.0
	30歳代	81 100.0	2 2.5	23 28.4	12 14.8	18 22.2	10 12.3	22 27.2	1 1.2	7 8.6	5 6.2	0 0.0
	40歳代	97 100.0	2 2.1	38 39.2	12 12.4	17 17.5	8 8.2	25 25.8	4 4.1	10 10.3	10 10.3	0 0.0
	50歳代	104 100.0	6 5.8	36 34.6	8 7.7	14 13.5	10 9.6	36 34.6	2 1.9	10 9.6	8 7.7	0 0.0
	60歳代	137 100.0	3 2.2	46 33.6	8 5.8	17 12.4	9 6.6	56 40.9	11 8.0	13 9.5	10 7.3	2 1.5
	70歳代	144 100.0	10 6.9	39 27.1	7 4.9	9 6.3	15 10.4	79 54.9	30 20.8	14 9.7	9 6.3	0 0.0
	80歳以上	24 100.0	1 4.2	9 37.5	0 0.0	1 4.2	3 12.5	13 54.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	2 8.3

(問6において「あまり関心がない」「まったく関心がない」を回答した方限定)

- 「身近に障がいのある人がいないため」が55.2%で最も高く、次いで「障がいや障がいのある人の福祉に触れる機会がないため」が50.0%、「自分自身に障がいがないため」が33.3%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「障がいや障がいのある人の福祉に触れる機会がないため」は10.2ポイント増加しました。
- 性別にみると、“男性”は「身近に障がいのある人がいないため」、「女性」は「障がいや障がいのある人の福祉に触れる機会がないため」が高くなっています。
- 年齢別にみると、“30歳代～40歳代”は「身近に障がいのある人がいないため」、「50歳代」は「身近に障がいのある人がいないため」と「障がいや障がいのある人の福祉に触れる機会がないため」が最も高くなっています。



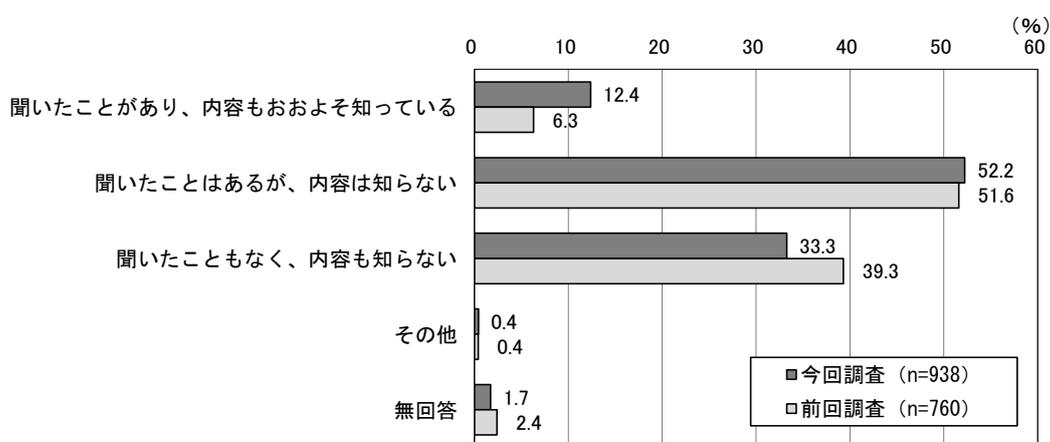
(上段：人 下段：%)	合計	問6-2. 障がい福祉に関心がない理由									
		自分自身に障がいがないため	身近に障がいのある人がいないため	福祉職に就いていないため	仕事上関わりがないため	ボランティア活動等を行ったことがないため	障がいのある人の福祉に触れる機会がないため	その他	特に理由はない	無回答	
全体	96 100.0	32 33.3	53 55.2	11 11.5	16 16.7	9 9.4	48 50.0	5 5.2	8 8.3	2 2.1	
性別	男性	57 100.0	17 29.8	31 54.4	7 12.3	12 21.1	6 10.5	24 42.1	4 7.0	8 14.0	0 0.0
	女性	38 100.0	15 39.5	22 57.9	4 10.5	4 10.5	3 7.9	23 60.5	1 2.6	0 0.0	2 5.3
年齢	18～19歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	20歳代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	20 100.0	13 65.0	14 70.0	6 30.0	7 35.0	5 25.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	22 100.0	6 27.3	14 63.6	2 9.1	3 13.6	0 0.0	10 45.5	0 0.0	2 9.1	0 0.0
	50歳代	17 100.0	4 23.5	10 58.8	1 5.9	4 23.5	2 11.8	10 58.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9
	60歳代	17 100.0	5 29.4	9 52.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	11 64.7	2 11.8	2 11.8	0 0.0
	70歳代	9 100.0	1 11.1	3 33.3	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	1 11.1
	80歳以上	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0

## 2. 障がいへの理解について

### 問7. 障害者虐待防止法を知っているか

【SA】

- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が52.2%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が6.1ポイント増加しました。
- 性別にみると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は“女性”の方が6.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高くなっていますが、“30歳代”は「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高くなっています。

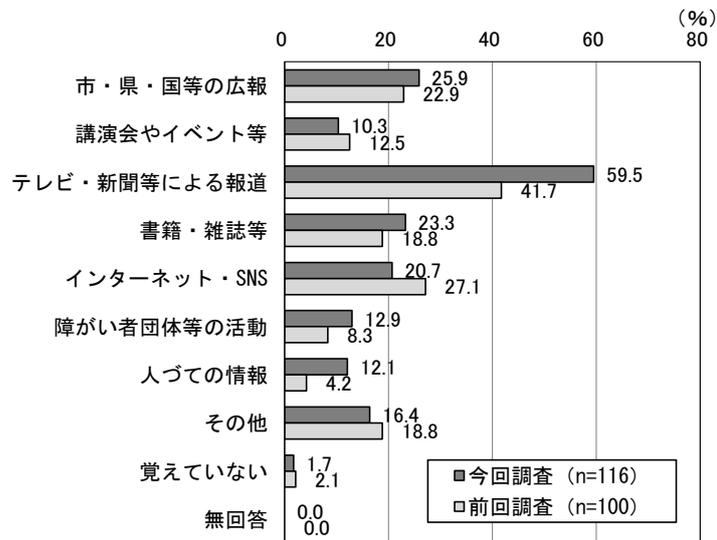


※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%	合計	問7. 障害者虐待防止法を知っているか					
		聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答	
全体	938 100.0	116 12.4	490 52.2	312 33.3	4 0.4	16 1.7	
性別	男性	383 100.0	41 10.7	187 48.8	145 37.9	3 0.8	7 1.8
	女性	534 100.0	74 13.9	293 54.9	160 30.0	1 0.2	6 1.1
年齢	18～19歳	13 100.0	3 23.1	6 46.2	4 30.8	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	13 21.7	24 40.0	21 35.0	1 1.7	1 1.7
	30歳代	139 100.0	19 13.7	49 35.3	70 50.4	0 0.0	1 0.7
	40歳代	159 100.0	9 5.7	80 50.3	70 44.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代	161 100.0	17 10.6	87 54.0	55 34.2	0 0.0	2 1.2
	60歳代	183 100.0	23 12.6	102 55.7	56 30.6	0 0.0	2 1.1
	70歳代	181 100.0	25 13.8	119 65.7	31 17.1	2 1.1	4 2.2
	80歳以上	32 100.0	6 18.8	19 59.4	3 9.4	1 3.1	3 9.4

(問7において「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」を回答した方限定)

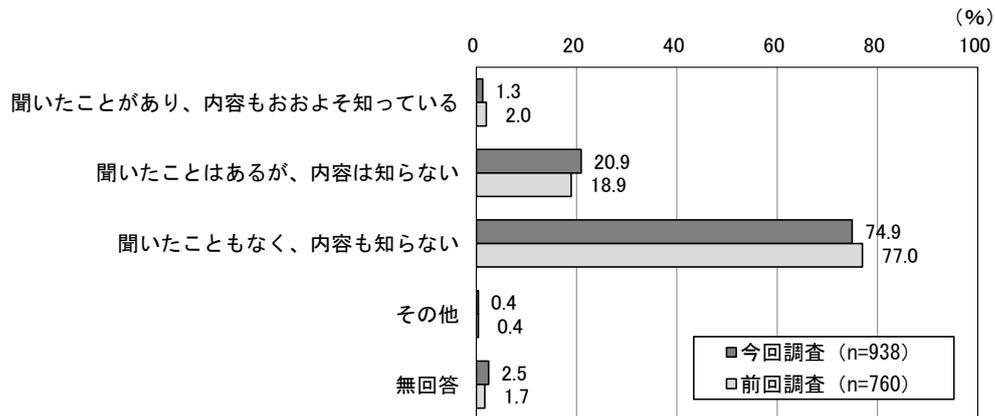
- 「テレビ・新聞等による報道」が59.5%で最も高く、次いで「市・県・国等の広報」が25.9%、「書籍・雑誌等」が23.3%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「テレビ・新聞等による報道」は17.8ポイント増加しました。
- 性別にみると、「テレビ・新聞等による報道」は“男性”の方が29.4ポイント高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問7-1. 障害者虐待防止法の情報源										
		市・県・国等の広報	講演会やイベント等	テレビ・新聞等による報道	書籍・雑誌等	インターネット・SNS	障がい者団体等の活動	人づての情報	その他	覚えていない	無回答	
全体	116 100.0	30 25.9	12 10.3	69 59.5	27 23.3	24 20.7	15 12.9	14 12.1	19 16.4	2 1.7	0 0.0	
性別	男性	41 100.0	12 29.3	5 12.2	32 78.0	9 22.0	7 17.1	6 14.6	4 9.8	3 7.3	1 2.4	0 0.0
	女性	74 100.0	17 23.0	7 9.5	36 48.6	18 24.3	17 23.0	9 12.2	10 13.5	16 21.6	1 1.4	0 0.0
年齢	18～19歳	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	20歳代	13 100.0	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	3 23.1	0 0.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0
	30歳代	19 100.0	2 10.5	2 10.5	7 36.8	8 42.1	6 31.6	3 15.8	3 15.8	5 26.3	1 5.3	0 0.0
	40歳代	9 100.0	1 11.1	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0
	50歳代	17 100.0	6 35.3	1 5.9	9 52.9	4 23.5	2 11.8	1 5.9	0 0.0	4 23.5	0 0.0	0 0.0
	60歳代	23 100.0	6 26.1	2 8.7	19 82.6	6 26.1	5 21.7	4 17.4	5 21.7	1 4.3	1 4.3	0 0.0
	70歳代	25 100.0	11 44.0	4 16.0	20 80.0	5 20.0	5 20.0	4 16.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	6 100.0	4 66.7	1 16.7	5 83.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「聞いたこともなく、内容も知らない」が74.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が20.9%、「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が1.3%の順となっています。

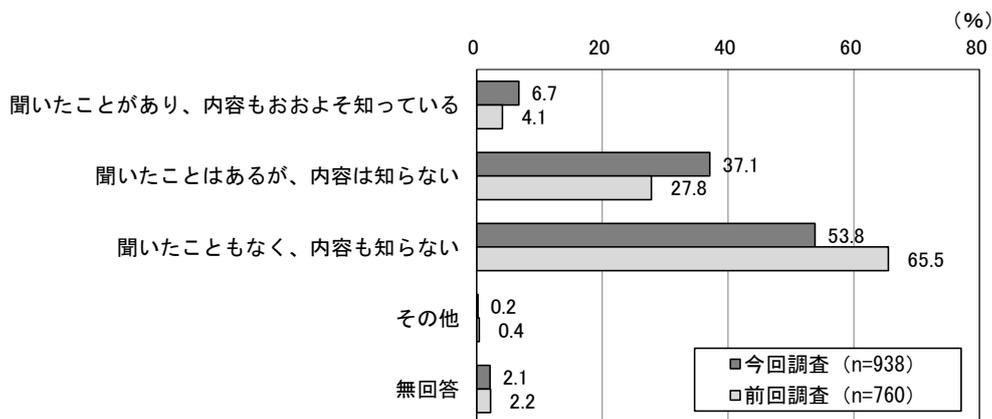
○年齢別にみると、“70歳代～80歳以上”は「聞いたことはあるが、内容は知らない」が3割を超えています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%		合計	問 8. 印西市障がい者プランを知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		938 100.0	12 1.3	196 20.9	703 74.9	4 0.4	23 2.5
性別	男性	383 100.0	5 1.3	82 21.4	284 74.2	2 0.5	10 2.6
	女性	534 100.0	5 0.9	110 20.6	404 75.7	2 0.4	13 2.4
年齢	18～19歳	13 100.0	0 0.0	2 15.4	11 84.6	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	0 0.0	8 13.3	52 86.7	0 0.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	2 1.4	14 10.1	119 85.6	1 0.7	3 2.2
	40歳代	159 100.0	1 0.6	14 8.8	139 87.4	0 0.0	5 3.1
	50歳代	161 100.0	1 0.6	32 19.9	123 76.4	0 0.0	5 3.1
	60歳代	183 100.0	3 1.6	49 26.8	129 70.5	0 0.0	2 1.1
	70歳代	181 100.0	3 1.7	65 35.9	105 58.0	3 1.7	5 2.8
	80歳以上	32 100.0	2 6.3	10 31.3	17 53.1	0 0.0	3 9.4

- 「聞いたこともなく、内容も知らない」が53.8%で最も高くなっています。
- 前回調査と比べ、「聞いたこともなく、内容も知らない」が11.7ポイント減少しました。
- 年齢別にみると、多くの年代で「聞いたこともなく、内容も知らない」が最も高くなっていますが、“70歳代”は「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高くなっています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

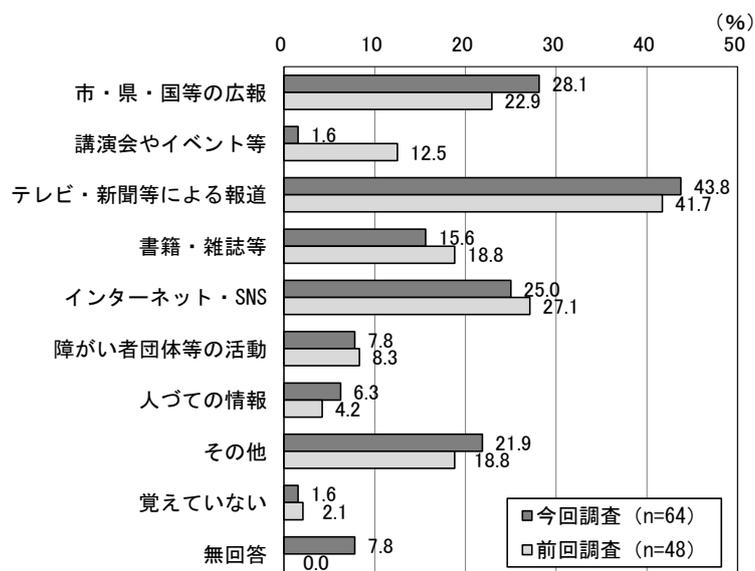
〔 上段：人 下段：% 〕		合計	問9. 障害者差別解消法を知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		938 100.0	63 6.7	348 37.1	505 53.8	2 0.2	20 2.1
性別	男性	383 100.0	27 7.0	133 34.7	213 55.6	1 0.3	9 2.3
	女性	534 100.0	34 6.4	207 38.8	282 52.8	0 0.0	11 2.1
年齢	18～19歳	13 100.0	2 15.4	7 53.8	4 30.8	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	8 13.3	24 40.0	28 46.7	0 0.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	13 9.4	27 19.4	96 69.1	0 0.0	3 2.2
	40歳代	159 100.0	7 4.4	51 32.1	95 59.7	0 0.0	6 3.8
	50歳代	161 100.0	9 5.6	62 38.5	87 54.0	0 0.0	3 1.9
	60歳代	183 100.0	10 5.5	79 43.2	91 49.7	1 0.5	2 1.1
	70歳代	181 100.0	11 6.1	84 46.4	82 45.3	1 0.6	3 1.7
	80歳以上	32 100.0	3 9.4	11 34.4	15 46.9	0 0.0	3 9.4

(問9において「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」を回答した方限定)

○「テレビ・新聞等による報道」が43.8%で最も高く、次いで「市・県・国等の広報」が28.1%、「インターネット・SNS」が25.0%の順となっています。

○前回調査と比べ、「テレビ・新聞等による報道」は2.1ポイント増加しました。

○性別にみると、「テレビ・新聞等による報道」は“男性”の方が25.0ポイント高くなっています。



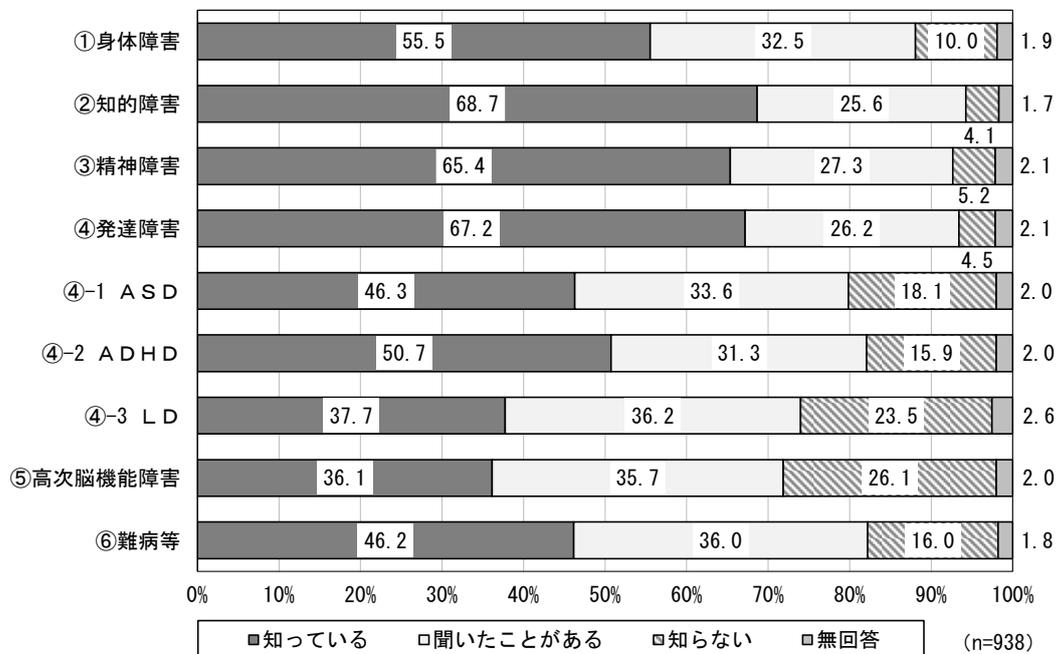
上段：人 下段：%	合計	問9-1. 障害者虐待防止法の情報源									
		市・県・国等の広報	講演会やイベント等	テレビ・新聞等による報道	書籍・雑誌等	インターネット・SNS	障がい者団体等の活動	人づての情報	その他	覚えていない	無回答
全体	64	18	1	28	10	16	5	4	14	1	5
	100.0	28.1	1.6	43.8	15.6	25.0	7.8	6.3	21.9	1.6	7.8
性別											
男性	27	8	1	16	3	7	1	2	2	1	2
	100.0	29.6	3.7	59.3	11.1	25.9	3.7	7.4	7.4	3.7	7.4
女性	35	9	0	12	7	9	4	2	11	0	3
	100.0	25.7	0.0	34.3	20.0	25.7	11.4	5.7	31.4	0.0	8.6
年齢											
18～19歳	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20歳代	8	0	0	1	0	2	0	1	4	0	1
	100.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	50.0	0.0	12.5
30歳代	13	3	1	5	3	4	0	0	4	0	1
	100.0	23.1	7.7	38.5	23.1	30.8	0.0	0.0	30.8	0.0	7.7
40歳代	8	0	0	2	2	0	1	1	1	1	2
	100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0
50歳代	9	3	0	2	1	4	0	0	4	0	0
	100.0	33.3	0.0	22.2	11.1	44.4	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0
60歳代	10	5	0	7	1	2	2	1	0	0	1
	100.0	50.0	0.0	70.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
70歳代	11	4	0	9	2	3	1	1	0	0	0
	100.0	36.4	0.0	81.8	18.2	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
80歳以上	3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 障がいの周知啓発について

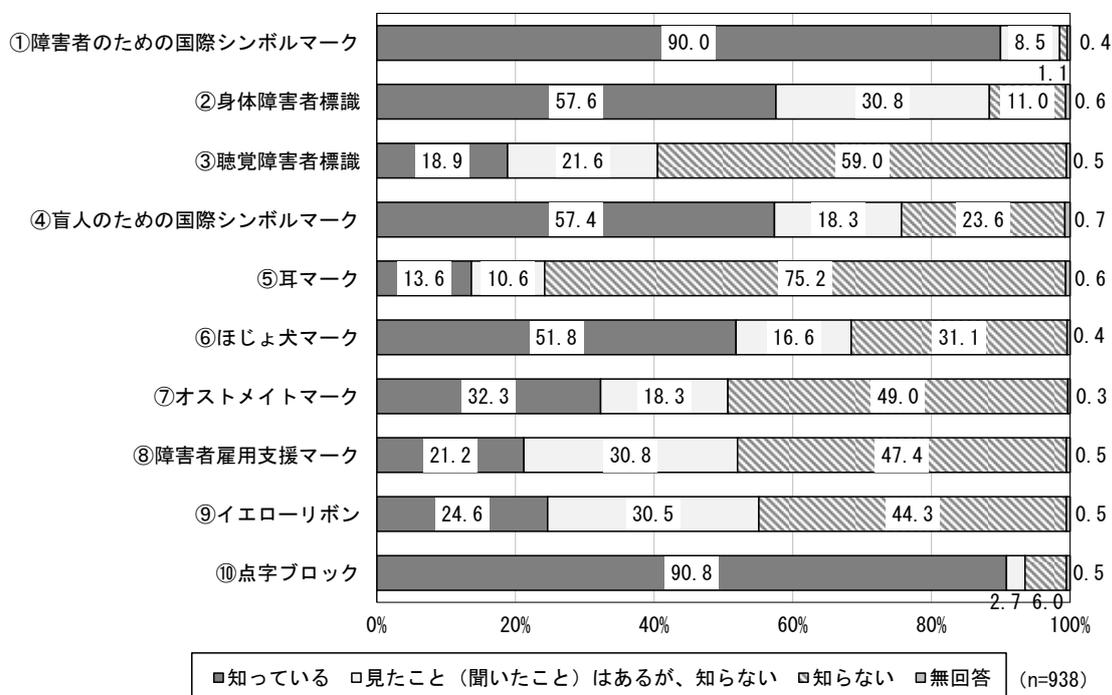
#### 問 10. 知っている障がい

【SA】

○「知っている」障がいについては、“②知的障害”が68.7%で最も高く、次いで“④発達障害”が67.2%、“③精神障害”が65.4%の順となっています。



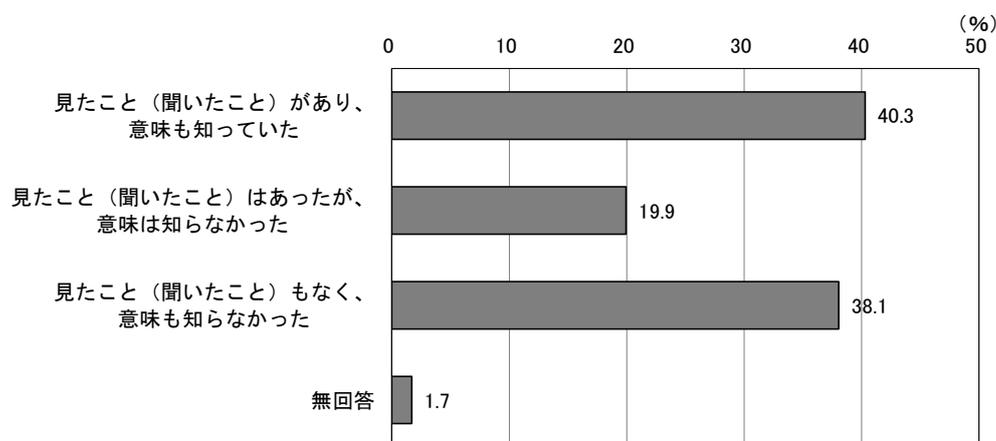
○「知っている」シンボルマークについては、“⑩点字ブロック”が90.8%で最も高く、次いで“①障害者のための国際シンボルマーク”が90.0%、“②身体障害者標識”が57.6%の順となっています。



○「見たこと（聞いたこと）があり、意味も知っていた」が40.3%で最も高く、次いで「見たこと（聞いたこと）もなく、意味も知らなかった」が38.1%、「見たこと（聞いたこと）はあったが、意味は知らなかった」が19.9%の順となっています。

○性別にみると、“男性”は「見たこと（聞いたこと）もなく、意味も知らなかった」、 “女性”は「見たこと（聞いたこと）があり、意味も知っていた」が高くなっています。

○年齢別にみると、“18歳～40歳代”は「見たこと（聞いたこと）があり、意味も知っていた」、 “50歳代～80歳以上”は「見たこと（聞いたこと）もなく、意味も知らなかった」が最も高くなっています。



(n=938)

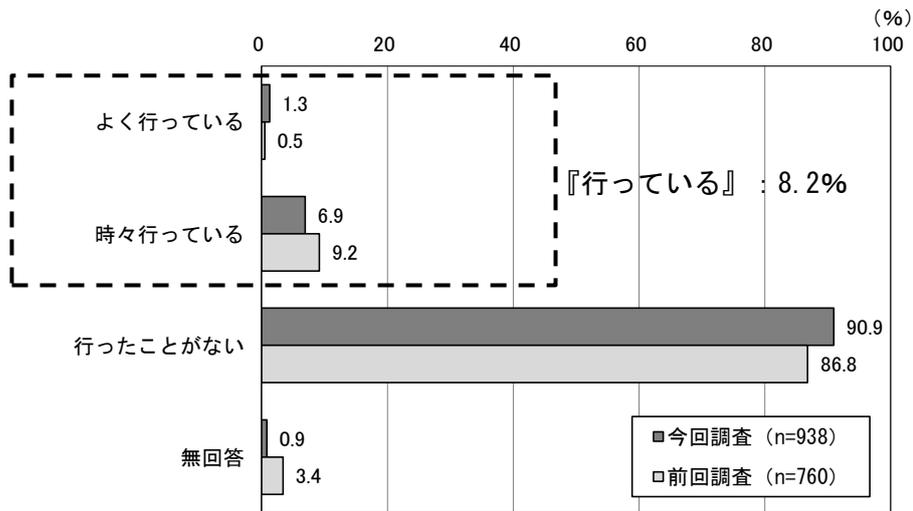
〔 上段：人 下段：% 〕		合計	問12. ヘルプマークを知っているか			
			見たこと（聞いたこと）があり、意味も知っていた	見たこと（聞いたこと）はあったが、意味は知らなかった	見たこと（聞いたこと）もなく、意味も知らなかった	無回答
全体		938 100.0	378 40.3	187 19.9	357 38.1	16 1.7
性別	男性	383 100.0	118 30.8	95 24.8	167 43.6	3 0.8
	女性	534 100.0	253 47.4	89 16.7	180 33.7	12 2.2
年齢	18～19歳	13 100.0	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	37 61.7	10 16.7	13 21.7	0 0.0
	30歳代	139 100.0	74 53.2	29 20.9	36 25.9	0 0.0
	40歳代	159 100.0	79 49.7	29 18.2	50 31.4	1 0.6
	50歳代	161 100.0	61 37.9	30 18.6	69 42.9	1 0.6
	60歳代	183 100.0	65 35.5	40 21.9	76 41.5	2 1.1
	70歳代	181 100.0	43 23.8	42 23.2	88 48.6	8 4.4
	80歳以上	32 100.0	4 12.5	6 18.8	18 56.3	4 12.5

## 4. 社会参加・ボランティアについて

問 13. 障がい者のある人に対するボランティア活動を行っているか

【SA】

- 「よく行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』は8.2%となっています。
- 前回調査と比べ、『行っている』は1.5ポイント減少しました。
- 性別にみると、『行っている』は“女性”の方が4.3ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“20歳代”は『行っている』が最も高くなっています。

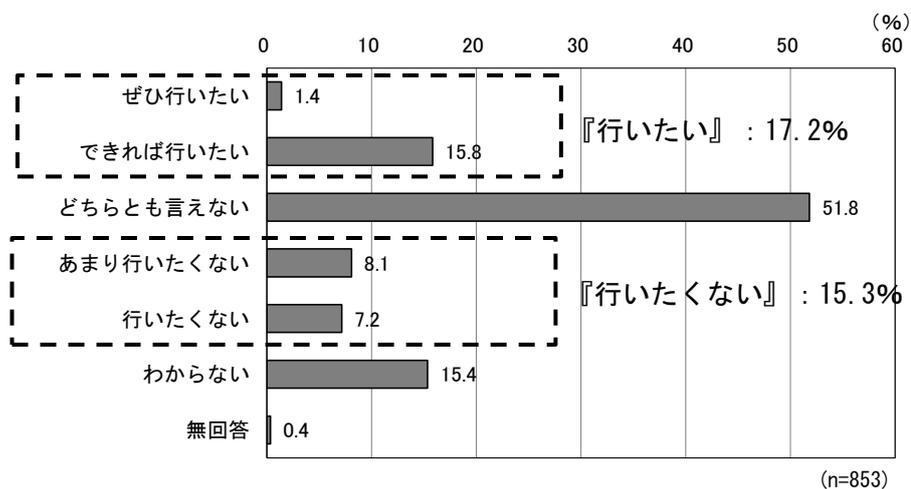


〔上段：人 下段：％〕		合計	問13. 障がい者のある人に対するボランティア活動を行っているか			
			よく行っている	時々行っている	行っていない	無回答
全体		938 100.0	12 1.3	65 6.9	853 90.9	8 0.9
性別	男性	383 100.0	4 1.0	17 4.4	360 94.0	2 0.5
	女性	534 100.0	8 1.5	44 8.2	476 89.1	6 1.1
年齢	18～19歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	13 100.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	1 1.7	7 11.7	52 86.7	0 0.0
	30歳代	139 100.0	2 1.4	7 5.0	130 93.5	0 0.0
	40歳代	159 100.0	0 0.0	15 9.4	143 89.9	1 0.6
	50歳代	161 100.0	0 0.0	11 6.8	148 91.9	2 1.2
	60歳代	183 100.0	3 1.6	12 6.6	168 91.8	0 0.0
	70歳代	181 100.0	6 3.3	11 6.1	163 90.1	1 0.6
	80歳以上	32 100.0	0 0.0	2 6.3	26 81.3	4 12.5

(問 13 において「行ったことがない」を回答した方限定)

○「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」を合わせた『行いたい』が 17.2%、「あまり行いたくない」と「行いたくない」を合わせた『行いたくない』が 15.3%となっています。

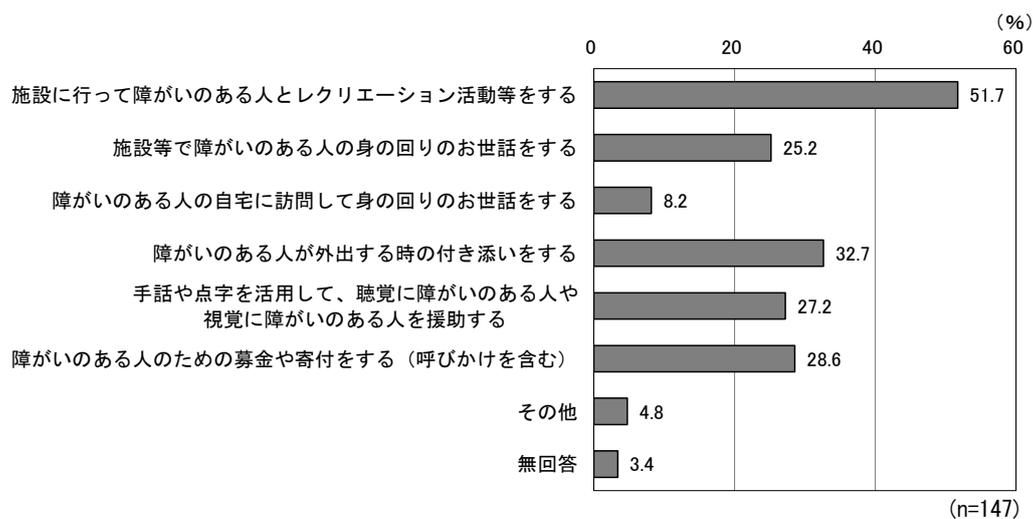
○年齢別にみると、回答数が少なく参考になりますが、“18～19 歳”は『行いたい』が 46.2%で最も高くなっています。



上段：人 下段：%		合計	問13-1. 今後ボランティア活動を行いたいのか						無回答
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	どちらとも言えない	あまり行いたくない	行いたくない	わからない	
全体		853 100.0	12 1.4	135 15.8	442 51.8	69 8.1	61 7.2	131 15.4	3 0.4
性別	男性	360 100.0	1 0.3	53 14.7	188 52.2	35 9.7	31 8.6	51 14.2	1 0.3
	女性	476 100.0	11 2.3	77 16.2	246 51.7	33 6.9	29 6.1	78 16.4	2 0.4
年齢	18～19歳	13 100.0	1 7.7	5 38.5	4 30.8	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	20歳代	52 100.0	2 3.8	10 19.2	25 48.1	4 7.7	3 5.8	8 15.4	0 0.0
	30歳代	130 100.0	4 3.1	19 14.6	67 51.5	10 7.7	11 8.5	18 13.8	1 0.8
	40歳代	143 100.0	1 0.7	19 13.3	79 55.2	12 8.4	8 5.6	24 16.8	0 0.0
	50歳代	148 100.0	4 2.7	24 16.2	87 58.8	7 4.7	8 5.4	18 12.2	0 0.0
	60歳代	168 100.0	0 0.0	27 16.1	86 51.2	13 7.7	12 7.1	30 17.9	0 0.0
	70歳代	163 100.0	0 0.0	22 13.5	81 49.7	19 11.7	15 9.2	24 14.7	2 1.2
	80歳以上	26 100.0	0 0.0	6 23.1	10 38.5	2 7.7	3 11.5	5 19.2	0 0.0

(問 13-1 において「ぜひ行きたい」「できれば行きたい」を回答した方限定)

- 「施設に行って障がいのある人とレクリエーション活動等をする」が 51.7%で最も高く、次いで「障がいのある人が外出する時の付き添いをする」が 32.7%、「障がいのある人のための募金や寄付をする（呼びかけを含む）」が 28.6%の順となっています。
- 性別にみると、「施設に行って障がいのある人とレクリエーション活動等をする」は“女性”の方が 7.6 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、数が少なく参考になりますが、「施設に行って障がいのある人とレクリエーション活動等をする」は“18～19 歳”“40 歳代”“80 歳以上”で 6 割を超えています。

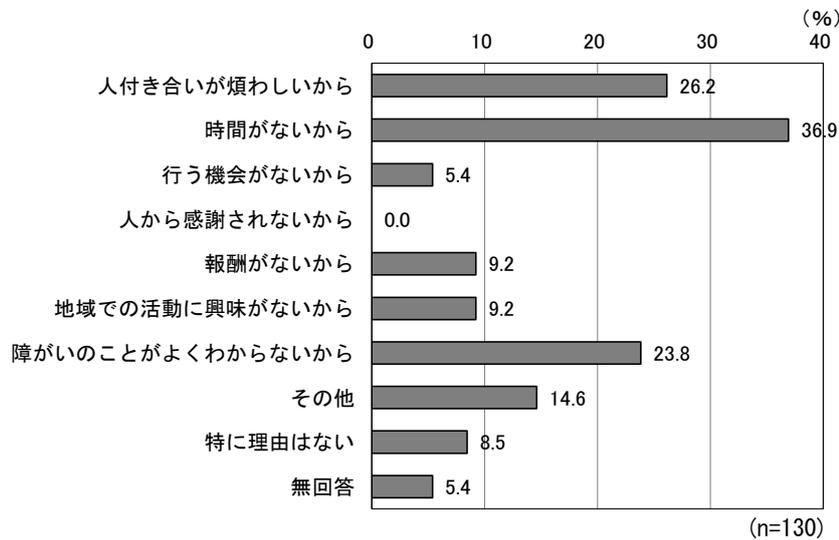


上段：人 下段：%		合計	問13-2. 行ってみたい活動							
			施設に行き行って障がいのある人とレクリエーション活動等をする	施設等で障がいのある人の身の回りのお世話をする	障がいのある人の自宅に訪問して身の回りのお世話をする	障がいのある人が外出する時の付き添いをする	手話や点字を活用して、聴覚に障がいのある人や視覚に障がいのある人を援助する	障がいのある人のための募金や寄付をする（呼びかけを含む）	その他	無回答
全体		147 100.0	76 51.7	37 25.2	12 8.2	48 32.7	40 27.2	42 28.6	7 4.8	5 3.4
性別	男性	54 100.0	26 48.1	12 22.2	7 13.0	18 33.3	10 18.5	13 24.1	4 7.4	1 1.9
	女性	88 100.0	49 55.7	25 28.4	5 5.7	29 33.0	29 33.0	28 31.8	3 3.4	3 3.4
年齢	18～19歳	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	4 66.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	12 100.0	5 41.7	4 33.3	1 8.3	4 33.3	7 58.3	6 50.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	23 100.0	13 56.5	7 30.4	3 13.0	9 39.1	9 39.1	5 21.7	0 0.0	1 4.3
	40歳代	20 100.0	12 60.0	6 30.0	2 10.0	8 40.0	7 35.0	4 20.0	0 0.0	1 5.0
	50歳代	28 100.0	13 46.4	7 25.0	3 10.7	12 42.9	4 14.3	8 28.6	2 7.1	0 0.0
	60歳代	27 100.0	12 44.4	6 22.2	2 7.4	8 29.6	4 14.8	5 18.5	2 7.4	1 3.7
	70歳代	22 100.0	13 59.1	5 22.7	1 4.5	5 22.7	4 18.2	9 40.9	2 9.1	1 4.5
	80歳以上	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0

(問 13-2 において「あまり行いたくない」「行いたくない」を回答した方限定)

○「時間がないから」が 36.9% で最も高く、次いで「人付き合いが煩わしいから」が 26.2%、「障がいのことがよくわからないから」が 23.8% の順となっています。

○性別にみると、「人付き合いが煩わしいから」は“男性”の方が 15.6 ポイント高くなっています。



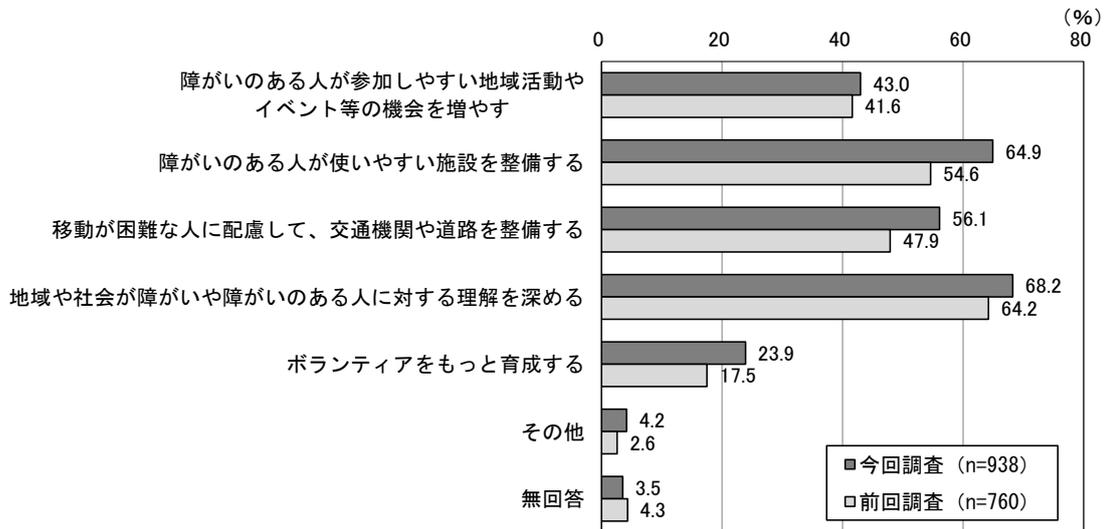
上段：人 下段：%	合計	問13-3. ボランティア活動を行いたくない理由										
		人付き合いが煩わしいから	時間がないから	行う機会がないから	人から感謝されないから	報酬がないから	地域での活動に興味がないから	障がいのことがよくわからないから	その他	特に理由はない	無回答	
全体	130 100.0	34 26.2	48 36.9	7 5.4	0 0.0	12 9.2	12 9.2	31 23.8	19 14.6	11 8.5	7 5.4	
性別	男性	66 100.0	22 33.3	23 34.8	3 4.5	0 0.0	8 12.1	6 9.1	13 19.7	4 6.1	6 9.1	4 6.1
	女性	62 100.0	11 17.7	24 38.7	4 6.5	0 0.0	4 6.5	6 9.7	18 29.0	15 24.2	4 6.5	3 4.8
年齢	18～19歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	20歳代	7 100.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代	21 100.0	8 38.1	15 71.4	3 14.3	0 0.0	6 28.6	5 23.8	2 9.5	1 4.8	1 4.8	0 0.0
	40歳代	20 100.0	5 25.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
	50歳代	15 100.0	5 33.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	3 20.0	6 40.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	60歳代	25 100.0	7 28.0	8 32.0	2 8.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	6 24.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0
	70歳代	34 100.0	7 20.6	4 11.8	1 2.9	0 0.0	2 5.9	2 5.9	8 23.5	8 23.5	5 14.7	4 11.8
	80歳以上	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0

問 14. 障がいのある人が社会に積極的に参加するために重要だと思うこと

【MA】

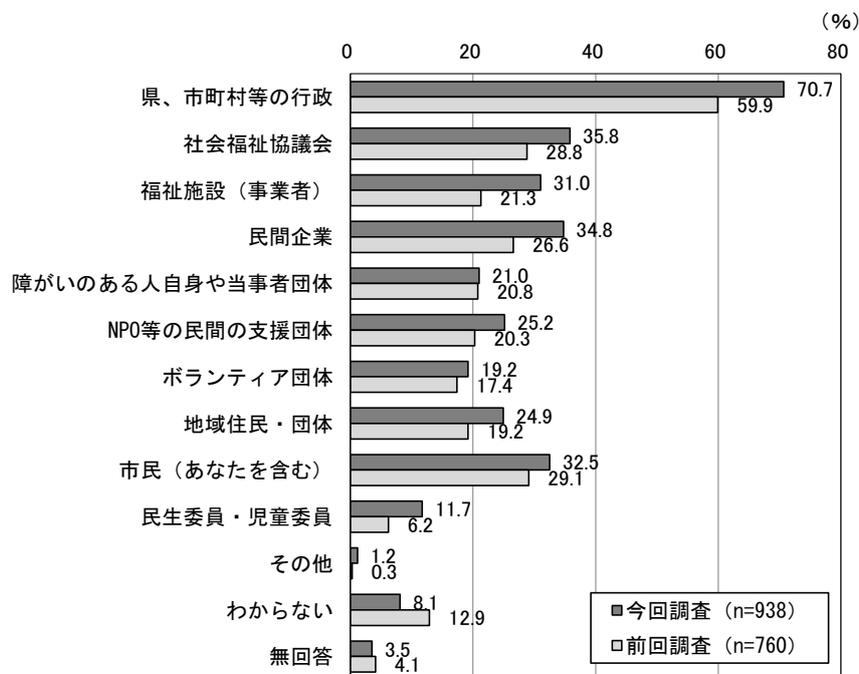
○「地域や社会が障がいや障がいのある人に対する理解を深める」が68.2%で最も高く、次いで「障がいのある人が使いやすい施設を整備する」が64.9%、「移動が困難な人に配慮して、交通機関や道路を整備する」が56.1%の順となっています。

○年齢別にみると、“60歳代”と“80歳以上”は「障がいのある人が使いやすい施設を整備する」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問14. 障がいのある人が社会に積極的に参加するために重要だと思うこと							
		障がいのある人が参加しやすい地域活動やイベント等の機会を増やす	障がいのある人が使いやすい施設を整備する	移動が困難な人に配慮して、交通機関や道路を整備する	地域や社会が障がいや障がいのある人に対する理解を深める	ボランティアをもっと育成する	その他	無回答	
全体	938 100.0	403 43.0	609 64.9	526 56.1	640 68.2	224 23.9	39 4.2	33 3.5	
性別	男性	383 100.0	167 43.6	244 63.7	196 51.2	246 64.2	82 21.4	17 4.4	14 3.7
	女性	534 100.0	228 42.7	358 67.0	322 60.3	381 71.3	136 25.5	21 3.9	17 3.2
年齢	18～19歳	13 100.0	4 30.8	5 38.5	8 61.5	10 76.9	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	20 33.3	43 71.7	34 56.7	44 73.3	7 11.7	1 1.7	0 0.0
	30歳代	139 100.0	58 41.7	93 66.9	80 57.6	97 69.8	24 17.3	7 5.0	3 2.2
	40歳代	159 100.0	62 39.0	100 62.9	84 52.8	113 71.1	35 22.0	11 6.9	4 2.5
	50歳代	161 100.0	68 42.2	111 68.9	100 62.1	116 72.0	31 19.3	7 4.3	1 0.6
	60歳代	183 100.0	82 44.8	131 71.6	104 56.8	122 66.7	60 32.8	5 2.7	8 4.4
	70歳代	181 100.0	92 50.8	104 57.5	95 52.5	119 65.7	56 30.9	7 3.9	12 6.6
	80歳以上	32 100.0	13 40.6	18 56.3	17 53.1	14 43.8	10 31.3	0 0.0	3 9.4

- 「県、市町村等の行政」が70.7%で最も高く、次いで「社会福祉協議会」が35.8%、「民間企業」が34.8%の順となっています。
- 年齢別にみると、すべての年代で「県、市町村等の行政」が最も高く、“20歳代”“50歳代～70歳代”は7割を超えています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問15. 活動・取組を充実して欲しい組織・主体						
			県、市町 村等の行 政	社会福祉 協議会	福祉施設 (事業 者)	民間企業	障がいの ある人自 身や当事 者団体	NPO等の 民間の支 援団体	ボラン ティア団 体
全体		938 100.0	663 70.7	336 35.8	291 31.0	326 34.8	197 21.0	236 25.2	180 19.2
性別	男性	383 100.0	274 71.5	124 32.4	105 27.4	125 32.6	87 22.7	82 21.4	74 19.3
	女性	534 100.0	373 69.9	203 38.0	183 34.3	197 36.9	107 20.0	149 27.9	103 19.3
年齢	18～19歳	13 100.0	8 61.5	2 15.4	3 23.1	3 23.1	1 7.7	3 23.1	1 7.7
	20歳代	60 100.0	46 76.7	22 36.7	23 38.3	23 38.3	15 25.0	15 25.0	11 18.3
	30歳代	139 100.0	88 63.3	43 30.9	46 33.1	62 44.6	25 18.0	32 23.0	18 12.9
	40歳代	159 100.0	99 62.3	49 30.8	52 32.7	59 37.1	36 22.6	40 25.2	31 19.5
	50歳代	161 100.0	127 78.9	58 36.0	48 29.8	73 45.3	35 21.7	39 24.2	34 21.1
	60歳代	183 100.0	136 74.3	67 36.6	45 24.6	53 29.0	32 17.5	45 24.6	34 18.6
	70歳代	181 100.0	134 74.0	82 45.3	58 32.0	47 26.0	45 24.9	54 29.8	41 22.7
	80歳以上	32 100.0	18 56.3	11 34.4	14 43.8	4 12.5	8 25.0	7 21.9	8 25.0

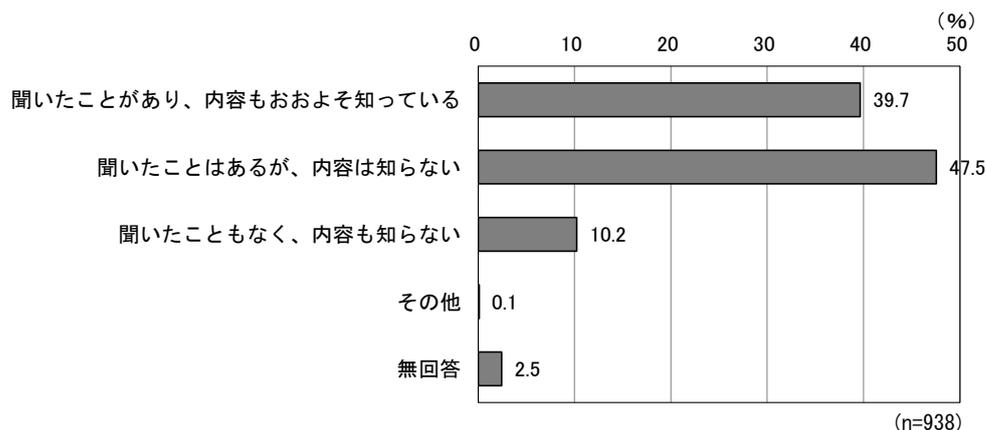
〔上段：人 下段：％〕		合計	問15. 活動・取組を充実して欲しい組織・主体					無回答
			地域住 民・団体	市民（あ なたを含 む）	民生委 員・児童 委員	その他	わから ない	
全体		938 100.0	234 24.9	305 32.5	110 11.7	11 1.2	76 8.1	33 3.5
性別	男性	383 100.0	82 21.4	131 34.2	36 9.4	2 0.5	25 6.5	11 2.9
	女性	534 100.0	148 27.7	170 31.8	71 13.3	9 1.7	49 9.2	20 3.7
年齢	18～19歳	13 100.0	3 23.1	6 46.2	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	18 30.0	24 40.0	9 15.0	0 0.0	7 11.7	0 0.0
	30歳代	139 100.0	27 19.4	47 33.8	16 11.5	4 2.9	13 9.4	3 2.2
	40歳代	159 100.0	41 25.8	49 30.8	17 10.7	4 2.5	22 13.8	6 3.8
	50歳代	161 100.0	51 31.7	61 37.9	17 10.6	1 0.6	10 6.2	0 0.0
	60歳代	183 100.0	45 24.6	54 29.5	19 10.4	1 0.5	10 5.5	7 3.8
	70歳代	181 100.0	42 23.2	56 30.9	22 12.2	1 0.6	11 6.1	11 6.1
	80歳以上	32 100.0	6 18.8	6 18.8	8 25.0	0 0.0	1 3.1	4 12.5

## 5. 障がい者雇用について

### 問 16. 障害者雇用促進法を知っているか

【SA】

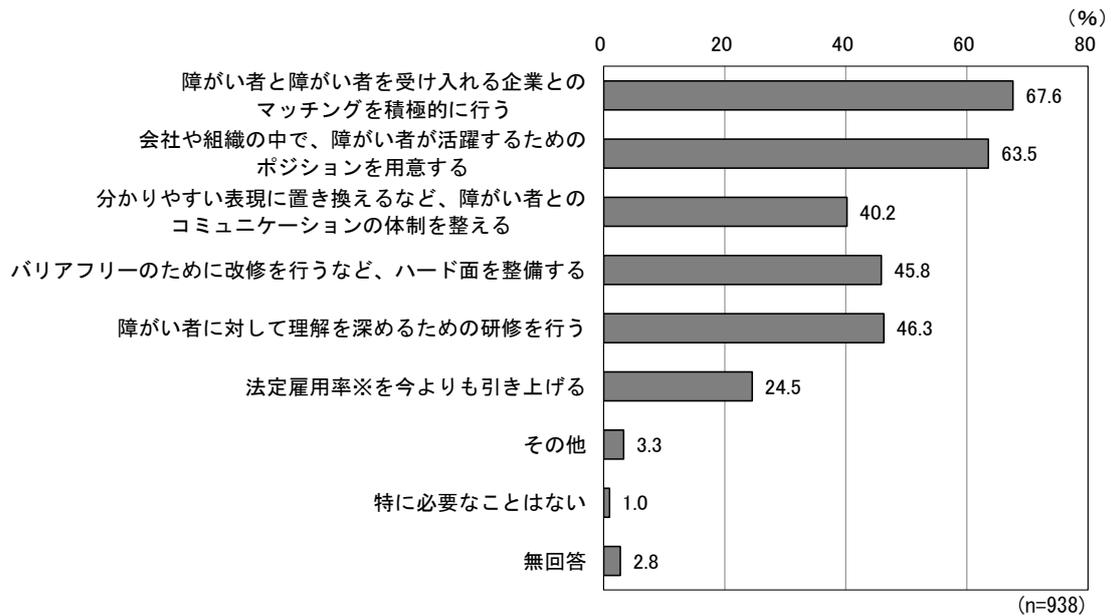
- 「聞いたことはあるが、内容は知らない」が47.5%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が39.7%、「聞いたこともなく、内容も知らない」が10.2%の順となっています。
- 年齢別にみると、“20歳代～30歳代”は「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」が最も高くなっています。



※「聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている」は、前回調査では「聞いたことがあり、内容も知っている」で調査をしています。

上段：人 下段：%		合計	問16. 障害者雇用促進法を知っているか				
			聞いたことがあり、内容もおおよそ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたこともなく、内容も知らない	その他	無回答
全体		938 100.0	372 39.7	446 47.5	96 10.2	1 0.1	23 2.5
性別	男性	383 100.0	153 39.9	179 46.7	41 10.7	1 0.3	9 2.3
	女性	534 100.0	212 39.7	258 48.3	51 9.6	0 0.0	13 2.4
年齢	18～19歳	13 100.0	4 30.8	8 61.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	26 43.3	23 38.3	11 18.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	62 44.6	57 41.0	18 12.9	1 0.7	1 0.7
	40歳代	159 100.0	58 36.5	70 44.0	28 17.6	0 0.0	3 1.9
	50歳代	161 100.0	68 42.2	81 50.3	12 7.5	0 0.0	0 0.0
	60歳代	183 100.0	80 43.7	91 49.7	9 4.9	0 0.0	3 1.6
	70歳代	181 100.0	67 37.0	90 49.7	14 7.7	0 0.0	10 5.5
	80歳以上	32 100.0	6 18.8	20 62.5	1 3.1	0 0.0	5 15.6

- 「障がい者と障がい者を受け入れる企業とのマッチングを積極的に行う」が 67.6%で最も高く、次いで「会社や組織の中で、障がい者が活躍するためのポジションを用意する」が 63.5%、「障がい者に対して理解を深めるための研修を行う」が 46.3%の順となっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「障がい者と障がい者を受け入れる企業とのマッチングを積極的に行う」が最も高いものの、“18～19 歳”は「障がい者に対して理解を深めるための研修を行う」、「70 歳代”は「会社や組織の中で、障がい者が活躍するためのポジションを用意する」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%	合計	問17. 障がい者の雇用促進のために必要なこと									
		障がい者と障がい者を受け入れる企業とのマッチングを積極的に行う	会社や組織の中で、障がい者が活躍するためのポジションを用意する	分かりやすい表現に置き換えるなど、障がい者とのコミュニケーションの体制を整える	バリアフリーのために改修を行うなど、ハード面を整備する	障がい者に対して理解を深めるための研修を行う	法定雇用率※を今よりも引き上げる	その他	特に必要なことはない	無回答	
全体	938 100.0	634 67.6	596 63.5	377 40.2	430 45.8	434 46.3	230 24.5	31 3.3	9 1.0	26 2.8	
性別	男性	383 100.0	259 67.6	242 63.2	131 34.2	164 42.8	101 26.4	13 3.4	8 2.1	10 2.6	
	女性	534 100.0	364 68.2	345 64.6	235 44.0	257 48.1	125 23.4	17 3.2	1 0.2	15 2.8	
年齢	18～19歳	13 100.0	6 46.2	7 53.8	4 30.8	6 46.2	8 61.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	45 75.0	38 63.3	31 51.7	31 51.7	11 18.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0	
	30歳代	139 100.0	98 70.5	96 69.1	70 50.4	67 48.2	36 25.9	6 4.3	1 0.7	1 0.7	
	40歳代	159 100.0	109 68.6	100 62.9	68 42.8	70 44.0	35 22.0	7 4.4	1 0.6	3 1.9	
	50歳代	161 100.0	122 75.8	101 62.7	58 36.0	77 47.8	34 21.1	7 4.3	1 0.6	0 0.0	
	60歳代	183 100.0	118 64.5	114 62.3	70 38.3	78 42.6	46 25.1	5 2.7	2 1.1	6 3.3	
	70歳代	181 100.0	111 61.3	120 66.3	63 34.8	87 48.1	58 32.0	5 2.8	2 1.1	11 6.1	
	80歳以上	32 100.0	20 62.5	17 53.1	9 28.1	10 31.3	6 18.8	6 18.8	0 0.0	1 3.1	4 12.5

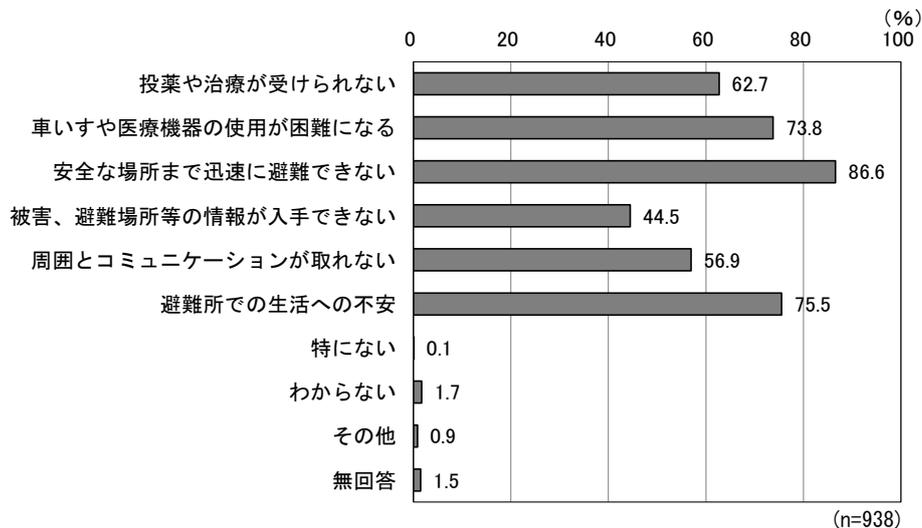
## 6. 福祉のまちづくりについて

### 問 18. 障がいのある人が災害時に困ると思うこと

【MA】

○「安全な場所まで迅速に避難できない」が 86.6%で最も高く、次いで「避難所での生活への不安」が 75.5%、「車いすや医療機器の使用が困難になる」が 73.8%の順となっています。

○性別にみると、「被害、避難場所等の情報が入手できない」は“女性”の方が 12.4 ポイント高くなっています。

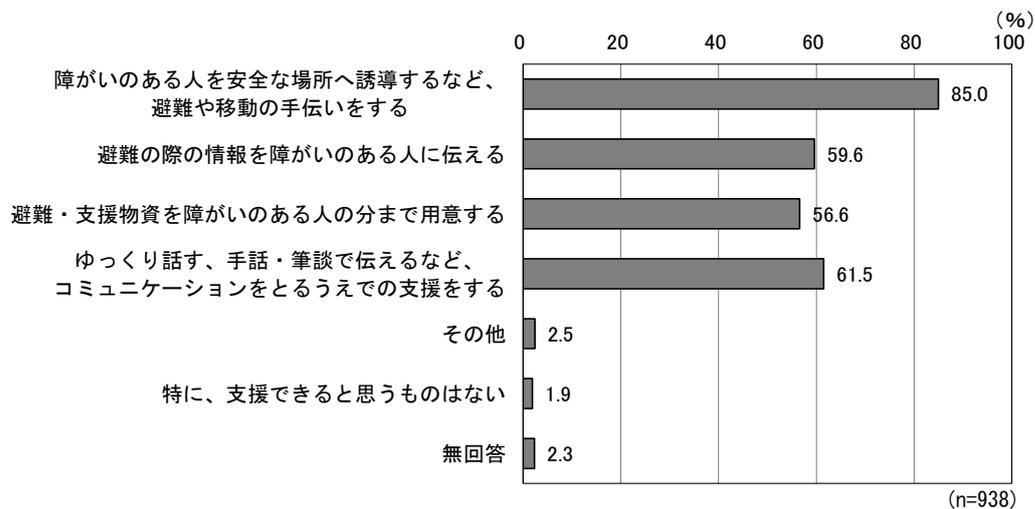


上段：人 下段：%	合計	問18. 障がいのある人が災害時に困ると思うこと									
		投薬や治療が受けられない	車いすや医療機器の使用が困難になる	安全な場所まで迅速に避難できない	被害、避難場所等の情報が入手できない	周囲とコミュニケーションが取れない	避難所での生活への不安	特にない	わからない	その他	無回答
全体	938	588	692	812	417	534	708	1	16	8	14
	100.0	62.7	73.8	86.6	44.5	56.9	75.5	0.1	1.7	0.9	1.5
性別											
男性	383	226	264	334	144	205	256	1	6	2	5
	100.0	59.0	68.9	87.2	37.6	53.5	66.8	0.3	1.6	0.5	1.3
女性	534	348	416	465	267	318	440	0	7	6	7
	100.0	65.2	77.9	87.1	50.0	59.6	82.4	0.0	1.3	1.1	1.3
年齢											
18～19歳	13	9	10	12	5	6	10	0	1	0	0
	100.0	69.2	76.9	92.3	38.5	46.2	76.9	0.0	7.7	0.0	0.0
20歳代	60	44	50	53	36	39	42	0	0	0	0
	100.0	73.3	83.3	88.3	60.0	65.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	139	95	116	125	63	83	101	0	2	2	0
	100.0	68.3	83.5	89.9	45.3	59.7	72.7	0.0	1.4	1.4	0.0
40歳代	159	118	121	140	80	109	126	0	1	2	1
	100.0	74.2	76.1	88.1	50.3	68.6	79.2	0.0	0.6	1.3	0.6
50歳代	161	92	112	140	62	94	121	0	1	1	2
	100.0	57.1	69.6	87.0	38.5	58.4	75.2	0.0	0.6	0.6	1.2
60歳代	183	106	137	158	82	104	150	0	1	0	2
	100.0	57.9	74.9	86.3	44.8	56.8	82.0	0.0	0.5	0.0	1.1
70歳代	181	99	123	151	71	81	135	1	5	3	8
	100.0	54.7	68.0	83.4	39.2	44.8	74.6	0.6	2.8	1.7	4.4
80歳以上	32	19	17	26	14	13	17	0	3	0	0
	100.0	59.4	53.1	81.3	43.8	40.6	53.1	0.0	9.4	0.0	0.0

問 19. 災害時に障がいのある人に支援できること

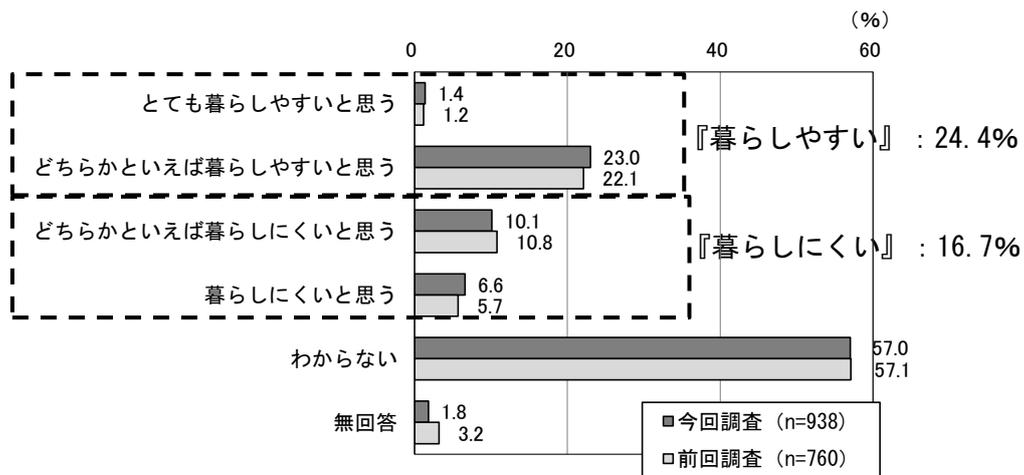
【MA】

- 「障がいのある人を安全な場所へ誘導するなど、避難や移動の手伝いをする」が85.0%で最も高く、次いで「ゆっくり話す、手話・筆談で伝えるなど、コミュニケーションをとるうえでの支援をする」が61.5%、「避難の際の情報を障がいのある人に伝える」が59.6%の順となっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「障がいのある人を安全な場所へ誘導するなど、避難や移動の手伝いをする」が最も高いものの、“18～19歳”は「ゆっくり話す、手話・筆談で伝えるなど、コミュニケーションをとるうえでの支援をする」が最も高くなっています。



上段：人 下段：%		合計	問19. 災害時に障がいのある人に支援できること						
			障がいのある人を安全な場所へ誘導するなど、避難や移動の手伝いをする	避難の際の情報を障がいのある人に伝える	避難・支援物資を障がいのある人の分まで用意する	ゆっくり話す、手話・筆談で伝えるなど、コミュニケーションをとるうえでの支援をする	その他	特に、支援できると思うものはない	無回答
全体		938 100.0	797 85.0	559 59.6	531 56.6	577 61.5	23 2.5	18 1.9	22 2.3
性別	男性	383 100.0	325 84.9	208 54.3	213 55.6	197 51.4	6 1.6	10 2.6	6 1.6
	女性	534 100.0	458 85.8	340 63.7	312 58.4	373 69.9	15 2.8	7 1.3	13 2.4
年齢	18～19歳	13 100.0	11 84.6	8 61.5	8 61.5	12 92.3	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	54 90.0	33 55.0	35 58.3	45 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	116 83.5	89 64.0	86 61.9	105 75.5	3 2.2	3 2.2	0 0.0
	40歳代	159 100.0	138 86.8	94 59.1	90 56.6	109 68.6	9 5.7	1 0.6	1 0.6
	50歳代	161 100.0	147 91.3	94 58.4	88 54.7	92 57.1	2 1.2	3 1.9	2 1.2
	60歳代	183 100.0	157 85.8	107 58.5	103 56.3	103 56.3	7 3.8	2 1.1	3 1.6
	70歳代	181 100.0	145 80.1	112 61.9	102 56.4	97 53.6	1 0.6	5 2.8	12 6.6
	80歳以上	32 100.0	23 71.9	17 53.1	15 46.9	11 34.4	0 0.0	2 6.3	3 9.4

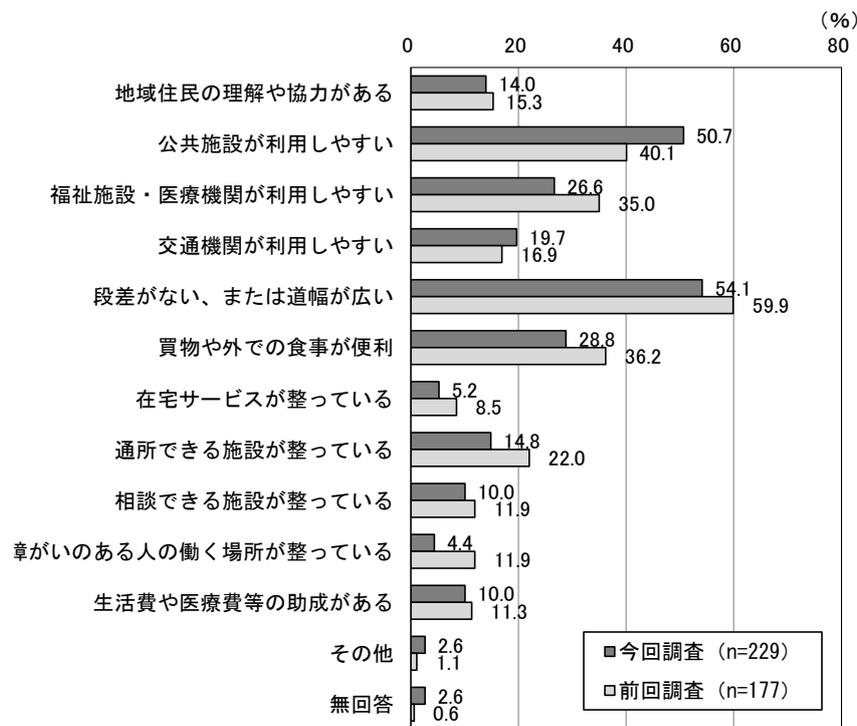
- 「とても暮らしやすいと思う」と「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を合わせた『暮らしやすい』が 24.4%、「どちらかといえば暮らしにくいと思う」と「暮らしにくいと思う」を合わせた『暮らしにくい』が 16.7%となっています。
- 前回調査と比べ、『暮らしやすい』が 1.1 ポイント増加しました。
- 性別にみると、『暮らしやすい』は“男性”の方が 3.7 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“18～20 歳代”と“80 歳以上”で『暮らしやすい』が高くなっています。
- 居住地域別にみると、“印旛”で『暮らしやすい』が高くなっています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問20. 印西市は障がいがある人にとって暮らしやすいと思うか					無回答
			とても暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしやすいと思う	どちらかといえば暮らしにくいと思う	暮らしにくいと思う	わからない	
全体		938 100.0	13 1.4	216 23.0	95 10.1	62 6.6	535 57.0	17 1.8
性別	男性	383 100.0	6 1.6	97 25.3	36 9.4	29 7.6	210 54.8	5 1.3
	女性	534 100.0	7 1.3	117 21.9	57 10.7	32 6.0	311 58.2	10 1.9
年齢	18～19歳	13 100.0	2 15.4	6 46.2	1 7.7	0 0.0	4 30.8	0 0.0
	20歳代	60 100.0	2 3.3	23 38.3	7 11.7	4 6.7	23 38.3	1 1.7
	30歳代	139 100.0	0 0.0	35 25.2	12 8.6	8 5.8	84 60.4	0 0.0
	40歳代	159 100.0	3 1.9	34 21.4	12 7.5	11 6.9	98 61.6	1 0.6
	50歳代	161 100.0	3 1.9	33 20.5	13 8.1	12 7.5	97 60.2	3 1.9
	60歳代	183 100.0	0 0.0	34 18.6	21 11.5	12 6.6	114 62.3	2 1.1
	70歳代	181 100.0	1 0.6	37 20.4	25 13.8	12 6.6	97 53.6	9 5.0
	80歳以上	32 100.0	2 6.3	14 43.8	3 9.4	1 3.1	12 37.5	0 0.0
居住地	北部	189 100.0	3 1.6	28 14.8	27 14.3	13 6.9	116 61.4	2 1.1
	南部	324 100.0	3 0.9	87 26.9	32 9.9	16 4.9	183 56.5	3 0.9
	船穂・草深	175 100.0	2 1.1	44 25.1	11 6.3	18 10.3	94 53.7	6 3.4
	印旛	110 100.0	3 2.7	29 26.4	11 10.0	11 10.0	54 49.1	2 1.8
	本埜	124 100.0	2 1.6	26 21.0	8 6.5	4 3.2	81 65.3	3 2.4

(問 20 において「とても暮らしやすいと思う」「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を回答した方限定)

- 「段差がない、または道幅が広い」が 54.1%で最も高く、次いで「公共施設が利用しやすい」が 50.7%、「買物や外での食事が便利」が 28.8%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「公共施設が利用しやすい」は 10.6 ポイント増加しました。
- 性別にみると、“男性”は「公共施設が利用しやすい」、「女性”は「段差がない、または道幅が広い」が高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「公共施設が利用しやすい」と「段差がない、または道幅が広い」の2つが高くなっていますが、“80 歳以上”は「地域住民の理解や協力がある」も高くなっています。
- 居住地域別にみると、“北部”“本埜”は「公共施設が利用しやすい」、「南部”“船穂・草深”“印旛”は「段差がない、または道幅が広い」が高くなっています。

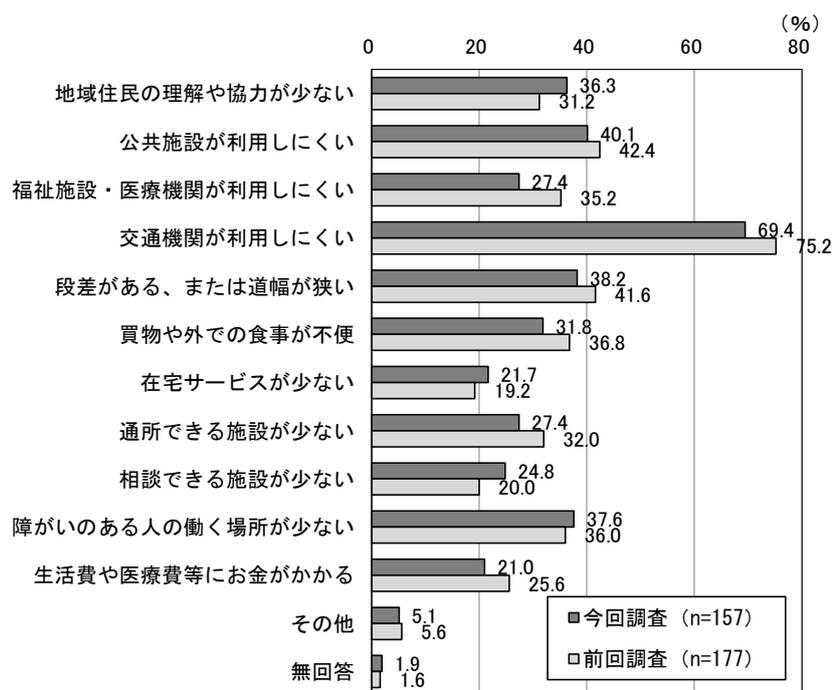


	合計	問20-1. 暮らしやすいと思うところ							
		地域住民の理解や協力がある	公共施設が利用しやすい	福祉施設・医療機関が利用しやすい	交通機関が利用しやすい	段差がない、または道幅が広い	買物や外での食事が便利	在宅サービスが整っている	
全体	229 100.0	32 14.0	116 50.7	61 26.6	45 19.7	124 54.1	66 28.8	12 5.2	
性別	男性	103 100.0	20 19.4	54 52.4	21 20.4	16 15.5	52 50.5	33 32.0	4 3.9
	女性	124 100.0	12 9.7	62 50.0	39 31.5	28 22.6	72 58.1	33 26.6	8 6.5
年齢	18～19歳	8 100.0	2 25.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5
	20歳代	25 100.0	0 0.0	11 44.0	8 32.0	7 28.0	17 68.0	9 36.0	1 4.0
	30歳代	35 100.0	0 0.0	20 57.1	9 25.7	8 22.9	18 51.4	10 28.6	0 0.0
	40歳代	37 100.0	1 2.7	20 54.1	9 24.3	10 27.0	20 54.1	13 35.1	2 5.4
	50歳代	36 100.0	5 13.9	19 52.8	6 16.7	9 25.0	24 66.7	15 41.7	0 0.0
	60歳代	34 100.0	7 20.6	18 52.9	8 23.5	4 11.8	17 50.0	7 20.6	3 8.8
	70歳代	38 100.0	10 26.3	20 52.6	12 31.6	4 10.5	17 44.7	9 23.7	5 13.2
	80歳以上	16 100.0	7 43.8	3 18.8	6 37.5	3 18.8	7 43.8	2 12.5	0 0.0
居住地域	北部	31 100.0	7 22.6	19 61.3	15 48.4	8 25.8	3 9.7	7 22.6	3 9.7
	南部	90 100.0	13 14.4	47 52.2	22 24.4	17 18.9	57 63.3	28 31.1	2 2.2
	船穂・草深	46 100.0	6 13.0	18 39.1	8 17.4	9 19.6	30 65.2	20 43.5	3 6.5
	印旛	32 100.0	3 9.4	16 50.0	7 21.9	6 18.8	19 59.4	7 21.9	3 9.4
	本埜	28 100.0	2 7.1	16 57.1	8 28.6	5 17.9	15 53.6	4 14.3	1 3.6

	合計	問20-1. 暮らしやすいと思うところ					無回答	
		通所できる施設が整っている	相談できる施設が整っている	障がいのある人の働く場所が整っている	生活費や医療費等の助成がある	その他		
全体	229 100.0	34 14.8	23 10.0	10 4.4	23 10.0	6 2.6	6 2.6	
性別	男性	103 100.0	12 11.7	13 12.6	3 2.9	10 9.7	2 1.9	2 1.9
	女性	124 100.0	22 17.7	10 8.1	7 5.6	13 10.5	4 3.2	4 3.2
年齢	18～19歳	8 100.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	20歳代	25 100.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0
	30歳代	35 100.0	5 14.3	3 8.6	3 8.6	2 5.7	2 5.7	2 5.7
	40歳代	37 100.0	4 10.8	4 10.8	3 8.1	4 10.8	0 0.0	1 2.7
	50歳代	36 100.0	3 8.3	1 2.8	0 0.0	2 5.6	1 2.8	1 2.8
	60歳代	34 100.0	4 11.8	5 14.7	0 0.0	4 11.8	1 2.9	0 0.0
	70歳代	38 100.0	9 23.7	6 15.8	1 2.6	6 15.8	0 0.0	1 2.6
	80歳以上	16 100.0	3 18.8	2 12.5	1 6.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0
居住地域	北部	31 100.0	8 25.8	7 22.6	3 9.7	6 19.4	1 3.2	1 3.2
	南部	90 100.0	11 12.2	5 5.6	2 2.2	5 5.6	3 3.3	3 3.3
	船穂・草深	46 100.0	7 15.2	3 6.5	3 6.5	4 8.7	0 0.0	1 2.2
	印旛	32 100.0	7 21.9	5 15.6	1 3.1	3 9.4	1 3.1	0 0.0
	本埜	28 100.0	1 3.6	3 10.7	1 3.6	5 17.9	1 3.6	1 3.6

(問 20 において「どちらかといえば暮らしにくいと思う」「暮らしにくいと思う」を回答した方限定)

- 「交通機関が利用しにくい」が 69.4%で最も高く、次いで「公共施設が利用しにくい」が 40.1%、「段差がある、または道幅が狭い」が 38.2%の順となっています。
- 前回調査と比べ、「交通機関が利用しにくい」は 5.8 ポイント減少しました。
- 性別にみると、「交通機関が利用しにくい」は“女性”の方が 6.8 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「交通機関が利用しにくい」が高くなっていますが、“60 歳”と“80 歳以上”は「公共施設が利用しにくい」も高くなっています。
- 居住地域別にみると、すべての居住地域で「交通機関が利用しにくい」が最も高くなっていますが、なかでも“印旛”は 95.5%となっています。

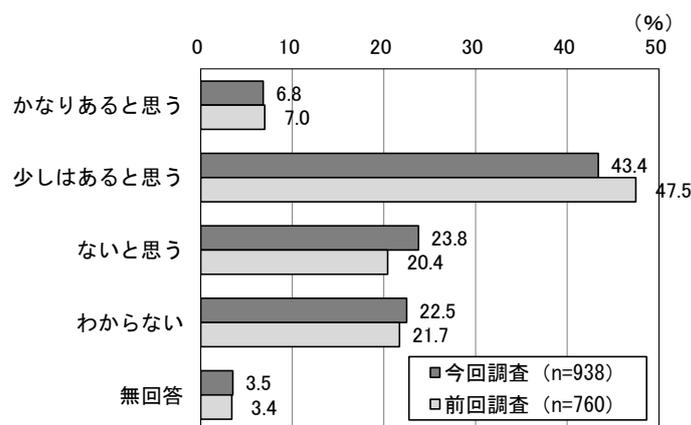


上段：人 下段：%	合計	問20-2. 暮らしにくいと思うところ							
		地域住民の理解や協力が少ない	公共施設が利用しにくい	福祉施設・医療機関が利用しにくい	交通機関が利用しにくい	段差がある、または道幅が狭い	買物や外での食事が不便	在宅サービスが少ない	
全体	157 100.0	57 36.3	63 40.1	43 27.4	109 69.4	60 38.2	50 31.8	34 21.7	
性別	男性	65 100.0	21 32.3	22 33.8	17 26.2	43 66.2	21 32.3	18 27.7	10 15.4
	女性	89 100.0	36 40.4	40 44.9	25 28.1	65 73.0	39 43.8	32 36.0	24 27.0
年齢	18～19歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	20歳代	11 100.0	5 45.5	5 45.5	3 27.3	11 100.0	5 45.5	4 36.4	3 27.3
	30歳代	20 100.0	10 50.0	9 45.0	5 25.0	14 70.0	9 45.0	4 20.0	3 15.0
	40歳代	23 100.0	6 26.1	9 39.1	5 21.7	15 65.2	6 26.1	5 21.7	6 26.1
	50歳代	25 100.0	6 24.0	7 28.0	5 20.0	19 76.0	9 36.0	10 40.0	6 24.0
	60歳代	33 100.0	13 39.4	18 54.5	14 42.4	25 75.8	17 51.5	13 39.4	6 18.2
	70歳代	37 100.0	14 37.8	11 29.7	8 21.6	21 56.8	13 35.1	11 29.7	7 18.9
	80歳以上	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0
居住地域	北部	40 100.0	15 37.5	14 35.0	8 20.0	27 67.5	17 42.5	12 30.0	9 22.5
	南部	48 100.0	16 33.3	22 45.8	14 29.2	29 60.4	19 39.6	14 29.2	10 20.8
	船穂・草深	29 100.0	13 44.8	13 44.8	12 41.4	20 69.0	8 27.6	9 31.0	6 20.7
	印旛	22 100.0	5 22.7	7 31.8	4 18.2	21 95.5	9 40.9	11 50.0	5 22.7
	本笠	12 100.0	6 50.0	4 33.3	4 33.3	7 58.3	2 16.7	2 16.7	4 33.3

上段：人 下段：%	合計	問20-2. 暮らしにくいと思うところ						
		通所できる施設が少ない	相談できる施設が少ない	障がいのある人の働く場が少ない	生活費や医療費等にお金がかかる	その他	無回答	
全体	157 100.0	43 27.4	39 24.8	59 37.6	33 21.0	8 5.1	3 1.9	
性別	男性	65 100.0	18 27.7	14 21.5	23 35.4	11 16.9	5 7.7	1 1.5
	女性	89 100.0	25 28.1	25 28.1	36 40.4	22 24.7	3 3.4	1 1.1
年齢	18～19歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	11 100.0	3 27.3	5 45.5	6 54.5	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	30歳代	20 100.0	4 20.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0
	40歳代	23 100.0	7 30.4	8 34.8	10 43.5	4 17.4	2 8.7	0 0.0
	50歳代	25 100.0	7 28.0	3 12.0	7 28.0	5 20.0	2 8.0	0 0.0
	60歳代	33 100.0	12 36.4	8 24.2	13 39.4	6 18.2	1 3.0	1 3.0
	70歳代	37 100.0	7 18.9	9 24.3	17 45.9	10 27.0	2 5.4	1 2.7
	80歳以上	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
居住地域	北部	40 100.0	10 25.0	7 17.5	20 50.0	11 27.5	2 5.0	1 2.5
	南部	48 100.0	17 35.4	15 31.3	20 41.7	10 20.8	4 8.3	0 0.0
	船穂・草深	29 100.0	9 31.0	10 34.5	9 31.0	6 20.7	2 6.9	1 3.4
	印旛	22 100.0	4 18.2	4 18.2	6 27.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0
	本笠	12 100.0	2 16.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0

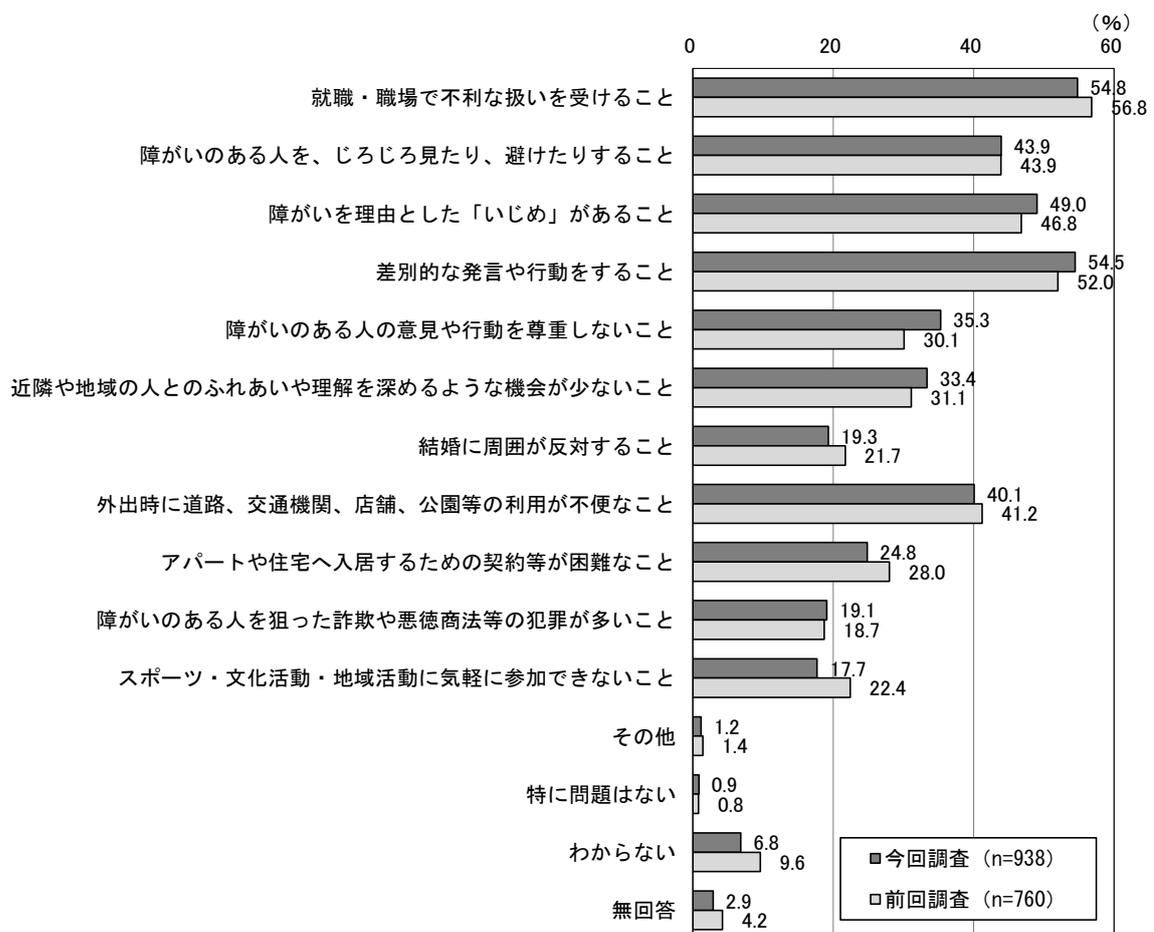
(問 20 において「とても暮らしやすいと思う」「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を回答した方限定)

- 「少しはあると思う」が 43.4% で最も高く、次いで「ないと思う」が 23.8%、「わからない」が 22.5% となっています。
- 前回調査と比べ、「少しはあると思う」が 4.1 ポイント減少しました。
- 性別にみると、「少しはあると思う」は“女性”の方が 4.6 ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、多くの年代で「少しはあると思う」が高く、なかでも“18～20 歳代”は 6 割を超えています。



〔上段：人 下段：％〕		合計	問 21. 障がいがある理由の差別・偏見があると思うか				
			かなりあると思う	少しはあると思う	ないと思う	わからない	無回答
全体		938 100.0	64 6.8	407 43.4	223 23.8	211 22.5	33 3.5
性別	男性	383 100.0	30 7.8	156 40.7	97 25.3	87 22.7	13 3.4
	女性	534 100.0	33 6.2	242 45.3	123 23.0	118 22.1	18 3.4
年齢	18～19歳	13 100.0	1 7.7	8 61.5	3 23.1	1 7.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	1 1.7	37 61.7	13 21.7	9 15.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	12 8.6	65 46.8	29 20.9	31 22.3	2 1.4
	40歳代	159 100.0	8 5.0	79 49.7	40 25.2	31 19.5	1 0.6
	50歳代	161 100.0	15 9.3	64 39.8	35 21.7	41 25.5	6 3.7
	60歳代	183 100.0	13 7.1	83 45.4	38 20.8	42 23.0	7 3.8
	70歳代	181 100.0	13 7.2	57 31.5	53 29.3	45 24.9	13 7.2
	80歳以上	32 100.0	0 0.0	9 28.1	10 31.3	10 31.3	3 9.4

- 「就職・職場で不利な扱いを受けること」が 54.8%で最も高く、次いで「差別的な発言や行動をすること」が 54.5%、「障がい者を理由とした「いじめ」があること」が 49.0%となっています。
- 前回調査と比べ、「差別的な発言や行動をすること」が 2.5 ポイント増加しました。
- 性別にみると、“男性”は「就職・職場で不利な扱いを受けること」、「女性”は「差別的な発言や行動をすること」が高くなっています。
- 年齢別にみると、“18～20 歳代”と“60 歳代～70 歳代”は「就職・職場で不利な扱いを受けること」、「30 歳代～50 歳代”は「差別的な発言や行動をすること」が高くなっています。

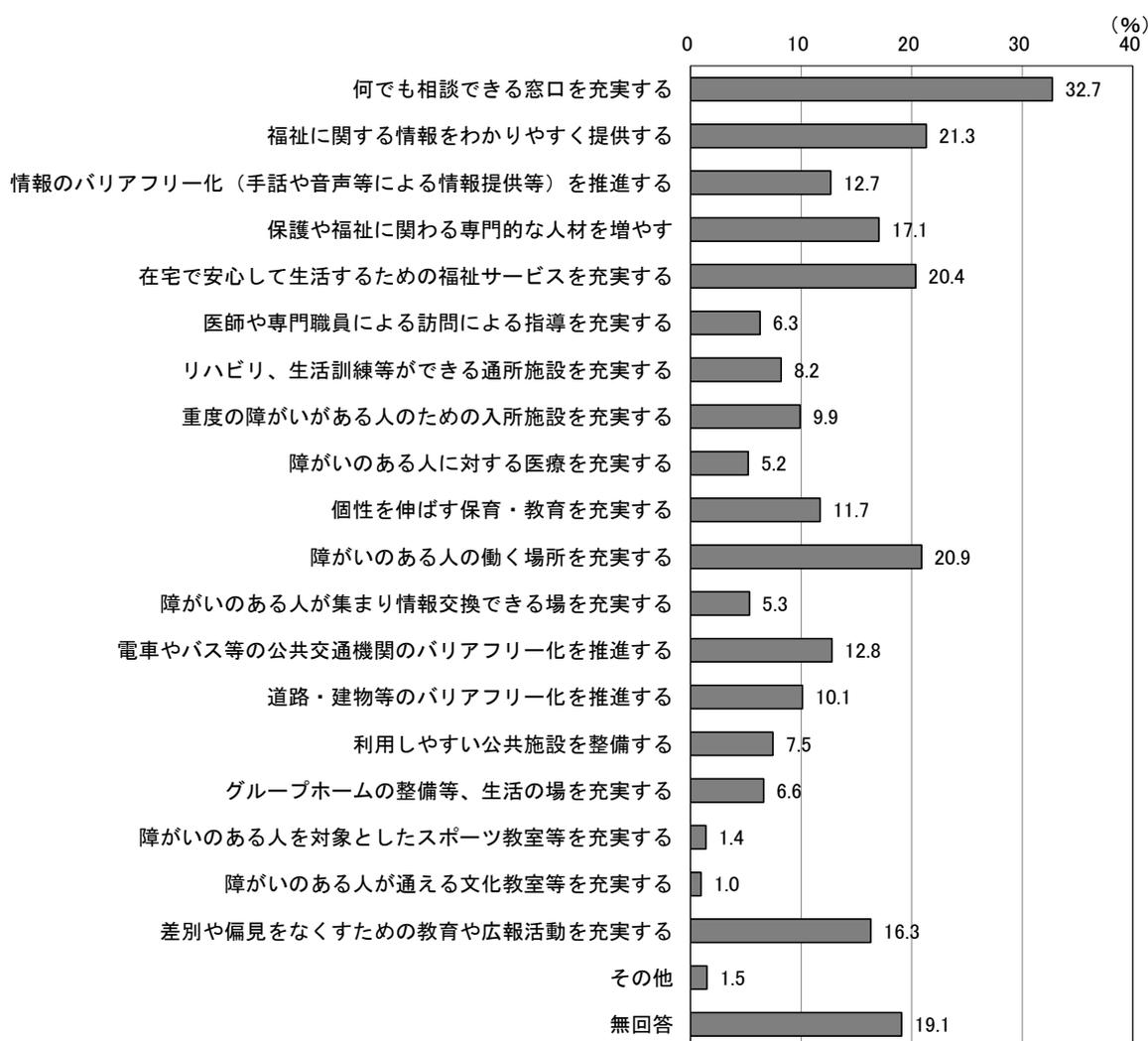


上段：人 下段：%	合計	問22. 特に人権上問題があると思われること								
		就職・職場で不利な扱いを受けること	障がいのある人を、じろじろ見たり、避けたりすること	障がいをして理由とした「いじめ」があること	差別的な発言や行動をすること	障がいのある人の意見や行動を尊重しないこと	近隣や地域のふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと	結婚に周囲が反対すること	外出時に道路、交通機関、店舗、公園等の利用が不便なこと	
全体	938 100.0	514 54.8	412 43.9	460 49.0	511 54.5	331 35.3	313 33.4	181 19.3	376 40.1	
性別	男性	383 100.0	202 52.7	157 41.0	169 44.1	189 49.3	127 33.2	77 20.1	142 37.1	
	女性	534 100.0	303 56.7	249 46.6	281 52.6	311 58.2	198 37.1	189 35.4	228 42.7	
年齢	18～19歳	13 100.0	8 61.5	7 53.8	5 38.5	6 46.2	4 30.8	3 0.0	2 15.4	
	20歳代	60 100.0	44 73.3	33 55.0	39 65.0	39 65.0	27 45.0	17 28.3	27 45.0	
	30歳代	139 100.0	84 60.4	67 48.2	84 60.4	90 64.7	62 44.6	39 28.1	51 36.7	
	40歳代	159 100.0	88 55.3	82 51.6	92 57.9	102 64.2	59 37.1	43 27.0	61 38.4	
	50歳代	161 100.0	88 54.7	69 42.9	87 54.0	95 59.0	59 36.6	48 29.8	73 45.3	
	60歳代	183 100.0	105 57.4	82 44.8	80 43.7	94 51.4	60 32.8	69 37.7	79 43.2	
	70歳代	181 100.0	81 44.8	58 32.0	61 33.7	74 40.9	53 29.3	74 40.9	72 39.8	
	80歳以上	32 100.0	13 40.6	10 31.3	7 21.9	8 25.0	4 12.5	19 59.4	8 25.0	

上段：人 下段：%	合計	問22. 特に人権上問題があると思われること						
		アパートや住宅へ入居するための契約等が困難なこと	障がいのある人を狙った詐欺や悪徳商法等の犯罪が多いこと	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体	938 100.0	233 24.8	179 19.1	166 17.7	11 1.2	8 0.9	64 6.8	27 2.9
性別	男性	383 100.0	87 22.7	66 17.2	63 16.4	4 1.0	5 1.3	10 2.6
	女性	534 100.0	140 26.2	106 19.9	100 18.7	7 1.3	3 0.6	14 2.6
年齢	18～19歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	15 25.0	13 21.7	10 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	139 100.0	44 31.7	40 28.8	27 19.4	1 0.7	0 0.0	0 0.0
	40歳代	159 100.0	45 28.3	44 27.7	29 18.2	2 1.3	1 0.6	3 1.9
	50歳代	161 100.0	46 28.6	35 21.7	24 14.9	2 1.2	0 0.0	2 1.2
	60歳代	183 100.0	46 25.1	29 15.8	33 18.0	4 2.2	1 0.5	2 1.1
	70歳代	181 100.0	34 18.8	16 8.8	32 17.7	1 0.6	3 1.7	15 8.3
	80歳以上	32 100.0	2 6.3	1 3.1	8 25.0	0 0.0	3 9.4	3 9.4

○「何でも相談できる窓口を充実する」が32.7%で最も高く、次いで「障がいのある人の働く場所を充実する」が20.9%、「在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実する」が20.4%となっています。

○年齢別にみると、多くの年代で「何でも相談できる窓口を充実する」が高くなっていますが、“20歳代”は「障がいのある人の働く場所を充実する」も最も高くなっています。



(n=938)

上段：人 下段：%	合計	問23. 障がい者に行政が力を入れていくこと											
		何でも相 談できる 窓口を充 実する	福祉に関 する情報 をわかり やすく提 供する	情報のバ リアフリー 化（手話や 音声等による情報 提供等） を推進する	保護や福 祉に関わ る専門的 な人材を 増やす	在宅で安 心して生 活するた めの福祉 サービスを 充実する	医師や専 門職員に よる訪問 指導を充 実する	リハビリ、生活 訓練等が できる通 所施設を 充実する	重度の障 がいがあ る人の入 所施設を 充実する	障がいの ある人に 対する医 療を充実 する	個性を伸 ばす保 育・教育 を充実する	障がいの ある人の 働く場所 を充実する	
全体	938 100.0	307 32.7	200 21.3	119 12.7	160 17.1	191 20.4	59 6.3	77 8.2	93 9.9	49 5.2	110 11.7	196 20.9	
性別	男性	383 100.0	118 30.8	83 21.7	50 13.1	70 18.3	23 6.0	33 8.6	42 11.0	25 6.5	27 7.0	94 24.5	
	女性	534 100.0	180 33.7	113 21.2	63 11.8	84 15.7	112 21.0	33 6.2	42 7.9	50 9.4	23 4.3	80 15.0	100 18.7
年齢	18～19歳	13 100.0	4 30.8	1 7.7	5 38.5	1 7.7	3 23.1	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	5 38.5	3 23.1
	20歳代	60 100.0	13 21.7	15 25.0	11 18.3	14 23.3	11 18.3	3 5.0	3 5.0	4 6.7	5 8.3	10 16.7	17 28.3
	30歳代	139 100.0	32 23.0	26 18.7	23 16.5	23 16.5	16 11.5	7 5.0	8 5.8	12 8.6	6 4.3	24 17.3	28 20.1
	40歳代	159 100.0	51 32.1	32 20.1	20 12.6	36 22.6	25 15.7	4 2.5	13 8.2	17 10.7	9 5.7	26 16.4	29 18.2
	50歳代	161 100.0	57 35.4	37 23.0	17 10.6	26 16.1	26 16.1	9 5.6	11 6.8	23 14.3	9 5.6	11 6.8	34 21.1
	60歳代	183 100.0	60 32.8	36 19.7	18 9.8	30 16.4	36 19.7	15 8.2	20 10.9	17 9.3	8 4.4	18 9.8	38 20.8
	70歳代	181 100.0	75 41.4	44 24.3	20 11.0	24 13.3	60 33.1	16 8.8	20 11.0	14 7.7	6 3.3	12 6.6	42 23.2
	80歳以上	32 100.0	10 31.3	8 25.0	3 9.4	5 15.6	13 40.6	4 12.5	1 3.1	3 9.4	5 15.6	1 3.1	5 15.6

上段：人 下段：%	合計	問23. 障がい者に行政が力を入れていくこと										
		障がいの ある人が 集まり情 報交換で きる場を 充実する	電車やバ ス等の公 共交通機 関のバリ アフリー 化を推進 する	道路・建 物等のバ リアフリー 化を推進 する	利用しや すい公共 施設を整 備する	グループ ホームの 整備等、 生活の場 を充実する	障がいの ある人を 対象とし たスポー ツ教室等 を充実する	障がいの ある人が 通える文 化教室等 を充実する	差別や偏 見をなく すための 教育や広 報活動を 充実する	その他	無回答	
全体	938 100.0	50 5.3	120 12.8	95 10.1	70 7.5	62 6.6	13 1.4	9 1.0	153 16.3	14 1.5	179 19.1	
性別	男性	383 100.0	20 5.2	45 11.7	41 10.7	27 7.0	19 5.0	8 2.1	4 1.0	66 17.2	8 2.1	68 17.8
	女性	534 100.0	30 5.6	72 13.5	54 10.1	39 7.3	42 7.9	5 0.9	5 0.9	84 15.7	6 1.1	109 20.4
年齢	18～19歳	13 100.0	2 15.4	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0	6 46.2	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	4 6.7	10 16.7	10 16.7	6 10.0	6 10.0	0 0.0	1 1.7	13 21.7	0 0.0	6 10.0
	30歳代	139 100.0	6 4.3	28 20.1	22 15.8	13 9.4	4 2.9	3 2.2	0 0.0	22 15.8	1 0.7	29 20.9
	40歳代	159 100.0	8 5.0	17 10.7	11 6.9	13 8.2	16 10.1	4 2.5	2 1.3	27 17.0	4 2.5	29 18.2
	50歳代	161 100.0	10 6.2	24 14.9	21 13.0	9 5.6	4 2.5	1 0.6	1 0.6	29 18.0	6 3.7	32 19.9
	60歳代	183 100.0	9 4.9	22 12.0	19 10.4	17 9.3	13 7.1	2 1.1	2 1.1	26 14.2	1 0.5	42 23.0
	70歳代	181 100.0	10 5.5	15 8.3	10 5.5	6 3.3	17 9.4	1 0.6	3 1.7	26 14.4	2 1.1	32 17.7
	80歳以上	32 100.0	1 3.1	2 6.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	8 25.0

○自由意見として、149人から、172件の回答がありました。主な内容は次のとおりです。

主な意見	件数
行政・行政施策 等	35件
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇障がい者の意識、状況と行政サービスの差はまだ開きが大きく、継続的、効率的に拡充していく必要があると思う。</li> <li>◇現在は子育てに施策が偏り過ぎているように思える。障がい者や高齢者をサポートする施策を期待する。</li> <li>◇健常者も障がい者も、大人も子ども、性別の違いも、存在することを当たり前ととらえる市政であってほしい。</li> <li>◇障がいがある人は外出するにも大変だと思いため、市の職員やボランティア、病院など様々な機関と連携をとりながら見守れるようなシステムが構築されると良い。</li> <li>◇難病を患っているため、この先身体障害者となる可能性がある身としては、障がい者に対するサービスや医療や支援などが充実したものにねればと思う。</li> <li>◇発達障害の子どもに対する相談窓口、療育施設の充実などもっと整備してほしい。</li> </ul>	
地域福祉・助け合い 等	34件
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇障がいのある人々が暮らしやすい町にしていくことは、高齢者や子ども等の弱者が住みやすい、暮らしやすい市になることだと思う。</li> <li>◇障がいのある方、支えている家族の方々が暮らしやすく、安心を得られるような市になることを願う。</li> <li>◇障がい者に優しいまちづくりは、皆に優しいまちづくりの基礎であると思う。</li> <li>◇一人ひとりが無関心にならず、優しい行動を少しするだけでも良いと思う。</li> <li>◇障がいを理解し、思いやって共に生活することが大事だと思う。</li> <li>◇障がいのある人の声を受けとめ、健常者に理解してもらうことが一番ではないか。</li> </ul>	
教育 等	19件
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇印西市に障がいのある子どもが安心して学ぶことができ、サポートも十分な教育施設があったらよいと思う。</li> <li>◇健常者と呼ばれる人たちと障がいを持った人たちを分けて教育していくことが、お互いの距離を生み出し無理解の社会を生み出していくと思う。</li> <li>◇発達障害の子が学校生活で理解されず、嫌な思いをすることがすごく多いと思う。先生方や保護者の方、生徒の皆さんが発達障害の子について、もっと理解できるようになり、子ども達が自分らしく、楽しく生きていけるようになってくれたら良いと思う。</li> <li>◇障がいの周知、福祉施策を学べる機会を増やせると、差別やいじめが減るのではないか。</li> <li>◇教育の場でもハンデのある方々について学べると良いと思う。</li> </ul>	
情報発信・周知啓発 等	17件
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇健常者が障がい者の不便さや、配慮してほしい事項などを認知することが、地域で共生していくために必要な一歩だと思う。印西市には積極的な広報をしていただきたい。</li> <li>◇色々な取組をしてくださっていると思うが、印西市の取組の情報が伝わってこない。</li> <li>◇実際の所、障がい者との触れ合う機会もなく、日常の生活の様子はどんなものかよく把握できていない。広報活動などを通して障がいのある人に対する理解度を深めながら地域との交流を図っていかれたらと思う。</li> <li>◇バリアフリーがある場所など詳しくわかる冊子等を全住民に配布するべき。</li> </ul>	

バリアフリー 等	10 件
<p>◇住宅街で歩道が狭く、車いすでは通れない。車がなくては生活できない地域だと思う。</p> <p>◇自分自身歩けなくなった時に車いすを利用した。少しの段差でも移動に大変なことを痛感した。</p> <p>◇電動の車いすの方が一人で止まってしまう、通りすがりの方がお手伝いをしていたため、ほんの少しの段差でも結構みんな大変な思いをしているのではないか。</p>	
雇用・就労 等	9 件
<p>◇障がい者でも働ける仕事場の提供を積極的にする。</p> <p>◇障がいのある人が働くことに抵抗を感じず、待遇面でも差別されないよう、雇用面が促進されていくと良いと思う。</p> <p>◇社会活動への参加が大事と思うが、企業は効率化を優先するため、障がい者の雇用が難しいのではないか。個人の特殊能力を伸ばす、企業が雇用した時の社会的メリットが出るなどの施策も必要ではないか。</p>	
交流・ボランティア 等	8 件
<p>◇障がいのある方も、認知症の方も、家に閉じこもることなく、積極的に外に出て、社会に触れる場があることが必要なのではないか。</p> <p>◇今まで以上に、障がいがある方とそうでない方が直接触れ合える機会があると良いと思う。</p> <p>◇手話教室を開いていただきたい。</p>	
交通・移動支援 等	8 件
<p>◇とても住みやすく良い所なのですが、移動がとても不便。</p> <p>◇ふれあいバスの運転手さんが車いすの乗客の方へ丁寧に対応されているのが、とてもよいと思う。</p>	
感謝・印西市の良いところ 等	7 件
<p>◇民生委員の方や福祉施設の方が訪問して下さり、アドバイス等を行ってくれた。知らなかったことがあったり、助かったという思いがあった。</p>	
アンケートの内容 等	5 件
<p>◇WEB で回答する方法はスマホだけではなく、パソコンからもアクセスできるよう配慮してもらいたい。</p>	
期待 等	5 件
<p>◇印西市の人口数も増え、それに伴い障がい者の方も増加すると思う。皆が安心・安全に暮らせる町になってほしい。</p>	
障害福祉サービス 等	4 件
<p>◇障がい者とその家族が安心して入所できる施設を市内に増やしてほしい。</p>	
その他 等	11 件
<p>◇印西市に移住後 5 年になるが、当市の障がい福祉施策について、ほとんど知らなかった。</p> <p>◇ヤングケアラーなどは、見た目では知らないし、隠したがる傾向にあると思う。心のケアが必要だと思っている。(経済的支援なども)</p> <p>◇小学生の子どもは成田市まで言語療法のリハビリに行っている。これが市内で対応してもらえる施設があれば助かる。</p> <p>◇ヘルプマークを市役所だけでなく、各駅で配布してほしい。</p>	

印西市 障がい福祉に関する  
アンケート調査結果 報告書

発行年月：令和5年6月

編集・発行：印西市福祉部 障がい福祉課

〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2

TEL：0476-33-4639

FAX：0476-42-0381